

基本計画書

基本計画書										
事項		記入欄								備考
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者		カトリックホリゾン プリキョウキョウイクカクエン 学校法人 佛教教育学園								
フリガナ大学の名称		プリキョウカクイカク 佛教大学								
大学本部の位置		京都市北区紫野北花ノ坊町96番地								
大学の目的		本学は学校教育法（昭和22年法律第26号）に基き、仏教精神により人格識見高邁にして、活動力ある人物の養成を目的とし、世界文化の向上、人類福祉の増進に貢献することを使命とする。								
新設学部等の目的		超高齢社会の進行に伴い看護師不足が深刻化しており、特に滋賀県や京都府北部地域では人材供給が急務である。既設の保健医療技術学部看護学科を新たに看護学部として設置し、より質の高い看護実践力を身に付けられる看護基礎教育提供の場を再構築するとともに、より多くの学生に学びの機会を提供し、看護職者の輩出や地域定着を進め、地域医療サービスの質の向上へ繋げるために収容定員の増加を行う。								
	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
	【通学課程】	年	人	年次人	人					
	仏教学部									
	仏教学科	4	60	—	240	学士（文学）	文学関係	平成22年4月第1年次	京都市北区紫野北花ノ坊町96	
	文学部									
	日本文学科	4	120	—	480	学士（文学）	文学関係	平成22年4月第1年次	〃	
	中国学科	4	50	—	200	学士（文学）	文学関係	昭和61年4月第1年次	〃	
	英米学科	4	70	—	280	学士（文学）	文学関係	昭和50年4月第1年次	〃	
	歴史学部								〃	
	歴史学科	4	110	—	440	学士（文学）	文学関係	平成22年4月第1年次	〃	
	歴史文化学科	4	70	—	280	学士（文学）	文学関係	平成22年4月第1年次	〃	
	教育学部								〃	
	教育学科	4	130	—	520	学士（教育学）	教育学・保育学関係	平成元年4月第1年次	〃	
	幼児教育学科	4	80	—	320	学士（教育学）	教育学・保育学関係	令和4年4月第1年次	〃	
	臨床心理学科	4	80	—	320	学士（教育学）	教育学・保育学関係	平成12年4月第1年次	〃	
	社会学部								〃	
	現代社会学科	4	200	—	800	学士（社会学）	社会学・社会福祉学関係	平成16年4月第1年次	〃	
	公共政策学科	4	120	—	480	学士（社会学）	社会学・社会福祉学関係	平成16年4月第1年次	〃	
	社会福祉学部								〃	
	社会福祉学科	4	220	—	880	学士（社会福祉学）	社会学・社会福祉学関係	平成16年4月第1年次	〃	
	保健医療技術学部									
	理学療法学科	4	40	—	160	学士（保健学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	平成18年4月第1年次	京都市中京区西ノ京東梅尾町7	

新設学部等の概要	作業療法学科	4	40	—	160	学士（保健学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	平成18年4月第1年次	〃	※令和7年4月設置届出予定	
	看護学科	4	0 (65)	—	0 (260)	学士（保健学）	保健衛生学関係（看護学関係）	平成24年4月第1年次	〃		
	看護学部										
	看護学科	4	80 (0)	—	320 (0)	学士（看護学）	保健衛生学関係（看護学関係）	令和8年4月第1年次	〃		
	計		1470 (1455)	—	5880 (5820)						
	【通信教育課程】								京都市北区 紫野北花ノ坊町		
	仏教学部										
	仏教学科	4	100	3年次 150	700	学士（文学）	文学関係	平成22年4月第1年次	〃		
	文学部										
	日本文学科	4	100	3年次 150	700	学士（文学）	文学関係	平成22年4月第1年次	〃		
	中国学科	4	50	3年次 50	300	学士（文学）	文学関係	平成3年4月第1年次	〃		
	英米学科	4	100	3年次 300	1000	学士（文学）	文学関係	昭和56年4月第1年次	〃		
	歴史学部										
	歴史学科	4	100	3年次 100	600	学士（文学）	文学関係	平成22年4月第1年次	〃		
	歴史文化学科	4	100	3年次 250	900	学士（文学）	文学関係	平成22年4月第1年次	〃		
	教育学部										
	教育学科	4	400	3年次 1,000	3600	学士（教育学）	教育学・保育学関係	平成8年4月第1年次	〃		
	幼児教育学科	4	50	2年次50 3年次100	550	学士（教育学）	教育学・保育学関係	令和4年4月第1年次	〃		
	社会学部										
	現代社会学科	4	300	3年次 400	2000	学士（社会学）	社会学・社会福祉学関係	平成16年4月第1年次	〃		
	公共政策学科	4	100	3年次 300	1000	学士（社会学）	社会学・社会福祉学関係	平成16年4月第1年次	〃		
	社会福祉学部										
	社会福祉学科	4	200	3年次 500	1800	学士（社会福祉学）	社会学・社会福祉学関係	平成16年4月第1年次	〃		
	計		1600	2年次 50 3年次 3,300	13,150						
同一設置者内における変更状況 （定員の移行，名称の変更等）		佛教大学 保健医療技術学部看護学科（廃止）（△65） ※令和8年4月学生募集停止 看護学部看護学科（80）（令和7年4月届出予定）									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数						卒業要件単位数	単位		
		講義	演習	実験・実習	計						
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位					

学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新	仏教学部 仏教学科	6 (6)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	98 (98)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	14 (14)			大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 8人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	6 (6)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	14 (14)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	6 (6)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	14 (14)			
	文学部 日本文学科	7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	104 (104)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
	文学部 中国学科	3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	80 (80)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)			大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 5人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)			

文学部 英米学科		3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	80 (80)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 5 人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)				
歴史学部 歴史学科		7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	91 (91)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 6 人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)				
歴史文化学科		7 (7)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	90 (90)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 5 人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	10 (10)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	7 (7)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	10 (10)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	7 (7)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	10 (10)				

教育学部 教育学科		14 (14)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	25 (25)	0 (0)	127 (127)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 6 人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの		14 (14)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	25 (25)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）		14 (14)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	25 (25)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）		14 (14)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	25 (25)			
幼児教育学科		8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	81 (81)	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの		8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 5 人
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）		8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）		8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			
臨床心理学科		5 (5)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	82 (82)	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの		5 (5)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 8 人
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）		5 (5)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）		5 (5)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			

社会学部 現代社会学科		8 (8)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	80 (80)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 9 人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの		8 (8)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	16 (16)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）		8 (8)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	16 (16)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）		8 (8)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	16 (16)			
公共政策学科		8 (8)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	79 (79)	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの		8 (8)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	14 (14)			大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 8 人
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）		8 (8)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	14 (14)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）		8 (8)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	14 (14)			
社会福祉学部 社会福祉学科		16 (16)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	147 (147)	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの		16 (16)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	22 (22)			大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 12人
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）		16 (16)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	22 (22)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）		16 (16)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	22 (22)			

保健医療技術学部 理学療法学科		4 (4)	5 (5)	1 (1)	4 (4)	14 (14)	0 (0)	87 (87)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 6 人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	5 (5)	1 (1)	4 (4)	14 (14)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	4 (4)	5 (5)	1 (1)	4 (4)	14 (14)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	4 (4)	5 (5)	1 (1)	4 (4)	14 (14)				
作業療法学科		4 (4)	4 (4)	1 (1)	4 (4)	13 (13)	0 (0)	82 (82)	大学設置基準別表第一に定め る基幹教員数の 四分の三の数 6 人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	4 (4)	1 (1)	4 (4)	13 (13)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	4 (4)	4 (4)	1 (1)	4 (4)	13 (13)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	4 (4)	4 (4)	1 (1)	4 (4)	13 (13)				
看護学部看護学科		10 (10)	6 (6)	7 (6)	10 (10)	33 (32)	0 (0)	88 (88)	大学設置基準別表第一に定め る基幹教員数の 四分の三の数 9 人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	9 (9)	6 (6)	7 (6)	10 (10)	32 (32)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	9 (9)	6 (6)	7 (6)	10 (10)	32 (32)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	10 (10)	6 (6)	7 (6)	10 (10)	33 (32)				
計		110 (110)	64 (64)	32 (31)	18 (18)	224 (223)	0 (0)	— (—)	

仏教学部 仏教学科【通信教育課程】		6 (6)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	24 (24)	大学通信教育設置基準第8条第2項に規定する『昼間又は夜間において授業を行う学部が通信教育を併せ行う場合』 仏教学科 14人全員が通学課程を兼ねている。 大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 11人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	14 (14)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	6 (6)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	14 (14)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	6 (6)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	14 (14)				
文学部 日本文学科【通信教育課程】		7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	27 (27)	大学通信教育設置基準第8条第2項に規定する『昼間又は夜間において授業を行う学部が通信教育を併せ行う場合』 日本文学科 11人全員が通学課程を兼ねている。 大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	7 (7)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	11 (11)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)				
文学部 中国学科【通信教育課程】		3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	9 (9)	大学通信教育設置基準第8条第2項に規定する『昼間又は夜間において授業を行う学部が通信教育を併せ行う場合』 中国学科 10人全員が通学課程を兼ねている。 大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 8人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)				

文学部 英米学科【通信教育課程】						3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	28 (28)	大学通信教育設置基準第8条第2項に規定する『昼間又は夜間において授業を行う学部が通信教育を併せ行う場合』 英米学科 10人全員が通学課程を兼ねている。 大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 8人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの						3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）						0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）						3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）						0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）						0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）						3 (3)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	10 (10)			
歴史学部 歴史学科【通信教育課程】						7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	28 (28)	大学通信教育設置基準第8条第2項に規定する『昼間又は夜間において授業を行う学部が通信教育を併せ行う場合』 歴史学科 11人全員が通学課程を兼ねている。 大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの						7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）						0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）						7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）						0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）						0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）						7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
歴史文化学科【通信教育課程】						7 (7)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	31 (31)	大学通信教育設置基準第8条第2項に規定する『昼間又は夜間において授業を行う学部が通信教育を併せ行う場合』 歴史文化学科 10人全員が通学課程を兼ねている。 大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 8人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの						7 (7)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	10 (10)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）						0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）						7 (7)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	10 (10)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）						0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）						0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）						7 (7)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	10 (10)			

教育学部 教育学科【通信教育課程】		14 (14)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	25 (25)	0 (0)	50 (50)	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		14 (14)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	25 (25)			大学通信教育設置基準第8条第2項に規定する『昼間又は夜間において授業を行う学部が通信教育を併せ行う場合』 教育学科 25人全員が通学課程を兼ねている。 大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）		14 (14)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	25 (25)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）		14 (14)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	25 (25)			
幼児教育学科【通信教育課程】		8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	2 (2)	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			大学通信教育設置基準第8条第2項に規定する『昼間又は夜間において授業を行う学部が通信教育を併せ行う場合』 幼児教育学科 10人全員が通学課程を兼ねている。 大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 8人
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）		8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）		8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			
社会学部 現代社会学科【通信教育課程】		8 (8)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	12 (12)	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		8 (8)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	16 (16)			大学通信教育設置基準第8条第2項に規定する『昼間又は夜間において授業を行う学部が通信教育を併せ行う場合』 現代社会学科 16人全員が通学課程を兼ねている。 大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 11人
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）		8 (8)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	16 (16)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）		8 (8)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	16 (16)			

分	公共政策学科【通信教育課程】						8 (8)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	2 (2)	大学通信教育設置基準第8条第2項に規定する『昼間又は夜間において授業を行う学部が通信教育を併せ行う場合』 公共政策学科14人全員が通学課程を兼ねている。 大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数11人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	14 (14)								
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	小計（a～b）	8 (8)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	14 (14)								
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	計（a～d）	8 (8)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	14 (14)								
	社会福祉学部 社会福祉学科【通信教育課程】						16 (16)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	64 (64)	大学通信教育設置基準第8条第2項に規定する『昼間又は夜間において授業を行う学部が通信教育を併せ行う場合』 社会福祉学科22人全員が通学課程を兼ねている。 大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数15人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	16 (16)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	22 (22)								
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	小計（a～b）	16 (16)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	22 (22)								
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	計（a～d）	16 (16)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	22 (22)								
	計						87 (87)	45 (45)	21 (21)	0 (0)	153 (153)	0 (0)	— (—)	
	既設	該当なし						— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
設	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)								
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)								
	小計（a～b）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)								
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)								
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)								
	計（a～d）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)								
分	計						— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
合 計		197 (183)	109 (106)	53 (45)	18 (16)	377 (350)	0 (0)	— (—)	基幹教員合計350人のうち、153人が通学課程・通信教育課程を兼務している。					

職 種				専 属		その他		計					
事 務 職 員				162人 (162)		135人 (135)		297人 (297)					
技 術 職 員				0 (0)		0 (0)		0 (0)					
図 書 館 職 員				3 (3)		0 (0)		3 (3)					
そ の 他 の 職 員				0 (0)		0 (0)		0 (0)					
指 導 補 助 者				0 (0)		0 (0)		0 (0)					
計				165 (165)		135 (135)		300 (300)					
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計				
	校 舎 敷 地		258,884㎡		0㎡		0㎡		258,884㎡				
	そ の 他		5,231㎡		0㎡		0㎡		5,231㎡				
	合 計		264,115㎡		0㎡		0㎡		264,115㎡				
校 舎			専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計				
			94,525㎡ (94,525㎡)		0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		94,525㎡ (94,525㎡)				
教 室 ・ 教 員 研 究 室			教 室		265室		教 員 研 究 室		289室		大学全体		
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕 冊		電子図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点	
	大学全体		1,177,004 [243,173] (1,149,404 [240,173])		70,622 [3,306] (63,722 [3,156])		13,433 [3,591] (13,367 [3,585])		38,629 [36,868] (38,301 [36,540])		6,699 (6,669)	39 (39)	
	計		1,177,004 [243,173] (1,149,404 [240,173])		70,622 [3,306] (63,722 [3,156])		13,433 [3,591] (13,367 [3,585])		38,629 [36,868] (38,301 [36,540])		6,699 (6,699)	39 (39)	
スポーツ施設等			スポーツ施設			講堂			厚生補導施設				
			3845.88㎡			845.82㎡			29329.26㎡				
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には 電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）			
		教員1人当り研究費等		400千円	400千円	400千円	400千円	－千円	－千円				
		共同研究費等		9500千円	9500千円	9500千円	9500千円	－千円	－千円				
		図 書 購 入 費	146,900千円	83,652千円	85,507千円	87,816千円	91,758千円	－千円	－千円				
	学生1人当り 納付金	設 備 購 入 費	1,000,000千円	200,000千円	150,000千円	150,000千円	150,000千円	－千円	－千円				
		学部	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次					
		仏教、文、歴史、 社会、社会福祉	1,270千円	1,110千円	1,110千円	1,110千円	－千円	－千円					
		教育	1,320千円	1,160千円	1,160千円	1,160千円	－千円	－千円					
		保健医療技術	1,950千円	1,790千円	1,790千円	1,790千円	－千円	－千円					
	看護	1,850千円	1,840千円	1,840千円	1,840千円	－千円	－千円						
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、寄付金収入、手数料収入等										

大 学 等 の 名 称	佛 教 大 学							
学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	収 容 定 員 充 足 率	開設 年度	所 在 地
【通学課程】	年	人	年次 人	人		倍		
大学院								
文学研究科								
修士課程								
仏教学専攻	2	10	—	20	修士（文学）	0.65	平成27年度	京都市北区紫野 北花ノ坊町96番地
文学専攻	2	10	—	20	修士（文学）	0.60	平成27年度	同上
歴史学専攻	2	10	—	20	修士（文学）	0.60	平成27年度	同上
博士後期課程								
仏教学専攻	3	3	—	9	博士（文学）	1.11	平成27年度	同上
文学専攻	3	3	—	9	博士（文学）	0.22	平成27年度	同上
歴史学専攻	3	3	—	9	博士（文学）	0.33	平成27年度	同上
教育学研究科								
修士課程								
生涯教育専攻	2	10	—	20	修士（教育学）	0.15	平成5年度	同上
臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士（教育学）	0.90	平成14年度	同上
博士後期課程								
生涯教育専攻	3	3	—	9	博士（教育学）	1.33	平成13年度	同上
臨床心理専攻	3	3	—	9	博士（教育学）	0.33	平成17年度	同上
社会学研究科								
修士課程								
社会学専攻	2	5	—	10	修士（社会学）	0.80	昭和48年度	同上
博士後期課程								
社会学専攻	3	3	—	9	博士（社会学）	1.22	平成18年度	同上
社会福祉学研究科								
修士課程								
社会福祉学専攻	2	5	—	10	修士（社会福祉学）	0.60	平成18年度	同上
博士後期課程								
社会福祉学専攻	3	3	—	9	博士（社会福祉学）	1.66	平成18年度	同上
学部								
仏教学部						0.97 《0.91》		
仏教学科	4	60	—	240	学士（文学）	0.97 《0.91》	平成22年度	京都府京都市北区 紫野北花ノ坊町96番地
文学部						1.04 《1.00》		
日本文学科	4	120	—	480	学士（文学）	1.12 《1.10》	平成22年度	同上
中国学科	4	50	—	200	学士（文学）	0.81 《0.76》	昭和61年度	同上
英米学科	4	70	—	280	学士（文学）	1.08 《1.01》	昭和50年度	同上
歴史学部						1.12 《1.08》		
歴史学科	4	110	—	440	学士（文学）	1.11 《1.08》	平成22年度	同上
歴史文化学科	4	70	—	280	学士（文学）	1.12 《1.07》	平成22年度	同上

既設大学等の状況	教育学部						1.09 《1.08》		
	教育学科	4	130	—	520	学士（教育学）	1.06 《1.05》	平成元年度	同上
	幼児教育学科	4	80	—	320	学士（教育学）	1.10 《1.10》	令和4年度	同上
	臨床心理学科	4	80	—	320	学士（教育学）	1.12 《1.10》	平成12年度	同上
	社会学部						1.07 《1.04》		
	現代社会学科	4	200	—	800	学士（社会学）	1.07 《1.05》	平成16年度	同上
	公共政策学科	4	120	—	480	学士（社会学）	1.05 《1.03》	平成16年度	同上
	社会福祉学部						1.02 《1.00》		
	社会福祉学科	4	220	—	880	学士（社会福祉学）	1.02 《1.00》	平成16年度	同上
	保健医療技術学部						1.05 《1.02》		
	理学療法学科	4	40	—	160	学士（保健学）	1.06 《1.04》	平成18年度	京都府京都市中京区 西ノ京東梅尾町7番地
	作業療法学科	4	40	—	160	学士（保健学）	1.07 《1.02》	平成18年度	同上
	看護学科	4	65	—	260	学士（保健学）	1.03 《1.01》	平成24年度	同上
	【通信教育課程】								
	大学院								
	文学研究科								
	修士課程								
	仏教学専攻	2	#	—	30	修士（文学）	0.46	平成27年度	京都府京都市北区 柴野北花ノ坊町96番地
	文学専攻	2	#	—	30	修士（文学）	0.50	平成27年度	同上
	歴史学専攻	2	#	—	30	修士（文学）	0.36	平成27年度	同上
	博士後期課程								
	仏教学専攻	3	3	—	9	博士（文学）	0.88	平成27年度	同上
	歴史学専攻	3	3	—	9	博士（文学）	1.66	平成27年度	同上
	教育学研究科								
	修士課程								
	生涯教育専攻	2	#	—	20	修士（教育学）	1.50	平成11年度	同上
	臨床心理学専攻	3	6	—	18	修士（教育学）	1.11	平成15年度	同上
	社会学研究科								
	修士課程								
	社会学専攻	2	#	—	20	修士（社会学）	0.95	平成13年度	同上
	社会福祉学研究科								
	修士課程								
	社会福祉学専攻	2	#	—	20	修士（社会福祉学）	0.60	平成18年度	同上
	学部								
	仏教学部								
	仏教学科	4	100	3年次 150	700	学士（文学）	0.33	平成22年度	京都市北区柴野 北花ノ坊町96番地
	文学部								
	日本文学科	4	100	3年次 150	700	学士（文学）	0.60	平成22年度	同上
	中国学科	4	50	3年次 50	300	学士（文学）	0.24	平成3年度	同上
	英米学科	4	100	3年次 300	1000	学士（文学）	0.67	昭和56年度	同上
	歴史学部								
	歴史学科	4	100	3年次 100	600	学士（文学）	1.09	平成22年度	同上
	歴史文化学科	4	100	3年次 250	900	学士（文学）	0.37	平成22年度	同上

	教育学部									
	教育学科	4	400	3年次 1000	3600	学士（教育学）	0.60	平成8年度	同上	
	幼児教育学科	4	50	50 3年次 100	550	学士（教育学）	0.17	令和4年度	同上	
	社会学部									
	現代社会学科	4	300	3年次 400	2000	学士（社会学）	0.11	平成16年度	同上	
	公共政策学科	4	100	3年次 300	1000	学士（社会学）	0.03	平成16年度	同上	
	社会福祉学部									
	社会福祉学科	4	200	3年次 500	1800	学士（社会福祉学）	0.23	平成16年度	同上	
既設大学等の状況	大学等の名称	京都華頂大学								
	学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	開設 年度	所 在 地	
	現代生活学部	年	人	年次 人	人		倍			
	こども生活学科	4	50	—	260	学士（家政学）	0.62	平成23年度	京都府京都市東山区林 下町3丁目456番地	令和6年度入学定 員減（△30人）
	生活情報学科	4	30	—	60	学士（家政学）	0.40	令和6年度	同上	令和6年度設置
	食物栄養学科	4	60	—	240	学士（家政学）	0.63	平成28年度	同上	
	日本文化学部						—			
既設大学等の状況	日本文化学科	4	40	—	40	学士（文学）	—	令和7年度	同上	令和7年度設置
	大 学 等 の 名 称	華頂短期大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	開設 年度	所 在 地	
既設大学等の状況	幼児教育学科	2	120	—	270	短期大学士（幼児教育 学）	0.70	昭和28年度	京都府京都市東山区林 下町3丁目456番地	令和7年度入学定員 減（△30人）
	総合文化学科	2	—	—	50	短期大学士（文化学）	0.41	平成31年度	同上	令和7年度より学 生募集停止（総 合文化学科）
附属施設の概要		名 称：総合研究所 目 的：研究所は、仏教を中心に人文科学・社会科学および自然科学にわたって総合的な学術研究を行ない、文化の発展に寄与することを目的とする。 所 在 地：京都市北区紫野北花ノ坊町96番地 設置年月：平成3年4月 規 模 等：建物60.51㎡								
		名 称：宗教文化ミュージアム（旧名称 アジア宗教文化情報研究所） 目 的：ミュージアムは、さまざまな宗教文化に関する調査、研究および有形・無形文化財の展示、劇場公演等を通じて、人文科学領域の研究の発展に寄与し、同時に広く一般市民に対して宗教文化に関する正しい理解を促し、且つさまざまな生涯学習の場と機会を提供することによって、社会貢献に資することを目的とする。 所 在 地：京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26 設置年月：平成15年4月 規 模 等：建物3,289.77㎡								
		名 称：法然仏教学研究センター 目 的：センターは、佛教大学の建学の精神に則り、浄土学を中心に仏教学、人文科学、社会科学、自然科学にわたる広い視点から法然仏教学の総合的な学術研究を行ない、文化の発展に寄与することを目的とする。 所 在 地：京都市北区紫野北花ノ坊町96番地 設置年月：平成26年4月 規 模 等：建物60.51㎡								

学校法人佛教教育学園 設置認可等に関わる組織の移行表

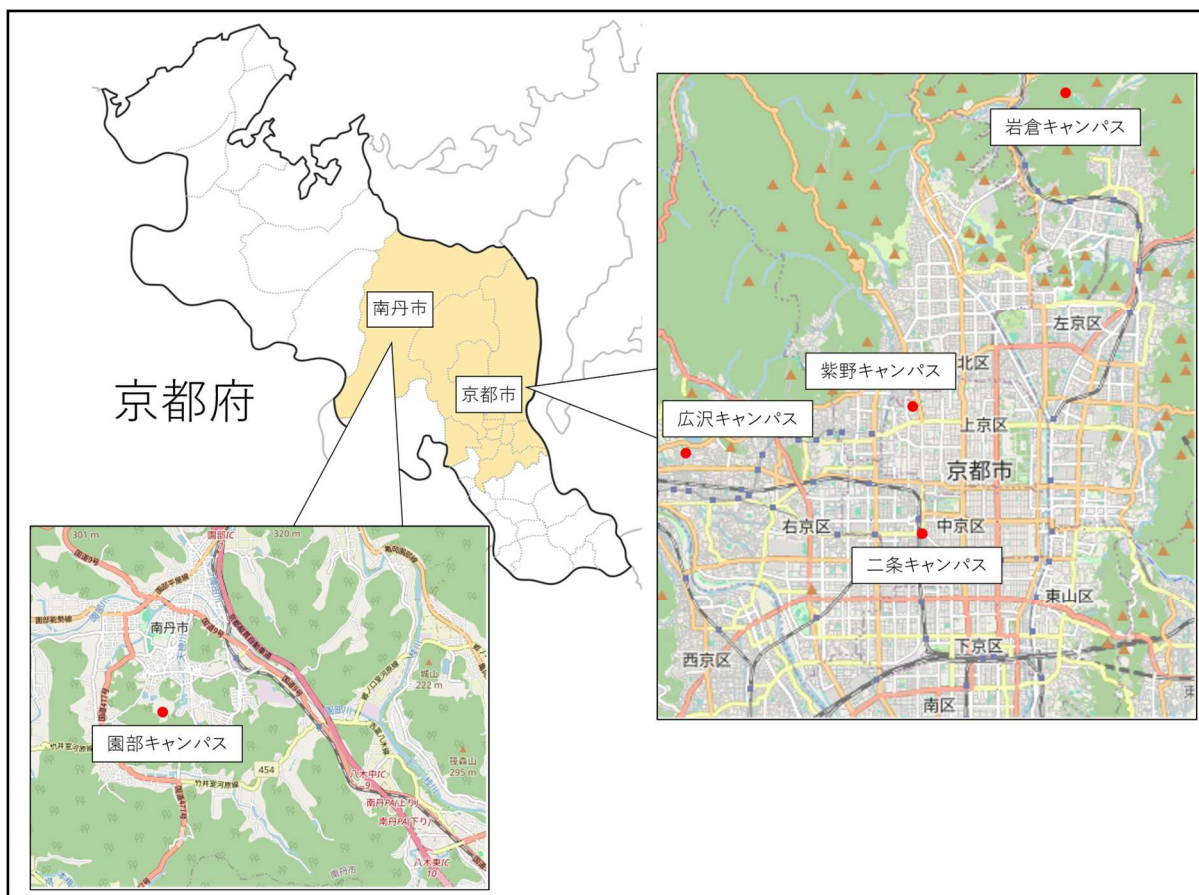
令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
佛教大学 【通学課程】 仏教学部 仏教学科 文学部 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学部 歴史学科 歴史文化学科 教育学部 教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科 社会学部 現代社会学科 公共政策学科 社会福祉学部 社会福祉学科 保健医療技術学部 理学療法学科 作業療法学科 看護学科				→	佛教大学 【通学課程】 仏教学部 仏教学科 文学部 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学部 歴史学科 歴史文化学科 教育学部 教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科 社会学部 現代社会学科 公共政策学科 社会福祉学部 社会福祉学科 保健医療技術学部 理学療法学科 作業療法学科 看護学部 看護学科				令和8年4月学生募集停止
計	1,455		5,820		計	1,470		5,880	学部の設置(届出)
【通信教育課程】 仏教学部 仏教学科 文学部 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学部 歴史学科 歴史文化学科 教育学部 教育学科 幼児教育学科 社会学部 現代社会学科 公共政策学科 社会福祉学部 社会福祉学科					【通信教育課程】 仏教学部 仏教学科 文学部 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学部 歴史学科 歴史文化学科 教育学部 教育学科 幼児教育学科 社会学部 現代社会学科 公共政策学科 社会福祉学部 社会福祉学科				
計	1,600	2年次 3年次	50 3,300		計	1,600	2年次 3年次	50 3,300	
佛教大学大学院 【通学課程】 文学研究科 仏教学専攻(M) 仏教学専攻(D) 文学専攻(M) 文学専攻(D) 歴史学専攻(M) 歴史学専攻(D) 教育学研究科 生涯教育専攻(M) 生涯教育専攻(D) 臨床心理学専攻(M) 臨床心理学専攻(D) 社会学研究科 社会学専攻(M) 社会学専攻(D) 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻(M) 社会福祉学専攻(D)					佛教大学大学院 【通学課程】 文学研究科 仏教学専攻(M) 仏教学専攻(D) 文学専攻(M) 文学専攻(D) 歴史学専攻(M) 歴史学専攻(D) 教育学研究科 生涯教育専攻(M) 生涯教育専攻(D) 臨床心理学専攻(M) 臨床心理学専攻(D) 社会学研究科 社会学専攻(M) 社会学専攻(D) 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻(M) 社会福祉学専攻(D)				
計	81		183		計	81		183	
【通信教育課程】 文学研究科 仏教学専攻(M) 仏教学専攻(D) 文学専攻(M) 歴史学専攻(M) 歴史学専攻(D) 教育学研究科 生涯教育専攻(M) 臨床心理学専攻(M) 社会学研究科 社会学専攻(M) 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻(M)					【通信教育課程】 文学研究科 仏教学専攻(M) 仏教学専攻(D) 文学専攻(M) 歴史学専攻(M) 歴史学専攻(D) 教育学研究科 生涯教育専攻(M) 臨床心理学専攻(M) 社会学研究科 社会学専攻(M) 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻(M)				
計	87		186		計	87		186	

学校法人佛教教育学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
京都華頂大学				京都華頂大学				
現代生活学部				現代生活学部				
こども生活学科	50	-	200	こども生活学科	50	-	200	
生活情報学科	30	-	120	生活情報学科	30	-	120	
食物栄養学科	60	-	240	食物栄養学科	60	-	240	
日本文化学部				日本文化学部				
日本文化学科	40	-	160	日本文化学科	40	-	160	
計	180		720	計	180		720	
華頂短期大学				華頂短期大学				
幼児教育学科	120	-	240	幼児教育学科	120	-	240	
計	120		240	計	120		240	

校地校舎等の図面

(1) 京都府内における位置関係の図面



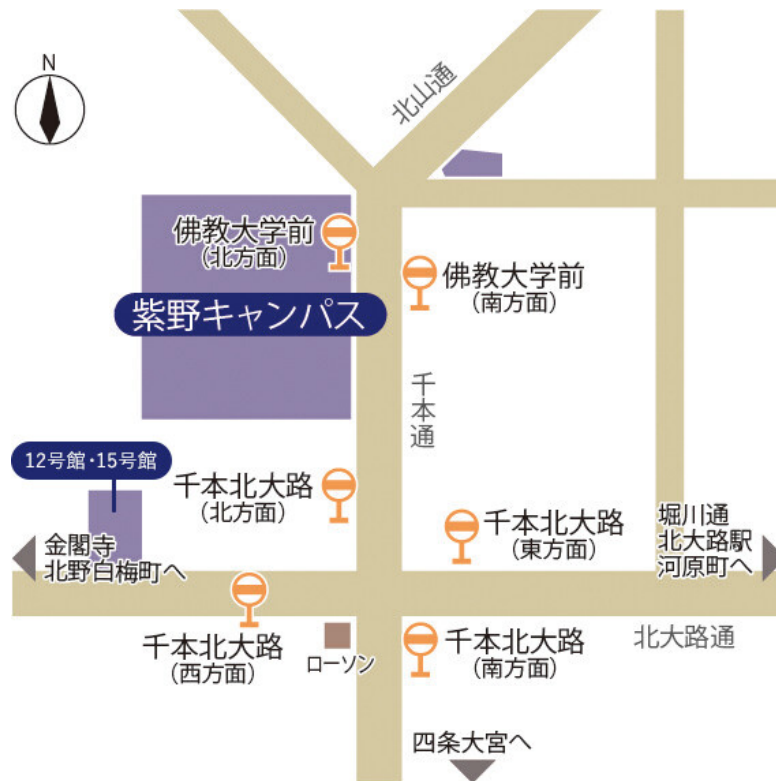
(2) 最寄りの駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



〔紫野キャンパス〕

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町 96

Tel : 075-491-2141 (代表)



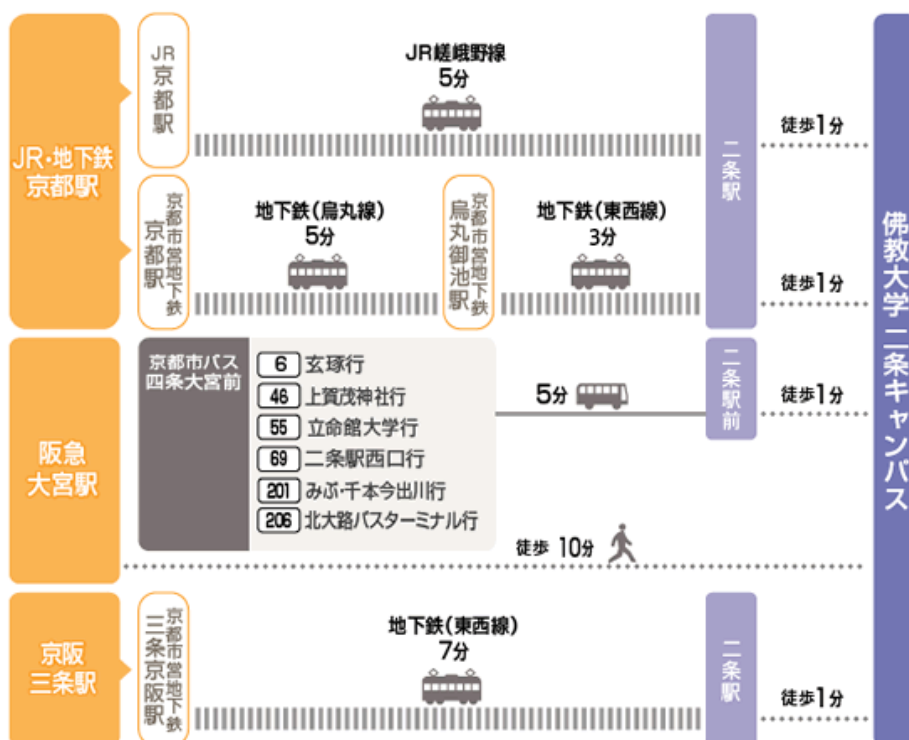
JR 京都駅	地下鉄 12分	京都市営地下鉄 北大路駅	京都市バス 北大路バスターミナル (西のりば)	10分		大佛大学前
				西賀茂車庫行	北大路	
			北1 玄塚行	10分	北大路	徒歩3分
			北8 松ヶ崎駅行	10分	北大路	徒歩3分
			204 205 206 循環	10分	北大路	徒歩3分
			M1 原谷行	10分	北大路	徒歩3分
阪急 大宮駅	京都市バス 四條大宮	6 (A3のりば) 玄塚行	205 (B3のりば) 循環	40分	北大路	徒歩3分
			206 (A3のりば) 循環	40分	北大路	徒歩3分
			6 玄塚行	20分	北大路	徒歩3分
JR・地下鉄 二条駅	京都市バス 一条駅前	46 上賀茂神社行	206 北大路バスターミナル行	20分	北大路	徒歩3分
			6 玄塚行	15分	北大路	徒歩3分
			204 北大路バスターミナル行	15分	北大路	徒歩3分
JR 円町駅	京都市バス 西ノ京円町	205 北大路バスターミナル行	206 北大路バスターミナル行	15分	北大路	徒歩3分
			204 北大路バスターミナル行	15分	北大路	徒歩3分
京阪 出町柳駅	京都市バス 出町柳駅前	1 西賀茂車庫行	206 北大路バスターミナル行	20分	北大路	徒歩3分
			1 西賀茂車庫行	20分	北大路	徒歩3分

〔二条キャンパス〕

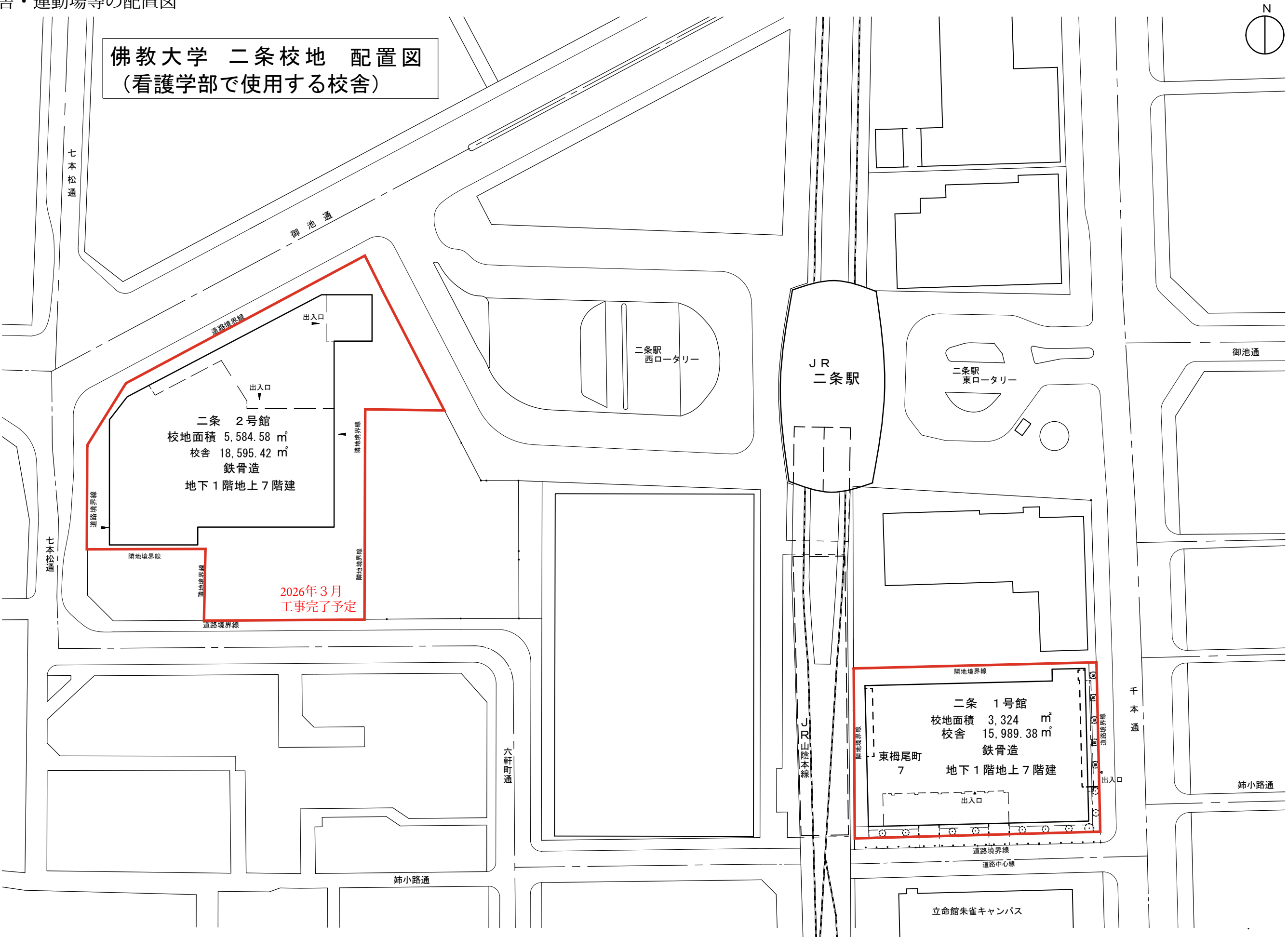
〒604-8418 京都市中京区西ノ京東栴尾町 7

Tel : 075-491-2141 (代表)

Tel : 075-366-5660 (直通)



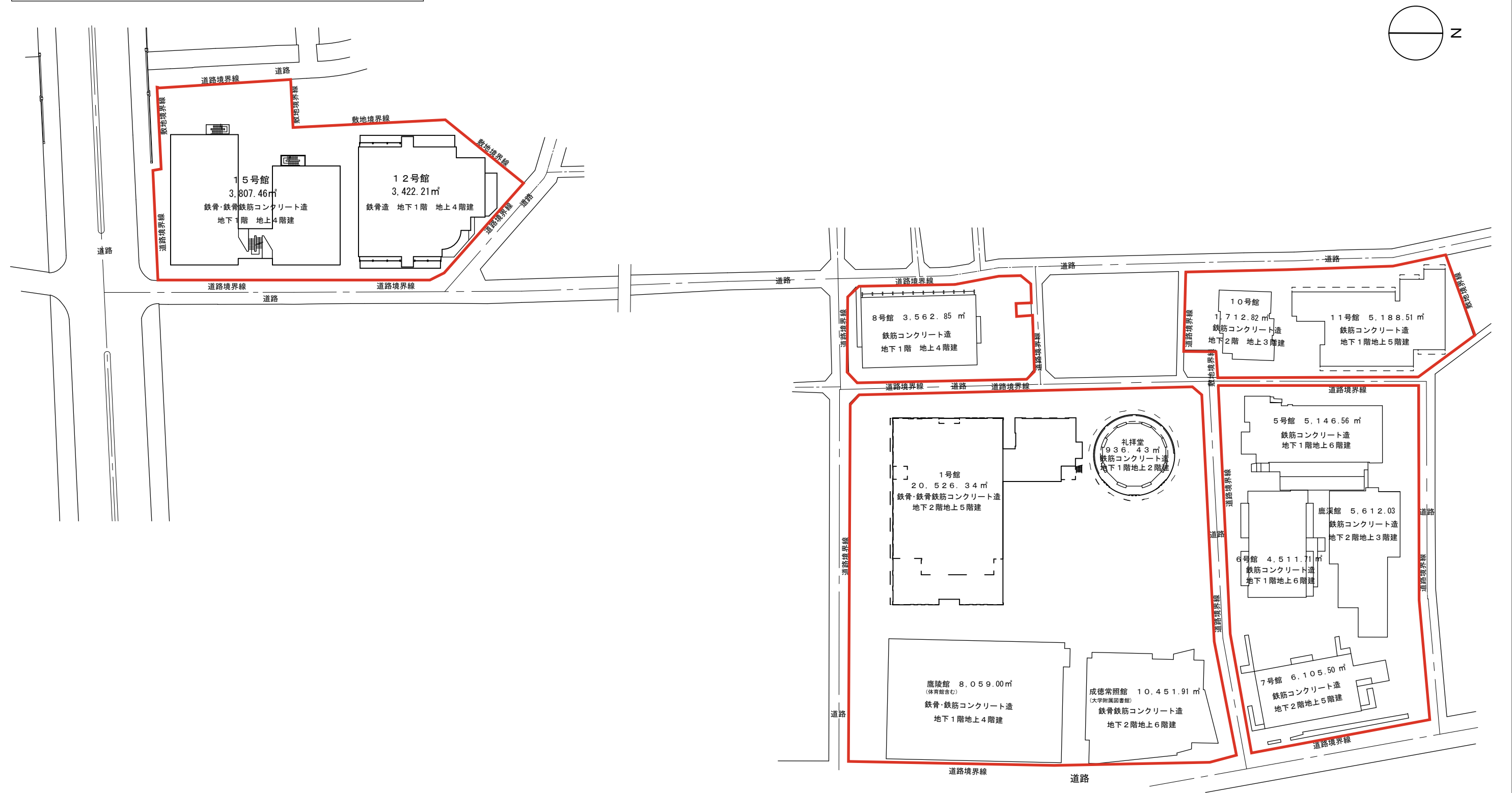
(3) 校舎・運動場等の配置図



佛教大学 二条校地 配置図	年月日 2025 (R07).3現在	照査	
	縮尺 1/1,000	担当	製図

(3) 校舎・運動場等の配置図

佛教大学 紫野校地 全体配置図

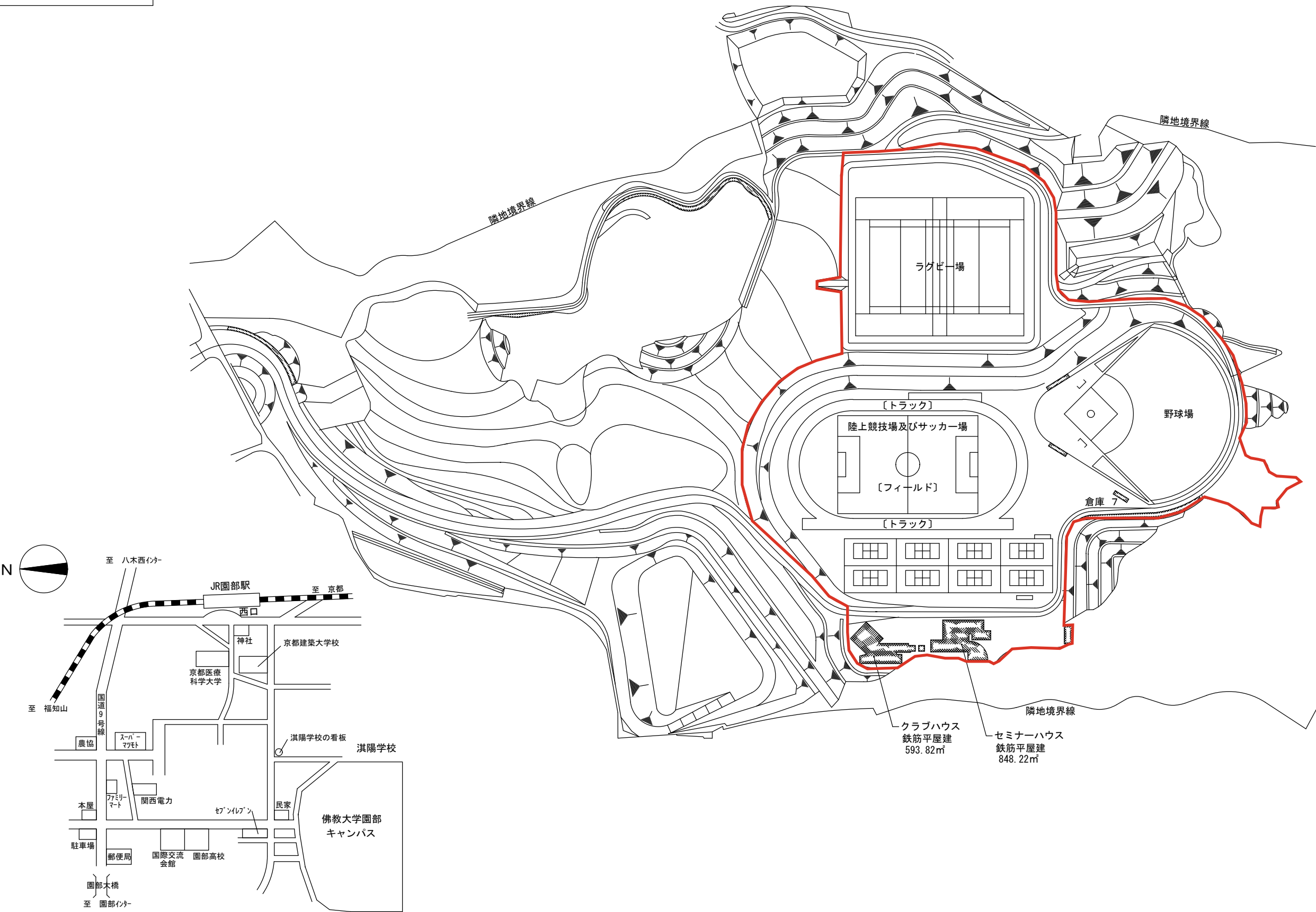


佛教大学 紫野校地所在地 京都市北区紫野北花ノ坊町96番地

	佛教大学 紫野校地	年月日 2025 (R7). 3現在	照査	
	全体配置図	縮尺 1/1,500	担当	製図

(3) 校舎・運動場等の配置図

園 部 校 地

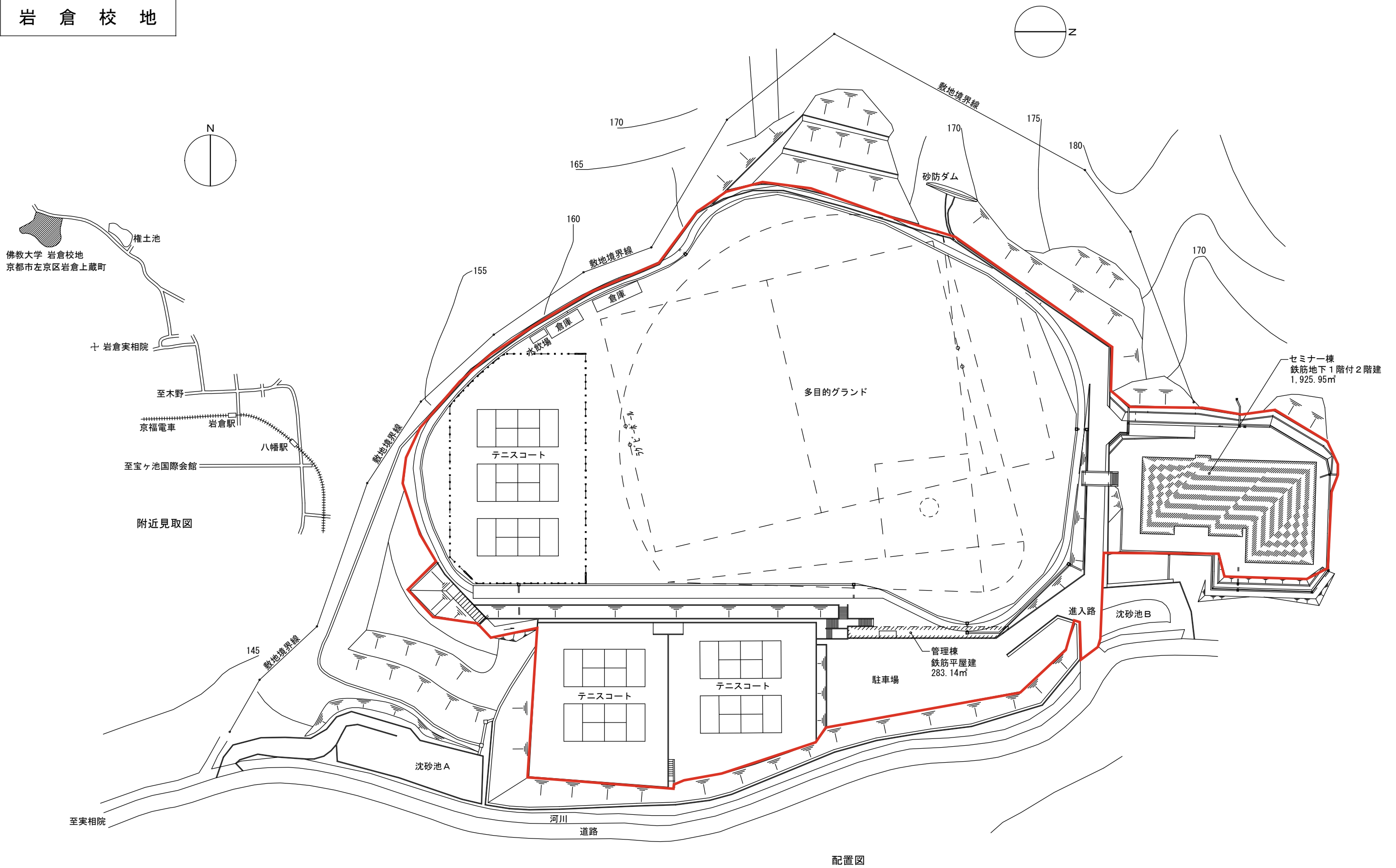


園部校地所在地 京都府南丹市園部町

配置図 付近見取図	年月日 2025(R7).3現在	照査	
	縮尺	担当	製図

(3) 校舎・運動場等の配置図

岩倉校地



配置図

佛教大学 岩倉校地

配置図 付近見取図

年月日
2025 (R7) . 3現在

縮尺

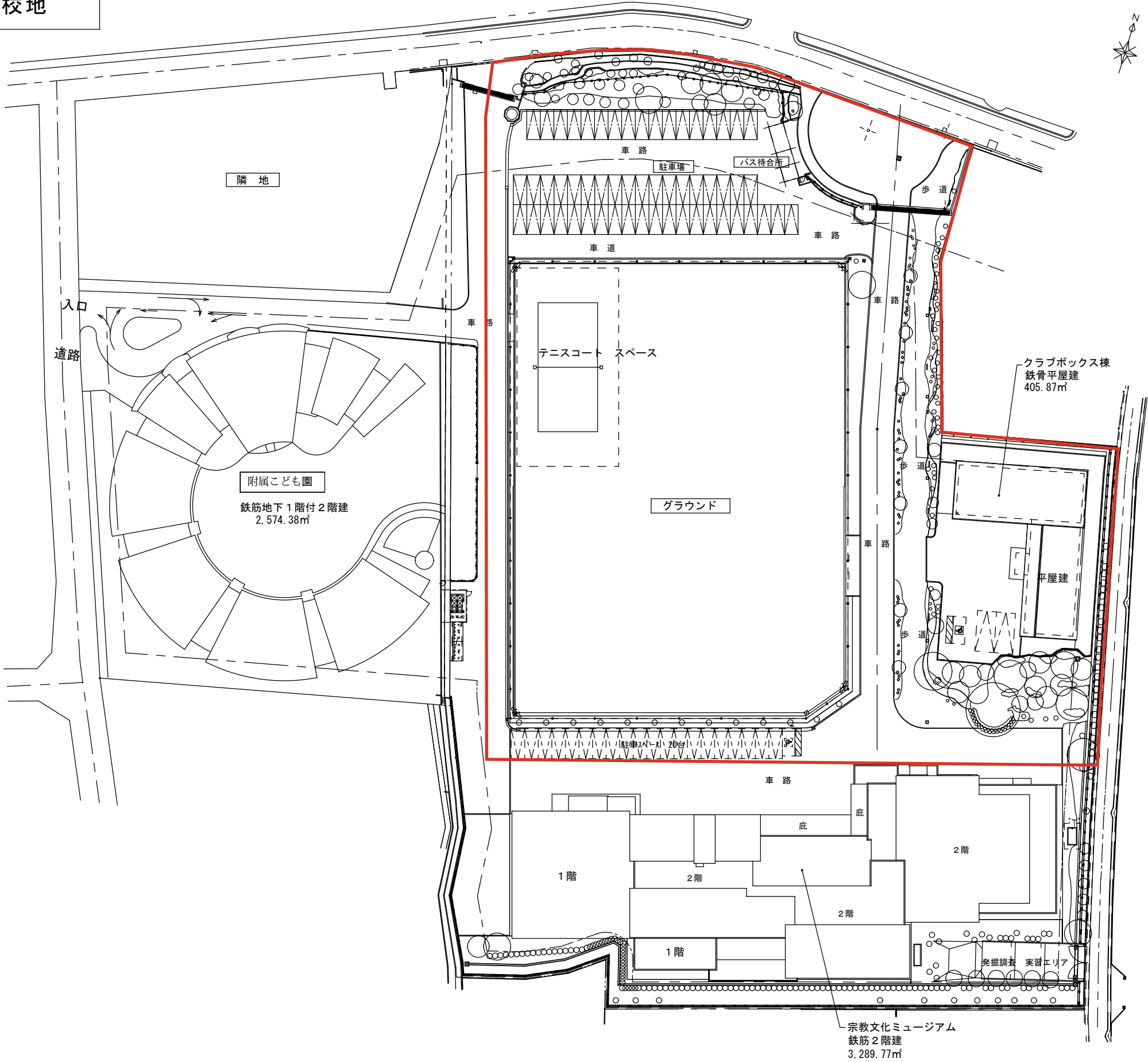
照査

担当

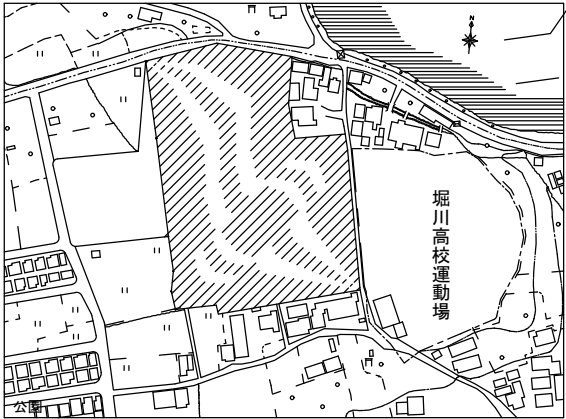
製図

(3) 校舎・運動場等の配置図

広沢校地



附近見取図 S=1/2500



配置図 S=1/800

広沢校地所在地 京都市右京区嵯峨西裏町

佛教大学 広沢校地	年月日 2025 (R7). 3現在	照査	
	縮尺 1/800	担当	製図

佛 教 大 学 学 則 (案)

第1章 大学の目的使命

第1条 本学は学校教育法（昭和22年法律第26号）に基き，仏教精神により人格識見高邁にして，活動力ある人物の養成を目的とし，世界文化の向上，人類福祉の増進に貢献することを使命とする。

第1条の2 本学は，人材養成に関する目的その他教育研究上の目的を各学部・学科ごとに定め，公表するものとする。

第1条の3 本学は教育研究の向上を図り，第1条の目的を達成するため，自らの点検・評価を行なう。

2 前項の目的を達成するため，点検・評価の項目，実施体制は，別にこれを定める。

3 前2項の点検・評価の結果について，政令で定める期間ごとに，文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

第2章 学部および学科組織

第2条 本学に仏教学部，文学部，歴史学部，教育学部，社会学部，社会福祉学部，保健医療技術学部および看護学部を置く。

2 仏教学部に仏教学科を置く。

3 文学部に日本文学科，中国学科および英米学科を置く。

4 歴史学部には歴史学科および歴史文化学科を置く。

5 教育学部に教育学科，幼児教育学科および臨床心理学科を置く。

6 社会学部に現代社会学科および公共政策学科を置く。

7 社会福祉学部には社会福祉学科を置く。

8 保健医療技術学部には理学療法学科，作業療法学科を置く。

9 看護学部には看護学科を置く。

第3条 本学に大学院を置く。

2 削除

3 本学に別科（仏教専修）を置く。

4 本学に附属こども園を置く。

5 仏教学部，文学部，歴史学部，教育学部，社会学部，社会福祉学部および大学院に通信教育課程を置く。

6 大学院学則，附属こども園園則ならびに別科（仏教専修）および通信教育課程に関する規程は，別にこれを定める。

第3章 授業科目

第4条 削除

2 削除

3 削除

4 削除

5 本学の授業科目の区分は，共通教養科目および専門科目とする。

6 削除

第4条の2 仏教学部仏教学科，文学部日本文学科，中国学科，英米学科，歴史学部歴史学科，歴史文化学科，教育学部教育学科，幼児教育学科，臨床心理学科，社会学部現代社会学科，公共政策学科，社会福祉学部社会福祉学科の共通教養科目の授業科目，単位および履修方法等を別表第1の5のとおり定める。

2 保健医療技術学部理学療法学科，作業療法学科および看護学部看護学科の共通教養科目の授業科目，単位および履修方法等を別表第1の6のとおり定める。

第5条 削除

2 削除

3 削除

4 削除

第5条の2 仏教学部仏教学科の専門科目は学部基幹科目，学科基礎科目，学科専攻科目および関連科目とし，その授業科目，単位および履修方法等を別表第2の2のとおり定める。

第6条 削除

第7条 削除

第8条 削除

第8条の2 削除

第8条の3 文学部日本文学科の専門科目は学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目および関連科目とし、その授業科目、単位および履修方法等を別表第4の3のとおり定める。

第9条 文学部中国学科の専門科目は学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目および関連科目とし、その授業科目、単位および履修方法等を別表第5のとおり定める。

第10条 文学部英米学科の専門科目は学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目および関連科目とし、その授業科目、単位および履修方法等を別表第6のとおり定める。

第10条の2 歴史学部歴史学科の専門科目は学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目および関連科目とし、その授業科目、単位および履修方法等を別表第6の2のとおり定める。

第10条の3 歴史学部歴史文化学科の専門科目は学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目および関連科目とし、その授業科目、単位および履修方法等を別表第6の3のとおり定める。

第11条 削除

第12条 教育学部教育学科の専門科目は学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目および関連科目とし、その授業科目、単位および履修方法等を別表第7のとおり定める。

第12条の2 教育学部幼児教育学科の専門科目は学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目および関連科目とし、その授業科目、単位および履修方法等を別表第7の2のとおり定める。

第13条 削除

第13条の2 教育学部臨床心理学科の専門科目は学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目および関連科目とし、その授業科目、単位および履修方法等を別表第8の2のとおり定める。

第14条 削除

第15条 削除

第16条 削除

第16条の2 削除

第16条の3 社会学部現代社会学科の専門科目は学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目および関連科目とし、その授業科目、単位および履修方法等を別表第11の3のとおり定める。

第16条の4 社会学部公共政策学科の専門科目は学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目および関連科目とし、その授業科目、単位および履修方法等を別表第11の4のとおり定める。

第16条の5 社会福祉学部社会福祉学科の専門科目は学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目および関連科目とし、その授業科目、単位および履修方法等を別表第11の5のとおり定める。

第16条の6 保健医療技術学部理学療法学科の専門科目は学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目および関連科目とし、その授業科目、単位および履修方法等を別表第11の6のとおり定める。

第16条の7 保健医療技術学部作業療法学科の専門科目は学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目および関連科目とし、その授業科目、単位および履修方法等を別表第11の7のとおり定める。

第16条の8 看護学部看護学科の専門科目は学部基幹科目、学科基礎科目、学科専攻科目および関連科目とし、その授業科目、単位および履修方法等を別表第11の8のとおり定める。

第17条 本学において、教育職員免許状の取得資格を得ようとする者は、第30条の規定によるほか、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）および教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所定の単位を修得しなければならない。

2 教育職員免許状取得に関わる科目の修得は、別表第12のとおりとする。

第18条 本学の学部学科で取得できる教育職員免許状の種類および教科は次のとおりである。

仏教学部 仏教学科

中学校教諭1種免許状「社会」「宗教」

高等学校教諭1種免許状「地理歴史」「公民」「宗教」

文学部 日本文学科

中学校教諭1種免許状「国語」

高等学校教諭1種免許状「国語」「書道」

文学部 中国学科

中学校教諭1種免許状「国語」「中国語」

高等学校教諭1種免許状「国語」「中国語」

文学部 英米学科

中学校教諭1種免許状「英語」

高等学校教諭1種免許状「英語」

歴史学部 歴史学科

中学校教諭1種免許状「社会」

高等学校教諭1種免許状「地理歴史」「公民」

歴史学部	歴史文化学科	中学校教諭 1 種免許状「社会」 高等学校教諭 1 種免許状「地理歴史」「公民」
教育学部	教育学科	小学校教諭 1 種免許状 中学校教諭 1 種免許状「社会」 中学校教諭 1 種免許状「数学」 高等学校教諭 1 種免許状「数学」 特別支援学校教諭 1 種免許状（知的障害者に関する教育の領域） （肢体不自由者に関する教育の領域） （病弱者に関する教育の領域）
教育学部	幼児教育学科	幼稚園教諭 1 種免許状
教育学部	臨床心理学科	中学校教諭 1 種免許状「社会」 高等学校教諭 1 種免許状「公民」
社会学部	現代社会学科	中学校教諭 1 種免許状「社会」 高等学校教諭 1 種免許状「地理歴史」「公民」「情報」
社会学部	公共政策学科	中学校教諭 1 種免許状「社会」 高等学校教諭 1 種免許状「地理歴史」「公民」
社会福祉学部	社会福祉学科	中学校教諭 1 種免許状「社会」 高等学校教諭 1 種免許状「地理歴史」「公民」「福祉」

第19条 小学校、中学校および高等学校教諭の普通免許状を有し、別表第13に定める単位を修得した者は、学校図書館法（昭和28年法律第185号）および学校図書館法施行規則（昭和29年文部省令第33号）に基き、学校図書館司書教諭の資格が得られる。

第20条 本学において、第30条の規定によるほか別表第14に定める単位を修得した者は、図書館法（昭和25年法律第118号）および図書館法施行規則（昭和25年文部省令第27号）に基き、図書館司書の資格が得られる。

第21条 本学において、第30条の規定によるほか別表第15に定める単位を修得した者は、社会教育法（昭和24年法律第207号）および社会教育主事講習等規程（昭和26年文部省令第12号）に基き、社会教育主事の資格が得られる。

第22条 本学において、第30条の規定によるほか別表第16に定める単位を修得した者は、博物館法（昭和26年法律第285号）および博物館法施行規則（昭和30年文部省令第24号）に基き、博物館学芸員の資格が得られる。

第23条 社会福祉学部社会福祉学科および教育学部幼児教育学科において、第30条の規定によるほか別表第17に定める単位を修得したものは、保育士の資格が得られる。なお、保育士養成課程に関する細則については、別にこれを定める。

第24条 社会福祉学部社会福祉学科において、第30条の規定によるほか別表第18に定める単位を修得した者は、社会福祉士および介護福祉士法（昭和62年法律第30号）第7条第1号の有資格者として社会福祉士試験の受験資格が得られる。

第24条の2 社会福祉学部社会福祉学科において、第30条の規定によるほか別表第18の2に定める単位を修得した者は、精神保健福祉法（平成9年法律第131号）第7条第1号の有資格者として精神保健福祉士試験の受験資格が得られる。

第24条の3 保健医療技術学部理学療法学科において、第30条の規定による所定の単位を修得した者は、理学療法士及び作業療法士法（昭和40年法律第137号）第11条第1号の有資格者として理学療法士国家試験の受験資格が得られる。

第24条の4 保健医療技術学部作業療法学科において、第30条の規定による所定の単位を修得した者は、理学療法士及び作業療法士法（昭和40年法律第137号）第12条第1号の有資格者として作業療法士国家試験の受験資格が得られる。

第24条の5 看護学部看護学科において、第30条の規定による所定の単位を修得した者は、保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第21条第1号の有資格者として看護師国家試験の受験資格が得られる。

- 第24条の6** 看護学部看護学科において、第30条の規定によるほか別表18の3に定める単位を修得した者は、保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第19条の有資格者として保健師国家試験の受験資格が得られる。
- 第25条** 本学において、浄土宗教師資格ならびに学階資格、浄土宗開教使資格および浄土宗社会教化主事資格を取得しようとする者の専門科目の修得は、別表第19のとおりとする。
- 第25条の2** 教育学部臨床心理学科における公認心理師法（平成27年法律第68号）に基づく公認心理師国家試験の受験資格取得に関する科目を別表第19の2に定める。なお、公認心理師国家試験の受験資格取得に関する細則については、別にこれを定める。
- 第25条の3** 本学において、学校司書の資格を取得しようとする者の専門科目の修得は、別表第19の3のとおりとする。
- 第25条の4** 本学において、社会調査士の資格を取得しようとする者の専門科目の修得は、別表第19の4のとおりとする。
- 第25条の5** 本学において、グローバルプロジェクトマネジャー（GPM）の資格を取得しようとする者の専門科目の修得は、別表第19の5のとおりとする。
- 第25条の6** 本学において、レクリエーション・インストラクターの資格を取得しようとする者の専門科目の修得は、別表第19の6のとおりとする。
- 第25条の7** 本学において、レクリエーション・コーディネーター（教育コース）の資格を取得しようとする者の専門科目の修得は、別表第19の7のとおりとする。
- 第25条の8** 本学において、日本語教師の資格を取得しようとする者の専門科目の修得は、別表第19の8のとおりとする。
- 第25条の9** 保健医療技術学部理学療法学科および作業療法学科において、公認初・中級パラスポーツ指導員の資格を取得しようとする者の専門科目の修得は、別表第19の9のとおりとする。
- 第26条** 削除

第4章 履修方法、単位の認定および卒業

- 第27条** 本学の学部修業年限は4年とし、8年を超えて在学することはできない。在学年限を超えた者は退学とする。
- 第28条** 削除
- 第28条の2** 1年間の授業を行なう期間は、35週にわたることを原則とする。
- 2 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行なうことを原則とする。但し、各学部教授会が教育上特に必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認めるときは、この限りではない。
- 第29条** 仏教学部、文学部、歴史学部、教育学部、社会学部、社会福祉学部の授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、次のとおりとする。
- (1) 講義、講読および演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 外国語については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実習、実験および実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 前各号に規定する授業の方法を併用する場合の単位数の基準は、第3号に規定する基準を考慮し、本学が定める。
- 2 保健医療技術学部、看護学部の授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、1単位の授業時間数は、講義および外国語については、15時間から30時間、演習については15時間から45時間、実験、実技および実習については、30時間から45時間の範囲とする。なお、1つの授業科目について、講義、外国語、演習、実験、実技および実習を併用する場合については、前項第4号を準用する。
- 3 文部科学大臣が別に定めるところにより、前各項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行なう教室等以外の場所で履修させることができる。
- 4 第1項および第2項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 5 第1項および第2項の規定にかかわらず、卒業論文等については、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定める。
- 第29条の2** 本学は、学生に対して、授業の方法および内容ならびに学期間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 本学は、学修の成果に係る評価および卒業の認定にあたっては、客観性および厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行なうものとする。

第30条 各学部学科の学生は、第4条の2から第16条の8までの規定に従って、合計124単位以上を履修しなければならない。

- 2 各学年、学期における履修登録単位数の上限を22単位とし、年間の履修登録単位数の上限は44単位とする。

なお、保健医療技術学部、看護学部は、各学年、学期における履修登録単位数の上限を26単位とし、年間の履修登録単位数の上限は50単位とする。

第30条の2 各学部教授会が教育上有益と認めるときは、他学科固有の専門科目を当該学科の専門科目として履修させることができる。

- 2 削除

第30条の3 各学部教授会が教育上有益と認めるときは、本学の通信教育の課程または、他の大学もしくは短期大学との協議に基き、学生にその授業科目を履修させることができる。

- 2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、各学部教授会の議に基き60単位を限度として、本学における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。

- 3 前2項の規定は、学生が外国の大学等に留学する場合に準用する。この場合、認定することのできる単位数は、前項の単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

- 4 前3項の実施に関して必要な事項については、別にこれを定める。

第31条 第17条から第24条の2および第25条、第25条の3から第25条の7までの資格を得るための単位履修は、4ケ年の在学期間中においては、その中の2資格を得るための単位しか履修できない。

第32条 単位認定は、試験その他の大学が定める適切な方法により学修の成果を評価し行なう。

- 2 前項の規定にかかわらず、集中講義の単位認定は、当該年度の3月末とする。

- 3 卒業論文等の審査方法等については、別にこれを定める。

第33条 授業科目の成績は100点を満点とし、60点以上を合格とする。

第34条 定期の期末試験に欠席した者には、本人の願い出により、各学部教授会が欠席の理由を正当と認めた場合、追試験を行なうことがある。

第35条 本学学部にて4年以上在学し、第30条、第30条の2、第30条の3および第32条の定めるところにより所定の単位を修得した者は卒業とし、卒業証書を授与する。

- 2 卒業の時期は、3月または9月の年2回とする。

第36条 本学学部を卒業した者は、別に定める佛教大学学位規程により、学士の学位を授与することができる。

第5章 学年、学期および休業日

第37条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第38条 学年を分けて、春学期および秋学期の2学期とする。

春学期 4月1日から9月19日まで

秋学期 9月20日から翌年3月31日まで

第39条 休業日を次のとおり定める。但し、休業日でも実習その他の授業を課すことがある。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 創立記念日（10月23日）
- (4) 夏期休業日 8月6日から8月31日まで
- (5) 冬期休業日 12月26日から1月5日まで
- (6) 春期休業日 3月19日から3月26日まで

- 2 学長は大学評議会の議を経て休業日を変更し、または臨時に休業日を定めることができる。

第6章 入学、退学、休学、復学、転学および転科

第40条 入学の時期は、学年の始めとする。但し、教育上支障がないときは、秋学期の始めに入学させることができる。

第41条 本学の学生定員を次のとおり定める。

学部	学科	学生定員		
		入学定員	編入学定員	収容定員
仏教学部	仏教学科	60名		240名

文学部	日本文学科	120名		480名
	中国学科	50名		200名
	英米学科	70名		280名
歴史学部	歴史学科	110名		440名
	歴史文化学科	70名		280名
教育学部	教育学科	130名		520名
	幼児教育学科	80名		320名
	臨床心理学科	80名		320名
社会学部	現代社会学科	200名		800名
	公共政策学科	120名		480名
社会福祉学部	社会福祉学科	220名		880名
保健医療技術学部	理学療法学科	40名		160名
	作業療法学科	40名		160名
看護学部	看護学科	80名		320名
合計		1,470名		5,880名

- 2 社会福祉学部社会福祉学科および教育学部幼児教育学科に保育士養成課程を設置する。なお、保育士養成課程に関する細則は、別にこれを定める。

第42条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校卒業者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験（平成17年文部科学省令第1号）に合格した者（旧課程による大学入学資格検定（昭和26年文部省令第13号）に合格した者を含む。）
- (7) 大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

第43条 入学は選考のうえ、これを許可する。

- 2 選考は、学力試験および出身学校長から提出される調査書等必要書類または出身学校長から提出される調査書等必要書類によるものとする。

第44条 入学志願者は、本学所定の入学願書および出身学校長から提出される調査書等必要書類を入学検定料とともに、指定期日までに本学学長宛に提出しなければならない。

第45条 入学を許可された者は、所定の誓約証書（保証人連署）を指定期日までに提出し、入学宣誓式に出席のうえ、入学宣誓をしなければならない。理由なく無届で入学宣誓式を欠席した者は入学許可を取り消す。

第46条 やむを得ない事由により、休学または退学を希望する者は、その事由を明記し、学長に願い出て許可を得なければならない。

- 2 休学は、所定の手続期間内に願い出なければならない。

第47条 休学または退学を願い出る場合は、学費または在籍料の納入その他の義務を完了しなければならない。

第48条 休学した者は、翌学期または翌年度、原学年次に復学するものとする。

- 2 その他、学籍異動に関しては、別に定める。

第49条 次の各号の一に該当する者で本学への編入学を志望する者については選考のうえ、別に定めるところにより相当年次に入学を許可することがある。但し、仏教学部仏教学科、文学部英米学科、歴史学部歴史学科、教育学部教育学科、臨床心理学科、社会福祉学部社会福祉学科については入学年次を3年次とする。また、現に他の大学に在籍する者については、その学長の許可を得ていなければならない。

- (1) 大学を卒業した者

- (2) 大学を中途退学（第1学年または第2学年を修了）した者
- (3) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者
- (5) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第92条の3に定める従前の規程による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了し、または卒業した者
- (6) 文部科学省令によって大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- 2 大学を卒業し編入学を希望する本学の学部学科の科目を32単位以上履修している者が、編入学を志望し選考のうえ入学が許可された場合の入学年次は4年次とすることができる。
- 3 編入学が許可された者の入学前の既修得単位については、教育上有益と認められる場合、本学において修得したものとして認定することができる。
- 4 単位の認定方法については、別にこれを定める。

第49条の2 大学または短期大学（外国の大学等を含む）を卒業または中途退学した者で、新たに本学の第1年次に入学した学生が当該卒業または中途退学した大学または短期大学において既に修得した単位については、各学部教授会が教育上有益と認めるとき、別に定めるところにより30単位を限度に卒業所要単位として認定することができる。但し、在学年数は短縮しない。

- 2 本学の第1年次に入学した学生が、本学の科目履修生として既に修得した単位については、別に定めるところにより卒業所要単位として認定することができる。但し、在学年数は短縮しない。

第50条 学生が他の大学に転学しようとするときは、事由を附して学長に願い出て許可を得なければならない。

第51条 在籍する学科から他の学部・学科に転部・転科を志望する者は、選考のうえ許可することがある。

第7章 学費

第52条 入学志願者は入学検定料を、入学を許可された者は入学金その他必要な納付金を別表第21に定めるとおり納めなければならない。編入学および再入学の場合もこれに準ずる。

第53条 授業料等学費の種類および金額は、別表第22のとおり定める。なお、学費は指定された期日までに納入しなければならない。

- 2 前項のほか、教育後援会費、同窓会費等および教育実習、保育士実習等を履修する者は、別に定めるところにより諸費用を納入しなければならない。

第54条 休学中の学費は、徴収しない。但し、在籍料を納めなければならない。

- 2 いったん納めた学費等は、返還しない。

第55条 学費または在籍料を納入せず、督促してもなお納付しない者は除籍する。但し、除籍された者は、除籍年度内の学期ごとに定められた復籍手続期間内に復籍を願い出ることができる。なお、除籍年度内の復籍手続期間を超えて願い出る場合は、所定の手続期間内に再入学を願い出ることができる。

第8章 教職員組織および学部教授会、学部教育課程委員会、大学評議会

第56条 本学に学長、副学長および学部長を置く。

第57条 本学に専任の教育職員（教授・准教授・講師および助教）、事務職員（事務員・技能員・医務員および用務員）および学医を置く。

- 2 前項以外に、契約講師等を置くことができる。
- 3 事務組織に関する規程は、別にこれを定める。

第58条 授業科目は、その学科ごとに基幹教員がこれを担当することを原則とする。但し、基幹教員以外の教員が担当することがある。

第59条 各学部に、教授会および教育課程委員会を置く。

- 2 各学部教授会は、当該学部にも所属する専任の教授、准教授および講師をもって構成する。
- 3 各学部教授会は学部長がこれを招集し、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
 - (1) 学生の入学、卒業および課程の修了に関する事項
 - (2) 学位の授与に関する事項
 - (3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項
- 4 各学部教授会は、前項に規定するもののほか、学長等がつかさどる次に掲げる教育研究に関する事項について審議し、学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
 - (1) 教育課程に関する事項
 - (2) 学生の退学、休学、復学、留学、転学、転部・転科および転籍等の学籍異動に関する事項

- (3) 学生の試験および成績の判定に関する事項
- (4) 学生の生活指導および援助に関する事項
- (5) 専任教員の人事に関する事項
- (6) 学生の賞罰に関する事項
- (7) 学部諸規程の改廃に関する事項
- (8) 大学の諸規程において、学部教授会の議を経ることを必要と定められた事項
- (9) その他、学部の教育、研究および運営に関する重要な事項

5 学部教授会の構成および運営に関する事項については、別にこれを定める。

6 各学部教育課程委員会は、当該学部に教育課程に責任を持つ基幹教員をもって構成する。

7 各学部教育課程委員会は、学部長がこれを招集し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

8 学部教育課程委員会の構成および運営に関する事項については、別にこれを定める。

第60条 本学の事務遂行に関する事項を審議するために部局長会を設ける。

第61条 本学の運営に関する重要な事項を審議するために大学評議会を設ける。

2 大学評議会は学長がこれを招集し、次の事項について審議する。

- (1) 大学全体の基本的な事項
- (2) 学則の改正および学内諸規程の制定改廃に関する事項
- (3) 学部、学科等教育組織の設置および廃止に関する事項
- (4) 教職員の人事枠に関する事項
- (5) 学長からの諮問事項
- (6) 学部、その他学内諸機関との連絡調整に関する事項
- (7) 大学の中・長期的な展望に関する事項
- (8) 学長選挙に関する事項
- (9) 名誉教授、名誉博士の授与に関する事項
- (10) その他、大学運営に関する重要な事項

3 大学評議会の構成員および運営については、別にこれを定める。

第61条の2 本学は、授業の内容および方法の改善を図るための組織的な研修および研究を実施するものとする。

第9章 附属施設および公開講座

第62条 本学に次の附属施設・附置機関を置く。

- (1) 附属図書館
- (2) 高大連携センター
- (3) 宗教教育センター（宗門後継者養成道場含む）
- (4) 健康管理センター
- (5) 学生相談センター
- (6) 学生支援センター
- (7) 教職支援センター
- (8) 専門職キャリアサポートセンター
- (9) 国際交流センター
- (10) 法然仏教学研究センター
- (11) 総合研究所
- (12) 臨床心理学研究センター
- (13) 宗教文化ミュージアム
- (14) 社会連携センター
- (15) オープンラーニングセンター
- (16) 人権教育センター

2 前項附属施設・附置機関に関する規程については、別にこれを定める。

第63条 各学部教授会で必要と認めたときは、公開講座を開設する。

第10章 科目履修生、特別科目履修生、外国人留学生および外国人特別生

第64条 1 授業科目または数授業科目を選択して履修することを志願する者があるときは、学生の修業を妨げない限り、選考のうえ科目履修生として履修を許可することがある。

2 科目履修生としての在学年数は、第27条に規定する在学年数として換算することはできない。

3 科目履修生に関する規程については、別にこれを定める。

第64条の2 他の大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他大学との協議に基き、特別科目履修生として履修を許可することができる。

2 特別科目履修生に関する規程については、別にこれを定める。

第65条 削除

第66条 削除

第67条 削除

第68条 削除

第69条 削除

第70条 削除

第71条 外国人で、本学において教育を受けることを目的とし、第42条の規定により入学を志願する者があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可する。外国人留学生の規程については、別にこれを定める。

2 第42条に規定する入学資格のない外国人で当該外国公館の推薦のある者は、選考のうえ、外国人特別生として入学を許可することができる。

第72条 削除

第73条 外国人特別生で所定の課程を修了した者には修了証書を授与する。

第74条 外国人留学生および外国人特別生については、本章に規定するもののほか、本学則の他の各条項を準用する。

第11章 寄宿寮および保健施設

第75条 本学に寄宿寮を設け、本学の教育方針に従い特別の訓育をほどこす。

2 寄宿寮には寮監を置き寮の指導運営にあたる。

第76条 教職員および学生の健康増進をはかるために毎年定期検診を行ない、必要に応じ随時検診等を行なう。

第77条 本学に健康管理センターを設け、教職員および学生の健康管理を行なう。

第12章 賞罰

第78条 操行淳良、成績優秀な者には、当該学部教授会の議を経て、学長が褒状を授与する。

第79条 学生が本学の学則および諸規程に背き、学生の本分に反し、懲戒を要すると認められるときは、各学部教授会の議を経て学長がこれを懲戒する。

2 懲戒は、訓戒、謹慎、停学および退学とする。

第80条 前条に規定する退学は、次の事項に該当する者について行なう。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由なくして出席正常でない者
- (4) 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第81条 懲戒処分を受けた者で、謹慎、悔悟の実が認められた場合は、当該学部教授会の議を経て学長がその処分を軽減または免除することがある。

附 則

第1条 本学則は、昭和24年4月1日から施行する。

第2条 本学則は、昭和26年7月25日から改正施行する。

第3条 本学則は、昭和28年4月1日から改正施行する。

第4条 本学則は、昭和29年4月1日から改正施行する。

第5条 本学則は、昭和32年4月1日から改正施行する。但し、昭和29年度・昭和30年度入学者は年額14,000円とする。

第6条 本学則は、昭和34年4月1日から改正施行する。但し、昭和34年度以前の入学者は年額15,000円とする。

第7条 本学則は、昭和36年4月1日から改正施行する。但し、昭和35年度以前の入学者については、第33条の授業料の金額を準用しない。

第8条 本学則は、昭和38年4月1日から改正施行する。但し、昭和37年度以前の入学者は第39条の授業料の金額を準用しない。

第9条 本学則は、昭和39年4月1日から改正施行する。但し、昭和38年度以前の入学者は第39条の授業料の金額を準用しない。

- 第10条** 本学則は、昭和40年4月1日から改正施行する。但し、昭和39年度以前の入学者は第38条の授業料の金額を準用しない。
- 第11条** 本学則は、昭和41年4月1日から改正施行する。
- 第12条** 本学則は、昭和42年4月1日から改正施行する。
- 第13条** 本学則は、昭和43年4月1日から改正施行する。
- 第14条** 本学則は、昭和44年4月1日から改正施行する。
- 第15条** 本学則は、昭和45年4月1日から改正施行する。
- 第16条** 本学則は、昭和46年4月1日から改正施行する。
- 第17条** 本学則は、昭和47年4月1日から改正施行する。
- 第18条** 本学則は、昭和48年4月1日から改正施行する。
- 第19条** 本学則は、昭和49年4月1日から改正施行する。
- 第20条** 本学則は、昭和50年4月1日から改正施行する。
- 第21条** 本学則は、昭和51年4月1日から改正施行する。
- 第22条** 本学則は、昭和52年4月1日から改正施行する。
- 第23条** 本学則は、昭和53年4月1日から改正施行する。但し、昭和52年度以前の入学者は第48条の学費の金額を準用しない。
- 第24条** 本学則は、昭和54年4月1日から改正施行する。
- 第25条** 本学則は、昭和55年4月1日から改正施行する。
- 第26条** 本学則は、昭和56年4月1日から改正施行する。但し、昭和55年度以前の入学者は第48条の学費の金額を準用しない。
- 第27条** 本学則は、昭和57年4月1日から改正施行する。但し、昭和55年度以前の入学者は第48条の学費の金額を準用しない。なお、復学者についてはこの限りでない。
- 第28条** 本学則は、昭和58年4月1日から改正施行する。但し、昭和55年度以前の入学者は第48条の学費の金額を準用しない。なお、復学者についてはこの限りでない。
- 第29条** 本学則は、昭和59年4月1日から改正施行する。但し、昭和55年度以前の入学者は第48条の学費の金額を準用しない。なお、復学者についてはこの限りでない。
- 第30条** 本学則は、昭和60年4月1日から改正施行する。但し、昭和55年度以前の入学者は第48条の学費の金額を準用しない。なお、復学者についてはこの限りでない。
- 第31条** 本学則は、昭和61年4月1日から改正施行する。但し、昭和55年度以前の入学者は第50条の学費の金額を準用しない。なお、復学者についてはこの限りでない。但し、第38条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和71年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学部・学科		入学定員
文 学 部	仏 教 学 科	150名
	史 学 科	150名
	国 文 学 科	120名
	英 文 学 科	90名
	教 育 学 科	130名
社 会 学 部	社 会 福 祉 学 科	200名
	社 会 学 科	270名

- 第32条** 本学則は、昭和62年4月1日から改正施行する。但し、昭和55年度以前の入学者は第50条の学費の金額を準用しない。なお、復学者についてはこの限りでない。
- 第33条** 本学則は、昭和63年4月1日から改正施行する。但し、昭和55年度以前の入学者は第51条の学費の金額を準用しない。なお、復学者についてはこの限りでない。
- 第34条** 本学則は、平成元年4月1日から改正施行する。但し、昭和55年度以前の入学者は第53条の学費の金額を準用しない。なお、復学者についてはこの限りでない。文学部教育学科は平成元年4月から学生募集を停止し、在学生の卒業をもって廃止する。第41条ならびに附則第31条の規定にかかわらず、平成元年度から平成8年度までの間、教育学部教育学科、社会学部社会学科・社会福祉学科の入学定員は次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
教 育 学 部	教 育 学 科	80名
社 会 学 部	社 会 学 科	200名
	社 会 福 祉 学 科	170名

第35条 本学則は、平成2年4月1日から改正施行する。

第36条 本学則は、平成3年4月1日から改正施行する。但し、高等学校教諭1種免許状「地理歴史」「公民」については平成2年度入学者から適用する。なお、第41条の規定にかかわらず、文学部中国文学科、教育学部生涯学習学科ならびに社会学部応用社会学科の平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
文学部	中国文学科	60名
教育学部	生涯学習学科	80名
社会学部	応用社会学科	140名

第37条 本学則は、平成4年4月1日から改正施行する。但し、平成3年度以前の入学者については、第23条の規定にかかわらず従前の規定とする。

第38条 本学則は、平成5年4月1日から改正施行する。なお、平成5年4月1日をもって第5条から第16条に定める教育課程に全学年一斉に移行する。平成4年度以前入学者に対する移行・経過措置については、別にこれを定める。

第39条 本学則は、平成6年4月1日から改正施行する。

第40条 本学則は、平成7年4月1日から改正施行する。

第41条 本学則は、平成8年2月1日から改正施行する。

第42条 本学則は、平成8年4月1日から改正施行する。

第43条 本学則は、平成9年4月1日から改正施行する。なお、第41条の規定にかかわらず、平成9年度から平成11年度までの間、文学部仏教学科・史学科・国文学科・英文学科、教育学部教育学科、社会学部社会学科・社会福祉学科の入学定員を次のとおりとする。また、平成8年度以前の入学者については、第8条および第10条の規定にかかわらず従前の規定とする。第5条、第20条、第21条および第22条に定める教育課程における平成8年度以前の入学者に対する移行・経過措置については、別にこれを定める。

学部	学科	入学定員
文学部	仏教学科	150名
	史学科	150名
	国文学科	120名
	英文学科	90名
教育学部	教育学科	80名
社会学部	社会学科	200名
	社会福祉学科	170名

第44条 本学則は、平成9年10月15日から改正施行する。

第45条 本学則は、平成10年4月1日から改正施行する。

第46条 本学則は、平成11年4月1日より改正施行する。なお、教育学部社会教育学科は、改正後の第2条第3項の規定にかかわらず、平成11年3月31日に当該学部・学科に在学する者が当該学部・学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

第47条 本学則は、平成12年4月1日から改正施行する。なお、平成12年度から平成15年度までの間、文学部仏教学科・史学科・日本語日本文学科・中国語中国文学科・英語英米文学科、教育学部教育学科・生涯学習学科、社会学部社会学科・応用社会学科・社会福祉学科の入学定員は次のとおりとする。また、平成11年度以前の入学者については、第6条、第8条、第9条、第10条、第12条、第13条、第14条、第16条、第17条、第19条および第24条の2の規定にかかわらず従前の規定とする。但し、第24条の2の社会学部社会福祉学科は、平成12年度以降入学者は適用しない。

学部	学科	入学定員			
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
文学部	仏教学科	146名	142名	138名	134名
	史学科	148名	146名	144名	142名
	日本語日本文学科	116名	112名	108名	104名
	中国語中国文学科	58名	56名	54名	52名
	英語英米文学科	86名	82名	78名	74名

教育学部	教育学科	78名	76名	74名	72名
	生涯学習学科	76名	72名	68名	64名
社会学部	社会学科	198名	196名	194名	192名
	応用社会学科	138名	136名	134名	132名
	社会福祉学科	160名	150名	140名	130名

第48条 本学則は、平成13年4月1日から改正施行する。なお、文学部国文学科・中国文学科・英文学科は、改正後の第2条第2項の規定にかかわらず平成13年3月31日に当該学部・学科に在学する者が当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。また、第18条の教育職員免許状の教科「情報」と「福祉」は、平成12年度第1学年次入学者から適用し、この教科に関する科目は平成13年度から開講する。

第49条 本学則は、平成14年4月1日から改正施行する。但し、平成14年3月31日以前に入学した者については、なお従前の規定による。

第50条 本学則は、平成15年4月1日から改正施行する。但し、平成15年3月31日以前に入学した者については、なお従前の規定による。

第51条 本学則は、平成16年4月1日から改正施行する。但し、平成16年3月31日以前に入学した者については、なお従前の規定による。また、文学部仏教学科、史学科、日本語日本文学科、教育学部生涯学習学科、社会学部社会学科、応用社会学科、社会福祉学科および健康福祉学科は、平成16年4月第1学年次入学者より学生募集を停止し、在学生の卒業をもって廃止する。

なお、文学部中国語中国文学科、英語英米文学科は、改正後の第2条第2項の規定にかかわらず平成16年3月31日に当該学部・学科に在学する者が当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

第52条 本学則は、平成17年4月1日から改正施行する。但し、教育学部教育学科で取得できる中学校、高等学校教諭1種免許状「数学」に関わる科目については、平成17年度から開講し、平成16年度第1学年次入学者から履修できるものとする。

第53条 本学則は、平成18年4月1日から改正施行する。

第54条 本学則は、平成19年4月1日から改正施行する。但し、第18条に規定する特別支援学校教諭一種免許状については、平成19年度第1学年次入学者から適用し、平成18年度以前入学者は、従前の規定による。また、第25条に規定する浄土宗教師資格ならびに学階資格に係わる別表第19については、平成18年度第1年次入学者から適用し、平成17年度以前入学者は従前の規定による。

第55条 本学則は、平成20年4月1日から改正施行する。

第56条 本学則は、平成21年4月1日から改正施行する。

第57条 本学則は、平成22年4月1日から改正施行する。但し、平成22年3月31日以前に入学した者については、なお従前の規定による。

また、文学部人文学科は、平成22年4月第1学年次入学者より学生募集を停止し、在学生の卒業をもって廃止する。

第58条 本学則は、平成23年4月1日から改正施行する。但し、第13条の2に規定する教育学部臨床心理学科に係わる別表第8の2、第24条の2に規定する精神保健福祉士試験の受験資格に係わる別表第18の2、第25条の規定する浄土宗教師資格ならびに学階資格に係わる別表第19については、平成22年度第1学年次入学者から適用し、平成21年度以前入学者は従前の規定による。

第59条 本学則は、平成24年4月1日から改正施行する。但し、平成24年3月31日以前に入学した者については、なお従前の規定による。また、第12条に規定する教育学部教育学科に係わる別表7については平成23年度第1学年次入学者から適用し、平成22年度以前入学者は従前の規定による。

第60条 本学則は、平成25年4月1日から改正施行する。但し、第16条の4に規定する社会学部公共政策学科に係わる別表第11の4については、平成23年度第1学年次入学者から適用し、平成22年度以前入学者は従前の規定による。

第61条 本学則は、平成26年4月1日から改正施行する。但し、平成26年3月31日以前に入学した者については、従前の規定による。また、第16条の8に規定する保健医療技術学部看護学科に係わる別表11の8については平成24年度第1学年次入学者から適用する。

第62条 本学則は、平成27年4月1日から改正施行する。

第63条 本学則は、平成28年4月1日から改正施行する。

第64条 本学則は、平成29年4月1日から改正施行する。

第65条 本学則は、平成30年4月1日から改正施行する。

第66条 本学則は、平成31年4月1日から改正施行する。但し、平成31年3月31日以前に入学した者については、なお従前の規定による。

- 第67条** 本学則は、令和2年4月1日から改正施行する。但し、令和2年3月31日以前に入学した者については、従前の規定による。
- なお、第52条、第53条の1に規定する入学金ならびに授業料に係わる別表第21、別表第22については、令和2年度第1学年次入学から適用し、平成31年度以前入学者は、従前の規定による。
- 第68条** 本学則は、令和3年4月1日から改正施行する。但し、第16条の5に規定する社会福祉学部社会福祉学科に係わる別表11の5、第24条に規定する社会福祉士国家試験受験資格に係わる別表18、第24条の2に規定する精神保健福祉士国家試験受験資格に係わる別表第18の2については、令和3年度第1学年次入学者から適用し、令和2年度以前入学者は従前の規定による。また、第47条、第54条および第55条に規定する在籍料の納付は令和4年4月1日休学者から適用する。
- 第69条** 本学則は、令和4年4月1日から改正施行する。但し、令和4年3月31日以前に入学した者については、従前の規定による。また、仏教学部仏教学科、文学部英米学科、歴史学部歴史学科、教育学部教育学科、教育学部臨床心理学科および社会福祉学部社会福祉学科の編入学定員については、令和6年4月第3学年次編入学者より学生募集を停止する。
- 第70条** 本学則は、令和5年4月1日から改正施行する。但し、第10条の2に規定する歴史学部歴史学科に係わる別表第6の2、および第10条の3に規定する歴史学部歴史文化学科に係わる別表第6の3については、平成31年度第1学年次入学者から適用する。また、第12条に規定する別表第7については、令和4年度入学者から適用し、令和3年度以前入学者は、従前の規定による。
- 第71条** 本学則は、令和6年4月1日から改正施行する。但し、令和6年3月31日以前に入学した者については、従前の規定による。
- 第72条** 本学則は、令和7年4月1日から改正施行する。但し、令和7年3月31日以前に入学した者については、従前の規定による。
- 第73条** 本学則は、令和8年4月1日から改正施行する。但し、令和8年3月31日以前に入学した者については従前の規定による。なお、保健医療技術学部看護学科は、第2条第8項の規定にかかわらず、令和8年3月31日に当該学部・学科に在籍する者が在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

別表第1 削除

別表第1の2 削除

別表第1の3 削除

別表第1の4 削除

別表第1の5(第4条の2関係)共通教養科目
(仏教学部・文学部・歴史学部・教育学部・社会学部・社会福祉学部)

系列区分	授業科目の名称		単位数	履修開始 セメスター	必修/選択/自由			備考
					必修	選択	自由	
仏教・自校 教育科目	必修外国語	ブッダと法然	2	1	2			1科目2単位を履修すること。
		佛教大学の理念と歴史	2	1		2		
		Intensive Reading1	1	1		1		1語種を選択し、選択した語種の8科目8単位を履修すること。但し日本語については留学生のみ履修を可とする。
		Intensive Reading2	1	2		1		
		Integrated Communication Skills1	1	1		1		
		Integrated Communication Skills2	1	2		1		
		Integrated Communication Skills3	1	3		1		
		Integrated Communication Skills4	1	4		1		
		Intermediate Reading1	1	3		1		
		Intermediate Reading2	1	4		1		
		中国語1	1	1		1		
		中国語2	1	1		1		
		中国語3	1	2		1		
		中国語4	1	2		1		
		中国語5	1	3		1		
		中国語6	1	3		1		
		中国語7	1	4		1		
		中国語8	1	4		1		
		朝鮮語1	1	1		1		
		朝鮮語2	1	1		1		
		朝鮮語3	1	2		1		
		朝鮮語4	1	2		1		
		朝鮮語5	1	3		1		
		朝鮮語6	1	3		1		
		朝鮮語7	1	4		1		
		朝鮮語8	1	4		1		
		日本語1	1	1		1		
		日本語2	1	1		1		
		日本語3	1	1		1		
		日本語4	1	2		1		
		日本語5	1	2		1		
		日本語6	1	2		1		
		日本語7	1	3		1		
		日本語8	1	4		1		
グローバル科目群	選択外国語	General English1	1	1		1		
		General English2	1	1		1		
		Communication Seminar1	2	1		2		
		Communication Seminar2	2	1		2		
		English Lecture1	2	1		2		
		English Lecture2	2	1		2		
		初級英語会話1	1	1		1		
		初級英語会話2	1	1		1		
		Skill-building (TOEIC500) 1	1	1		1		
		Skill-building (TOEIC500) 2	1	1		1		
		Skill-building (TOEIC600) 1	1	1		1		
		Skill-building (TOEIC600) 2	1	1		1		
		初級中国語1	1	1		1		
		初級中国語2	1	1		1		
		中級中国語	1	1		1		
		初級韓国語1	1	1		1		
		初級韓国語2	1	1		1		
		中級韓国語	1	1		1		
		初級ドイツ語1	1	1		1		
		初級ドイツ語2	1	1		1		
		中級ドイツ語	1	1		1		
		初級フランス語1	1	1		1		
		初級フランス語2	1	1		1		
		中級フランス語	1	1		1		
		初級ベトナム語1	1	1		1		
		初級ベトナム語2	1	1		1		
		中級ベトナム語	1	1		1		

共通教養科目	国際教養	異文化への扉 ―多文化共生のための外国語―	2	1	2	
		地球人になろう ―グローバル化と文化―	2	1	2	
		英語圏の暮らし	2	1	2	
		アジアの暮らし	2	1	2	
		日本事情	2	1	2	
	海外研修	海外語学研修(英語)A	2	1	2	
		海外語学研修(英語)B	2	1	2	
		海外語学研修(英語)C	2	1	2	
		海外語学研修(英語)D	2	1	2	
		海外語学研修(英語)E	2	1	2	
		海外語学研修(英語)F	1	1	1	
		海外語学研修(英語)G	1	1	1	
		海外語学研修(中国語)A	2	1	2	
		海外語学研修(中国語)B	2	1	2	
		海外語学研修(中国語)C	2	1	2	
		海外語学研修(中国語)D	1	1	1	
		海外語学研修(中国語)E	1	1	1	
		海外語学研修(韓国語)A	2	1	2	
		海外語学研修(韓国語)B	2	1	2	
		海外語学研修(韓国語)C	2	1	2	
海外語学研修(韓国語)D		1	1	1		
海外語学研修(韓国語)E		1	1	1		
海外語学研修(ベトナム語)A		2	1	2		
海外語学研修(ベトナム語)B		2	1	2		
海外語学研修(ベトナム語)C	2	1	2			
海外語学研修(ベトナム語)D	1	1	1			
海外語学研修(ベトナム語)E	1	1	1			
データサイエンス 科目群	ICTリテラシー	2	1	2		
	データサイエンスの基礎を学ぶ	2	2	2		
	データサイエンスの基礎を実践する	1	2	1		
	統計学の基礎を学ぶ	2	1	2		
	プログラミングを学ぶ	2	1	2		
初年次教育科目群	スタディ・スキルズ	2	1	2		
	キャリア・スキルズ1	1	1	1		
	キャリア・スキルズ2	1	2	1		
	数学の基礎とその活用	2	1	2		
	生体の科学Ⅰ(生物・化学)	2	1	2		
	生体の科学Ⅱ(物理)	1	1	1		
キャリアスタディ科目群	マイファーストキャリア	2	1	2		
	ライフ・キャリアデザイン	2	1	2		
	キャリア形成とマネジメント	2	1	2		
	自己表現とコミュニケーション	2	3	2		
	職業世界を知る	2	3	2		
	キャリア実習	2	3	2		
	キャリア実習(教職)1	4	3	4		
	キャリア実習(教職)2	4	5	4		
プロジェクト科目群	プロジェクトA	2	3	2		
	プロジェクトB	2	3	2		
自己形成科目群	文化と芸術を学ぶ	日本の仏教芸術とその鑑賞	2	1	2	
		ことばと文学	2	1	2	
		仏教の人間観と死生観	2	1	2	
		東洋と西洋における思想・哲学・宗教	2	1	2	
		前近代の世界・日本	2	1	2	
		近現代の世界・日本	2	1	2	
		世界の民族文化	2	1	2	
		世界の中の日本文化・京都文化	2	1	2	
	地域と社会を学ぶ	日本国憲法	2	1	2	
		世界と日本の政治	2	1	2	
		くらしの中の経済	2	1	2	
		個人と社会の関係を考える	2	1	2	
		世界のニュースから見る日本	2	1	2	
		福祉と社会	2	1	2	
		情報・メディアと社会	2	1	2	
		教育事情を知る	2	1	2	
		文化の中から考える多文化共生	2	1	2	
	人間と自然を学ぶ	数学の言葉で世界を観る	2	1	2	
		宇宙を考える	2	1	2	
		生物の世界	2	1	2	
		自然と地理	2	1	2	
		生命を考える	2	1	2	
		エコロジーを考える	2	1	2	
		心の世界を考える	2	1	2	
		人間の仕組みと活動	2	1	2	
		病と人間の歩み	2	1	2	
スポーツ	スポーツ理論	1	1	1		
	スポーツ実技	1	1	1		
大学コンソーシアム	大学コンソーシアム	2	1	2		

別表第1の6(第4条の2 第2項関係)共通教養科目
(保健医療技術学部・看護学部)

系列区分			授業科目の名称	単位 数	セ メ ス タ ー 履 修 開 始	必修/選択/自由			備考	
						必修	選択	自由		
共通教養科目	仏教・自校教育科目群		ブツダと法然	2	1	2			1科目2単位を履修すること。	
			佛教大学の理念と歴史	2	1		2			
	グローバル科目群	必修外国語	英語	Intensive Reading1	1	1	1			6科目6単位を履修すること。
				Intensive Reading2	1	2	1			
				Integrated Communication Skills1	1	1	1			
				Integrated Communication Skills2	1	2	1			
				Integrated Communication Skills3	1	3	1			
				Integrated Communication Skills4	1	4	1			
		選択外国語	英語	General English1	1	1		1		
				General English2	1	1		1		
				Communication Seminar1	2	1		2		
				Communication Seminar2	2	1		2		
				English Lecture1	2	1		2		
				English Lecture2	2	1		2		
				初級英語会話1	1	1		1		
				初級英語会話2	1	1		1		
				Skill-building (TOEIC500) 1	1	1		1		
				Skill-building (TOEIC500) 2	1	1		1		
				Skill-building (TOEIC600) 1	1	1		1		
				Skill-building (TOEIC600) 2	1	1		1		
		中国語	初級中国語1	1	1		1			
			初級中国語2	1	1		1			
			中級中国語	1	1		1			
		韓国語	初級韓国語1	1	1		1			
			初級韓国語2	1	1		1			
			中級韓国語	1	1		1			
		ドイツ語	初級ドイツ語1	1	1		1			
			初級ドイツ語2	1	1		1			
			中級ドイツ語	1	1		1			
		フランス語	初級フランス語1	1	1		1			
			初級フランス語2	1	1		1			
			中級フランス語	1	1		1			
		ベトナム語	初級ベトナム語1	1	1		1			
			初級ベトナム語2	1	1		1			
			中級ベトナム語	1	1		1			
		国際教養		異文化への扉 ―多文化共生のための外国語―	2	1		2		
				地球人になろう ―グローバル化と文化―	2	1		2		
				英語圏の暮らし	2	1		2		
				アジアの暮らし	2	1		2		
				日本事情	2	1		2		
	海外研修		海外語学研修(英語)A	2	1		2			
			海外語学研修(英語)B	2	1		2			
			海外語学研修(英語)C	2	1		2			
			海外語学研修(英語)D	2	1		2			
			海外語学研修(英語)E	2	1		2			
			海外語学研修(英語)F	1	1		1			
			海外語学研修(英語)G	1	1		1			
			海外語学研修(中国語)A	2	1		2			
			海外語学研修(中国語)B	2	1		2			
			海外語学研修(中国語)C	2	1		2			
			海外語学研修(中国語)D	1	1		1			
			海外語学研修(中国語)E	1	1		1			
			海外語学研修(韓国語)A	2	1		2			
			海外語学研修(韓国語)B	2	1		2			
			海外語学研修(韓国語)C	2	1		2			
			海外語学研修(韓国語)D	1	1		1			
			海外語学研修(韓国語)E	1	1		1			
			海外語学研修(ベトナム語)A	2	1		2			
			海外語学研修(ベトナム語)B	2	1		2			
			海外語学研修(ベトナム語)C	2	1		2			
			海外語学研修(ベトナム語)D	1	1		1			
			海外語学研修(ベトナム語)E	1	1		1			
	データサイエンス科目群		ICTリテラシー	2	1	2			1科目2単位を履修すること。	
			データサイエンスの基礎を学ぶ	2	2		2			
			データサイエンスの基礎を実践する	1	2		1			
			統計学の基礎を学ぶ	2	1		2			
			プログラミングを学ぶ	2	1		2			
	初年次教育科目群		スタディ・スキルズ	2	1	2			3科目4単位を履修すること。	
			キャリア・スキルズ1	1	1	1				
			キャリア・スキルズ2	1	2	1				
			数学の基礎とその活用	2	1		2			
			生体の科学Ⅰ(生物・化学)	2	1		2			
			生体の科学Ⅱ(物理)	1	1		1			

キャリアスタ ディ科目群	マイファーストキャリア		2	1	2	
	ライフ・キャリアデザイン		2	1	2	
	キャリア形成とマネジメント		2	1	2	
	自己表現とコミュニケーション		2	3	2	
	職業世界を知る		2	3	2	
	キャリア実習		2	3	2	
	キャリア実習(教職)1		4	3	4	
プロジェクト 科目群	プロジェクトA		2	3	2	
	プロジェクトB		2	3	2	
自己形成 科目群	文化と 芸術を 学ぶ	日本の仏教芸術とその鑑賞	2	1	2	6単位以上を履修すること。
		ことばと文学	2	1	2	
		仏教の人間観と死生観	2	1	2	
		東洋と西洋における思想・哲学・宗教	2	1	2	
		前近代の世界・日本	2	1	2	
		近現代の世界・日本	2	1	2	
		世界の民族文化	2	1	2	
		世界の中の日本文化・京都文化	2	1	2	
	地域と 社会を 学ぶ	日本国憲法	2	1	2	
		世界と日本の政治	2	1	2	
		暮らしの中の経済	2	1	2	
		個人と社会の関係を考える	2	1	2	
		世界のニュースから見る日本	2	1	2	
		福祉と社会	2	1	2	
		情報・メディアと社会	2	1	2	
		教育事情を知る	2	1	2	
		文化の中から考える多文化共生	2	1	2	
	人間と 自然を 学ぶ	数学の言葉で世界を観る	2	1	2	
		宇宙を考える	2	1	2	
		生物の世界	2	1	2	
		自然と地理	2	1	2	
		生命を考える	2	1	2	
		エコロジーを考える	2	1	2	
		心の世界を考える	2	1	2	
		人間の仕組みと活動	2	1	2	
		病と人間の歩み	2	1	2	
	スポーツ	スポーツ理論	1	1	1	
		スポーツ実技	1	1	1	
	大学コンソーシアム	大学コンソーシアム	2	1	2	

別表第2(第6条関係)(文学部仏教学科) 削除

別表第2の2(第5条の2関係)(仏教学部仏教学科)

系列区分		授業科目の名称	単 位 数	セ メ 始 ス	必修/選択/自由			備考
学科専門科目	学部 基幹 科目	ブッダの生涯と教え	2	1	2			必修科目4科目8単位および選択科目のうち1科目2単位以上、合計5科目10単位以上を履修すること。
		法然の生涯と教え	2	2	2			
		仏教研究への道案内	2	3	2			
		仏教学の基礎	2	1	2			
		浄土学の基礎	2	2		2		
	学科 基礎 科目	仏教文化学の基礎	2	2		2		必修科目2科目4単位および選択科目のうち3科目6単位以上、合計5科目10単位以上を履修すること。
		入門ゼミ	2	1	2			
		基礎ゼミ	2	4	2			
		古文入門	2	1		2		
		古文上級	2	2		2		
		漢文入門	2	1		2		
		漢文上級	2	2		2		
		サンスクリット語入門	2	3		2		
		サンスクリット語上級	2	4		2		
	学科 専攻 科目	パーリ語	2	5		2		必修科目5科目14単位を含み、合計9科目22単位以上を履修すること。
		チベット語	2	5		2		
	共通	予備ゼミ1	2	5	2			
		予備ゼミ2	2	6	2			
		卒論ゼミ1	2	7	2			
		卒論ゼミ2	2	8	2			
		卒業論文	6	8	6			
		宗教史	2	1		2		
		日本仏教史(仏教伝来～平安)	2	1		2		
		日本仏教史(鎌倉以降)	2	2		2		
		中国仏教史	2	1		2		
		インド仏教史	2	1		2		
		アジア仏教史(チベット・東南アジア)	2	2		2		
		アジア仏教史(韓国)	2	3		2		
		浄土教史	2	3		2		
		浄土宗史	2	4		2		
	思想・ 歴史 コース	仏教学研究(初期・部派)	2	3		2		研究科目5科目10単位以上、講読科目2科目4単位以上、演習科目を2科目4単位以上、合計9科目18単位以上を履修すること。
		仏教学研究(大乘・チベット)	2	3		2		
		仏教学研究(中国)	2	4		2		
		仏教学研究(日本)	2	4		2		
		仏教学講読(初期・部派)	2	4		2		
		仏教学講読(大乘・チベット)	2	4		2		
		仏教学講読(中国)	2	5		2		
		仏教学講読(日本)	2	5		2		
		仏教学演習(初期・部派)	2	5		2		
		仏教学演習(大乘・チベット)	2	5		2		
		仏教学演習(中国)	2	6		2		
		仏教学演習(日本)	2	6		2		
	文学・ 芸術 コース	仏教文化学研究(インド・中国)	2	3		2		
		仏教文化学研究(日本)	2	4		2		
		仏教美術研究(インド・中国)	2	4		2		
		仏教美術研究(日本)	2	5		2		
		伝統文化研究(茶道)	2	3		2		
		伝統文化研究(華道)	2	3		2		
		伝統文化研究(書道)	2	4		2		
		伝統文化研究(儀礼・音楽)	2	4		2		
		仏教書誌学研究	2	3		2		
		仏教文化学講読	2	4		2		
	僧侶 養成 コース	仏教文化学演習	2	5		2		
		浄土三部経研究1(無量寿経)	2	3		2		
		浄土三部経研究2(観経・阿弥陀経)	2	4		2		
		浄土学研究	2	3		2		
		浄土宗学研究	2	4		2		
		選択集研究1	2	4		2		
		選択集研究2	2	5		2		
		法然門流研究	2	4		2		
		浄土学講読	2	4		2		
		浄土宗学講読	2	5		2		
		浄土学演習	2	5		2		
		浄土宗学演習	2	6		2		

学 科 専 門 科 目	関 連 科 目	哲学概論	2	2		2	
		仏教哲学(インド)	2	3		2	
		仏教哲学(中国・日本)	2	4		2	
		倫理学概論	2	1		2	
		宗教学概論	2	1		2	
		仏教と現代社会の諸問題	2	2		2	
		人権同和教育(仏教と人権)	2	2		2	
		仏教と文学	2	3		2	
		仏教と文化財	2	4		2	
		宗派仏教	2	4		2	
		仏教フィールドワーク	2	3		2	
		開教概論1(歴史と基礎知識)	2	3		2	
		開教概論2(方法と実践)	2	4		2	
		開教英語	2	3		2	
		仏蹟研修	2	3		2	
		仏教インターンシップ	2	3		2	
		宗教法制	2	3		2	
		日本史概論	2	1		2	
		東洋史概論	2	1		2	
		西洋史概論	2	1		2	
		日本史特論	2	2		2	
		人文地理学1	2	3		2	
		人文地理学2	2	4		2	
		自然地理学1	2	3		2	
		自然地理学2	2	4		2	
		地誌学1	2	3		2	
		地誌学2	2	4		2	
		法律学概論1	2	1		2	
		法律学概論2	2	2		2	
		国際政治学	2	1		2	
		法式実習1	1	1			1
		法式実習2	1	2			1
		法務実習(初級)1	2	1			2
		法務実習(初級)2	2	2			2
		日常勤行式の解説	2	1			2
		伝道学1(念仏講話)	2	3			2
		伝道学2	2	4			2
		詠唱1	1	3			1
		詠唱2	1	3			1
		伝書1	2	4			2
		伝書2	2	5			2
		円頓戒1	2	4			2
		円頓戒2	2	5			2
		法務実習(中級)1	1	4			1
		法務実習(中級)2	1	4			1
		法務実習(上級)1	1	6			1
		法務実習(上級)2	1	6			1
		法務実習(特級)1	1	7			1
		法務実習(特級)2	1	7			1

別表第3 削除

別表第4 削除

別表第4の2 削除

別表第4の3(第8条の3関係)(文学部日本文学科)

系列区分		授業科目の名称	単位数	セメスター 履修開始	必修/選択/自由			備考
					必修	選択	自由	
学 部 基 幹 科 目	学 部 基 幹 科 目	中国語と中国文化	2	1		2		「中国語と中国文化」または「英語と英米文化」のいずれか1科目2単位および「世界の言語と文化(朝鮮語)」・「世界の言語と文化(ベトナム語)」・「世界の言語と文化(フランス語)」・「世界の言語と文化(ドイツ語)」のうち2科目4単位以上、合計3科目6単位以上を履修すること。
		英語と英米文化	2	1		2		
		世界の言語と文化(朝鮮語)	2	1		2		
		世界の言語と文化(ベトナム語)	2	1		2		
		世界の言語と文化(フランス語)	2	1		2		
		世界の言語と文化(ドイツ語)	2	1		2		
	学 科 基 礎 科 目	入門ゼミ	2	1	2			必修科目4科目8単位および選択科目のうち5科目10単位以上、合計9科目18単位以上を履修すること。
		漢文学1	2	3		2		
		漢文学2	2	4		2		
		書道1	2	1		2		
		書道2	2	2		2		
		日本文学概論1	2	1		2		
		日本文学概論2	2	2		2		
		日本文学史1	2	3		2		
		日本文学史2	2	4		2		
		日本語学概論1	2	3		2		
		日本語学概論2	2	4		2		
		京都と文学(古典)	2	1		2		
		京都と文学(近・現代)	2	2		2		
		日本文学初学び	2	1	2			
		文献学入門(版本)	2	1	2			
		文献学(古筆)	2	2	2			
		文学概論1	2	3		2		
		文学概論2	2	4		2		
		日本語文法1	2	1		2		
		日本語文法2	2	2		2		
		言語学概論1	2	3		2		
		言語学概論2	2	4		2		
		中国書道史	2	3		2		
		日本書道史	2	4		2		
		書道文化入門	2	1		2		
		ことばと表現(古典)	2	1		2		
		ことばと表現(近・現代)	2	2		2		
	学 科 専 門 科 目	日本文学講読(上代)	2	2		2		必修科目6科目12単位および卒業論文または卒業研究のいずれかを選択したうえで、卒業論文選択者は選択科目のうち11科目22単位以上、卒業研究選択者は選択科目のうち12科目24単位以上、合計40単位以上を履修すること。
		日本文学講読(中古)	2	2		2		
		日本文学講読(中世)	2	2		2		
		日本文学講読(近世)	2	2		2		
		日本文学講読(近・現代)	2	2		2		
		日本文学作品研究(上代)	2	2		2		
		日本文学作品研究(中古)	2	2		2		
		日本文学作品研究(中世)	2	2		2		
		日本文学作品研究(近世)	2	2		2		
		日本文学作品研究(近・現代)	2	2		2		
		漢文基礎	2	2		2		
		日本語学講読	2	2		2		
		日本語学作品研究	2	2		2		
		書道文化講読	2	2		2		
		書道文化作品研究	2	2		2		
		日本文学特講(上代)	2	3		2		
		日本文学特講(中古)	2	3		2		
		日本文学特講(中世)	2	3		2		
		日本文学特講(近世)	2	3		2		
		日本文学特講(近・現代)	2	3		2		

系列区分		授業科目の名称	単 位 数	セ メ ス タ ー 履 修 開 始	必修/選択/自由			備考
					必 修	選 択	自 由	
	学 科 専 攻 科 目	日本文学特殊研究(上代)	2	3		2		
		日本文学特殊研究(中古)	2	3		2		
		日本文学特殊研究(中世)	2	3		2		
		日本文学特殊研究(近世)	2	3		2		
		日本文学特殊研究(近・現代)	2	3		2		
		日本語学特講	2	3		2		
		日本語学特殊研究	2	3		2		
		書道文化特講	2	3		2		
		書道文化特殊研究	2	3		2		
		書論	2	3		2		
		日文実践演習1	2	3	2			
		日文実践演習2	2	4	2			
		専門ゼミ1	2	5	2			
		専門ゼミ2	2	6	2			
		卒業研究ゼミ1	2	7	2			
		卒業研究ゼミ2	2	8	2			
		卒業論文	6	8		6		
		卒業研究	4	8		4		
		日本文学情報処理	2	2		2		
		比較文学	2	3		2		
専 門 科 目	関 連 科 目	書道3	2	3		2		キャリアプログラム科目のうち1科目2単位を含 み履修すること。
		書道4	2	4		2		
		書誌学	2	3		2		
		美術史1	2	3		2		
		美術史2	2	4		2		
		日本語教育教材・教具法	2	3		2		
		日本語教授法1	2	4		2		
		日本語教授法2	2	5		2		
		日本語教育教壇実習1	1	5		2		
		日本語教育教壇実習2	1	6		2		
		日本語教育文法1	2	3		2		
		日本語教育文法2	2	4		2		
		日文キャリアプログラム(国語科教員系)	2	5		2		
		日文キャリアプログラム(文芸創作系)	2	5		2		
		日文キャリアプログラム(書道創作系)	2	5		2		
		日文キャリアプログラム(日本語教員系)	2	5		2		
		日文キャリアプログラム(出版情報系)	2	5		2		

別表第5(第9条関係)(文学部中国学科)

系列区分		授業科目の名称	単位数	セメスター 履修開始	必修/選択/自由			備考
					必修	選択	自由	
学科専門科目	学部基幹科目	中国語と中国文化	2	1		2		必修科目1科目2単位および「世界の言語と文化(朝鮮語)」・「世界の言語と文化(ベトナム語)」・「世界の言語と文化(フランス語)」・「世界の言語と文化(ドイツ語)」のうち2科目4単位以上、合計3科目6単位以上を履修すること。
		英語と英米文化	2	1	2			
		世界の言語と文化(朝鮮語)	2	1		2		
		世界の言語と文化(ベトナム語)	2	1		2		
		世界の言語と文化(フランス語)	2	1		2		
		世界の言語と文化(ドイツ語)	2	1		2		
	学科基礎科目	中国学科入門ゼミ	2	1	2			必修科目13科目26単位および以下を含み、合計40単位以上を履修すること。 ・「中国古典文学史1」および「中国古典文学史2」または「中国現代文学史1」および「中国現代文学史2」のいずれか2科目4単位を履修すること。 ・「漢語聴説実践」・「現代名作導読」・「古典名作導読」のうち1科目2単位以上を履修すること。
		中国学科基礎ゼミ	2	2	2			
		中国語聴解1	2	3	2			
		中国語聴解2	2	4	2			
		中国語入門1	2	1	2			
		中国語入門2	2	1	2			
		中国語概論1	2	2	2			
		中国語概論2	2	2	2			
		中国語基礎演習1	2	3	2			
		中国語基礎演習2	2	4	2			
		中国思想史1	2	3	2			
		中国思想史2	2	4	2			
		中国学科発展ゼミ	2	3	2			
		中国古典文学史1	2	3		2		
		中国古典文学史2	2	4		2		
		中国現代文学史1	2	3		2		
		中国現代文学史2	2	4		2		
		中国近現代史	2	3		2		
		漢語聴説実践	2	4		2		
		現代名作導読	2	4		2		
		古典名作導読	2	4		2		
		中国文学研究基礎1	2	3		2		
		中国文学研究基礎2	2	3		2		
		中国思想研究基礎1	2	4		2		
		中国思想研究基礎2	2	4		2		
		中国語作文	2	4		2		
		HSK演習(基礎)	2	4		2		
		中国語現地研修A	2	4		2		
	学科専攻科目	コミュニケーション系	漢語会話演習(HSK5級)1	2	5	2		「コミュニケーション系」または「文献系」のいずれかを選択したうえで、以下のとおり履修すること。 ・「コミュニケーション系」選択者は漢語会話演習のうち3科目6単位、漢語表現法演習のうち3科目6単位、合計12単位以上および共通科目の必修科目3科目6単位、「高級漢語聴説」・「高級漢語読解(現代)」・「高級漢語読解(古典)」のうち1科目2単位以上を含み、「卒業論文」または「卒業研究」を選択履修したうえで、合計26単位以上を履修すること。 ・「文献系」選択者は6科目12単位以上および共通科目の必修科目3科目6単位、「高級漢語聴説」・「高級漢語読解(現代)」・「高級漢語読解(古典)」のうち1科目2単位以上を含み、「卒業論文」または「卒業研究」を選択履修したうえで、合計26単位以上を履修すること。
			漢語会話演習(HSK5級)2	2	5	2		
			漢語会話演習(中検2級)1	2	5	2		
			漢語会話演習(中検2級)2	2	5	2		
			漢語会話演習(HSK6級)1	2	5	2		
			漢語会話演習(HSK6級)2	2	5	2		
			漢語表現法演習(演説)1	2	5	2		
			漢語表現法演習(演説)2	2	5	2		
			漢語表現法演習(聴力)1	2	5	2		
			漢語表現法演習(聴力)2	2	5	2		
			漢語表現法演習(会話)1	2	5	2		
			漢語表現法演習(会話)2	2	5	2		
		文献系	漢語現代文献演習(文学)1	2	5	2		
			漢語現代文献演習(文学)2	2	5	2		
			漢語現代文献演習(思想)1	2	5	2		
			漢語現代文献演習(思想)2	2	5	2		
			漢語現代文献演習(文化)1	2	5	2		
			漢語現代文献演習(文化)2	2	5	2		
			漢語現代文献演習(時事)1	2	5	2		
			漢語現代文献演習(時事)2	2	5	2		
			漢語古典文献演習(文学)1	2	5	2		
			漢語古典文献演習(文学)2	2	5	2		
			漢語古典文献演習(思想)1	2	5	2		

系列区分			授業科目の名称	単位数	セメスター 履修開始	必修/選択/自由			備考
						必修	選択	自由	
			漢語古典文献演習(思想)2	2	5		2		
			漢語古典文献演習(文化)1	2	5		2		
			漢語古典文献演習(文化)2	2	5		2		
			漢語古典文献演習(散文)1	2	5		2		
			漢語古典文献演習(散文)2	2	5		2		
専門科目	学科専攻科目	共通	高級漢語聴説	2	5		2		
			高級漢語閲読(現代)	2	5		2		
			高級漢語閲読(古典)	2	5		2		
			中国語情報処理演習	2	6		2		
			HSK演習(発展)	2	5		2		
			中国語現地研修B	2	5		2		
		共通	卒業予備ゼミ	2	6	2			
			卒業研究ゼミ1	2	7	2			
			卒業研究ゼミ2	2	8	2			
			卒業論文	6	8		6		
			卒業研究	4	8		4		
		関連科目	中国語学研究1	2	3		2		
			中国語学研究2	2	3		2		
			異文化理解「中国」1	2	3		2		
			異文化理解「中国」2	2	4		2		
			日中比較文化研究1	2	3		2		
			日中比較文化研究2	2	3		2		
			中国文化研究1	2	3		2		
			中国文化研究2	2	3		2		
			東北アジア史	2	4		2		
			東洋文化史	2	3		2		
			西洋文化史	2	4		2		
			東洋史特講(古代)1	2	3		2		
			東洋史特講(古代)2	2	4		2		
			東洋史特講(中世・近世)1	2	3		2		
			東洋史特講(中世・近世)2	2	4		2		
			東洋史特講(近代・現代)1	2	3		2		
			東洋史特講(近代・現代)2	2	4		2		
			書道1	2	1		2		
			書道2	2	2		2		
			漢文学1	2	3		2		
			漢文学2	2	4		2		
			漢文講読	2	2		2		
			仏教と文学	2	3		2		
			言語学概論1	2	3		2		
			言語学概論2	2	4		2		
			日本語学概論1	2	3		2		
			日本語学概論2	2	4		2		
			日本語文法1	2	1		2		
			日本語文法2	2	2		2		
			日本文学史1	2	3		2		
			日本文学史2	2	4		2		
			文学概論1	2	3		2		
			文学概論2	2	4		2		
			中国仏教史	2	1		2		
			浄土教史	2	3		2		

別表第6(第10条関係)(文学部英米学科)

系列区分		授業科目の名称	単 位 数	履 修 開 始 セ メ ス タ ー	必修/選択/自由			備考
					必 修	選 択	自 由	
専門科目	学部 基幹 科目	中国語と中国文化	2	1	2			必修科目1科目2単位および「世界の言語と文化(朝鮮語)」・「世界の言語と文化(ベトナム語)」・「世界の言語と文化(フランス語)」・「世界の言語と文化(ドイツ語)」のうち2科目4単位以上、合計3科目6単位以上を履修すること。
		英語と英米文化	2	1		2		
		世界の言語と文化(朝鮮語)	2	1		2		
		世界の言語と文化(ベトナム語)	2	1		2		
		世界の言語と文化(フランス語)	2	1		2		
		世界の言語と文化(ドイツ語)	2	1		2		
	学科 基礎 科目	英米学科入門ゼミ	2	1	2			19科目28単位を履修すること。
		English Conversation1	1	1	1			
		English Conversation2	1	1	1			
		English Conversation3	1	3	1			
		English Conversation4	1	3	1			
		English Listening Skills1	1	1	1			
		English Listening Skills2	1	1	1			
		English Listening Skills3	1	3	1			
		English Writing1	1	1	1			
		English Writing2	1	1	1			
		English Writing3	1	3	1			
		英語学概論	2	1	2			
		英語文学論1	2	1	2			
		英語文学論2	2	1	2			
		英文法	2	3	2			
		英語演習1	2	3	2			
		英語演習2	2	3	2			
		Advanced Conversation1	2	5	2			
		Advanced Conversation2	2	5	2			
	研究 演習 海外 研修 英語 文化 系 英語 コミ ュニ ケー ション 系	Academic Reading1	2	5	2			必修科目10科目24単位および選択科目のうち36単位以上、合計60単位以上を履修すること。
		Academic Reading2	2	5	2			
		Academic Writing1	2	5	2			
		Academic Writing2	2	5	2			
		卒業研究予備ゼミ	2	6	2			
		卒業研究ゼミ1	2	7	2			
		卒業研究ゼミ2	2	8	2			
		卒業論文	6	8	6			
		Study Abroad1	2	3	2			
		Study Abroad2	2	5		2		
		Study Abroad Project1	2	4	2			
		Study Abroad Project2	2	5		2		
		言語学概論	2	3		2		
		英語学研究	2	3		2		
		英語文学研究1	2	3		2		
		英語文学研究2	2	3		2		
		英語圏文化の理解	2	3		2		
		英語圏言語文化論	2	5		2		
		英語圏社会文化論	2	5		2		
		西洋言語文化論	2	3		2		
		西洋社会文化論	2	3		2		
		EAP(English for Academic Purposes)1	2	1		2		
		EAP(English for Academic Purposes)2	2	3		2		
		Kyoto Studies	2	3		2		
		Japanese Studies	2	3		2		
		フランス語コミュニケーション(初級)	2	3		2		
		フランス語コミュニケーション(中級)	2	3		2		
		Intensive English1	1	4		1		
		Intensive English2	1	4		1		
		Intensive English3	1	4		1		
		Intensive English4	1	4		1		
		Intensive Speaking1	1	4		1		
		Intensive Speaking2	1	4		1		
		Intensive Speaking3	1	4		1		
		Intensive Speaking4	1	4		1		
		Intensive Listening1	1	4		1		
		Intensive Listening2	1	4		1		
		Intensive Writing1	1	4		1		
		Intensive Writing2	1	4		1		
		Academic Lecture1	2	4		2		

系列区分			授業科目の名称	単 位 数	履 修 開 始 セ メ ス タ ー	必修/選択/自由			備考
						必 修	選 択	自 由	
		英語 コミュニケーション 系	Academic Lecture2	2	4		2		
			Academic Lecture3	2	4		2		
			Academic Lecture4	2	4		2		
			Academic Lecture(Advanced)1	2	5		2		
			Academic Lecture(Advanced)2	2	5		2		
			Academic Lecture(Advanced)3	2	5		2		
			Academic Lecture(Advanced)4	2	5		2		
			Academic Seminar1	2	4		2		
			Academic Seminar2	2	4		2		
			Academic Seminar3	2	4		2		
			Academic Seminar4	2	4		2		
			Academic Seminar(Advanced)1	2	5		2		
			Academic Seminar(Advanced)2	2	5		2		
			Academic Seminar(Advanced)3	2	5		2		
			Academic Seminar(Advanced)4	2	5		2		
			Advanced TOEIC	2	5		2		
			Advanced TOEFL	2	5		2		
			Business Communication	2	5		2		
			通訳演習	2	5		2		
			Advanced Grammar	2	5		2		
			Media English	2	5		2		
		英語 教職系	英語教育入門	2	1		2		
			英語科教職論	2	5		2		
			英語科教職演習	2	5		2		

別表第6の2(第10条の2関係)(歴史学部歴史学科)

系列区分		授業科目の名称	単位数	履修開始 セメスター	必修/選択/自由			備考
					必修	選択	自由	
専門科目	学部基幹科目	歴史学概論	2	1	2			必修科目5科目10単位および選択科目のうち1科目2単位以上,合計6科目12単位以上を履修すること。
		外国の歴史と文化	2	2		2		
		歴史学とコンピュータ	2	2		2		
		歴史文化概論	2	3	2			
		日本史概論	2	1	2			
		東洋史概論	2	1	2			
		西洋史概論	2	1	2			
		歴史地理学	2	2		2		
	学科基礎科目	入門ゼミ	2	1	2			必修科目7科目14単位および選択科目のうち3科目6単位以上,合計10科目20単位以上を履修すること。
		歴史学研究法ゼミ1	2	3	2			
		歴史学研究法ゼミ2	2	4	2			
		日本史特論	2	2	2			
		東洋史特論	2	2	2			
		西洋史特論	2	2	2			
		日本文化史	2	4	2			
		東洋文化史	2	3		2		
		西洋文化史	2	4		2		
		日本思想史	2	3		2		
		東洋思想史	2	4		2		
		西洋思想史	2	3		2		
		東北アジア史	2	4		2		
		社会経済史	2	3		2		
		交渉・交流史	2	4		2		
	学科専攻科目	共通	発展研究ゼミ1	2	5	2		5科目14単位を履修すること。
			発展研究ゼミ2	2	6	2		
			卒業研究ゼミ1	2	7	2		
			卒業研究ゼミ2	2	8	2		
			卒業論文	6	8	6		
		日本史領域	日本史基礎史料講読(古代・中世)	2	3		2	「日本史領域」・「東洋史領域」・「西洋史領域」のうち1領域を選択したうえで,以下のとおり履修すること。 ・「日本史領域」もしくは「東洋史領域」の選択者は,基礎史料講読1科目2単位以上,史料講読のうち2科目4単位以上,特講のうち2科目4単位以上を含み,合計10科目20単位以上を履修すること。 ・「西洋史領域」の選択者は,基礎英語文献講読もしくは基礎演習を1科目2単位以上,演習のうち2科目4単位以上,特講のうち2科目4単位以上を含み,合計10科目20単位以上を履修すること。
			日本史基礎史料講読(近世)	2	3		2	
			日本史基礎史料講読(近代・現代)	2	3		2	
			日本史史料講読(古代・中世)1	2	4		2	
			日本史史料講読(古代・中世)2	2	5		2	
			日本史史料講読(近世)1	2	4		2	
			日本史史料講読(近世)2	2	5		2	
			日本史史料講読(近代・現代)1	2	4		2	
			日本史史料講読(近代・現代)2	2	5		2	
			日本史特講(古代・中世)1	2	3		2	
			日本史特講(古代・中世)2	2	4		2	
			日本史特講(近世)1	2	3		2	
			日本史特講(近世)2	2	4		2	
			日本史特講(近代・現代)1	2	3		2	
			日本史特講(近代・現代)2	2	4		2	
			日本史特講(宗教・文化)1	2	3		2	
			日本史特講(宗教・文化)2	2	4		2	
		東洋史領域	東洋史基礎史料講読	2	3		2	
			東洋史史料講読(前近代)1	2	4		2	
			東洋史史料講読(前近代)2	2	5		2	
			東洋史史料講読(近現代)1	2	4		2	
			東洋史史料講読(近現代)2	2	5		2	
			東洋史特講(古代)1	2	3		2	
			東洋史特講(古代)2	2	4		2	
			東洋史特講(中世・近世)1	2	3		2	
			東洋史特講(中世・近世)2	2	4		2	
			東洋史特講(近代・現代)1	2	3		2	
			東洋史特講(近代・現代)2	2	4		2	

系列区分			授業科目の名称	単 位 数	履 修 開 始 セ メ ス タ ー	必修/選択/自由			備考
						必 修	選 択	自 由	
	西洋史領域	西洋史基礎英語文獻講読	2	3		2			
		西洋史基礎演習	2	3		2			
		西洋史演習(前近代)1	2	4		2			
		西洋史演習(前近代)2	2	5		2			
		西洋史演習(近現代)1	2	4		2			
		西洋史演習(近現代)2	2	5		2			
		西洋史特講(前近代)1	2	3		2			
		西洋史特講(前近代)2	2	4		2			
		西洋史特講(近現代)1	2	3		2			
		西洋史特講(近現代)2	2	4		2			
		西洋史特講(エリア)1	2	3		2			
		西洋史特講(エリア)2	2	4		2			
専門科目	発展	日本古代中世古文書演習1	2	6		2			
		日本古代中世古文書演習2	2	7		2			
		日本近世古文書演習1	2	6		2			
		日本近世古文書演習2	2	7		2			
		東洋史発展史料講読1	2	6		2			
		東洋史発展史料講読2	2	7		2			
		西洋史発展英語文獻講読1	2	6		2			
		西洋史発展英語文獻講読2	2	7		2			
		西洋史史料講読(外書)1	2	6		2			
		西洋史史料講読(外書)2	2	7		2			
		歴史文化発展演習1	2	6		2			
		歴史文化発展演習2	2	7		2			
	関連科目	史学史	2	3		2			4科目8単位以上を履修すること。
		西洋芸術史	2	3		2			
		和装の文化	2	3		2			
		古文書基礎演習1	2	4		2			
		古文書基礎演習2	2	5		2			
		英語文獻講読1	2	4		2			
		英語文獻講読2	2	5		2			
		古文書実習	2	6		2			
		伝統文化研修	2	3		2			
		京都学研修	2	3		2			
		文化財学特論	2	3		2			
		京都学入門	2	5		2			
		京都学演習	2	6		2			
		地域文化概論	2	4		2			
		民俗文化概論	2	4		2			
		芸術文化概論	2	4		2			
		政治文化史	2	4		2			
		宗教文化	2	3		2			
		地誌学1	2	3		2			
		地誌学2	2	4		2			
		自然地理学1	2	3		2			
		自然地理学2	2	4		2			
		人文地理学1	2	3		2			
		人文地理学2	2	4		2			
		経済地理学	2	3		2			
		フィールドワーク入門	2	2		2			
		歴史学フィールドワーク	2	3		2			
		日本史臨地研修	2	3		2			
		外国史臨地研修	2	3		2			
		考古学	2	4		2			
		民俗学	2	3		2			
		文化人類学	2	4		2			
		法律学概論1	2	1		2			
		法律学概論2	2	2		2			
		国際政治学	2	1		2			
		哲学概論	2	2		2			
		宗教学概論	2	1		2			
		倫理学概論	2	1		2			
		博物館学 I	2	3		2			

系列区分		授業科目の名称	単 位 数	セ メ ス タ ー 履 修 開 始	必修/選択/自由			備考
					必 修	選 択	自 由	
		生涯学習概論	2	2			2	
		博物館学Ⅱ	2	4			2	
		博物館学Ⅲ	2	5			2	
		博物館学Ⅳ	2	3			2	
		博物館学Ⅴ	2	4			2	
		博物館学Ⅵ	2	5			2	
		博物館実習講義	1	6			1	
		博物館実習Ⅰ	1	7			1	
		博物館実習Ⅱ	1	7			1	
		博物館実習Ⅲ	1	8			1	
		視聴覚教育メディア論	2	3			2	

別表第6の3(第10条の3関係)(歴史学部歴史文化学科)

系列区分		授業科目の名称	単位数	履修開始 セメスター	必修/選択/自由			備考
					必修	選択	自由	
学科専門科目	学部基幹科目	歴史学概論	2	1	2			必修科目5科目10単位および選択科目のうち1科目2単位以上、合計6科目12単位以上を履修すること。
		外国の歴史と文化	2	2		2		
		歴史学とコンピュータ	2	2		2		
		歴史文化概論	2	1	2			
		日本史概論	2	1	2			
		東洋史概論	2	3	2			
		西洋史概論	2	3	2			
		歴史地理学	2	2		2		
	学科基礎科目	入門ゼミ	2	1	2			必修科目8科目16単位および選択科目のうち2科目4単位以上、合計10科目20単位以上を履修すること。
		歴史文化研究法ゼミ1	2	3	2			
		歴史文化研究法ゼミ2	2	4	2			
		地域文化概論	2	2	2			
		民俗文化概論	2	2	2			
		芸術文化概論	2	2	2			
		歴史文化臨地研修	2	2	2			
		考古学	2	4		2		
		民俗学	2	3		2		
		文化人類学	2	4		2		
		西洋芸術史	2	3		2		
		政治文化史	2	4		2		
		フィールドワーク基礎論	2	3	2			
		人文地理学1	2	3		2		
		人文地理学2	2	4		2		
		経済地理学	2	3		2		
	学科専攻科目	共通	発展研究ゼミ1	2	5	2		5科目14単位を履修すること。
			発展研究ゼミ2	2	6	2		
			卒業研究ゼミ1	2	7	2		
			卒業研究ゼミ2	2	8	2		
			卒業論文	6	8	6		
		地域文化領域	地域文化基礎演習	2	3		2	「地域文化領域」・「民俗文化領域」・「芸術文化領域」のうち1領域を選択したうえで、選択した領域の6科目12単位、異なる領域の基礎演習1科目2単位および特講のうち1科目2単位以上を含み、合計10科目20単位以上を履修すること。
			地域文化演習1	2	4		2	
			地域文化演習2	2	5		2	
			地域文化特講1	2	3		2	
			地域文化特講2	2	4		2	
		民俗文化領域	フィールドワーク演習(地域文化)	2	5		2	
			民俗文化基礎演習	2	3		2	
			民俗文化演習1	2	4		2	
			民俗文化演習2	2	5		2	
			民俗文化特講1	2	3		2	
		芸術文化領域	民俗文化特講2	2	4		2	
			フィールドワーク演習(民俗文化)	2	5		2	
			芸術文化基礎演習	2	3		2	
			芸術文化演習1	2	4		2	
			芸術文化演習2	2	5		2	
		発展	芸術文化特講1	2	3		2	
			芸術文化特講2	2	4		2	
			フィールドワーク演習(芸術文化)	2	5		2	
			歴史文化資料研究1	2	6		2	
			歴史文化資料研究2	2	7		2	
			歴史文化発展演習1	2	6		2	
			歴史文化発展演習2	2	7		2	
			日本史基礎史料講読(古代・中世)	2	5		2	
			日本史基礎史料講読(近世)	2	5		2	
			日本史基礎史料講読(近代・現代)	2	5		2	
			日本古代中世古文書演習1	2	6		2	
			日本古代中世古文書演習2	2	7		2	
			日本近世古文書演習1	2	6		2	
			日本近世古文書演習2	2	7		2	
			東洋史基礎史料講読	2	5		2	
			東洋史発展史料講読1	2	6		2	
			東洋史発展史料講読2	2	7		2	
			西洋史基礎英語文献講読	2	5		2	
			西洋史発展英語文献講読1	2	6		2	

系列区分			授業科目の名称	単 位 数	セ メ ス タ ー 履 修 開 始	必修/選択/自由			備考
						必 修	選 択	自 由	
			西洋史発展英語文献講読2	2	7		2		
			西洋史史料講読(外書)1	2	6		2		
			西洋史史料講読(外書)2	2	7		2		
専門 科目	関 連 科 目		伝統文化研修	2	3		2		4科目8単位以上を履修すること。
			京都学研修	2	3		2		
			文化財学特論	2	3		2		
			京都学入門	2	5		2		
			京都学演習	2	6		2		
			地誌学1	2	3		2		
			地誌学2	2	4		2		
			自然地理学1	2	3		2		
			自然地理学2	2	4		2		
			英語文献講読1	2	4		2		
			英語文献講読2	2	5		2		
			ワークショップ実習	2	5		2		
			フィールドワーク発展演習(地域文化)	2	6		2		
			フィールドワーク発展演習(民俗文化)	2	6		2		
			フィールドワーク発展演習(芸術文化)	2	6		2		
			日本史特論	2	2		2		
			東洋史特論	2	4		2		
			西洋史特論	2	4		2		
			史学史	2	3		2		
			日本文化史	2	4		2		
			東洋文化史	2	3		2		
			西洋文化史	2	4		2		
			日本思想史	2	3		2		
			東洋思想史	2	4		2		
			西洋思想史	2	3		2		
			東北アジア史	2	4		2		
			社会経済史	2	3		2		
			交渉・交流史	2	4		2		
			宗教文化	2	4		2		
			和装の文化	2	3		2		
			法律学概論1	2	1		2		
			法律学概論2	2	2		2		
			国際政治学	2	1		2		
			哲学概論	2	2		2		
			宗教学概論	2	1		2		
			倫理学概論	2	1		2		
			博物館学Ⅰ	2	3		2		
			生涯学習概論	2	2			2	
			博物館学Ⅱ	2	4			2	
			博物館学Ⅲ	2	5			2	
			博物館学Ⅳ	2	3			2	
			博物館学Ⅴ	2	4			2	
			博物館学Ⅵ	2	5			2	
			博物館実習講義	1	6			1	
			博物館実習Ⅰ	1	7			1	
			博物館実習Ⅱ	1	7			1	
			博物館実習Ⅲ	1	8			1	
			視聴覚教育メディア論	2	3			2	

別表第7(第12条関係)(教育学部教育学科)

系列区分		授業科目の名称	単 位 数	セ メ ス タ ー	必修/選択/自由			備考
					必 修	選 択	自 由	
	学部 基 礎 科 目	教育原論	2	1	2			3科目5単位を履修すること。
		教育相談の理論及び方法	2	3	2			
		特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	3	1			
	学 科 基 礎 科 目	入門ゼミ	2	1	2			必修科目5科目10単位および選択科目のうち5科目10単位以上、合計10科目20単位以上を履修すること。
		教育学基礎演習1	2	3	2			
		教育学基礎演習2	2	4	2			
		教育心理学	2	1	2			
		教育心理学2	2	2		2		
		教育社会学	2	1	2			
		教育社会学2	2	2		2		
		教育哲学	2	2		2		
		教育史	2	1		2		
		教育人間学	2	3		2		
		教育行政学	2	1		2		
		教育行政学2	2	2		2		
		臨床教育学	2	3		2		
		学校経営論	2	3		2		
		学級経営論	2	3		2		
		発達心理学	2	3		2		
		比較教育学	2	3		2		
		教育法規	2	3		2		
		教育評価論	2	3		2		
		学校教育職入門	2	1		2		
		特別支援教育総論	2	3		2		
	学 科 専 攻 科	教育学演習1	2	5	2			必修科目5科目14単位を含み30単位以上を履修すること。
		教育学演習2	2	6	2			
		卒業論文演習1	2	7	2			
		卒業論文演習2	2	8	2			
		卒業論文	6	8	6			
		人権(同和)教育	2	3		2		
		ICTの活用及び教育	2	3		2		
		学校教育課程論	2	3		2		
		教育方法論(ICT活用含む)	2	3		2		
		教育方法論(ICT活用含む)2	2	4		2		
		生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	2		2		
		特別活動の指導法	2	3		2		
		道徳の理論及び指導法	2	3		2		
		総合的な学習の時間の指導法	2	3		2		
		国際理解教育演習	2	3		2		
		初等教育内容国語	2	1		2		
		初等教育内容社会	2	1		2		
		初等教育内容算数	2	1		2		
		初等教育内容理科	2	1		2		
		初等教育内容生活	2	1		2		
		初等教育内容音楽	2	1		2		
		初等教育内容図画工作	2	1		2		
		初等教育内容家庭	2	1		2		
		初等教育内容体育	2	1		2		
		初等教育内容外国語	2	1		2		
		初等国語教育法	2	3		2		
		初等社会教育法	2	3		2		
		初等算数教育法	2	3		2		
		初等理科教育法	2	3		2		
		初等生活教育法	2	3		2		
		初等音楽教育法	2	3		2		
		初等図画工作教育法	2	3		2		
		初等家庭教育法	2	3		2		
		初等体育教育法	2	3		2		
		初等外国語教育法	2	3		2		
		中等教科教育法社会1	2	3		2		
		中等教科教育法社会2	2	4		2		
		中等教科教育法社会3	2	3		2		
		中等教科教育法社会4	2	4		2		
		中等教科教育法数学1	2	3		2		
		中等教科教育法数学2	2	4		2		
		中等教科教育法数学3	2	3		2		
		中等教科教育法数学4	2	4		2		
		日本史概論	2	1		2		
		日本史特論	2	2		2		
		東洋史概論	2	1		2		
		西洋史概論	2	1		2		
		法律学概論1	2	1		2		

専門科目	目	法学概論2	2	2	2
		国際政治学	2	1	2
		社会学概論	2	1	2
		経済学概論	2	1	2
		哲学概論	2	2	2
		宗教学概論	2	1	2
		倫理学概論	2	1	2
		代数学概論1	2	1	2
		代数学概論2	2	2	2
		代数学特論1	2	3	2
		代数学特論2	2	4	2
		代数学演習	2	3	2
		幾何学概論1	2	1	2
		幾何学概論2	2	2	2
		幾何学特論1	2	3	2
		幾何学特論2	2	4	2
		幾何学演習	2	3	2
		解析学概論1	2	1	2
		解析学概論2	2	2	2
		解析学特論1	2	3	2
		解析学特論2	2	4	2
		解析学演習	2	3	2
		確率論1	2	1	2
		確率論2	2	2	2
		基礎統計学1	2	3	2
		基礎統計学2	2	4	2
		確率論演習	2	3	2
		基礎統計学演習	2	5	2
		プログラミング1	2	3	2
		プログラミング2	2	3	2
		データ解析演習	2	4	2
		数学特別演習	2	5	2
		特別支援教育基礎理論	2	3	2
		特別支援教育基礎理論2	2	3	2
		知的障害児の心理	2	3	2
		知的障害児の生理・病理	2	3	2
		肢体不自由児の心理・生理・病理	2	3	2
		病弱虚弱児の心理・生理・病理	2	3	2
		知的障害教育Ⅰ	2	3	2
		知的障害教育Ⅱ	2	3	2
		肢体不自由児の指導法	2	3	2
		病弱虚弱児の指導法	2	3	2
		視覚障害教育総論	2	3	2
		聴覚障害教育総論	2	3	2
		重複障害・発達障害児の指導法	2	3	2
		教育原論2	2	2	2
		現場体験実習1	1	1	1
		現場体験実習2	1	2	1
		現場体験実習3	1	3	1
		現場体験実習4	1	4	1
		教職実践演習(教諭)	2	8	2
		教育職インターンシップ1	2	3	2
		教育職インターンシップ2	2	5	2
		教育職インターンシップ・イクステンション1	2	4	2
		教育職インターンシップ・イクステンション2	2	6	2
		臨床心理学	2	3	2
		ピアノ指導1	1	1	1
		ピアノ指導2	1	2	1
		ピアノ指導3	1	3	1
		ピアノ指導4	1	4	1
		生涯学習概論	2	2	2
		生涯学習概論2	2	3	2
		社会教育演習	2	5	2
		社会教育課題研究	2	3	2
		社会教育特殊講義	2	3	2
		男女共同参画論	2	3	2
		NPO法人マネジメント論	2	3	2
		図書館概論	2	3	2
		博物館学Ⅰ	2	3	2
		図書館情報技術論	2	3	2
		図書館制度・経営論	2	3	2
		図書館サービス概論	2	3	2
		情報サービス論	2	3	2
		児童サービス論	2	3	2
		情報サービス演習1	2	5	2
		情報サービス演習2	2	5	2
		図書館情報資源概論	2	3	2
		情報資源組織論	2	3	2

関連科目	情報資源組織演習1	2	5		2	
	情報資源組織演習2	2	5		2	
	図書・図書館史	2	3		2	
	図書館情報資源特論	2	3		2	
	図書館サービス特論	2	3		2	
	図書館総合演習	2	5		2	
	図書館基礎特論	1	7		1	
	学校経営と学校図書館	2	3		2	
	学校図書館メディアの構成	2	3		2	
	学習指導と学校図書館	2	3		2	
	読書と豊かな人間性	2	3		2	
	情報メディアの活用	2	3		2	
	レクリエーション実技	1	3		1	
	レクリエーション指導実習	1	3		1	
	レクリエーション概論	2	3		2	
	宗教教育論	2	3		2	
	視聴覚教育メディア論	2	3		2	
	仏教音楽教育論	2	1		2	
	中等教科教育法社会・地理歴史1	2	3			2
	中等教科教育法社会・地理歴史2	2	4			2
	中等教科教育法社会・公民1	2	3			2
	中等教科教育法社会・公民2	2	4			2
	中等教科教育法国語1	2	3			2
	中等教科教育法国語2	2	4			2
	中等教科教育法国語3	2	3			2
	中等教科教育法国語4	2	4			2
	中等教科教育法書道1	2	3			2
	中等教科教育法書道2	2	4			2
	中等教科教育法英語1	2	3			2
	中等教科教育法英語2	2	4			2
	中等教科教育法英語3	2	3			2
	中等教科教育法英語4	2	4			2
	中等教科教育法中国語1	2	3			2
	中等教科教育法中国語2	2	4			2
	中等教科教育法中国語3	2	3			2
	中等教科教育法中国語4	2	4			2
	中等教科教育法宗教1	2	3			2
	中等教科教育法宗教2	2	4			2
	中等教科教育法宗教3	2	3			2
	中等教科教育法宗教4	2	4			2
	中等教科教育法情報1	2	3			2
	中等教科教育法情報2	2	4			2
	中等教科教育法福祉1	2	3			2
	中等教科教育法福祉2	2	4			2
	教育実習(小)1	4	5			4
	教育実習(小)2	2	5			2
	教育実習(小)3	2	5			2
	教育実習指導(小)	1	5			1
	教育実習(幼・小)1	2	5			2
	教育実習(幼・小)2	2	5			2
	教育実習指導(幼・小)	1	5			1
	教育実習(小・中)1	2	5			2
	教育実習(小・中)2	2	5			2
	教育実習指導(小・中)	1	5			1
	教育実習(中・高)1	2	6			2
	教育実習(中・高)2	2	6			2
	教育実習指導(中・高)	1	5			1
	教育実習(特支)	2	6			2
	教育実習指導(特支)	1	5			1
	社会教育実習	1	5			1
	図書館実習	1	7			1
	介護等体験指導	1	3			1
	介護等体験	1	4			1

別表第7の2(第12条の2関係)(教育学部幼児教育学科)

系列区分		授業科目の名称	単 位 数	セ メ ス タ 履 修 開 始	必修/選択/自由			備考
					必 修	選 択	自 由	
専 門 科 目	幹 学 科 部 目 基	教育原論	2	1	2			3科目5単位を履修すること。
		教育相談の理論及び方法	2	3	2			
		特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	3	1			
	学 科 基 礎 科 目	入門ゼミ	2	1	2			必修科目8科目16単位および選択科目のうち2科目4単位以上、合計10科目20単位以上を履修すること。
		教育学基礎演習1	2	3	2			
		教育学基礎演習2	2	4	2			
		教育心理学	2	1	2			
		教育心理学2	2	2		2		
		教育社会学	2	1	2			
		教育社会学2	2	2		2		
		教師・保育者論	2	2	2			
		幼児教育・保育課程論	2	2	2			
		幼児理解及び保育相談	2	3	2			
		保育原理	2	1		2		
		教育哲学	2	2		2		
		教育史	2	1		2		
		教育人間学	2	3		2		
		教育行政学	2	1		2		
		教育行政学2	2	2		2		
		臨床教育学	2	3		2		
		学校経営論	2	3		2		
		学級経営論	2	3		2		
		発達心理学	2	3		2		
		比較教育学	2	3		2		
		教育法規	2	3		2		
		教育評価論	2	3		2		
		障害教育総論	2	3		2		
	学 科 専 攻 科 目	教育学演習1	2	5	2			必修科目12科目28単位および○印科目のうち5科目10単位を含み38単位以上を履修すること。
		教育学演習2	2	6	2			
		卒業論文演習1	2	7	2			
		卒業論文演習2	2	8	2			
		卒業論文	6	8	6			
		保育の内容及び方法	2	3	2			
		○幼児と健康	2	1		2		
		○幼児と人間関係	2	1		2		
		○幼児と環境	2	1		2		
		○幼児と言葉	2	1		2		
		○幼児と表現(造形)	2	1		2		
		○幼児と表現(音楽)	2	1		2		
		○幼児と表現(身体)	2	1		2		
		保育内容の理論と方法「健康」	2	3	2			
		保育内容の理論と方法「人間関係」	2	3	2			
		保育内容の理論と方法「環境」	2	3	2			
		保育内容の理論と方法「言葉」	2	3	2			
		保育内容の理論と方法「造形表現」	2	3	2			
		保育内容の理論と方法「音楽表現」	2	3	2			
		保育内容の理論と方法「身体表現」	2	3		2		
		人権(同和)教育	2	3		2		
		ICTの活用及び教育	2	3		2		
		国際理解教育演習	2	3		2		
		子ども家庭福祉	2	2		2		

系列区分	授業科目の名称	単 位 数	セ 履 修 メ ス タ 始	必修/選択/自由			備考
				必 修	選 択	自 由	
目	学 科 専 攻 科 目	社会福祉援助技術論1	2	3		2	
		子ども家庭支援論	2	5		2	
		社会的養護1	2	3		2	
		子ども家庭支援の心理学	2	3		2	
		子どもの保健	2	3		2	
		子どもの食と栄養	2	5		2	
		乳児保育1	2	3		2	
		乳児保育2	1	5		1	
		子どもの健康と安全	1	5		1	
		障害児保育	2	3		2	
		社会的養護2	1	5		1	
		子育て支援	1	3		1	
		保育実習1A	2	6		2	
		保育実習1B	2	6		2	
		保育実習指導1(事前)	1	5		1	
		保育実習指導1(事後)	1	6		1	
		保育実践演習	2	8		2	
		ピアノ指導1	1	1		1	
		ピアノ指導2	1	2		1	
		ピアノ指導3	1	3		1	
		ピアノ指導4	1	4		1	
		保育実習2	2	7		2	
		保育実習指導2	1	7		1	
		保育実習3	2	7		2	
		保育実習指導3	1	7		1	
	関 連 科 目	教育原論2	2	2		2	
		教育実習(幼)1	4	5		4	
		教育実習(幼)2	2	5		2	
		教育実習(幼)3	2	5		2	
		教育実習(幼・小)1	2	5		2	
		教育実習(幼・小)2	2	5		2	
		教育実習指導(幼)	1	5		1	
		教育実習指導(幼・小)	1	5		1	
		教職実践演習(教諭)	2	8		2	
		保育・教職実践演習(教諭)	2	8		2	
		現場体験実習1	1	1		1	
		現場体験実習2	1	2		1	
		現場体験実習3	1	3		1	
		現場体験実習4	1	4		1	
		教育職インターンシップ1	2	3		2	
		教育職インターンシップ2	2	5		2	
		教育職インターンシップ・イクステンション1	2	4		2	
		教育職インターンシップ・イクステンション2	2	6		2	
		レクリエーション実技	1	3		1	
		レクリエーション指導実習	1	3		1	
		レクリエーション概論	2	3		2	
		宗教教育論	2	3		2	
		視聴覚教育メディア論	2	3		2	
		仏教音楽教育論	2	1		2	

別表第8 削除

別表第8の2(第13条の2関係)(教育学部臨床心理学科)

系列区分		授業科目の名称	単 位 数	セ メ ス タ ー 履 修 開 始	必修/選択/自由			備考
					必 修	選 択	自 由	
専門科目	学 科 部 基 幹	教育原論	2	1	2			3科目5単位を履修すること。
		教育相談の理論及び方法	2	3	2			
		特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	3	1			
	学 科 基 礎 科 目	入門ゼミ	2	1	2			11科目22単位を履修すること。
		心理学史	2	1	2			
		基礎心理学	2	1	2			
		心理学概論	2	1	2			
		臨床心理学史	2	1	2			
		臨床心理学概論	2	1	2			
		心理学研究法	2	1	2			
		心理学統計法1	2	1	2			
		心理学統計法2	2	2	2			
		臨床心理学基礎ゼミ1	2	3	2			
		臨床心理学基礎ゼミ2	2	4	2			
	学 科 専 攻 科 目	公認心理師の職責	2	5		2		必修科目14単位を含み67単位以上を履修すること。
		心理学実験1	1	3		1		
		心理学実験2	1	5		1		
		知覚・認知心理学	2	3		2		
		学習・言語心理学	2	3		2		
		感情・人格心理学	2	3		2		
		神経・生理心理学	2	3		2		
		社会・集団・家族心理学	2	3		2		
		発達心理学	2	3		2		
		障害者・障害児心理学	2	5		2		
		心理的アセスメント	2	3		2		
		心理学的支援法(力動的アプローチ)	2	3		2		
		心理学的支援法(行動的アプローチ)	2	5		2		
		健康・医療心理学	2	3		2		
		福祉心理学	2	5		2		
		教育・学校心理学	2	5		2		
		司法・犯罪心理学	2	5		2		
		産業・組織心理学	2	3		2		
		人体の構造と機能及び疾病	2	3		2		
		精神疾患とその治療	2	5		2		
		関係行政論	2	3		2		
		心理演習1	1	3		1		
		心理演習2	1	5		1		
		心理演習3	1	5		1		
		心理演習4	1	5		1		
		心理実習1	1	6		1		
		心理実習2	1	7		1		
		少年法	2	3		2		
		家族関係論	2	3		2		
		地域支援論	2	5		2		
		カウンセリング論	2	5		2		
		思春期の心	2	3		2		
		非行臨床心理学	2	3		2		
		子どもの心理臨床	2	3		2		
		心理療法論(箱庭療法論)	2	5		2		
		心理療法論(応用行動分析)	2	5		2		
		臨床心理学特殊講義	2	5		2		
		質問紙法実習	1	5		1		
		統計リメディアル	2	7		2		
		心理学外書講読	2	3		2		
		臨床心理学ゼミ1	2	5	2			
		臨床心理学ゼミ2	2	6	2			

学科専門科目		卒業研究ゼミ1	2	7	2			
		卒業研究ゼミ2	2	8	2			
		卒業論文	6	8	6			
	関連科目	日本史概論	2	1		2		
		東洋史概論	2	1		2		
		西洋史概論	2	1		2		
		日本史特論	2	2		2		
		法律学概論1	2	1		2		
		法律学概論2	2	2		2		
		倫理学概論	2	1		2		
		哲学概論	2	2		2		
		宗教学概論	2	1		2		
		国際政治学	2	1		2		
		社会学概論	2	1		2		
		経済学概論	2	1		2		
		自然地理学1	2	3		2		
		自然地理学2	2	4		2		
		地誌学1	2	3		2		
		地誌学2	2	4		2		

別表第9～別表第11の2 削除

別表第11の3(第16条の3関係)(社会学部現代社会学科)

系列区分		授業科目の名称	単位数	履修開始 セメスター	必修/選択/自由			備考
					必修	選択	自由	
専門科目	学部基幹科目	現代社会論	2	2	2			必修科目2科目4単位および選択科目のうち2科目4単位以上、合計4科目8単位以上を履修すること。
		公共性と社会	2	1	2			
		現代思想	2	1		2		
		環境社会システム論	2	1		2		
		現代日本社会史	2	2		2		
		現代市民論	2	2		2		
		20世紀の歴史	2	1		2		
	学科基礎科目	現代社会学入門ゼミ	2	1	2			必修科目3科目6単位および選択科目のうち6科目12単位以上、合計9科目18単位以上を履修すること。
		社会学史(古典)	2	3	2			
		社会学史(現代)	2	4	2			
		現代社会学講読	2	3		2		
		社会学原論	2	3		2		
		社会思想史	2	3		2		
		社会心理学	2	3		2		
		家族社会学	2	3		2		
		文化人類学	2	3		2		
		コミュニケーションと社会	2	3		2		
		社会調査論1	2	3		2		
		社会調査論2	2	4		2		
		現代社会学特殊講義1	2	3		2		
		現代社会学特殊講義2	2	4		2		
		現代社会学外国文献研究1	2	3		2		
		現代社会学外国文献研究2	2	4		2		
	学科専攻科目	共通	現代社会学ゼミ1	2	5	2		5科目12単位を履修すること。
			現代社会学ゼミ2	2	6	2		
			現代社会学卒業研究ゼミ1	2	7	2		
			現代社会学卒業研究ゼミ2	2	8	2		
			卒業レポート	4	8	4		
		文化・国際コース	○文化社会学	2	3		2	「文化・国際コース」・「共生・臨床社会コース」・「情報・メディアコース」のいずれか1コースを選択し、選択したコースのうち○印科目を含み8科目16単位以上を履修したうえで、合計13科目26単位以上を履修すること。
			現代文化論	2	3		2	
			消費文化論	2	3		2	
			社会意識論	2	3		2	
			宗教社会学	2	3		2	
			現代宗教論	2	3		2	
			○国際社会論	2	3		2	
			現代国家論	2	3		2	
			異文化理解	2	3		2	
			エリアスタディ	2	3		2	
			グローバル化論	2	3		2	
			文化・国際特殊講義1	2	3		2	
			文化・国際特殊講義2	2	3		2	
			文化・国際特殊講義3	2	3		2	
			文化・国際特殊講義4	2	3		2	
		共生・臨床社会コース	○共生の社会学	2	3		2	
			社会階層論	2	3		2	
			ジェンダー論	2	3		2	
			マイノリティ論	2	3		2	
			○臨床社会学	2	3		2	
			社会病理学	2	3		2	
			逸脱行動論	2	3		2	
			家族病理と臨床	2	3		2	
			学校病理と臨床	2	3		2	
			地域病理と臨床	2	3		2	
			保健医療社会学	2	3		2	
			カウンセリング論	2	3		2	
			共生・臨床社会特殊講義1	2	3		2	
			共生・臨床社会特殊講義2	2	3		2	
			共生・臨床社会特殊講義3	2	3		2	
			共生・臨床社会特殊講義4	2	3		2	

系列区分			授業科目の名称	単 位 数	セ メ ス タ ー 履 修 開 始	必修/選択/自由			備考
						必 修	選 択	自 由	
専門科目	学科専攻科目	情報・メディアコース	○情報・メディアとコミュニケーション	2	3		2		
			○情報社会論	2	3		2		
			マスコミ論	2	3		2		
			地域情報論	2	3		2		
			広告・広報論	2	3		2		
			メディア・リテラシー	2	3		2		
			デジタル・メディア論	2	3		2		
			メディア文化論	2	3		2		
			情報通信ネットワーク論	2	3		2		
			情報システム論	2	3		2		
			情報・メディア特殊講義1	2	3		2		
			情報・メディア特殊講義2	2	3		2		
			情報・メディア特殊講義3	2	3		2		
			情報・メディア特殊講義4	2	3		2		
			情報・メディア実習1	1	3		1		
			情報・メディア実習2	1	4		1		
	関連科目	日本史概論	2	1		2			
		東洋史概論	2	1		2			
		西洋史概論	2	1		2			
		日本史特論	2	2		2			
		人文地理学1	2	3		2			
		人文地理学2	2	4		2			
		自然地理学1	2	3		2			
		自然地理学2	2	4		2			
		地誌学1	2	3		2			
		地誌学2	2	4		2			
		社会学概論	2	1		2			
		法律学概論1	2	1		2			
		法律学概論2	2	2		2			
		倫理学概論	2	1		2			
		哲学概論	2	2		2			
		宗教学概論	2	1		2			
		経済学概論	2	1		2			
		プロジェクト演習	2	3		2			
		社会調査法演習1	2	5		2			
		社会調査法演習2	2	5		2			
		基礎統計学1	2	3		2			
		基礎統計学2	2	4		2			
		データ解析演習	2	6		2			
		調査研究演習1	2	5		2			
		調査研究演習2	2	6		2			
		調査研究演習3	1	5		1			
		グローバル人材PBL	2	5		2			
		地域経済論	2	3		2			
		NPO法人マネジメント論	2	3		2			
		中小企業論	2	3		2			
女性史	2	3		2					
現代社会と女性	2	3		2					
情報産業と職業	2	3		2					
情報メディアと社会	2	3		2					
ジャーナリズム論	2	3		2					
放送論	2	3		2					
情報システム実習	1	5		1					
情報ビジネス	2	5		2					
情報犯罪論	2	3		2					
情報通信ネットワーク実習	1	5		1					
コンピュータ論	2	1		2					
京都の産業	2	3		2					
国際政治学	2	1		2					
日本仏教史(仏教伝来～平安)	2	1		2					
日本仏教史(鎌倉以降)	2	2		2					
中国仏教史	2	1		2					

別表第11の4(第16条の4関係)(社会学部公共政策学科)

系列 区分		授業科目の名称	単 位 数	セ メ ス タ ー 履 修 開 始	必修/選択/自由			備考
					必 修	選 択	自 由	
専 門 科 目	学 部 基 幹 科 目	現代社会論	2	2	2			必修科目2科目4単位および選択科目のうち2科目4単位以上を履修すること。
		公共性と社会	2	1	2			
		現代思想	2	1		2		
		環境社会システム論	2	1		2		
		現代日本社会史	2	2		2		
		現代市民論	2	2		2		
		20世紀の歴史	2	1		2		
	学 科 基 礎 科 目	公共政策学入門ゼミ	2	1	2			必修科目3科目6単位および選択科目のうち6科目12単位以上を履修すること。
		公共政策学(概論)	2	3	2			
		公共政策学(各論)	2	4	2			
		法学入門1	2	1		2		
		法学入門2	2	2		2		
		経済学入門1	2	1		2		
		経済学入門2	2	2		2		
		公共政策学特殊講義1	2	3		2		
		公共政策学特殊講義2	2	4		2		
		公共政策学外国文献研究1	2	3		2		
		公共政策学外国文献研究2	2	4		2		
		公共政策学講読	2	3		2		
		公共政策学フィールドワーク入門	2	3		2		
		公共政策学フィールドワーク実習1	1	5		1		
		公共政策学フィールドワーク実習2	1	6		1		
	専 門 科 目	共 通	公共政策学ゼミ1	2	5	2		5科目12単位を履修すること。
			公共政策学ゼミ2	2	6	2		
			公共政策学卒業研究ゼミ1	2	7	2		
			公共政策学卒業研究ゼミ2	2	8	2		
			卒業レポート	4	8	4		
		地 域 政 治 コ ー ス	行政法(総論)	2	3		2	「地域政治コース」・「地域経済コース」のいずれかを選択し、選択したコースのうち○印科目を含み20単位以上を履修したうえで、合計13科目26単位以上を履修すること。
			行政法(行政救済法・行政組織法)	2	3		2	
			民法(総則・物権)	2	3		2	
			民法(債権・親族・相続)	2	3		2	
			労働法(集団的労働関係法)	2	3		2	
			労働法(個別的労働関係法)	2	3		2	
			社会保障法	2	3		2	
			地域社会学	2	3		2	
			刑法	2	5		2	
			商法	2	5		2	
			○地域政策論	2	3		2	
			地方自治法	2	3		2	
			行政学(概論)	2	3		2	
			行政学(各論)	2	3		2	
			政治社会学	2	3		2	
			政治過程論	2	3		2	
			住民自治論	2	3		2	
			コミュニティ論	2	3		2	
			地域政治特殊講義1	2	3		2	
			地域政治特殊講義2	2	3		2	
			地域政治特殊講義3	2	3		2	
			地域政治特殊講義4	2	3		2	
		地 域 経 済 コ ー ス	ミクロ経済学1	2	3		2	
			ミクロ経済学2	2	3		2	
			マクロ経済学1	2	3		2	
			マクロ経済学2	2	3		2	
			地方財政論	2	3		2	
			財政学	2	3		2	
			公共経済学	2	3		2	
			○地域経済論	2	3		2	
			社会的企業論	2	3		2	
			社会政策	2	3		2	
			会計学	2	5		2	
			経営学	2	5		2	
			環境政策論	2	3		2	
			環境社会学	2	3		2	

系列 区分			授業科目の名称	単 位 数	セ メ ス タ ー 1 履 修 開 始	必修/選択/自由			備考
						必 修	選 択	自 由	
専 門 科 目	学 科 専 攻 科 目	地 域 経 済 コ ー ス	環境技術論	2	3		2		
			地球環境論	2	3		2		
			環境評価論	2	3		2		
			都市環境論	2	3		2		
			都市計画論	2	3		2		
			地域経済特殊講義1	2	3		2		
			地域経済特殊講義2	2	3		2		
			地域経済特殊講義3	2	3		2		
			地域経済特殊講義4	2	3		2		
	関 連 科 目		日本史概論	2	1		2		
			東洋史概論	2	1		2		
			西洋史概論	2	1		2		
			日本史特論	2	2		2		
			人文地理学1	2	3		2		
			人文地理学2	2	4		2		
			自然地理学1	2	3		2		
			自然地理学2	2	4		2		
			地誌学1	2	3		2		
			地誌学2	2	4		2		
			法学概論1	2	1		2		
			法学概論2	2	2		2		
			哲学概論	2	2		2		
			宗教学概論	2	1		2		
			倫理学概論	2	1		2		
			政治学概論	2	1		2		
			経済学概論	2	1		2		
			社会学概論	2	1		2		
			公務員演習1(数的推理・判断推理)	2	3		2		
			公務員演習2(文章理解・資料解釈)	2	3		2		
			公務員演習3(社会・人文・自然)	2	3		2		
			中小企業論	2	3		2		
			プロジェクト演習	2	3		2		
			異文化理解	2	3		2		
			グローバル化論	2	3		2		
			コミュニケーションと社会	2	3		2		
			共生の社会学	2	3		2		
			グローバル人材PBL	2	5		2		
			社会調査論1	2	3		2		
			社会調査論2	2	4		2		
			社会調査法演習1	2	5		2		
			社会調査法演習2	2	5		2		
			基礎統計学1	2	3		2		
			基礎統計学2	2	4		2		
			データ解析演習	2	6		2		
			調査研究演習1	2	5		2		
			調査研究演習2	2	6		2		
			調査研究演習3	1	5		1		
			国際政治学	2	1		2		
			NPO法人マネジメント論	2	3		2		
			民法概論	2	5		2		
			労働法概論	2	5		2		
			刑法概論	2	5		2		
			京都の産業	2	3		2		
			日本仏教史(仏教伝来～平安)	2	1		2		
			日本仏教史(鎌倉以降)	2	2		2		
			中国仏教史	2	1		2		

別表第11の5(第16条の5関係)(社会福祉学部社会福祉学科)

系列区分		授業科目の名称	単 位 数	履 修 開 始 セ メ ス タ ー	必修/選択/自由			備考
					必 修	選 択	自 由	
専門科目	幹学 科部 目基	現代の社会問題	2	1	2			3科目6単位を履修すること。
		福祉とケアの倫理	2	1	2			
		人権と福祉	2	1	2			
	学科 基 礎 科 目	社会福祉入門ゼミ	2	1	2			必修科目3科目6単位および選択科目のうち「社会福祉学専門ゼミ1.2」または「ソーシャルワーク演習」「ソーシャルワーク演習(専門)1」のいずれか2科目4単位を含み9科目18単位以上、合計12科目24単位以上を履修すること。
		社会福祉原論	2	2	2			
		社会福祉史	2	2	2			
		ソーシャルワークの基盤と専門職	2	1		2		
		ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2	2		2		
		ソーシャルワークの理論と方法1	2	3		2		
		ソーシャルワークの理論と方法2	2	4		2		
		社会福祉援助技術論1	2	3		2		
		社会的養護1	2	3		2		
		教育と福祉	2	4		2		
		社会福祉法	2	3		2		
		社会保障論1	2	3		2		
		社会保障論2	2	4		2		
		高齢者福祉論	2	2		2		
		障害児者福祉論	2	2		2		
		児童・家庭福祉論	2	2		2		
		貧困に対する支援	2	3		2		
		精神保健福祉の原理1	2	1		2		
		精神保健福祉の原理2	2	2		2		
		精神保健の課題と支援1	2	1		2		
		精神保健の課題と支援2	2	2		2		
		人間発達論	2	2		2		
		現代家族論	2	2		2		
		仏教福祉論	2	2		2		
		保育福祉入門	1	1		1		
		保育原理	2	2		2		
		教育原論	2	3		2		
		保育の心理学	2	2		2		
		子ども家庭福祉	2	2		2		
		社会福祉学専門ゼミ1	2	3		2		
		社会福祉学専門ゼミ2	2	4		2		
		ソーシャルワーク演習	2	3		2		
		ソーシャルワーク演習(専門)1	2	4		2		
	学科 専 攻 科 目	卒業研究ゼミ1	2	7	2			必修科目2科目4単位および選択科目のうち「社会福祉学専門ゼミ3」または「ソーシャルワーク演習(専門)2」のいずれか1科目2単位を含み9科目18単位以上、合計11科目22単位以上を履修すること。
		卒業研究ゼミ2	2	8	2			
		卒業レポート	4	8		4		
		社会福祉学専門ゼミ3	2	5		2		
		ソーシャルワーク演習(専門)2	2	5		2		
		ソーシャルワーク演習(専門)3	2	7		2		
		ソーシャルワーク演習(専門)4	2	7		2		
		教育福祉演習	2	6		2		
		キャリアスタディ	1	6		1		
		精神保健福祉援助演習1	2	5		2		
		精神保健福祉援助演習2	2	5		2		
		精神保健福祉援助演習3	2	7		2		
		社会福祉調査の基礎	2	3		2		
		医学概論	2	5		2		
		保健医療と福祉	2	3		2		
		地域福祉と包括的支援体制1	2	3		2		
		地域福祉と包括的支援体制2	2	4		2		
		ソーシャルワークの理論と方法3	2	5		2		
		ソーシャルワークの理論と方法4	2	7		2		
		福祉行財政と福祉計画	2	3		2		
		福祉サービスの組織と経営	2	5		2		
		社会福祉の原理と政策1	2	7		2		
		社会福祉の原理と政策2	2	8		2		
		権利擁護を支える法制度	2	5		2		
		刑事司法と福祉	2	5		2		

系列区分	授業科目の名称	単 位 数	履 修 開 始 セ メ ス タ ー	必修/選択/自由			備考
				必 修	選 択	自 由	
専門科目	学科専攻科目	アジアの社会と福祉	2	2	2		
		欧米の社会と福祉	2	3	2		
		高齢者ケア論	2	3	2		
		障害児者ケア論	2	3	2		
		児童ケア論	2	3	2		
		精神保健福祉制度論	2	5	2		
		精神医学1	2	3	2		
		精神医学2	2	4	2		
		ソーシャルワークの理論と方法(専門)1	2	5	2		
		ソーシャルワークの理論と方法(専門)2	2	7	2		
		精神障害リハビリテーション論	2	7	2		
		介護概論	2	4	2		
		障害児臨床論	2	3	2		
		医療福祉論	2	4	2		
		福祉と協同の思想	2	3	2		
		現代福祉社会論	2	3	2		
		社会政策論1	2	3	2		
		社会政策論2	2	4	2		
		自治体福祉政策論	2	3	2		
		医療政策	2	4	2		
		日本社会福祉史	2	3	2		
		欧米社会福祉史	2	3	2		
		リハビリテーション論	2	5	2		
		心身ケア論	2	3	2		
		居住福祉論	2	3	2		
		国際福祉論	2	3	2		
		保育者論	2	3	2		
		子ども家庭支援の心理学	2	3	2		
		子どもの理解と援助	1	3	1		
		子どもの保健	2	3	2		
		子どもの食と栄養	2	5	2		
		子ども家庭支援論	2	5	2		
		保育の計画と評価	2	5	2		
		保育内容総論	1	3	1		
		保育内容演習「健康」	1	3	1		
		保育内容演習「人間関係」	1	3	1		
		保育内容演習「環境」	1	3	1		
		保育内容演習「言葉」	1	3	1		
		保育内容演習「表現」	1	3	1		
		乳児保育1	2	3	2		
		乳児保育2	1	5	1		
		子どもの健康と安全	1	5	1		
		障害児保育	2	3	2		
		社会的養護2	1	5	1		
		子育て支援	1	3	1		
		保育内容の理解と方法1	1	2	1		
		保育内容の理解と方法2	1	3	1		
		保育内容の理解と方法3	1	2	1		
		保育内容の理解と方法4	1	3	1		
		保育実践演習	2	8	2		

系列区分		授業科目の名称	単 位 数	セ メ ス タ ー 履 修 開 始	必修/選択/自由			備考
					必 修	選 択	自 由	
専 門 科 目	関 連 科 目	心理学と心理的支援	2	3		2		
		社会学と社会システム	2	3		2		
		介護技術指導	1	5		1		
		学童保育概論	2	3		2		
		社会福祉特別講義	2	7		2		
		ピアノ1	1	2		1		
		ピアノ2	1	3		1		
		ピアノ3	1	4		1		
		仏教保育論	2	3		2		
		保育内容特別演習1	2	3		2		
		保育内容特別演習2	2	7		2		
		国際社会福祉特殊講義	2	1		2		
		国際社会福祉研修1	2	1		2		
		国際社会福祉研修2	2	3		2		
		社会福祉総合実習	2	5		2		
		社会福祉総合実習指導	2	5		2		
		職業指導	2	3		2		
		教育心理学	2	2		2		
		発達心理学	2	3		2		
		日本史概論	2	1		2		
		日本史特論	2	2		2		
		東洋史概論	2	1		2		
		西洋史概論	2	1		2		
		地誌学1	2	3		2		
		地誌学2	2	4		2		
		自然地理学1	2	3		2		
		自然地理学2	2	4		2		
		人文地理学1	2	3		2		
		人文地理学2	2	4		2		
		法律学概論1	2	1		2		
		法律学概論2	2	2		2		
		国際政治学	2	1		2		
		社会学概論	2	1		2		
		経済学概論	2	1		2		
		哲学概論	2	2		2		
		宗教学概論	2	1		2		
		倫理学概論	2	1		2		
		社会心理学	2	3		2		
		日本仏教史(仏教伝来～平安)	2	1		2		
		日本仏教史(鎌倉以降)	2	2		2		
		中国仏教史	2	1		2		
		ソーシャルワーク実習指導1	2	4			2	
		ソーシャルワーク実習指導2	2	5			2	
		ソーシャルワーク実習指導3	2	6			2	
		ソーシャルワーク実習1	2	4			2	
		ソーシャルワーク実習2	4	5			4	
		精神保健福祉援助実習指導1	2	5			2	
		精神保健福祉援助実習指導2	2	7			2	
		精神保健福祉援助実習指導3	2	8			2	
		精神保健福祉援助実習1	3	6			3	
		精神保健福祉援助実習2	2	7			2	
		保育実習1A	2	6			2	
		保育実習1B	2	6			2	
		保育実習指導1(事前)	1	5			1	
		保育実習指導1(事後)	1	6			1	
		保育実習2	2	7			2	
		保育実習3	2	7			2	
		保育実習指導2	1	7			1	
		保育実習指導3	1	7			1	

別表第11の6(第16条の6関係)(保健医療技術学部理学療法学科)

系列区分		授業科目の名称	単位数	セメスター 履修開始	必修/選択/自由			備考
					必修	選択	自由	
専門科目	学部基幹科目	医療概論	1	1	1			1科目1単位を履修すること。
	学科基礎科目	入門ゼミ	2	2	2			必修科目33科目52単位を履修すること。
		リハビリテーション医学概論	1	1	1			
		公衆衛生学	1	2	1			
		基礎解剖学	2	1	2			
		解剖学	4	2	4			
		解剖学実習	1	3	1			
		基礎生理学	2	1	2			
		生理学	4	2	4			
		生理学実習	1	3	1			
		病理学概論	1	4	1			
		感染管理学	1	2	1			
		基礎運動学	2	2	2			
		基礎運動学演習	1	3	1			
		基礎運動学実習	1	4	1			
		内科学Ⅰ	2	3	2			
		内科学Ⅱ	2	3	2			
		精神医学	2	4	2			
		臨床心理学	2	4	2			
		神経内科学Ⅰ	1	3	1			
		神経内科学Ⅱ	1	3		1		
		整形外科Ⅰ	2	3	2			
		整形外科Ⅱ	2	4		2		
		脳神経外科学	1	3	1			
		小児科学	1	4	1			
		画像診断学	1	4	1			
		救急医学	1	4	1			
		薬理学	1	5	1			
		栄養学	1	2	1			
		理学療法学概論	1	1	1			
		理学療法研究法	2	5	2			
		理学療法研究法演習Ⅰ	2	6	2			
		理学療法評価学Ⅰ	2	2	2			
		理学療法評価学Ⅱ	2	3	2			
		理学療法評価学演習Ⅰ	1	4	1			
		理学療法評価学演習Ⅱ	1	4	1			
	学科専攻科目	運動療法学	2	4	2			必修科目26科目49単位を履修すること。
		運動療法学実習	1	5	1			
		運動器系理学療法学	2	5	2			
		運動器系理学療法学演習	1	6	1			
		中枢神経系理学療法学	2	5	2			
		中枢神経系理学療法学演習	1	6	1			
		内部障害理学療法学Ⅰ	1	5	1			
		内部障害理学療法学Ⅱ	1	5	1			
		内部障害理学療法学演習	1	6	1			

系列区分		授業科目の名称	単 位 数	履 修 開 始 セ メ ス タ ー	必修/選択/自由			備考
					必 修	選 択	自 由	
専門科目	学科専攻科目	神経筋障害理学療法学	1	5	1			
		神経筋障害理学療法学演習	1	6	1			
		装具学	2	5	2			
		義肢学	1	6	1			
		物理療法学	2	5	2			
		物理療法学演習	1	6	1			
		日常生活動作学	1	5	1			
		小児理学療法学	1	5	1			
		地域リハビリテーション論	2	2	2			
		地域理学療法学	1	5	1			
		健康増進理学療法	1	6	1			
		福祉用具論	1	4		1		
		臨床バイオメカニクス	1	6		1		
		理学療法技術論Ⅰ	2	4		2		
		理学療法技術論Ⅱ	1	6		1		
		臨床基礎実習	2	4	2			
		臨床評価実習	4	6	4			
		総合臨床実習Ⅰ	7	7	7			
		総合臨床実習Ⅱ	7	7	7			
		理学療法研究法演習Ⅱ	2	8	2			
		臨床理学療法特論Ⅰ	1	6	1			
		臨床理学療法特論Ⅱ	1	8		1		
	関連科目	生化学	2	1		2		2単位以上履修すること。
		高齢者ケア論	2	3		2		
		障害児者ケア論	2	3		2		
		居住福祉論	2	3		2		
		精神保健福祉論	2	3		2		
		医学一般	2	3		2		
		精神科リハビリテーション学	1	5		1		
		神経リハビリテーション学	2	4		2		
		健康科学論	2	5		2		
		スポーツ理学療法学Ⅰ	1	5		1		
		スポーツ理学療法学Ⅱ	1	8		1		
		地域ケア論	1	8		1		
		障がい者スポーツ論	2	1			2	
		障がい者スポーツ演習	2	2			2	

別表第11の7(第16条の7関係)(保健医療技術学部作業療法学科)

系列区分		授業科目の名称	単 位 数	セ メ ス タ ー 履 修 開 始	必修/選択/自由			備考
					必 修	選 択	自 由	
専門科目	学部基礎科目	医療概論	1	1	1			1科目1単位を履修すること。
	学科基礎科目	入門ゼミ	2	2	2			必修科目38科目55単位を履修すること。
		リハビリテーション医学概論	1	1	1			
		基礎解剖学	2	1	2			
		解剖学	4	2	4			
		解剖学実習	1	3	1			
		基礎生理学	2	1	2			
		生理学	4	2	4			
		生理学実習	1	3	1			
		病理学概論	1	4	1			
		公衆衛生学	1	2	1			
		感染管理学	1	2	1			
		基礎運動学	1	2	1			
		基礎運動学演習	1	2	1			
		内科学Ⅰ	2	3	2			
		内科学Ⅱ	2	3	2			
		精神医学	2	4	2			
		臨床心理学	2	4	2			
		神経内科学Ⅰ	1	3	1			
		神経内科学Ⅱ	1	3		1		
		整形外科Ⅰ	2	3	2			
		整形外科Ⅱ	2	4		2		
		脳神経外科学	1	3	1			
		小児科学	1	4	1			
		画像診断学	1	4	1			
		救急医学	1	4	1			
		薬理学	1	5	1			
		栄養学	1	2	1			
		基礎作業学	2	3	2			
		基礎作業学演習	1	4	1			
		作業療法学概論	2	1	2			
		作業療法研究方法論	1	6	1			
		作業療法管理運営論	2	6	2			
		作業療法評価学総論	1	3	1			
		作業療法評価学演習	1	5	1			
		日常生活機能評価学演習	1	4	1			
		感覚・運動系評価学演習	1	3	1			
		精神・社会系評価学演習	1	4	1			
		発達系評価学演習	1	3	1			
		高次脳機能系評価学演習	1	5	1			
		作業療法コミュニケーション学	1	3	1			
		作業療法特論	2	6		2		
	学科専攻科目	感覚・運動系作業治療学Ⅰ	2	4	2			21科目47単位を履修すること。
		感覚・運動系作業治療学Ⅱ	2	5	2			
		感覚・運動系作業治療学演習	1	6	1			
		精神・社会系作業治療学	2	5	2			
		精神・社会系作業治療学演習	1	6	1			

系列区分		授業科目の名称	単 位 数	セ メ ス タ ー 履 修 開 始	必修/選択/自由			備考
					必 修	選 択	自 由	
専 門 科 目	学 科 専 攻 科 目	発達系作業治療学	2	5	2			
		発達系作業治療学演習	1	6	1			
		高次脳機能系作業治療学	2	6	2			
		地域作業治療学	2	3	2			
		地域作業治療学演習	1	8	1			
		老年期作業治療学	2	4	2			
		生活行為援助論	1	5	1			
		生活行為援助論演習	1	5	1			
		リハビリテーション工学演習	1	6	1			
		臨床見学実習	1	1	1			
		地域実習Ⅰ	1	4	1			
		臨床評価実習	3	6	3			
		総合臨床実習Ⅰ	8	7	8			
		総合臨床実習Ⅱ	8	7	8			
		地域実習Ⅱ	3	8	3			
		卒業研究	2	8	2			
		作業療法総合演習	1	8		1		
	関 連 科 目	生化学	2	1		2		1科目1単位以上履修すること
		高齢者ケア論	2	3		2		
		障害児者ケア論	2	3		2		
		居住福祉論	2	3		2		
		精神保健福祉論	2	3		2		
		医学一般	2	3		2		
		精神科リハビリテーション学	1	5		1		
		健康科学論	2	5		2		
		障がい者スポーツ論	2	1			2	
		障がい者スポーツ演習	2	2			2	

別表第11の8（第16条の8関係）（看護学部看護学科）

系列区分		授業科目の名称	単位数	履修開始 セメスター	必修/選択/自由			備考
					必修	選択	自由	
専門科目	学部基幹科目	医療概論	1	1	1			1科目1単位を履修すること。
	学科基礎科目	アカデミック・スキルズ	2	2	2			15科目28単位を履修すること。
		仏教看護	1	3	1			
		基礎解剖学	2	1	2			
		基礎生理学	2	1	2			
		病理学概論	2	2	2			
		栄養学	2	2	2			
		疾病論Ⅰ	2	2	2			
		疾病論Ⅱ	2	2	2			
		疾病論Ⅲ	2	3	2			
		疾病論Ⅳ	2	3	2			
		薬理学	1	3	1			
		公衆衛生学	2	3	2			
		社会福祉	2	2	2			
		保健医療福祉行政論	2	3	2			
		保健統計学	2	4	2			
	学科専攻科目	看護学概論	2	1	2			必修科目69単位を履修すること。 なお、「保健師国家試験受験資格」を希望する場合は、選択科目9科目19単位をあわせて履修すること。
		看護実践基盤技術論	2	1	2			
		フィジカルアセスメント技術	1	2	1			
		生活行動援助技術論	2	2	2			
		看護過程論	1	3	1			
		診療援助技術論Ⅰ	1	3	1			
		診療援助技術論Ⅱ	1	4	1			
		基礎看護学実習Ⅰ	1	2	1			
		基礎看護学実習Ⅱ	2	3	2			
		コミュニティ実習	1	1	1			
		地域・在宅看護学概論	1	2	1			
		地域・在宅看護方法論Ⅰ	2	3	2			
		地域・在宅看護方法論Ⅱ	1	5	1			
		地域・在宅看護学実習	2	6	2			
		クリティカルケア看護学Ⅰ	2	4	2			
		クリティカルケア看護学Ⅱ	1	5	1			
		クリティカルケア看護学実習	3	6	3			
		慢性看護学Ⅰ	2	4	2			
		慢性看護学Ⅱ	1	5	1			
		慢性看護学実習	3	6	3			
		老年看護学概論	1	3	1			
		老年看護方法論Ⅰ	2	4	2			
		老年看護方法論Ⅱ	1	5	1			

専門科目	学科専攻科目	老年看護学実習	3	6	3		
		小児看護学概論	1	3	1		
		小児看護方法論Ⅰ	2	4	2		
		小児看護方法論Ⅱ	1	5	1		
		小児看護学実習	2	7	2		
		母性看護学概論	1	3	1		
		母性看護方法論Ⅰ	2	4	2		
		母性看護方法論Ⅱ	1	5	1		
		母性看護学実習	2	7	2		
		精神看護学概論	1	3	1		
		精神看護方法論Ⅰ	2	4	2		
		精神看護方法論Ⅱ	1	5	1		
		精神看護学実習	2	7	2		
		公衆衛生看護学概論	2	4	2		
		公衆衛生看護方法論Ⅰ	2	4		2	
		公衆衛生看護方法論Ⅱ	2	5		2	
		公衆衛生看護展開論Ⅰ	2	5		2	
		公衆衛生看護展開論Ⅱ	2	5		2	
		公衆衛生看護管理論Ⅰ	2	5		2	
		公衆衛生看護管理論Ⅱ	2	5		2	
		公衆衛生看護活動論	2	7		2	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	1	7		1	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	4	7		4	
		国際看護学	1	3	1		
		災害看護学	1	5	1		
		エンドオブライフケア論	1	5	1		
		ホリスティックケアアプローチ	1	5	1		
		看護倫理学	1	7	1		
		看護マネジメント	1	8	1		
		看護研究Ⅰ	1	7	1		
		看護研究Ⅱ	1	8	1		
		統合実践看護実習	2	7	2		
	関連科目	生化学	2	1		2	学科専攻科目の選択科目「公衆衛生看護方法論Ⅰ」および関連科目から 合計6単位以上を履修すること。 「保健師国家試験受験資格」を希望する場合、「看護疫学」を履修すること。
		感染免疫学	1	2		1	
		臨床心理学	1	3		1	
		看護疫学	2	4		2	
		看護教育学	1	8		1	
		クリティカルケア看護実践	1	8		1	
		臨床推論	1	8		1	

別表第12（第17条関係）（教育職員免許状取得に関わる科目）

中学校・高等学校

授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択	
中等教科教育法社会1 中等教科教育法社会2 中等教科教育法社会3 中等教科教育法社会4 中等教科教育法社会・地理歴史1 中等教科教育法社会・地理歴史2 中等教科教育法社会・公民1 中等教科教育法社会・公民2 中等教科教育法国語1 中等教科教育法国語2 中等教科教育法国語3 中等教科教育法国語4 中等教科教育法書道1 中等教科教育法書道2 中等教科教育法英語1 中等教科教育法英語2 中等教科教育法英語3 中等教科教育法英語4 中等教科教育法中国語1 中等教科教育法中国語2 中等教科教育法中国語3 中等教科教育法中国語4 中等教科教育法宗教1 中等教科教育法宗教2 中等教科教育法宗教3 中等教科教育法宗教4 中等教科教育法数学1 中等教科教育法数学2 中等教科教育法数学3 中等教科教育法数学4 中等教科教育法情報1 中等教科教育法情報2 中等教科教育法福祉1 中等教科教育法福祉2	中8 ・ 高4		中等教科教育法は、受けようとする免許教科ごとに、中一種の場合は1・2・3・4の4科目8単位、高一種の場合は1・2の2科目4単位を履修すること。 但し、中学校社会と高校地歴を取得希望する場合は、「中等教科教育法社会1」「中等教科教育法社会2」「中等教科教育法社会・地理歴史1」「中等教科教育法社会・地理歴史2」の4科目8単位、中学校社会と高校公民を取得希望する場合は、「中等教科教育法社会1」「中等教科教育法社会2」「中等教科教育法社会・公民1」「中等教科教育法社会・公民2」の4科目8単位を履修すること。
教育原論	2		
教育原論2		2	
学校教育職入門	2		
教育行政学		2	
教育行政学2		2	
教育社会学	2		
教育社会学2		2	
比較教育学		2	
教育心理学	2		
教育心理学2		2	
発達心理学		2	
特別な教育的ニーズの理解とその支援	1		
学校教育課程論	2		
道徳の理論及び指導法		2	
総合的な学習の時間の指導法	2		
特別活動の指導法	2		
教育方法論（ICT活用含む）	2		
教育方法論（ICT活用含む）2		2	
教育評価論		2	
ICTの活用及び教育		2	
生徒指導・進路指導の理論及び方法	2		
教育相談の理論及び方法	2		

中一種の場合は必修とする。

教育実習（小・中）1		2	中一種の場合、教育実習（小・中）1・教育実習（小・中）2または教育実習（中・高）1・教育実習（中・高）2の2科目4単位の選択必修とする。 高一種の場合、教育実習（中・高）1または教育実習（中・高）2の1科目2単位の選択必修とする。 中一種の場合、教育実習指導（小・中）または教育実習指導（中・高）の1科目1単位の選択必修とする。 高一種の場合、教育実習指導（中・高）の1科目1単位の必修とする。
教育実習（小・中）2		2	
教育実習（中・高）1		2	
教育実習（中・高）2		2	
教育実習指導（小・中）		1	
教育実習指導（中・高）		1	
教職実践演習（教諭）	2		
合 計	中一種:38単位 高一種:30単位		

小 学 校

授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択	
初等教育内容国語		2	5科目10単位の選択必修とする。
初等教育内容社会		2	
初等教育内容算数		2	
初等教育内容理科		2	
初等教育内容生活		2	
初等教育内容音楽		2	
初等教育内容図画工作		2	
初等教育内容家庭		2	
初等教育内容体育		2	
初等教育内容外国語		2	
初等国語教育法	2		
初等社会教育法	2		
初等算数教育法	2		
初等理科教育法	2		
初等生活教育法	2		
初等音楽教育法	2		
初等図画工作教育法	2		
初等家庭教育法	2		
初等体育教育法	2		
初等外国語教育法	2		
教育原論	2		
教育原論2		2	
学校教育職入門	2		
教育行政学		2	
教育行政学2		2	
教育社会学	2		
教育社会学2		2	
比較教育学		2	
教育心理学	2		
教育心理学2		2	
発達心理学		2	
特別な教育的ニーズの理解とその支援	1		
学校教育課程論	2		
道徳の理論及び指導法	2		
総合的な学習の時間の指導法	2		
特別活動の指導法	2		
教育方法論（ICT活用含む）	2		
教育方法論（ICT活用含む）2		2	
教育評価論		2	

ICTの活用及び教育		2	教育実習（小）1、教育実習（小）2・教育実習（小）3、教育実習（幼・小）1・教育実習（幼・小）2、教育実習（小・中）1・教育実習（小・中）2のいずれか4単位の選択必修とする。 教育実習指導（小）、教育実習指導（幼・小）、教育実習指導（小・中）のいずれか1科目1単位の選択必修とする。
生徒指導・進路指導の理論及び方法	2		
教育相談の理論及び方法	2		
教育実習（小）1		4	
教育実習（小）2		2	
教育実習（小）3		2	
教育実習（幼・小）1		2	
教育実習（幼・小）2		2	
教育実習（小・中）1		2	
教育実習（小・中）2		2	
教育実習指導（小）		1	
教育実習指導（幼・小）		1	
教育実習指導（小・中）		1	
教職実践演習（教諭）	2		
合 計	60		

幼 稚 園

授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択	
幼児と健康		2	5科目10単位の選択必修とする。
幼児と人間関係		2	
幼児と環境		2	
幼児と言葉		2	
幼児と表現（造形）		2	
幼児と表現（音楽）		2	
幼児と表現（身体）		2	
保育内容の理論と方法「健康」	2		
保育内容の理論と方法「人間関係」	2		
保育内容の理論と方法「環境」	2		
保育内容の理論と方法「言葉」	2		
保育内容の理論と方法「造形表現」	2		
保育内容の理論と方法「音楽表現」	2		
保育内容の理論と方法「身体表現」		2	
教育原論	2		
教育原論2		2	
教師・保育者論	2		
教育行政学		2	
教育行政学2		2	
教育社会学	2		
教育社会学2		2	
比較教育学		2	
教育心理学	2		
教育心理学2		2	
発達心理学		2	
特別な教育的ニーズの理解とその支援	1		
幼児教育・保育課程論	2		
保育の内容及び方法	2		
教育評価論		2	
ICTの活用及び教育		2	
幼児理解及び保育相談	2		
教育実習（幼）1		4	
教育実習（幼）2		2	
教育実習（幼）3		2	
教育実習（幼・小）1	2		
教育実習（幼・小）2	2		
教育実習指導（幼）		1	
教育実習指導（幼・小）	1		
教職実践演習（教諭）		2	
保育・教職実践演習（教諭）		2	
合 計	44		

特別支援学校

授 業 科 目	単位		備考
	必修	選択	
特別支援教育総論	2		
特別支援教育基礎理論		2	
特別支援教育基礎理論 2		2	
知的障害児の心理	2		
知的障害児の生理・病理	2		
肢体不自由児の心理・生理・病理	2		
病弱虚弱児の心理・生理・病理	2		
知的障害教育Ⅰ	2		
知的障害教育Ⅱ	2		
肢体不自由児の指導法	2		
病弱虚弱児の指導法	2		
視覚障害教育総論	2		
聴覚障害教育総論	2		
重複障害・発達障害児の指導法	2		
教育実習(特支)	2		
教育実習指導(特支)	1		
合 計	27		

別表第13(第19条関係)(学校図書館司書教諭資格)

学校図書館司書教諭に関する専門科目

法 定 基 準	単位	授 業 科 目 名	単 位		備 考
			必修	選択	
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2		必修科目5科目10単位を履修すること。
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2		
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2		
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2		
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2		
計	10	合 計	10		

別表第14(第20条関係)(図書館司書資格)

図書館司書に関する専門科目

群	法 定 基 準	単位	授 業 科 目	単 位		備 考
				必修	選択	
甲 群	生涯学習概論	2	生涯学習概論	2		
	図書館概論	2	図書館概論	2		
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2		
	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2		
	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2		
	情報サービス論	2	情報サービス論	2		
	児童サービス論	2	児童サービス論	2		
	情報サービス演習	2	情報サービス演習1	2		
			情報サービス演習2	2		
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2		
	情報資源組織論	2	情報資源組織論	2		
	情報資源組織演習	2	情報資源組織演習1	2		
			情報資源組織演習2	2		
	小 計	22	小 計	26		
乙 群	図書・図書館史	1	図書・図書館史		2	2科目2単位以上選択履修すること。 ただし、「図書館実習」を登録するには、「図書館基礎特論」を合わせて登録履修すること。
	図書館情報資源特論	1	図書館情報資源特論		2	
	図書館施設論	1	本学基準授業科目設定なし		2	
	図書館サービス特論	1	図書館サービス特論		2	
	図書館総合演習	1	図書館総合演習		2	
	図書館基礎特論	1	図書館基礎特論		1	
	図書館実習	1	図書館実習		1	
	小 計	2	選択科目2科目2単位以上			
計		24	28単位以上			

別表第15（第21条関係）（社会教育主事資格）

社会教育主事に関する専門科目

法 定 基 準		本 学 基 準			備 考
科 目	単位	授 業 科 目	単 位		
			必修	選択	
生涯学習概論	4	生涯学習概論 生涯学習概論 2	2 2		
生涯学習支援論	4	レクリエーション概論 男女共同参画論	2 2		
社会教育経営論	4	教育行政学 NPO法人マネジメント論	2 2		
社会教育特講	8	教育原論 教育社会学 人権（同和）教育 教育心理学 図書館概論 博物館学Ⅰ	 2 2	2 2 2 2 2 2	
社会教育実習	1	社会教育実習	1		
社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究 のうち一以上の科目	3	社会教育演習 社会教育課題研究	2 2		
	24	計	25		

別表第16（第22条関係）（博物館学芸員資格）

博物館学芸員に関する専門科目

区分	法 定 基 準	単位	授 業 科 目		単 位		備 考
					必修	選択	
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論		2		・「博物館実習講義」，「博物館実習Ⅰ」，「博物館実習Ⅱ」，及び「博物館実習Ⅲ」は段階履修すること。 従って「博物館実習講義」1単位を未履修の場合，「博物館実習Ⅰ」の登録履修はできない。
	博物館概論	2	博物館学Ⅰ		2		
	博物館経営論	2	博物館学Ⅱ		2		
	博物館資料論	2	博物館学Ⅲ		2		
	博物館資料保存論	2	博物館学Ⅳ		2		
	博物館展示論	2	博物館学Ⅴ		2		
	博物館教育論	2	博物館学Ⅵ		2		
	博物館実習	3	博物館実習講義 博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ 博物館実習Ⅲ		1 1 1 1		
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論		2		
	小 計	19	小 計		20		
選択科目			文化史	日本史概論		2	文化史，美術史，考古学，民俗学の4領域のうちの3領域以上にわたって履修し、各領域につき4単位以上、計12単位以上を履修すること。
				日本思想史		2	
				日本文化史		2	
				東洋史概論		2	
				東北アジア史		2	
				東洋文化史		2	
				東洋思想史		2	
				西洋史概論		2	
				西洋文化史		2	
				西洋思想史		2	
			美術史	西洋美術史		2	
				芸術文化概論		2	
			考古学	考古学		2	
				文化財学特論		2	
		民俗学	民俗学		2		
			民俗文化概論		2		
		3領域以上12単位以上					
		19	32単位以上				

別表第17（第23条関係）（保育士資格）

保育士に関する専門科目

〔教育学部幼児教育学科適用〕

法定基準					授業科目	単位	備考
区分	系列	教科目	単位				
			設置	履修			
必修科目	保育に関する本質・科目目的	保育原理(講義)	2	2	保育原理	2	
		教育原理(講義)	2	2	教育原論	2	
		子ども家庭福祉(講義)	2	2	子ども家庭福祉	2	
		社会福祉(講義)	2	2	社会福祉援助技術論1	2	
		子ども家庭支援論(講義)	2	2	子ども家庭支援論	2	
		社会的養護Ⅰ(講義)	2	2	社会的養護1	2	
		保育者論(講義)	2	2	教師・保育者論	2	
	保育の理解に関する科目	保育の心理学(講義)	2	2	教育心理学	2	
		子ども家庭支援の心理学(講義)	2	2	子ども家庭支援の心理学	2	
		子どもの理解と援助(演習)	1	1	幼児理解及び保育相談	2	
		子どもの保健(講義)	2	2	子どもの保健	2	
		子どもの食と栄養(演習)	2	2	子どもの食と栄養	2	
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価(講義)	2	2	幼児教育・保育課程論	2	
		保育内容総論 (演習)	1	1	保育の内容及び方法	2	
		保育内容演習(演習)	5	5	保育内容の理論と方法「健康」	2	
		保育内容の理解と方法(演習)	4	4	保育内容の理論と方法「人間関係」	2	
					保育内容の理論と方法「環境」	2	
					保育内容の理論と方法「言葉」	2	
					保育内容の理論と方法「音楽表現」	2	
					保育内容の理論と方法「造形表現」	2	
					保育内容の理論と方法「身体表現」	2	
		乳児保育Ⅰ(講義)	2	2	乳児保育1	2	
		乳児保育Ⅱ(演習)	1	1	乳児保育2	1	
		子どもの健康と安全(演習)	1	1	子どもの健康と安全	1	
		障害児保育(演習)	2	2	障害児保育	2	
		社会的養護Ⅱ(演習)	1	1	社会的養護2	1	
		子育て支援(演習)	1	1	子育て支援	1	
	保育実習	保育実習Ⅰ (実習)	4	4	保育実習1A	2	
					保育実習1B	2	
		保育実習指導Ⅰ (演習)	2	2	保育実習指導1(事前)	1	
					保育実習指導1(事後)	1	
	演習総合	保育実践演習 (演習)	2	2	保育・教職実践演習(教諭)	2	いずれかを選択履修
				保育実践演習	2		
	小 計			51	51		58
選択必修科目	保育の本質・目的に関する科目		15単位以上	6単位以上	教育行政学	2	
					教育社会学	2	
	比較教育学	2					
	臨床教育学	2					
	発達心理学	2					
	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1					
	ピアノ指導1	1					
	ピアノ指導2	1					
	ピアノ指導3	1					
	ピアノ指導4	1					
	保育実習	保育実習Ⅱ (実習)	2	3単位以上	保育実習2	2	
		保育実習指導Ⅱ (演習)	1		保育実習指導2	1	
		保育実習Ⅲ (実習)	2		保育実習3	2	
		保育実習指導Ⅲ (演習)	1		保育実習指導3	1	
	小 計			18以上	9以上	小 計	21
合 計			69以上	60以上	合計 67単位以上		

〔社会福祉学部社会福祉学科適用〕

法定基準								
区分	系列	教科目	単位		授業科目	単位	備考	
			設置	履修				
必修科目	保育の本質・目的	保育原理(講義)	2	2	保育原理	2		
		教育原理(講義)	2	2	教育原論	2		
		子ども家庭福祉(講義)	2	2	子ども家庭福祉	2		
		社会福祉(講義)	2	2	社会福祉援助技術論1	2		
		子ども家庭支援論(講義)	2	2	子ども家庭支援論	2		
		社会的養護Ⅰ(講義)	2	2	社会的養護1	2		
		保育者論(講義)	2	2	保育者論	2		
	理解・保育の目的に関する科目	保育の心理学(講義)	2	2	保育の心理学	2		
		子ども家庭支援の心理学(講義)	2	2	子ども家庭支援の心理学	2		
		子どもの理解と援助(演習)	1	1	子どもの理解と援助	1		
		子どもの保健(講義)	2	2	子どもの保健	2		
		子どもの食と栄養(演習)	2	2	子どもの食と栄養	2		
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価(講義)	2	2	保育の計画と評価	2		
		保育内容総論(演習)	1	1	保育内容総論	1		
		保育内容演習(演習)	5	5	保育内容演習「健康」	1		
					保育内容演習「人間関係」	1		
					保育内容演習「環境」	1		
					保育内容演習「言葉」	1		
					保育内容演習「表現」	1		
		保育内容の理解と方法(演習)	4	4	保育内容の理解と方法1	1		
					保育内容の理解と方法2	1		
					保育内容の理解と方法3	1		
					保育内容の理解と方法4	1		
		乳児保育Ⅰ(講義)	2	2	乳児保育1	2		
		乳児保育Ⅱ(演習)	1	1	乳児保育2	1		
		子どもの健康と安全(演習)	1	1	子どもの健康と安全	1		
		障害児保育(演習)	2	2	障害児保育	2		
		社会的養護Ⅱ(演習)	1	1	社会的養護2	1		
		子育て支援(演習)	1	1	子育て支援	1		
	保育実習	保育実習Ⅰ(実習)	4	4	保育実習1A	2		
					保育実習1B	2		
		保育実習指導(演習)	2	2	保育実習指導1(事前)	1		
					保育実習指導1(事後)	1		
	総合演習	保育実践演習(演習)	2	2	保育・教職実践演習(教諭)	2	いずれかを選択履修	
					保育実践演習	2		
	小計			51	51		51	
選択必修科目	保育の本質・目的に関する科目		15単位以上	6単位以上	現代の社会問題	2		
					福祉とケアの倫理	2		
					人権と福祉	2		
	保育福祉入門	1						
	教育心理学	2						
	障害児臨床論	2						
	保育内容特別演習1	2						
	保育内容特別演習2	2						
	ピアノ1	1						
	ピアノ2	1						
	ピアノ3	1						
	保育実習	保育実習Ⅱ(実習)		2	3単位以上	保育実習2	2	
		保育実習指導Ⅱ(演習)		1		保育実習指導2	1	
		保育実習Ⅲ(実習)		2		保育実習3	2	
		保育実習指導Ⅲ(演習)		1		保育実習指導3	1	
	小計			18以上	9以上	小計	24	
合計			69以上	60以上	合計 60単位以上			

別表第18（第24条関係）（社会福祉士国家試験受験資格）

社会福祉士国家試験受験資格を得るための専門科目

指 定 科 目	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
医学概論	医学概論	2		
心理学と心理的支援	心理学と心理的支援	2		
社会学と社会システム	社会学と社会システム	2		
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策1	2		
	社会福祉の原理と政策2	2		
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2		
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	2		
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2		
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法1	2		
	ソーシャルワークの理論と方法2	2		
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法3	2		
	ソーシャルワークの理論と方法4	2		
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制1	2		
	地域福祉と包括的支援体制2	2		
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2		
社会保障	社会保障論1	2		
	社会保障論2	2		
高齢者福祉	高齢者福祉論	2		
障害者福祉	障害児者福祉論	2		
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉論	2		
貧困に対する支援	貧困に対する支援	2		
保健医療と福祉	保健医療と福祉	2		
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2		
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2		
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	2		
ソーシャルワーク演習（専門）	ソーシャルワーク演習（専門） 1	2		
	ソーシャルワーク演習（専門） 2	2		
	ソーシャルワーク演習（専門） 3	2		
	ソーシャルワーク演習（専門） 4	2		
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導1	2		
	ソーシャルワーク実習指導2	2		
	ソーシャルワーク実習指導3	2		
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習1	2		
	ソーシャルワーク実習2	4		
計		70		

別表第18の2（第24条の2関係）（精神保健福祉士国家試験受験資格）

精神保健福祉士国家試験受験資格を得るための専門科目

指 定 科 目	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
医学概論	医学概論	2		
心理学と心理的支援	心理学と心理的支援	2		
社会学と社会システム	社会学と社会システム	2		
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策1	2		
	社会福祉の原理と政策2	2		
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制1	2		
	地域福祉と包括的支援体制2	2		
社会保障	社会保障論1	2		
	社会保障論2	2		
障害者福祉	障害児者福祉論	2		
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2		
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2		
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2		
精神医学と精神医療	精神医学1	2		
	精神医学2	2		
現代の精神保健の課題と支援	精神保健の課題と支援1	2		
	精神保健の課題と支援2	2		
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	2		
精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理1	2		
	精神保健福祉の原理2	2		
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法1	2		
	ソーシャルワークの理論と方法2	2		
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法（専門）1	2		
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）2	2		
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	2		
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	2		
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	2		
ソーシャルワーク演習（専門）	精神保健福祉援助演習1	2		
	精神保健福祉援助演習2	2		
	精神保健福祉援助演習3	2		
ソーシャルワーク実習指導	精神保健福祉援助実習指導1	2		
	精神保健福祉援助実習指導2	2		
	精神保健福祉援助実習指導3	2		
ソーシャルワーク実習	精神保健福祉援助実習1	3		
	精神保健福祉援助実習2	2		
計		71		

別表第18の3（第24条の6関係）（保健師国家試験受験資格）

教育内容		授業科目	単位		備考
			必修	選択	
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	公衆衛生看護学概論	2		
	個人・家族・集団・組織の支援	公衆衛生看護方法論Ⅰ	2		
		公衆衛生看護方法論Ⅱ	2		
	公衆衛生看護活動展開論	公衆衛生看護展開論Ⅰ	2		
		公衆衛生看護展開論Ⅱ	2		
	公衆衛生看護管理論	公衆衛生看護管理論Ⅰ	2		
		公衆衛生看護管理論Ⅱ	2		
		公衆衛生看護活動論	2		
疫学		看護疫学	2		
保健統計学		保健統計学	2		
保健医療福祉行政論		公衆衛生学	2		
		保健医療福祉行政論	2		
看護学実習	個人・家族・集団・組織の支援実習	公衆衛生看護学実習Ⅰ	1		
	公衆衛生看護活動展開論実習	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4		
	公衆衛生看護管理論実習				

別表第19（第25条関係）（浄土宗教師資格等）

浄土宗教師資格に関する専門科目

	宗定基準					本学基準				
	科目	僧階		教階	学階	授業科目	入行資格	少・輔・得	少・輔・擬	備考
		律師	少僧都					最低修得単位	最低修得単位	
浄土学に関する科目	法然上人の生涯と思想					法然の生涯と教え	●	2	2	
	浄土学の基礎					浄土学の基礎	●	2	2	
	三部経の思想					浄土三部経研究1(無量寿経)	●	2	2	
	浄土宗日常勤行式の解説					日常勤行式の解説	●	2	2	
	浄土教の歴史	12	12			浄土教史	○(※1)	2(※1)	2(※1)	※1の内、いずれか1科目2単位を選択履修
	選択集の思想					選択集研究1	●	2	2	
	浄土宗の歴史					浄土宗史	○(※1)	2(※1)	2(※1)	※1の内、いずれか1科目2単位を選択履修
	浄土教の思想と展開(三部経・選択集・三巻書・円頓戒等)	12	12	6		浄土三部経研究2(観経・阿弥陀経)		2	2	
						選択集研究2		2	2	
						伝書2		2	2	
						円頓戒2		2	2	
						浄土学研究		4	10	擬講取得希望者は、5科目10単位を選択履修 得業取得希望者は、2科目4単位を選択履修
						浄土宗学研究				
						浄土学講読				
						浄土宗学講読				
						浄土学演習				
						浄土宗学演習				
	法然門下の思想					法然門流研究				
仏教学に関する科目	釈尊の生涯と思想					ブツダの生涯と教え	●	2	2	
	仏教学の基礎					仏教学の基礎	●	2	2	
	日本仏教の歴史と教え	6	6			日本仏教史(仏教伝来～平安)	●	2	2	
						仏教学研究(日本)				擬講取得希望者は、1科目2単位を選択履修
						仏教学講読(日本)				
						仏教学演習(日本)				
						仏教文化学研究(日本)			2	
						仏教文化学講読				
						仏教文化学演習				
	仏教の受容と展開	6	6	4		仏教学研究(初期・部派)		6	8	擬講取得希望者は、「日本仏教史(鎌倉以降)」を含み4科目8単位を選択履修 得業取得希望者は、「日本仏教史(鎌倉以降)」を含み3科目6単位を選択履修
						仏教学研究(大乘・チベット)				
						仏教学研究(中国)				
						仏教学講読(初期・部派)				
						仏教学講読(大乘・チベット)				
						仏教学講読(中国)				
						仏教学演習(初期・部派)				
						仏教学演習(大乘・チベット)				
						仏教学演習(中国)				
						日本仏教史(鎌倉以降)				
	仏教史					インド仏教史				
						アジア仏教史(チベット・東南アジア)				
						アジア仏教史(韓国)				
						中国仏教史				
						宗教史				
	各宗の概要等					宗派仏教				
現代社会と教団に関する科目	現代社会と人間									
	浄土宗と加行(伝法と円頓戒)					伝書1	●	2	2	
	宗教法制					円頓戒1	●	2	2	
	仏教と人権	6	6			宗教法制	●	2	2	
	仏教の儀礼と儀式					人権(同和)教育	●	2	2	
						伝統文化研究(茶道)		4	4	「仏教と現代社会の諸問題」を含み2科目4単位を選択履修
						伝統文化研究(華道)				
						伝統文化研究(書道)				
						伝統文化研究(儀礼・音楽)				
						宗教学概論				
	宗教学・社会福祉学・臨床心理学等の概論科目			4		哲学概論				
						倫理学概論				
						現代社会と福祉				
						心の世界を考える				
						仏教と現代社会の諸問題				

僧侶の実践に関する科目	法式(初級)	12	12		法式実習1	●	1	1	
					法式実習2	●	1	1	
					法務実習(初級)1	●	2	2	
					法務実習(初級)2	●	2	2	
	法式(上級)				法務実習(中級)1	●	1	1	
					法務実習(中級)2	●	1	1	
					法務実習(上級)1	●	1	1	
					法務実習(上級)2	●	1	1	
					法務実習(特級)1				
					法務実習(特級)2				
	伝道Ⅰ(念仏講話)				伝道学1(念仏講話)	●	2	2	
	詠唱				詠唱1	●	1	1	
					詠唱2	●	1	1	
	伝道Ⅱ			2	伝道学2		2	2	
上記単位以外の条件						加行入行年度の春学期までに●印および○印の科目を履修すること ○印は、対象科目の内1科目を履修すること	別表1	別表2	

別表1

- ①必修48単位選択16単位計64単位を履修すること
②佛教大学を卒業または佛教大学大学院を修了すること

別表2

- ①必修48単位選択26単位計74単位を履修すること
②浄土学若しくは仏教学関連の卒業論文、修士論文を提出し、合格すること
③佛教大学を卒業または佛教大学大学院を修了すること

浄土宗開教使に関する専門科目

区分	宗定基準		授業科目	単位		備考
	科目	単位		必修	選択	
1	開教概論	開教概論1(歴史と基礎知識) 開教概論2(方法と実践)	2 2			
2	キリスト教神学	宗教学概論 宗教史 西洋史概論			2 2 2	2科目4単位を選択履修すること
3	英会話	開教英語 Integrated Communication Skills1 Integrated Communication Skills2 初級英語会話1 初級英語会話2	2		1 1 1 1	必修科目1科目2単位を含み、4単位を選択履修すること
4	時事英語	世界のニュースと日本	2			
5	英作文	Academic Writing1 Academic Writing2 英文法			2 2 2	2科目4単位を選択履修すること
6	宗教教育	宗教教育論 視聴覚教育メディア論 生涯学習概論 仏教と現代社会の諸問題			2 2 2 2	2科目4単位を選択履修すること
7	書道 音楽 美術 仏教芸術 詠唱	書道1 書道2 伝統文化研究(書道) 伝統文化研究(儀礼・音楽) 仏教美術研究(インド・中国) 仏教美術研究(日本) 仏教文化学研究(インド・中国) 仏教文化学研究(日本) 仏教と文化財 詠唱1 詠唱2			2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1	2科目4単位を選択履修すること

浄土宗社会教化主事資格

宗定基準		授業科目	単位		備考
科目	単位		必修	選択	
社会教化概論	4	人権(同和)教育 仏教と現代社会の諸問題	2 2		
社会教化各論	12	宗教法制 教育原論 教育心理学 教育社会学 生涯学習概論 社会教育特殊講義 宗派仏教 仏教と文化財 仏教の人間観と死生観 くらしの中の仏教	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	必修科目1科目2単位を含み、6科目12単位を選択履修すること
社会教化実習	4	伝道学1(念仏講話) 伝道学2	2 2		

別表第19の2（第25条の2関係）（公認心理師国家試験受験資格）

公認心理師国家試験受験資格を得るための専門科目

法定基準		本学基準			備考
科目		授業科目	単位		
			必修	選択	
1	公認心理師の職責	公認心理師の職責	2		※心理学的支援法（力動的アプローチ）又は心理学的支援法（行動的アプローチ）の内、1科目2単位を選択し履修すること。
2	心理学概論	心理学概論	2		
3	臨床心理学概論	臨床心理学概論	2		
4	心理学研究法	心理学研究法	2		
5	心理学統計法	心理学統計法1	2		
		心理学統計法2	2		
6	心理学実験	心理学実験1	1		
		心理学実験2	1		
7	知覚・認知心理学	知覚・認知心理学	2		
8	学習・言語心理学	学習・言語心理学	2		
9	感情・人格心理学	感情・人格心理学	2		
10	神経・生理心理学	神経・生理心理学	2		
11	社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学	2		
12	発達心理学	発達心理学	2		
13	障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2		
14	心理的アセスメント	心理的アセスメント	2		
15	心理学的支援法	心理学的支援法（力動的アプローチ）※		2	
		心理学的支援法（行動的アプローチ）※		2	
16	健康・医療心理学	健康・医療心理学	2		
17	福祉心理学	福祉心理学	2		
18	教育・学校心理学	教育・学校心理学	2		
19	司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2		
20	産業・組織心理学	産業・組織心理学	2		
21	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2		
22	精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	2		
23	関係行政論	関係行政論	2		
24	心理演習	心理演習1	1		
		心理演習2	1		
25	心理実習	心理実習1	1		
		心理実習2	1		

別表第19の3（第25条の3関係）（学校司書資格）

学校司書に関する専門科目

区分	モデルカリキュラムにおける科目名		本 学 基 準				備 考
	科 目	単位	授 業 科 目	単 位			
				必修	選択		
学校図書館の運営・科目管理・サービス	学校図書館概論	2	学校経営と学校図書館	2			
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2			
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2			
	情報資源組織論	2	情報資源組織論	2			
	情報資源組織演習	2	情報資源組織演習 1	2			
		2	情報資源組織演習 2	2			
	学校図書館サービス論	2	図書館サービス特論	2			
	学校図書館情報サービス論	2	情報サービス論	2			
2		情報サービス演習 1	2				
児童生徒に関する科目教育支援	学校教育概論	2	教育原論	2		1科目2単位を選択履修すること	
			教育心理学	2			
			特別な教育的ニーズの理解とその支援	1			
			幼児教育・保育課程論		2		
			学校教育課程論		2		
	学習指導と学校図書館	2	学校指導と学校図書館	2			
	読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2			
			計	29			

別表第19の4（第25条の4 関係）（社会調査士資格）

社会調査士に関する専門科目

指定カリキュラム		本 学 基 準			備 考
領域	科 目	授 業 科 目	単 位		
			必修	選択	
A	社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査論 1	2		
B	調査設計と実施方法に関する科目	社会調査論 2	2		
C	基本的な資料とデータの分析に関する科目	基礎統計学 1	2		
D	社会調査に必要な統計学に関する科目	基礎統計学 2	2		
E	多変量解析の方法に関する科目	社会調査法演習 1		2	「社会調査法演習 1」「社会調査法演習 2」のどちらか2単位を修得すること
F	質的な調査と分析の方法に関する科目	社会調査法演習 2		2	
G	社会調査を実際に経験し学習する科目	調査研究演習 1	2		「調査研究演習 1」「調査研究演習 2」及び「調査研究演習 3」を登録するには、A～D領域から、3科目以上履修すること
		調査研究演習 2	2		
		調査研究演習 3	1		
		計	15		

別表第19の5（第25条の5関係）（グローバルプロジェクトマネジャー（GPM））

グローバルプロジェクトマネジャー（GPM）に関する専門科目

本 学 基 準			備 考
授 業 科 目		単 位	
		必修	
コミュニケーションと社会		2	
グローバル化論		2	
プロジェクト演習		2	
京都の産業		2	
A 群	共生の社会学		A群・B群から各1科目以上 を含み2科目4単位以上を選 択履修
	異文化理解		
B 群	地域経済論		
	中小企業論		
	NPO法人マネジメント論		
グローバル人材PBL		2	
合計		14	

別表第19の6（第25条の6 関係）（レクリエーション・インストラクター資格）

レクリエーション・インストラクターに関する専門科目

指定科目		本 学 基 準			備 考
		授 業 科 目	単 位		
			必修	選択	
理論科目	レクリエーション概論	レクリエーション概論	2		
	楽しさと心の元気づくりの理論				
	レクリエーション支援理論				
	レクリエーション支援のプログラム				
実技科目	レクリエーション支援の方法	レクリエーション実技	1		
	レクリエーション活動の習得	スポーツ実技	1		
	レクリエーション支援の実施				
実習科目	現場実習	レクリエーション指導実習	1		
		計	5		

別表第19の7（第25条の7関係）（レクリエーション・コーディネーター（教育コース）資格）

レクリエーション・コーディネーターに関する専門科目

指定科目	本 学 基 準			備 考
	授 業 科 目	単 位		
		必修	選択	
レクリエーション支援の理念と方法 （レクリエーション概論、楽しさと心の元気づくりの理論、レクリエーション支援理論、レクリエーション支援のプログラム、レクリエーション支援の方法、レクリエーション活動の習得、レクリエーション支援の実施）	スポーツ理論	1		
	スポーツ実技	1		
	レクリエーション実技	1		
	レクリエーション指導実習	1		
活動領域および支援（活動領域の理解） 対象の理解 <				

別表第19の8(第25条の8関係)(日本語教師資格)

区分	本 学 基 準			備 考
	授 業 科 目	単 位		
		必修	選択	
社会・文化・地域	日文キャリアプログラム（日本語教員系）	2		必修1科目2単位を含み、 選択履修すること。
	ことばと表現（近・現代）		2	
	日本文学概論 1		2	
	日本文学概論 2		2	
	文学概論 1		2	
	文学概論 2		2	
	日本文学史 1		2	
	日本文学史 2		2	
	日本事情		2	
	比較文学		2	
言語と社会	人種・民族・国家		2	1科目2単位以上を選択履 修すること。
	世界の文化		2	
言語と心理	教育心理学		2	1科目2単位以上を選択履 修すること。
	教育心理学 2		2	
	発達心理学		2	
	心の世界を考える		2	
言語と教育	日本語教育教材・教具法	2		5科目8単位を履修するこ と。
	日本語教授法 1	2		
	日本語教授法 2	2		
	日本語教育教壇実習 1	1		
	日本語教育教壇実習 2	1		
言語	日本語教育文法 1	2		必修2科目4単位を含み、 選択履修すること。
	日本語教育文法 2	2		
	日本語文法 1		2	
	日本語文法 2		2	
	言語学概論 1		2	
	言語学概論 2		2	
	日本語学概論 1		2	
	日本語学概論 2		2	
	計	26		

別表第19の9(第25条の9関係)(公認パラスポーツ指導員資格)

公認初級パラスポーツ指導員資格に関する専門科目

〔保健医療技術学部理学療法学科適用〕

基準カリキュラム	開講科目名	単位	
		必修	選択
・スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質 ・パラスポーツの意義と理念 ・パラスポーツ推進の取り組み ・パラスポーツに関する諸施策 ・各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫 ・全国障害者スポーツ大会の概要	障がい者スポーツ論	2	
・コミュニケーションスキルの基礎	理学療法技術論Ⅰ	2	
・障がいのある人との交流	地域リハビリテーション論	2	
・安全管理	救急医学	1	
・各障がいの理解	リハビリテーション医学概論	1	
	小児科学	1	
	精神医学	2	
	内科学Ⅰ	2	
	内科学Ⅱ	2	
	内部障害理学療法学Ⅰ	1	
	内部障害理学療法学Ⅱ	1	
	日常生活動作学	1	
	小児理学療法学	1	
	運動器系理学療法学	2	
	神経筋障害理学療法学	1	

〔保健医療技術学部作業療法学科適用〕

基準カリキュラム	開講科目名	単位	
		必修	選択
・スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質 ・パラスポーツの意義と理念 ・パラスポーツ推進の取り組み ・パラスポーツに関する諸施策 ・各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫 ・全国障害者スポーツ大会の概要	障がい者スポーツ論	2	
・コミュニケーションスキルの基礎	作業療法コミュニケーション学	1	
・障がいのある人との交流	感覚・運動系作業治療学Ⅰ	2	
・安全管理	救急医学	1	
・各障がいの理解	リハビリテーション医学概論	1	
	小児科学	1	
	精神医学	2	
	内科学Ⅰ	2	
	内科学Ⅱ	2	
	発達系作業治療学	2	
	感覚・運動系作業治療学Ⅰ	2	
	高次脳機能系評価学演習	1	

公認中級パラスポーツ指導員資格に関する専門科目

〔保健医療技術学部理学療法学科適用〕

基準カリキュラム	開講科目名	単位	
		必修	選択
・スポーツの意義と価値 ・障がい各論（視覚障がい／聴覚・音声言語障がい） ・全国障害者スポーツ大会の歴史と目的・意義 ・全国障害者スポーツ大会の実施競技と障害区分 ・全国障害者スポーツ大会選手団編成とスタッフの役割	障がい者スポーツ論	2	
・公認パラスポーツ指導員としてのキャリア形成 ・地域におけるパラスポーツ振興 ・障がい者のスポーツ指導における留意点 ・全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 ・最重度の障がい者のスポーツの実際（重症心身障がい児・者を含む）	障がい者スポーツ演習	2	
・身体の仕組みと体力づくり	基礎解剖学	2	
	解剖学	4	
	生理学	4	
	基礎運動学	2	
	基礎運動学演習	1	
・救急処置法	救急医学	1	
・リスクマネジメント	臨床理学療法特論Ⅰ	1	
	理学療法技術論Ⅰ	2	
・スポーツ心理学Ⅰ	臨床心理学	2	
・障がい各論	整形外科学Ⅰ	2	
	リハビリテーション医学概論	1	
	神経内科学Ⅰ	1	
	脳神経外科学	1	
	小児科学	1	
	精神医学	2	
	日常生活動作学	1	
	小児理学療法学	1	
	運動器系理学療法学演習	1	
	神経筋障害理学療法学演習	1	
	内部障害理学療法学演習	1	
	理学療法評価学演習Ⅱ	1	
・補装具の理解	装具学	2	
	義肢学	1	
・発育・発達に応じた指導法	小児理学療法学	1	

〔保健医療技術学部作業療学科適用〕

基準カリキュラム	開講科目名	単位	
		必修	選択
・スポーツの意義と価値 ・障がい各論（視覚障がい／聴覚・音声言語障がい） ・全国障害者スポーツ大会の歴史と目的・意義 ・全国障害者スポーツ大会の実施競技と障害区分 ・全国障害者スポーツ大会選手団編成とスタッフの役割	障がい者スポーツ論	2	
・公認パラスポーツ指導員としてのキャリア形成 ・地域におけるパラスポーツ振興 ・障がい者のスポーツ指導における留意点 ・全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 ・最重度の障がい者のスポーツの実際（重症心身障がい児・者を含む）	障がい者スポーツ演習	2	
・身体の仕組みと体力づくり	基礎解剖学	2	
	解剖学	4	
	生理学	4	
	基礎運動学	1	
	基礎運動学演習	1	
・救急処置法	救急医学	1	
・リスクマネジメント	感覚・運動系作業治療学Ⅰ	2	
	作業療法管理運営論	2	
・スポーツ心理学Ⅰ	臨床心理学	2	
・障がい各論	整形外科学Ⅰ	2	
	リハビリテーション医学概論	1	
	神経内科学Ⅰ	1	
	脳神経外科学	1	
	小児科学	1	
	精神医学	2	
	発達系作業治療学	2	
	精神・社会系作業治療学	2	
	生活行為援助論演習	1	
	感覚・運動系作業治療学演習	1	
	発達系評価学演習	1	
・補装具の理解	リハビリテーション工学演習	1	
・発育・発達に応じた指導法	発達系評価学演習	1	

別表第20 削除

別表第21（第52条関係）（入学検定料および入学金）

種 類	金 額
入学検定料	35,000円
入 学 金	250,000円

別表第22（第53条関係）（授業料等学費の種類および金額）

種 類	金 額	備 考
(第1学年次)		
授業料		
仏教学部・文学部・歴史学部・社会学部・社会福祉学部	870,000円	
教育学部	920,000円	
保健医療技術学部・看護学部	1,350,000円	
教育充実費		
仏教学部・文学部・歴史学部・社会学部・社会福祉学部	100,000円	
教育学部	130,000円	
保健医療技術学部・看護学部	250,000円	

種 類	金 額	備 考
(第2学年次以降每学年次)		
授業料		
仏教学部・文学部・歴史学部・社会学部・社会福祉学部	910,000円	
教育学部	960,000円	
保健医療技術学部・看護学部	1,390,000円	
教育充実費		
仏教学部・文学部・歴史学部・社会学部・社会福祉学部	310,000円	
教育学部	340,000円	
保健医療技術学部	400,000円	

学則変更の趣旨等を記載した書類 目次

(1) 学則変更(収容定員変更)の内容	p. 2
(2) 学則変更(収容定員変更)の必要性	p. 2
①収容定員変更の背景	p. 2
②看護職不足における社会的要請	p. 3
③看護系分野の全国的動向	p. 5
④本学における看護学部の志願者状況	p. 5
⑤本学における保健医療技術学部看護学科の就職状況	p. 7
(3) 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容	p. 8
①教育課程の変更内容	p. 8
②教育方法および履修指導方法の変更内容	p. 11
③教育組織の変更内容	p. 11
④大学全体の施設・設備の変更内容	p. 12

看護学部看護学科 学則変更等の趣旨

(1) 学則変更(収容定員変更)の内容

佛教大学は、令和8年度から、既設の保健医療技術学部看護学科（入学定員 65 人、収容定員 260 人）を発展的に改組し、看護学部看護学科（入学定員 80 人、収容定員 320 人）とする。併せて、保健医療技術学部看護学科については、令和8年4月の学生募集を停止し、在籍学生が卒業した時点で廃止する。

これに伴い、下表のとおり収容定員を現在の 5,820 人から 5,880 人に変更する。

学部	学科	変更前（令和7年度）		変更後（令和8年度）	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
仏教学部	仏教学科	60	240	60	240
文学部	日本文学科	120	240	120	240
	中国学科	50	200	50	200
	英米学科	70	280	70	280
歴史学部	歴史学科	110	440	110	440
	歴史文化学科	70	280	70	280
教育学部	教育学科	130	520	130	520
	幼児教育学科	80	320	80	320
	臨床心理学科	80	320	80	320
社会学部	現代社会学科	200	800	200	800
	公共政策学科	120	480	120	480
社会福祉学部	社会福祉学科	220	880	220	880
保健医療技術学部	理学療法学科	40	160	40	160
	作業療法学科	40	160	40	160
	看護学科	65	260	—	—
看護学部	看護学科	—	—	80	320
総計		1,455	5,820	1,470	5,880

(2) 学則変更(収容定員変更)の必要性

①収容定員変更の背景

今回、収容定員の変更をおこなう看護学部は、平成24（2012）年4月に設置された保健医療技術学部看護学科（収容定員 65 名）を前身とする。

保健医療技術学部看護学科は、既存の学部学科（理学療法学科、作業療法学科、臨床心理学科、社会福祉学科等）との学際融合を構築するとともに、幅広い教養教育（全学共通科目、専門基礎科目）をも重視した基礎教育を実施し、社会が必要とする高度な専門知識と技術を身につけた質の高い看護師の育成を目指し設置された。

保健医療技術学部看護学科は、平成24（2012）年4月の開設以来、令和5（2023）年度までに 582 名の卒業生を輩出しており、その多くがヒューマンケアの中核的担い手となる質の

高い看護師・保健師（以下、看護職）として、病院などの臨床現場や保健所・保健センターなどの看護現場において活躍している。

しかしながら、社会が超高齢社会へ急速に転換する中で我が国は、地域医療および高齢者医療施策、生活習慣病予防や新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）のような感染症対策の強化、さらには介護予防や特定健診・特定保健指導の重症化予防対策など様々な課題に直面している。今後、より一層高齢化が進む中で、保健・医療・福祉・介護の需要が急増し、その一方で労働人口が減少することによる社会的課題（いわゆる 2040 年問題）に対処するための中核的な人材の確保も急務となってきている。

そのような社会的状況の急激な変化の中で、令和 8（2026）年度からの全学的な教学改革に伴い、看護師不足の状況に貢献すべく保健医療技術学部看護学科を看護学部看護学科に改組し、入学定員 65 名を 80 名に増員することについて、法人による意思決定を行った。

②看護職不足における社会的要請

今回、看護学部の定員を増員する最も大きな目的は、看護師不足における社会的要請に対応することである。同時に、数（量）のみでなく質の高い看護職であることが喫緊の課題であり、佛教大学看護学部が養成する人材は、それらの社会的要請に応えるものである。

我が国は、平成 19（2007）年に 65 歳以上の人口（老年人口）の総人口に占める割合（高齢化率）¹が 21%を超える「超高齢化社会」を迎え、令和 5 年（2023 年）現在、高齢化率は 29.1%となっている。それに伴い医療需要が増加する中、看護職者の状況は、令和 5 年 10 月に文部科学省・厚生労働省告示第 8 号により告示された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」によると、令和 7（2025）年における看護師等の需要数の推計値は、約 180.2 万人とされており、令和 2（2020）年の看護師等の就業者数（173.4 万人）よりも増大している。

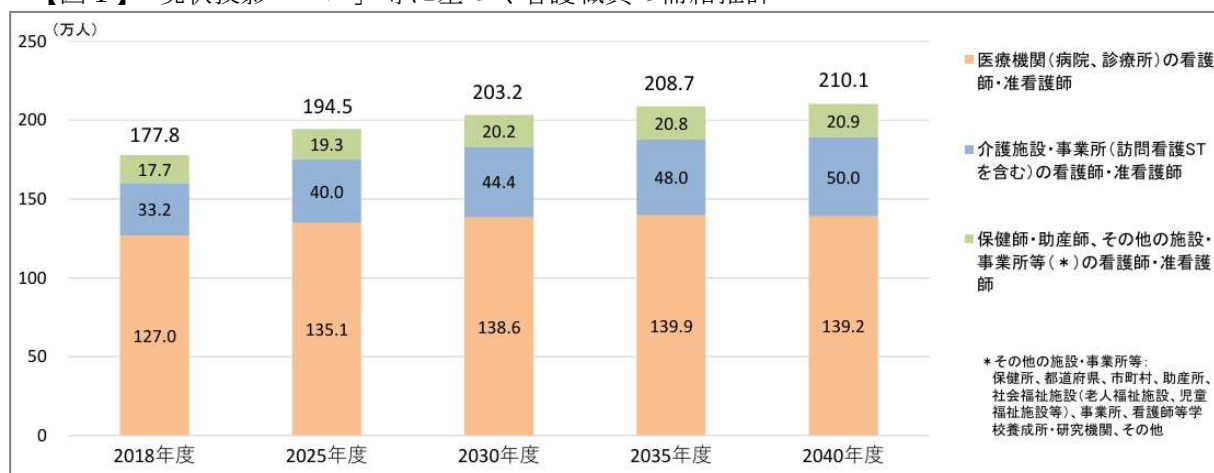
また、令和 4（2022）年度における看護師及び准看護師の有効求人倍率は 2.20 倍で、職業計の 1.19 倍よりも高くなっており、看護師が不足していることが伺える。

さらに、『「2040 年を見据えた社会保障の将来見通し（議論の素材）」に基づくマンパワーのシミュレーション』（2018 年 5 月）の「現状投影ベース」等に基づく看護職員の需要推計」では、訪問看護を含む介護分野での需要の増大等に伴い、令和 22（2040）年には看護職員の需要が増大すると推計されている【図 1】。

一方、令和 7（2025）年の需給推計によると都道府県別にみた場合、都市部では依然として令和 7（2025）年の都道府県全体としての看護師等の需要数とその供給数を上回り、看護師等の不足傾向が見込まれている。なかでも大阪や京都府内の特に北部地域の看護師等の不足は深刻である【図 2】。

¹ 総務省統計局「統計からみた我が国の高齢者－「敬老の日」にちなんで－」
<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1420.html>

【図1】「現状投影ベース」等に基づく看護職員の需給推計

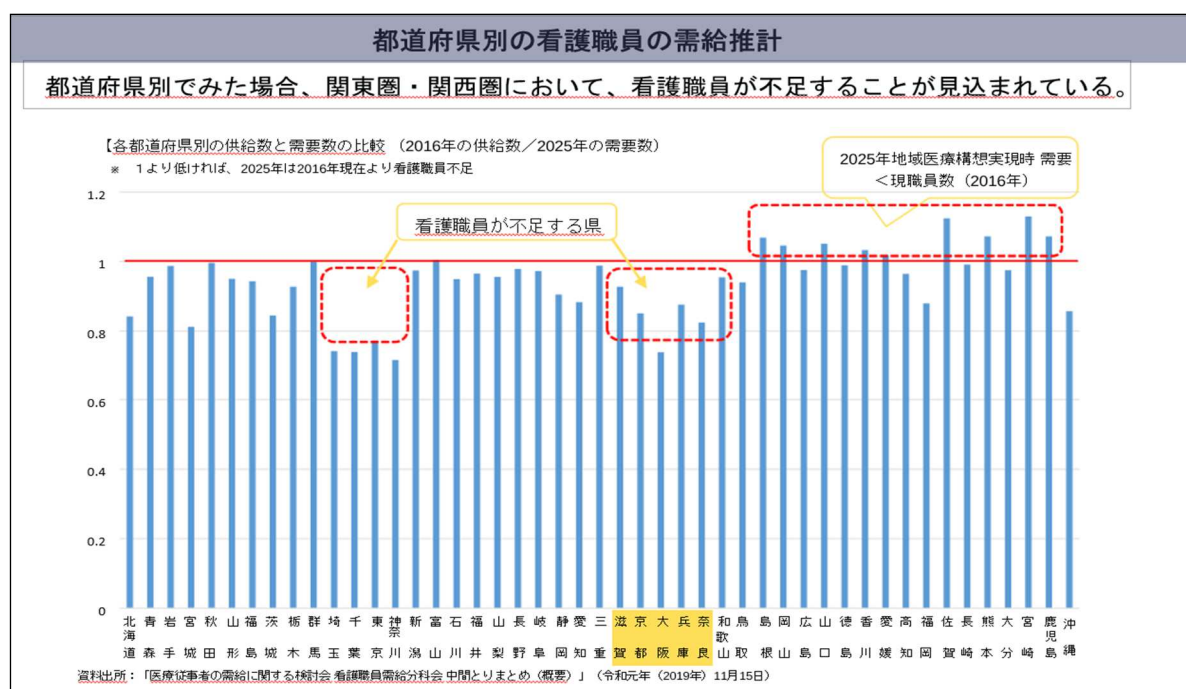


『「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」に基づくマンパワーのシミュレーション』
(2018年5月21日厚生労働省)

出典: 看護師等(看護職員)の確保を巡る状況: 第2回看護師等確保基本指針検討部会 参考資料2, p8,
https://www.google.com/url?sa=t&source=web&rct=j&opi=89978449&url=https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001118192.pdf&ved=2ahUKEwi_0uSDv_eLAxVfbvUHHRVrDh8QFnoECA8QAQ&usg=AOvVaw3T8TokZTMLeSJhU95kEj

Je

【図2】 都道府県別の看護職員の需給推計



③看護系分野の全国的動向

日本私立学校振興・共済事業団が行う「私立大学・短期大学等入学志願者動向」によると、国内における保健分野の志願者状況は、令和2（2020）年度から令和6（2024）年度まで5か年にわたり、5.38 倍から 3.71 倍と高倍率を維持しており、看護系分野への進学希望者について、一定の需要が見込まれていると言える【図3】。

【図3】私立大学における看護系分野の志願者状況

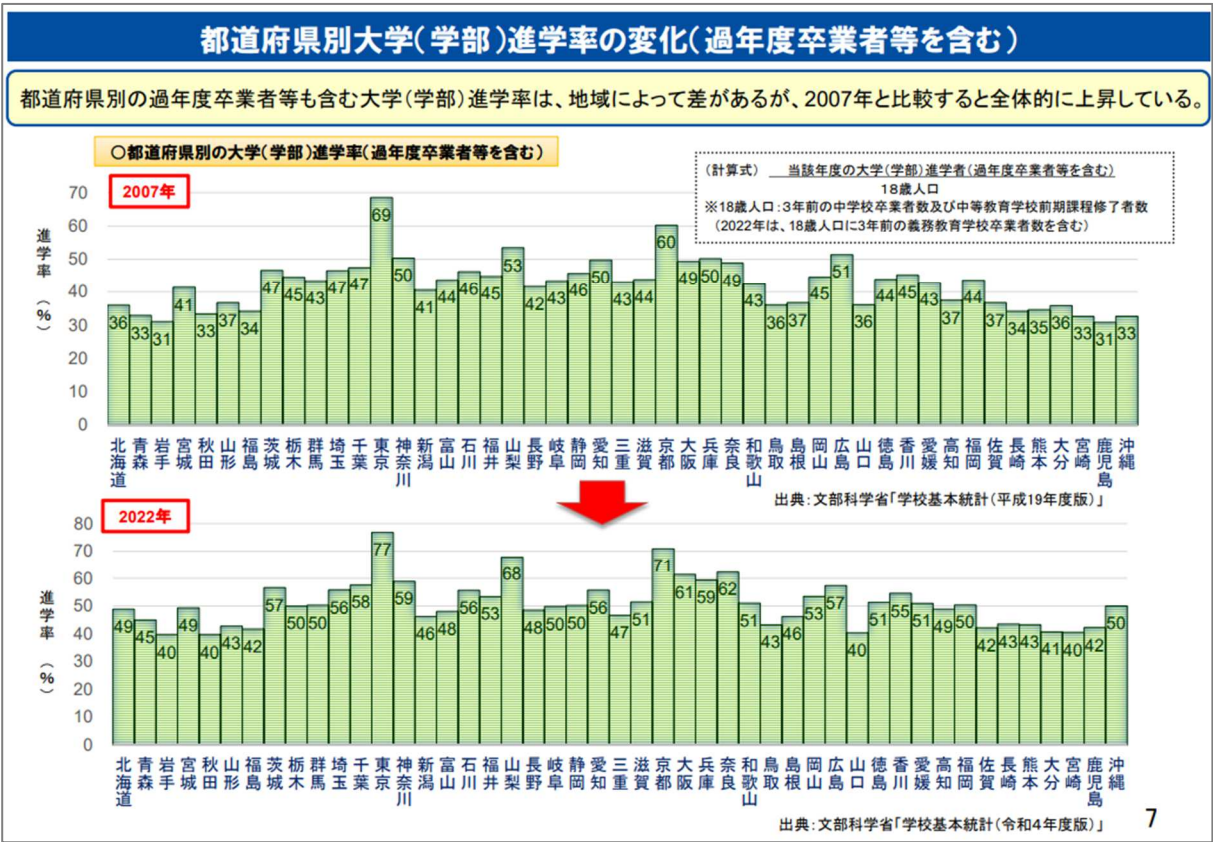
看護系分野	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
入学定員（人）	37,221	38,143	39,789	40,720	44,135
志願者数（人）	200,366	88,155	184,961	171,920	153,565
志願者倍率（倍）	5.38	4.93	4.65	4.22	3.71

出所：「日本私立学校振興・共済事業団私立大学・短期大学等入学志願動向」（R3～R6）

④本学における看護学部への志願者状況

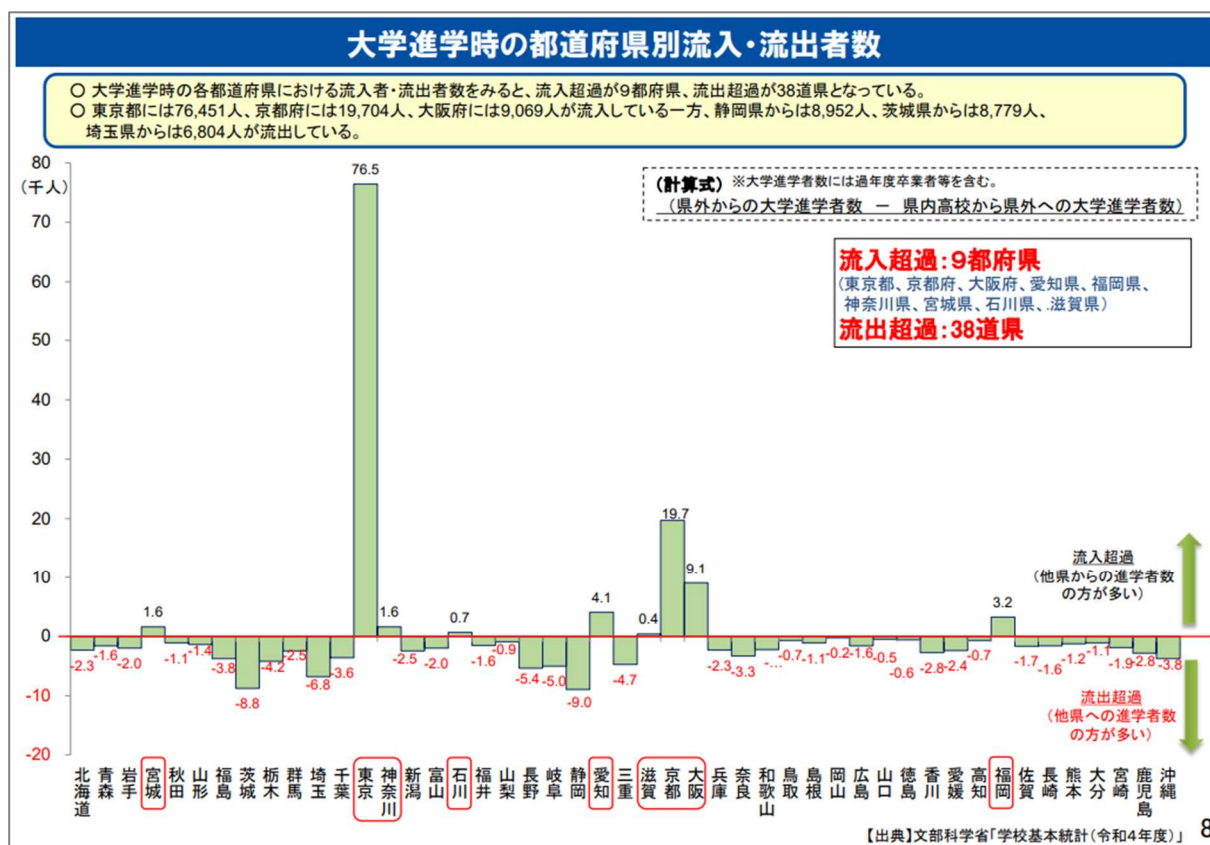
本学部を設置する京都府は「大学のまち京都」を標榜する地域であり、東京都に次いで大学進学率が高い【図4】。それに加え、他府県から京都府に進学する流入者数が多い街であり、地域的に見ても中長期的に学生確保が見込める地域だと言える。

【図4】令和4（2022）年度都道府県別大学（学部）進学率の変化



出典： <https://www.mext.go.jp/kaigisiryō/content/000255573.pdf>

【図5】令和4（2022）年度都道府県別大学（学部）進学率の変化



出典：https://www.mext.go.jp/kaigisiryoo/content/000255573.pdf

そして、本学部が置かれる京都府における定員充足状況を見てみると、前述の【図4】【図5】で説明した通り、進学率の高さ、京都府への流入者数が高いだけでなく、定員充足率も十分確保されており、よって、地域性から見ても、学生確保について十分な数の確保が見込めると言える【図6】。

【図6】新設組織がおかれる都道府県の定員充足状況

新組織所在地 (都道府県等)	充足率		
	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
京都府	101.30	101.37	98.44

出所：「日本私立学校振興・共済事業団私立大学・短期大学等入学志願動向」（R3～R6）

最後に、保健医療技術学部看護学科の過去4か年にわたる志願倍率の推移を見てみると、3.2倍から5.2倍の間で推移しており、十分な志願者状況であり、定員充足も満たしている【図7】【図8】。

【図 7】保健医療技術学部看護学科入学競争倍率

(令和 4 年度～令和 6 年度) ※小数点第 3 位切り捨て

看護学科	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)	令和 6 年度 (2024 年度)
志願者数	1,400	1,165	1,252
合格者数	267	328	312
競争倍率 (倍)	5.2	3.5	4.0

【図 8】保健医療技術学部看護学科定員充足状況

(令和 4 年度～令和 6 年度) ※小数点第 3 位切り捨て

看護学科	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)	令和 6 年度 (2024 年度)
入学定員	65	65	65
入学定員充足率	1.00	1.08	1.02
歩留率	24.3%	21.3%	21.1%

よって、本学部を設置する京都府という地域性、および、本学の過去 4 年の志願者倍率、定員充足状況から見ても、中長期的な学生確保の見通しは十分であり、入学定員 15 名を増加させたとしても、学生確保の見通しが立つと言える。

⑤本学における保健医療技術学部看護学科の就職状況

既設の保健医療技術学部看護学科における就職状況を見てみると、入学定員 65 名に対する求人数は、令和 5 (2023) 年度は 17,475 件、令和 4 (2022) 年度は 15,749 件、令和 3 (2021) 年度は 13,797 件、令和 2 (2020) 年度は 14,581 件となっており、入学定員をはるかに超える人材が病院、事業所から求められていることが伺える。

また、求職者数から見る就職率を見てみると、本学は過去 4 年において 100%の就職率となっており、入口管理だけでなく出口管理においても、十分な成果を出していると言える【図 9】。

【図 9】看護学科求人数・就職率

	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
求人件数	15,255 件	14,581 件	13,797 件	15,749 件	17,475 件
求職者数	64 名	57 名	61 名	63 名	60 名
就職者数	64 名	57 名	61 名	63 名	60 名
就職率 (求職者数/就職者数)	100%	100%	100%	100%	100%

以上の看護職需要や京都地域の大学進学状況、看護系学科への志願状況や就職状況を鑑み、令和 8 (2026) 年 4 月に保健医療技術学部看護学科の学部化を図り、看護学部看護学科 (入学定員 80 名、収容定員 320 名) を設置することについては、その見通しが十分であり社会的意義も大きい。

(3) 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

①教育課程の変更内容

<共通教養科目>

本学では、本学部を設置する令和8(2026)年から、教育課程の変更を行い、共通科目・教養科目について、抜本的に見直すこととした【図10】。

※以下①～⑫は、【図10】左端の番号

- 1)「仏教・自校教育」は現カリキュラムの「仏教系列」「自校教育系列」を統合した。本学の建学の理念を学ぶ「ブッダと法然」は、1年時の必修科目として、単に建学の理念の理解だけでなく、建学の理念と各学科の教育目標との関連を理解し学べるように、学部学科関係なくクラス分けをしていた運用から、学科ごとのクラス編成とした。このクラス編成の変更による授業運営への影響はない。
- 2)「必修外国語」は、4語種(英語・中国語・朝鮮語・日本語)からの選択制であったが、英語以外の語種選択者が少ないことや、グローバル社会での共通語である英語の重要性、看護領域においてもグローバル化が進行することを鑑み、英語のみに精選した。英語のみとすることで英語のクラス数の増加が見込まれるが、教員の手配等についてコーディネータ教員を中心に進めており、全学的な授業運営上の問題はない。
- 3)「選択外国語」は、例年の履修登録実績の状況を鑑み、英語以外の語種の科目数を抑制した。実績による科目数抑制であるため、全学的にも影響は無い。
- 4)国際化、グローバル化の今後の一層の進展が予想される中、その進展に対応するため、新たに「国際教養科目群」を設ける。英語等の語学教育に加え、英語圏だけでなくアジア圏の異文化理解など、国際通用性ある人材育成を目指すこととする。2026年度からの新たな科目群となるが、学生の履修希望に合わせクラス数を設定する予定であることから、既設学部への影響は無い。
- 5)「海外研修科目群」は、語学力を身につけ異文化を理解し広い価値観を創造するため、引き続き海外研修科目群を開設する。海外研修について学生が安全かつ高い学習成果を出せるよう、事前事後学習の充実を図り、成績評価については海外研修先の学習時間を基に単位認定を行う。看護学部においても、国際看護の観点から異文化を積極的に学び、専門科目での看護学の基盤となる教養を身につけることを可能とする科目群である。大きな変更が無いことから、既設学部への影響は無い。
- 6)「データサイエンス科目群」は、現行カリキュラムのパソコン操作の基礎を学ぶ「情報処理系列」から大幅に見直しを加え、これから学生が生き抜く情報化社会において、データを活用し分析を行い様々な提案を実践できる人材を養成する。また、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」(MDASH Literacy)に対応した科目群となっている。データによる管理マネジメントが進行する看護の現場においても、データ処理やデータ分析の能力が求められていることから、看護現場においても有意な科目と言える。授業内容は刷新されているが、全学的に教員配置や授業運営に影響は無い。
- 7)「初年次教育科目群」は、現行の「文章の表現技法」に焦点をあて実施してきた初年次教育を抜本的に見直し、主体的に自立的に学ぶ姿勢を持つことの重要性を理解させる「スタディ・スキルズ」、自身のキャリアデザインについて考えるきっかけとなる「キャリア・スキルズ1」、社会人基礎力の習得をベースにキャリア意識を高める「キャリア・スキルズ2」

を開設し専門科目へのスムーズな移行を目指す。18歳人口の減少による大学進学の一過渡期化や大学全入時代を迎え、本学でも、従来と比べ、学習目的、学習姿勢、学力、学習動機などの諸側面で、入学者の“多様化”が進行している現状を鑑み、初年次教育の充実を図った。看護学部の初年次教育科目については、現行カリキュラム同様に1クラスで運用することから、クラス数が増大し他学部に影響することは無い。

- 8)「キャリアスタディ科目群」は、社会人基礎力の養成、自己認識とキャリア形成を促す科目群となる。「社会人基礎力・教養力」の養成を担う科目、「業種・業界研究」のきっかけを提供する「職業体験」の性格を有する科目で構成しており、学生を取り巻く社会状況に沿った、より質の高いキャリア教育を提供する。既設学部への影響は無い。
- 9)「プロジェクト科目群」は2026年度からの教育課程の変更では、2学年次から本格的なPBL (Project Based Learning) を学ぶプロジェクト科目群を科目として開設した。これは、「主体的・協働的に問題を発見し、その問題を解決するためのアプローチ方法を身につけること」を目標としており、自発性・創造性・知識の応用力・コミュニケーションスキルなど社会人基礎力の土台として必要とされる力を、他者との協働の中で総合的に学ばせる。この科目群の開設により、現行の全学共通教養科目の内容より、更に質の高い主体的教育が提供できる。既設学部への影響は無い。
- 10)「自己形成科目群」は、現行カリキュラムの、全学教養科目〔基礎領域〕、全学教養科目〔応用領域〕(全32科目)の内容を精査し、「自己形成科目群」として26科目を開設する。自己形成科目群は、学士課程教育における幅広い視野を持った人材育成を目的に開設しており、幅広い教養科目を履修することが望ましいことから、全科目をメディア履修(オンデマンド型)に授業方法を変更し、学生が好きな時に好きなだけ学べる質の高い学習環境を確立する。
- 11)「スポーツ」は、教育職員免許法施行規則第66条の6に対応させることも考慮し、「スポーツ理論」「スポーツ実技」で構成する。今回、開設する看護学部においては、二条キャンパスで完結する教育課程であり、二条キャンパスで開設することから、紫野キャンパスの既設学部には影響は無い。
- 12)「大学コンソーシアム」については、本学は、財団法人大学コンソーシアム京都の加盟校であり、現行カリキュラムと同様に他大学の提供科目を単位互換科目として履修、認定できることとし、現行カリキュラムと大きな変更はない。

【図10 カリキュラム対比表】

	新カリキュラムの科目群	現行カリキュラムの系列
①	仏教・自校教育	仏教 自校教育
②	必修外国語	必修外国語
③	選択外国語	選択外国語
④	国際教養〔新規〕	日本事情〔統合〕
⑤	海外研修	海外研修
⑥	データサイエンス	情報処理
⑦	初年次教育	日本語表現

⑧	キャリアスタディ	キャリア
⑨	プロジェクト [新規]	
⑩	自己形成科目群	全学教養科目 [基礎領域]
		全学教養科目 [応用領域]
⑪	スポーツ	スポーツ
⑫	大学コンソーシアム	大学コンソーシアム

＜専門科目＞

看護学部設置に伴い、専門科目も新たな教育理念・目的の下、教育課程を変更した。

看護学部の教育課程は、本学統一の教育課程編成方針に基づき構成されている。総合大学での学際的な学びは、医療人である前に、ひとりの人間としての成長につながる。特に、全学仏教関連科目を含む「共通教養科目」においては、他学部他学科の学生と共通の科目を履修することを通して、幅広い視野の育成と多様な専門職との協働における人間関係能力（コミュニケーション能力）の素地を形成することができる。

看護学部の専門科目は「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」（大学における看護人材養成の在り方に関する検討会平成 29 年 10 月）、一般社団法人日本看護系大学協議会「看護学士課程におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標」（平成 29 年 11 月）をふまえ、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを掲げ、看護学の教育課程を決定した。

看護学の学問的な奥行きを持った教育課程体系は、「共通教養科目」、「学部基幹科目」、「学科基礎科目」、「学科専攻科目」、「関連科目」を学修進度に応じて効果的に配置する。第 1 学年では教養教育の仏教関連科目を含む「共通教養科目」を中心とし、「学部基幹科目」や「学科基礎科目」も配している。早期から地域社会における人々の健康と生活、病いや障害を抱える人の療養生活のあり様を知り、看護学への導入を図る。第 2 学年では、多様な看護の場において、対象の健康段階や発達段階の特性とニーズに応じた看護を展開する能力を身につける「学科基礎科目」と「学科専攻科目」を中心に配する。第 3 学年・第 4 学年では、第 2 学年での学習をさらに深化させ、看護の知識と技術を統合し、他の職種との連携する能力を身につける臨地実習科目を配する。第 4 学年ではさらに看護学を探究し、専門性の発展に貢献する看護学研究活動の基盤をつくる科目を配する。

以上の教育課程を通して、豊かな人間性と倫理観を基盤に看護職者として基礎的な知識・技術・看護実践能力、多職種と連携し社会に貢献できる態度・志向性を身につける。【資料 1】

今回の、収容定員に係る学則変更により発生する入学定員 15 名の増加における既設学部への影響については、①看護学部の専門科目 1 クラス編成を基本としており 15 名増加した場合改築後の教室のキャパシティで許容できること、②共通教養科目は、今回の教育課程の変更を機に二条キャンパスで完結できるよう時間割編成を変更すること、およびメディア履修を導入することから既設学部への悪影響は無いと考える。

②教育方法及履修指導方法の変更内容

教育方法及履修指導方法については、全学統一で実施しており、本看護学部においても既設学部・学科の教育方法及履修指導方法を踏襲する。

授業は、講義・演習・実習の形態を組み合わせで行う。また、本学部学科の専門教育をさらに充実させ、シミュレーション教育やアクティブラーニングを展開することで、収容定員が増加しても実践科学としての看護学の学びの特徴を具現化する。

履修指導において、卒業所要単位の要件のみならず、履修の可能性を幅広く示しつつ、全学の共通教養科目や資格の取得を含めた適切な履修方法について指導する。看護師および保健師・養護教諭等、希望取得資格別の履修モデルを作成し適宜、入学時および各学年開始時のガイダンスやオフィスアワー等で説明する。

教育方法及履修指導方法については、現行のものを踏襲しつつ充実を図ることとしているため、今回の、収容定員に係る学則変更により発生する入学定員 15 名の増加における既設学部への大きな影響については無いと考える。

③教員組織の変更内容

看護師学校指定規則に定める、基礎看護、成人看護（本学では、クリティカルケア看護、慢性看護と呼ぶ）、老年看護、母性看護、小児看護、精神看護、地域・在宅看護の領域、保健師学校指定規則に定める公衆衛生看護学の領域についてそれぞれ基幹教員を配置し、専門基礎分野となる医系科目の担当教員として医師免許を持つ教員 1 名を配置している。さらに、定員増に伴い教育の質保証の観点から、講師 2 名、助教 1 名の計 3 名の教員増を行い 30 名から 33 名とする。

その、教員増により、大学全体、看護学部の ST 比率は以下の通りとなり【図 1 1】【図 1 2】、十分な質の保証が担保できている。

【図 1 1】収容定員に係る学則変更の前後の基幹教員数の推移（大学全体）

【変更前】収容定員増前年度／令和 7（2025 年）		【変更後】完成年度／令和 1 1（2029 年）	
収容定員数	基幹教員数	収容定員数	基幹教員数
入学定員（1,455 名）	基幹教員（221 名）	入学定員（1,470 名）	基幹教員（224 名）
収容定員（5,820 名）	ST 比率 26.3	収容定員（5,880 名）	ST 比率 26.3

【図 1 2】収容定員に係る学則変更の前後の基幹教員数の推移（看護学部）

【変更前】収容定員増前年度／令和 7（2025 年）		【変更後】完成年度／令和 1 1（2029 年）	
収容定員数	基幹教員数	収容定員数	基幹教員数
入学定員（65 名）	基幹教員（30 名）	入学定員（80 名）	基幹教員（33 名）
収容定員（260 名）	ST 比率 8.7	収容定員（320 名）	ST 比率 9.7

看護基礎教育の質担保には、日々発展している医療に携わる実践者や看護関連分野における専門家などとの協働が不可欠である。そのためには、学内外を問わず適切な人材確保が必須となり、引き続き基幹教員以外の教員やゲストスピーカーを招聘する。

④大学全体の施設・整備の変更内容

本学は、主な教育研究施設として紫野キャンパスと二条キャンパスを有しており、紫野キャンパスは主に仏教学部、文学部、歴史学部、教育学部、社会学部が、二条キャンパスは、社会福祉学部（2026年4月から移転）、保健医療技術学部、看護学部が学びの拠点として利用している。

紫野キャンパスには、1. 5. 6. 7. 8. 10. 11. 12. 15号館、鷹陵館、成徳常照館が配置され、設置基準上必要となる教育研究、学生交流、厚生補導等に必要となる施設を有している。

看護学部で主に使用する二条キャンパス1号館は、校地敷地として3,324.00㎡を有し、地上7階地下1階建（総床面積15,989.38㎡）の校舎を有している。校舎には、教室（講義室、実験・実習室、情報処理教室）、準備室、研究室、図書室、医務室（診察室・処置室・静養室・事務室）、学生相談室、事務室、カフェテリア、売店、学生ラウンジ、ラウンジ（学生自習室）、更衣室、駐輪場等を設置して、学習環境及び学生生活環境を整備しており、既存の保健医療技術学部看護学科の教育研究、厚生補導等の拠点を担ってきた。

今回、看護学部の設置と収容定員増に伴い、保健医療技術学部看護学科で使用してきた二条キャンパス1号館を、2025年度8月から改修し、更に、二条キャンパスに2号館（2026年3月完成予定〔総床面積18,636.43㎡〕）を新築する【資料2】。

1号館の改築の内容としては、2階の事務室（保健医療実習センター）と講義室（N1-207）を合併することで199.94㎡の100席から120席の講義室へ改修、4階の倉庫（N1-407）と研究室（N1-408・409）を合併することで92.16㎡の実習準備室へ改修、基礎看護学実習室（N1-417）と基礎看護学実習準備室（N1-418）、研究室（N1-419・420）を合併することで324.06㎡の基礎看護学実習室に改修し、実習で使用するベッドが6床追加される予定である。また、7階の事務室（N1-746・747・748・749・750）を合併して229.98㎡の80席から120席の講義室とする。2026年度には、図書室を二条キャンパス2号館へ移設し、新たに講義室とする。

また、2026年4月には、二条キャンパスに2号館を新築し、社会福祉学部・保健医療技術学部・看護学部の共用校舎（一部他学部専用）とする。校地敷地としては3,142㎡を有し、地上7階地下1階（総床面積18,595.42㎡）、校舎には教室（講義室・演習室）やPCルーム、ラーニングcommons兼カフェ、保健管理室、地域コミュニケーションホール、図書室が配置される。

この新築と改修により、収容定員に係る学則変更により発生する入学定員15名の増加における既設学部への影響は無いと考える。

以上

学則変更の趣旨等を記載した書類（資料）

— 目次 —

【資料1】 教育課程等の概要 p. 2

【資料2】 二条キャンパス 改修計画 p.10

教 育 課 程 等 の 概 要																			
(看護学部看護学科)																			
科目 区分				授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
							必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員(助手を除く)
共通教育科目群	仏教・自校教育科目群			ブツダと法然 佛教大学の理念と歴史	1前 1前	○	2			○							1 1	メディア	
	グローバル バ ル 科 目 群	必修外国語	英語	Intensive Reading1	1前		1			○							4		
				Intensive Reading2	1後		1			○						4			
				Integrated Communication Skills1	1前		1			○						4			
				Integrated Communication Skills2	1後		1			○						4			
				Integrated Communication Skills3	2前		1			○						4			
				Integrated Communication Skills4	2後		1			○						4			
		選択	英語	General English1	1前			1			○							1	
				General English2	1前			1			○							1	
				Communication Seminar1	1前			2			○							1	
				Communication Seminar2	1前			2			○							1	
				English Lecture1	1前			2			○							1	
				English Lecture2	1前			2			○							1	
				初級英語会話1	1前			1			○							1	
				初級英語会話2	1前			1			○							1	
				Skill-building (TOEIC500) 1	1前			1			○							1	
				Skill-building (TOEIC500) 2	1前			1			○							1	
				Skill-building (TOEIC600) 1	1前			1			○							1	
				Skill-building (TOEIC600) 2	1前			1			○							1	
		外国語	中国語	初級中国語1	1前			1			○							1	
				初級中国語2	1前			1			○							1	
				中級中国語	1前			1			○							1	
			韓国語	初級韓国語1	1前			1			○							1	
				初級韓国語2	1前			1			○							1	
				中級韓国語	1前			1			○							1	
		ドイツ語	初級ドイツ語1	1前			1			○							1		
			初級ドイツ語2	1前			1			○							1		
			中級ドイツ語	1前			1			○							1		
		フランス語	初級フランス語1	1前			1			○							1		
			初級フランス語2	1前			1			○							1		
			中級フランス語	1前			1			○							1		
		ベトナム語	初級ベトナム語1	1前			1			○							1		
			初級ベトナム語2	1前			1			○							1		
			中級ベトナム語	1前			1			○							1		
	国際教養		異文化への扉 ー多文化共生のための外国語ー	1前			2			○							1	メディア	
			地球人になろう ーグローバルゼーションと文化ー	1前			2			○							1	メディア	
			英語圏の暮らし	1前			2			○							1	メディア	
			アジアの暮らし	1前			2			○							1	メディア	
			日本事情	1前			2			○							1	メディア	
			海外研修	海外語学研修 (英語)	1・2・3・4通			1				○						1	
		海外語学研修 (中国語)	1・2・3・4通			1				○						1			
		海外語学研修 (韓国語)	1・2・3・4通			1				○						1			
		海外語学研修 (ベトナム語)	1・2・3・4通			1				○						1			
		データサイエンス科目群			ICTリテラシー	1前			2			○						2	
				データサイエンスの基礎を学ぶ	1後			2			○					1			
				データサイエンスの基礎を実践する	1後			1			○					1			
				統計学の基礎を学ぶ	1前			2			○					1			
				プログラミングを学ぶ	1前			2			○					1			
	初年次教育科目群			スタディ・スキルズ	1前	○	2				○				4			共同・分担	
				キャリア・スキルズ1	1前	○	1				○		5	1				共同	
				キャリア・スキルズ2	1後	○	1				○		5	1				共同	
	キャリアスタディ科目群			マイファーストキャリア	1・2・3前・後			2			○						1	メディア	
				ライフ・キャリアデザイン	1・2・3前・後			2			○						1	メディア	
				キャリア形成とマネジメント	1・2・3前・後			2			○						1	メディア	
				自己表現とコミュニケーション	2・3前・後			2			○						1	メディア	
				職業世界を知る	2・3前・後			2			○						1	メディア	
	プロジェクト科目群			プロジェクトA	2・3・4通			2			○						1		
				プロジェクトB	2・3・4通			2			○						1		

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(看護学部看護学科)																		
科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員	
共通 教 養 科 目	自己 形成 科目 群	文化と芸術を 学ぶ	日本の仏教芸術とその鑑賞	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			ことばと文学	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			仏教の人間観と死生観	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			東洋と西洋における思想・哲学・宗教	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			前近代の世界・日本	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			近現代の世界・日本	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			世界の民族文化	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			世界の中の日本文化・京都文化	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
		地域と社会を 学ぶ	日本国憲法	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			世界と日本の政治	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			暮らしの中の経済	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			個人と社会の関係を考える	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			世界のニュースから見る日本	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			福祉と社会	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			情報・メディアと社会	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			教育事情を知る	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			文化の中から考える多文化共生	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
		人間と自然を 学ぶ	数学の言葉で世界を観る	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			宇宙を考える	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			生物の世界	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			自然と地理	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			生命を考える	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			エコロジーを考える	1・2・3・4前・後			2		○			1					1	メディア
			心の世界を考える	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			人間の仕組みと活動	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			病と人間の歩み	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
		スポーツ	スポーツ理論	1前・後			1		○								1	
			スポーツ実技	1前・後			1				○						1	
		大学コンソーシアム	大学コンソーシアム	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		小計（88科目）		—	—	14	124	0	—			11	2	4	0		67	

教 育 課 程 等 の 概 要																
(看護学部看護学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 等 (助 手 を 除 く)	
学部基 幹科目	医療概論	1前		1			○								1	
	小計（1科目）	—	—	1	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	1	—
専 門 基 礎 科 目	アカデミック・スキルズ	1後	○	2				○		4	4	2	3		1	共同・分担 共同
	仏教看護	2前		1				○		1					1	
	基礎解剖学	1前		2			○								1	オムニバス
	基礎生理学	1前		2			○								1	
	病理学概論	1後		2			○			1						
	栄養学	1後		2			○								1	
	疾病論Ⅰ	1後		2			○			1						
	疾病論Ⅱ	1後		2			○			1						
	疾病論Ⅲ	2前		2			○			1						
	疾病論Ⅳ	2前		2			○								2	
	薬理学	2前		1			○								1	
	公衆衛生学	2前		2			○								1	
	社会福祉	1後		2			○								1	
	保健医療福祉行政論	2前		2			○			1						
	保健統計学	2後		2			○								1	
	小計（15科目）	—	—	28	0	0	—	—	—	6	4	2	3	0	9	—
門 科 専 攻 目	看護学概論	1前	○	2			○			1						共同
	看護実践基盤技術論	1前	○	2				○		2		2	2			
	フィジカルアセスメント技術	1後	○	1				○		2		2	2			共同
	生活行動援助技術論	1後	○	2				○		2		2	2			共同
	看護過程論	2前	○	1				○		2		2	2			共同
	診療援助技術論Ⅰ	2前	○	1				○		2		2	2			共同
	診療援助技術論Ⅱ	2後	○	1				○		2		2	2			共同
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	○	1					○	2		2	2		2	共同
	基礎看護学実習Ⅱ	2前	○	2					○	2		2	9		1	共同
	コミュニティ実習	1通	○	1					○	2	1		1		1	共同
	地域・在宅看護学概論	1後	○	1			○			1	1					オムニバス
	地域・在宅看護方法論Ⅰ	2前	○	2			○			1	1	1				オムニバス
	地域・在宅看護方法論Ⅱ	3前	○	1				○		1	1	1	1			共同
	地域・在宅看護学実習	3後	○	2					○	1	1	1	1		1	共同
	クリティカルケア看護学Ⅰ	2後	○	2			○				1	1				オムニバス
	クリティカルケア看護学Ⅱ	3前	○	1				○			1	1	1			共同
	クリティカルケア看護学実習	3後	○	3					○		1	1	1		1	共同
	慢性看護学Ⅰ	2後	○	2			○			1		1				オムニバス
	慢性看護学Ⅱ	3前	○	1				○		1		1	1			共同
	慢性看護学実習	3後	○	3					○	1		1	1		1	共同
	老年看護学概論	2前	○	1			○			1		1	1			オムニバス
	老年看護方法論Ⅰ	2後	○	2			○			1		1	1			オムニバス
	老年看護方法論Ⅱ	3前	○	1				○		1		1	1			共同
	老年看護学実習	3後	○	3					○	1		1	1		1	共同
	小児看護学概論	2前	○	1			○				2					オムニバス
	小児看護方法論Ⅰ	2後	○	2			○				2		1			オムニバス
	小児看護方法論Ⅱ	3前	○	1				○			2		1			共同
	小児看護学実習	4前	○	2					○		2		1		1	共同
	母性看護学概論	2前	○	1			○			1		1				オムニバス
	母性看護方法論Ⅰ	2後	○	2			○			1		1	1			オムニバス
	母性看護方法論Ⅱ	3前	○	1				○		1		1	1			共同
	母性看護学実習	4前	○	2					○	1		1	1		1	共同
	精神看護学概論	2前	○	1			○			1	1		1			オムニバス
	精神看護方法論Ⅰ	2後	○	2			○			1	1		1		1	オムニバス
	精神看護方法論Ⅱ	3前	○	1				○		1	1		1			オムニバス
	精神看護学実習	4前	○	2					○	1	1		1		1	共同

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(看護学部看護学科)																	
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員	
専 門 科 目	学 科 専 攻 科 目	公衆衛生看護学概論	2後	○	2			○				1	1		1		オムニバス
		公衆衛生看護方法論Ⅰ	2後	○		2		○				1	1		1		オムニバス
		公衆衛生看護方法論Ⅱ	3前			2				○		2	1		1		共同
		公衆衛生看護展開論Ⅰ	3前			2				○		1	1		1		共同
		公衆衛生看護展開論Ⅱ	3前			2		○				1	1		1		オムニバス
		公衆衛生看護管理論Ⅰ	3前			2			○			1	1		1		共同
		公衆衛生看護管理論Ⅱ	3前			2		○				1	1		1		オムニバス
		公衆衛生看護活動論	4前			2			○			1	1		1		共同
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前			1				○		1	1		1	1	共同
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前			4				○		1	1		1	1	共同
		国際看護学	2前	○	1			○						1			
		災害看護学	3前	○	1			○					1				
		エンドオブライフケア論	3前	○	1			○				1		1			オムニバス
		ホリスティックケアアプローチ	3前	○	1					○		1		1			共同
	看護倫理学	4前	○	1			○				4	3				オムニバス	
	看護マネジメント	4後	○	1			○					1					
	看護研究Ⅰ	4前	○	1				○			9	6	7			※講義 オムニバス・共同（一部）	
	看護研究Ⅱ	4後	○	1				○			9	6	7			共同	
	統合実践看護実習	4通	○	2					○		9	6	7	10		共同	
	小計（55科目）		—	—	69	19	0	—			10	6	7	10	0	11	—
関 連 科 目	生化学	1前			2		○									1	
	感染免疫学	1後			1		○									1	
	臨床心理学	2前			1		○									1	
	看護疫学	2後			2		○									1	
	看護教育学	4後	○		1		○				1						
	クリティカルケア看護実践	4後	○		1			○				1	1				共同
	臨床推論	4後	○		1		○				1						
小計（7科目）		—	—	0	9	0	—			2	1	1	0	0	3	—	
合計（166科目）			—	—	112	152	0	—			10	6	7	10	0	88	—
学位又は称号		学士（看護学）			学位又は学科の分野					保健衛生学関係（看護学関係）							
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法										授業期間等							
「共通教養科目」の「仏教・自校教育科目群」から必修科目2単位、「グローバル科目群」・「必修外国語」必修科目6単位、「データサイエンス科目群」から必修科目2単位、「初年次教育科目群」から必修科目4単位、「自己形成科目群」から6単位を含み、計20単位以上を修得すること。 「専門科目」の「学部基幹科目」必修科目1単位、「学科基礎科目」必修科目28単位、「学科専攻科目」必修科目69単位および選択科目2単位、「関連科目」から4単位を含み、計104単位以上を修得すること。 「共通教養科目」「専門科目」の各要件を含み、合計124単位以上修得すること。 （履修科目の登録上の上限：50単位（年間））										1 学年の学期区分				2 学 期			
										1 学期の授業期間				1 5 週			
										1 時限の授業の標準時間				9 0 分			

教 育 課 程 等 の 概 要																				
(看護学部看護学科)																				
科目 区分				授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
							必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員		
共通教育科目群	仏教・自校教育科目群			ブツダと法然 佛教大学の理念と歴史	1前 1前	○	2				○ ○							1 1	メディア	
	グローバル 言語科目群	必修外国語	英語	Intensive Reading 1	1前		1				○							4		
				Intensive Reading 2	1後		1					○						4		
				Integrated Communication Skills 1	1前		1					○						4		
				Integrated Communication Skills 2	1後		1					○						4		
				Integrated Communication Skills 3	2前		1					○						4		
				Integrated Communication Skills 4	2後		1					○						4		
		選択	英語	General English 1	1前			1				○							1	
				General English 2	1前			1				○							1	
				Communication Seminar 1	1前			2				○							1	
				Communication Seminar 2	1前			2				○							1	
				English Lecture 1	1前			2				○							1	
				English Lecture 2	1前			2				○							1	
				初級英語会話 1	1前			1				○							1	
				初級英語会話 2	1前			1				○							1	
				Skill-building (TOEIC500) 1	1前			1				○							1	
				Skill-building (TOEIC500) 2	1前			1				○							1	
				Skill-building (TOEIC600) 1	1前			1				○							1	
				Skill-building (TOEIC600) 2	1前			1				○							1	
		外国語	中国語	初級中国語 1	1前			1				○							1	
				初級中国語 2	1前			1				○							1	
				中級中国語	1前			1				○							1	
			韓国語	初級韓国語 1	1前			1				○							1	
				初級韓国語 2	1前			1				○							1	
				中級韓国語	1前			1				○							1	
		ドイツ語	初級ドイツ語 1	1前			1				○							1		
			初級ドイツ語 2	1前			1				○							1		
			中級ドイツ語	1前			1				○							1		
		フランス語	初級フランス語 1	1前			1				○							1		
			初級フランス語 2	1前			1				○							1		
			中級フランス語	1前			1				○							1		
		ベトナム語	初級ベトナム語 1	1前			1				○							1		
			初級ベトナム語 2	1前			1				○							1		
			中級ベトナム語	1前			1				○							1		
	国際教養		異文化への扉 —多文化共生のための外国語—	1前			2			○								1	メディア	
			地球人になろう —グローバルゼーションと文化—	1前			2			○								1	メディア	
			英語圏の暮らし	1前			2			○								1	メディア	
			アジアの暮らし	1前			2			○								1	メディア	
			日本事情	1前			2			○								1	メディア	
	海外研修		海外語学研修（英語）	1・2・3・4通			1				○							1		
海外語学研修（中国語）			1・2・3・4通			1				○							1			
海外語学研修（韓国語）			1・2・3・4通			1				○							1			
海外語学研修（ベトナム語）			1・2・3・4通			1				○							1			
データサイエンス 科目群		ICTリテラシー	1前			2				○							2			
		データサイエンスの基礎を学ぶ	1後				2				○						1			
		データサイエンスの基礎を実践する	1後				1				○						1			
		統計学の基礎を学ぶ	1前				2				○						1			
		プログラミングを学ぶ	1前				2				○						1			
初年次教育科目群		スタディ・スキルズ	1前	○	2				○								共同・分担 共同 共同			
		キャリア・スキルズ1	1前	○	1				○		5	1								
		キャリア・スキルズ2	1後	○	1				○		5	1								
キャリアスタディ科目群		マイファーストキャリア	1・2・3前・後			2			○								1	メディア		
		ライフ・キャリアデザイン	1・2・3前・後			2			○								1	メディア		
		キャリア形成とマネジメント	1・2・3前・後			2			○								1	メディア		
		自己表現とコミュニケーション	2・3前・後			2			○								1	メディア		
		職業世界を知る	2・3前・後			2			○								1	メディア		
プロジェクト科目群		プロジェクトA	2・3・4通			2				○							1			
		プロジェクトB	2・3・4通			2				○							1			

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(看護学部看護学科)																		
科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
共通 教 養 科 目	自己 形成 科目	文化と芸術を 学ぶ	日本の仏教芸術とその鑑賞	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			ことばと文学	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			仏教の人間観と死生観	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			東洋と西洋における思想・哲学・宗教	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			前近代の世界・日本	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			近現代の世界・日本	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			世界の民族文化	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			世界の中の日本文化・京都文化	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
		地域と社会を 学ぶ	日本国憲法	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			世界と日本の政治	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			暮らしの中の経済	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			個人と社会の関係を考える	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			世界のニュースから見る日本	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			福祉と社会	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
	人間と自然を 学ぶ	情報・メディアと社会	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		教育事情を知る	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		文化の中から考える多文化共生	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		数学の言葉で世界を観る	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		宇宙を考える	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		生物の世界	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		自然と地理	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		生命を考える	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		エコロジーを考える	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		心の世界を考える	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		人間の仕組みと活動	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		病と人間の歩み	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
	スポーツ		スポーツ理論 スポーツ実技	1前・後 1前・後			1 1		○			○					1 1	
	大学コンソーシアム		大学コンソーシアム	1・2・3・4前・後			2		○								1	
	小計（88科目）			—	—	14	124	0	—			11	2	4	0		67	

教 育 課 程 等 の 概 要																				
(看護学部看護学科)																				
科目 区分				授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
							必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （助手を除く） 教員以外の教員		
共 通 教 養 科 目	仏教・自校教育科目群			ブッダと法然 佛教大学の理念と歴史	1前 1前	○	2				○ ○							1 1	メディア	
	グ ロ ー パ ル 科 目 群	必修外国語	英語	Intensive Reading 1	1前		1				○							4		
				Intensive Reading 2	1後		1					○						4		
				Integrated Communication Skills 1	1前		1					○						4		
				Integrated Communication Skills 2	1後		1					○						4		
				Integrated Communication Skills 3	2前		1					○						4		
				Integrated Communication Skills 4	2後		1					○						4		
		選択	英語	General English 1	1前			1				○							1	
				General English 2	1前			1				○							1	
				Communication Seminar 1	1前			2				○							1	
				Communication Seminar 2	1前			2				○							1	
				English Lecture 1	1前			2				○							1	
				English Lecture 2	1前			2				○							1	
				初級英語会話 1	1前			1				○							1	
				初級英語会話 2	1前			1				○							1	
				Skill-building (TOEIC500) 1	1前			1				○							1	
				Skill-building (TOEIC500) 2	1前			1				○							1	
				Skill-building (TOEIC600) 1	1前			1				○							1	
				Skill-building (TOEIC600) 2	1前			1				○							1	
		外国語	中国語	初級中国語 1	1前			1				○							1	
				初級中国語 2	1前			1				○						1		
				中級中国語	1前			1				○						1		
			韓国語	初級韓国語 1	1前			1				○							1	
				初級韓国語 2	1前			1				○							1	
				中級韓国語	1前			1				○							1	
		ドイツ語	初級ドイツ語 1	1前			1				○							1		
			初級ドイツ語 2	1前			1				○							1		
			中級ドイツ語	1前			1				○							1		
	フランス語	初級フランス語 1	1前			1				○							1			
		初級フランス語 2	1前			1				○							1			
		中級フランス語	1前			1				○							1			
	ベトナム語	初級ベトナム語 1	1前			1				○							1			
		初級ベトナム語 2	1前			1				○							1			
		中級ベトナム語	1前			1				○							1			
	国際教養	異文化への扉 ー多文化共生のための外国語ー 地球人になろう ーグローバルゼーションと文化ー 英語圏の暮らし アジアの暮らし 日本事情			1前			2			○							1	メディア	
					1前			2				○						1	メディア	
					1前			2				○						1	メディア	
					1前			2				○						1	メディア	
					1前			2				○						1	メディア	
	海外研修	海外語学研修（英語） 海外語学研修（中国語） 海外語学研修（韓国語） 海外語学研修（ベトナム語）			1・2・3・4通			1				○					1			
1・2・3・4通							1				○					1				
1・2・3・4通							1				○					1				
1・2・3・4通							1				○					1				
データサイエンス 科目群			ICTリテラシー	1前			2				○					2				
			データサイエンスの基礎を学ぶ	1後				2				○				1				
			データサイエンスの基礎を実践する	1後				1				○				1				
			統計学の基礎を学ぶ	1前				2				○				1				
			プログラミングを学ぶ	1前				2				○				1				
初年次教育科目群			スタディ・スキルズ	1前	○	2				○							共同・分担 共同 共同			
			キャリア・スキルズ1	1前	○	1				○		5	1							
			キャリア・スキルズ2	1後	○	1				○		5	1							
キャリアスタディ科目群			マイファーストキャリア	1・2・3前・後			2			○						1	メディア			
			ライフ・キャリアデザイン	1・2・3前・後			2			○						1	メディア			
			キャリア形成とマネジメント	1・2・3前・後			2			○						1	メディア			
			自己表現とコミュニケーション	2・3前・後			2			○						1	メディア			
			職業世界を知る	2・3前・後			2			○						1	メディア			
プロジェクト科目群			プロジェクトA	2・3・4通			2				○					1				
			プロジェクトB	2・3・4通			2				○					1				

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(看護学部看護学科)																		
科目 区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹 （助手を除く） 教員以外の教員	
共通 教 養 科 目	自己 形成 科目	文化と芸術を 学ぶ	日本の仏教芸術とその鑑賞	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			ことばと文学	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			仏教の人間観と死生観	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			東洋と西洋における思想・哲学・宗教	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			前近代の世界・日本	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			近現代の世界・日本	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			世界の民族文化	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			世界の中の日本文化・京都文化	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
		地域と社会を 学ぶ	日本国憲法	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			世界と日本の政治	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			暮らしの中の経済	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			個人と社会の関係を考える	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			世界のニュースから見る日本	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			福祉と社会	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
			情報・メディアと社会	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア
	人間と自然を 学ぶ	教育事情を知る	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		文化の中から考える多文化共生	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		数学の言葉で世界を観る	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		宇宙を考える	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		生物の世界	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		自然と地理	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		生命を考える	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
		エコロジーを考える	1・2・3・4前・後			2		○								1	メディア	
	スポーツ	スポーツ理論	1前・後			1		○									1	
		スポーツ実技	1前・後			1					○						1	
		大学コンソーシアム	大学コンソーシアム	1・2・3・4前・後			2		○								1	
		小計（88科目）			—	—	14	124	0	—			11	2	4	0		67

二条キャンパス 改修計画

工事名 : 佛教大学 二条キャンパス・1号館看護学科改修工事計画工程表

		期間	2025年度												2026年度											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二条キャンパス 1号館	2階 講義室 (N1-207) 拡張工事						拡張工事																			
	4階 実習準備室 拡張工事						拡張工事																			
	4階 基礎看護学実習室 (N1-417) 拡張工事						拡張工事																			
	7階 講義室 (N1-703・704) 改修工事						改修工事																			
	7階 講義室 (N1-702) 改修工事																		改修工事							

工事名 : 佛教大学 二条キャンパス・2号館看護学科改修工事計画工程表

		期間	2025年度												2026年度											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二条キャンパス 2号館			建設工事・設備工事																							

学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

- (1) 新設組織の概要 ・ ・ ・ ・ ・ p. 2
- (2) 人材需要の社会的な動向等 ・ ・ ・ ・ ・ p. 3
- (3) 学生確保の見通し ・ ・ ・ ・ ・ p. 8
- (4) 新設組織の定員設定の理由 ・ ・ ・ ・ ・ p. 27

（１）新設組織の概要

① 新設組織の概要（名称，入学定員，収容定員，所在地）

新設組織	入学定員	収容定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
佛教大学看護学部看護学科	80 人	320 人	京都府京都市中京区西ノ京東梅尾町 7

② 新設組織の特色

佛教大学（以下、本学）は、既設の保健医療技術学部看護学科（以下、既設組織）を新たに看護学部看護学科（以下、看護学部）として学部化を図り、収容定員を増員する。

既設組織からの変更点は以下に示す。

新設・既設	組織の名称	入学定員	収容定員	保健師・看護師学校としての入学定員	新設組織開設後の予定
既設	佛教大学 保健医療技術学部看護学科	65 人	260 人	看護師学校：65 人 保健師学校：15 人	学生募集停止 (廃止)
新設	佛教大学 看護学部看護学科	80 人	320 人	看護師学校：80 人 保健師学校：17 人	—

※学位の分野「保健衛生学関係（看護学関係）」、及び所在地（教育研究を行うキャンパス）については、変更は生じない。

看護学部では、本学の建学の理念を具現化し、本学の人材養成の特色領域と有機的に教育連携ができる新たな教育分野として、保健医療福祉の需要の増大や高度に進歩した医療技術に十分対応ができ、かつ地域保健・地域医療に貢献できる質の高い看護職を養成する。そのためには、新たな看護学部としてより学問的な立ち位置を高め、かつ実学の学部として理論と実践のバランスを重視した看護基礎教育提供の場を再構築することで、高度な専門知識と技術を備え、看護の対象の尊厳を重んじた倫理的な看護を実践できる人材養成を目指す必要があると考える。また、看護学部では、後述する多様化する社会や保健医療現場のニーズに対応できる能力を有する具体的な人材養成の目標として、以下の 8 項目掲げる。

- ①人を思いやり、共感しうる豊かな人間性を有する人材
- ②看護学および隣接領域に関する学識と基礎的な看護実践能力（知識・技術・態度）を有する人材
- ③研究的思考の修得により、よりよい看護を追求する資質を有する人材
- ④他者との良質なコミュニケーション能力を有する人材
- ⑤多職種連携における看護の役割を理解し、活動できる能力を有する人材
- ⑥地域社会への貢献ができる能力を有する人材
- ⑦災害支援・グローバル看護に貢献できる能力を有する人材
- ⑧保健・医療の高度化・情報化に関心をもち自己研鑽できる意志を有する人材

（２）人材需要の社会的な動向等

① 新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

現代社会においては、超高齢化が進行し、「保健・医療・福祉」領域において、ヒューマンケアの中核的担い手としての質の高い看護師・保健師（以下、看護職）を育成することが急務となっている。また、わが国は、地域医療及び高齢者医療施策、生活習慣病予防や COVID-19 のような感染症対策の強化、さらには介護予防や特定健診・特定保健指導の重症化予防対策など様々な課題にも直面している。今後、より一層高齢化が進み、医療・福祉・介護の需要が急増するが、その一方で労働人口が減少することによる社会的課題（いわゆる 2040 年問題）に対処するための中核的な人材の確保も急務となってきた。

総務省統計局などの調査によると、生産年齢人口は令和 2（2020）年の 7,509 万人から令和 22（2040）年には 6,213 万人へと急激に減少すると推計され、現役世代が急減するとともに、高齢化が進行し、看護需要の増大が想定される。

一方、「看護職員の需給推計結果（都道府県別）」によると、令和 7（2025）年の都道府県全体としての看護職の需要数はその供給数を上回り、都道府県別にみた場合、特に都市部では依然として不足傾向が予測される。なかでも大阪府や京都府の特に北部地域の看護職の不足は深刻である。【資料 1】

さらに、『「2040 年を見据えた社会保障の将来見通し（議論の素材）」に基づくマンパワーシミュレーション』の「現状投影ベース」等に基づく看護職員の需給推計によると、高齢者の増加とともに訪問介護施設・事業所における看護職の需要が高まるとともに、保健所や社会福祉施設、事業所等における看護職の需要も高まっていくことが予測される。【資料 2】

また、『第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書』にも「養成段階において看護基礎教育の質の担保を図ることが看護師の人材定着促進にも効果を上げるものと考えられる。」と示されていることから、より質の高い看護実践力を身につけられる看護基礎教育を提供する場の確保が必要である。【資料 3】

以上のような現状の社会的課題を解消すべく、看護学部の開設に向け、本学における看護職の養成ならびに看護職養成人数の増員の必要性について、京都府庁との面談を通して確認を行っており、中・長期的に見て、看護職者養成の需要は高いと認識している。

今後は、18 歳人口の減少により看護職養成者数の絶対数減少が見込まれるが、超高齢多死社会において地域医療構想が推進される中で、多様な場面で専門性の高い看護実践ができる人材養成は、わが国においての重要な課題であり、多様な場で自らの強い意志を持って活躍できる看護師・保健師の継続的な養成は必要不可欠である。

従って、新たに看護学部としてより学問的な立ち位置を高めた形で看護基礎教育提供の場を再構築すると共に、養成する学生数（入学定員）を増員することは、社会的な意義も大きいと考える。

② 中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

全国的及び地域別から見た 18 歳人口の動向について、文部科学省「学校基本調査」に基づく予測値は、令和 6（2024）年度の 106.3 万人を 100%とした場合、看護学部の開設予定年度

にあたる令和 8（2026）年度には 109.3 万人（102.7%）、完成年度にあたる令和 11（2029）年度には 106.8 万人（100.4%）、開設予定年度から 10 年後にあたる令和 17（2035）年度には 97.1 万人（91.3%）。また、本学既設組織における入学者の都道府県内訳の上位 5 都道府県に位置する近畿 2 府 3 県（京都府、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県）の 18 歳人口の予測値は、令和 6（2024）年度の 167,697 人を 100%とした場合、令和 8（2026）年度には 171,327 人（102.2%）、令和 11（2029）年度には 166,710 人（99.4%）、令和 17（2035）年度には 151,792（90.5%）と減少傾向にある。【資料 4】

18 歳人口減少の推計は示されているが、リクルート進学総研「18 歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向 近畿版」によると、近畿 2 府 3 県（京都府、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県）の 2014 年から 2023 年にかけての大学進学率については、京都府は 59.2%から 69.6%に、滋賀県は 49.3%から 57.4%に、大阪府は 51.8%から 63.7%に、兵庫県は 54.6%から 63.8%に、奈良県は 50.9%から 60.0%に、2 府 3 県の平均値を見ても 10%程度上昇しており、安定した進学傾向があると言える。【資料 5】

また一方で、文部科学省の「大学進学時の都道府県別流入・流出者数」を見ると、流入超過するのは 9 都道府県のみとなっており、その内本学を置く京都府は、府外からの流入者数が最も多い東京都の 76,451 人に次いで 19,704 人と高い数値を示している。【資料 6】

加えて、看護学部を置く本学二条キャンパスは、京都市中京区の JR 二条駅前という交通の利便性が高いため、学生募集地域も格段に広まる。現に既設組織の入学者の出身都道府県の割合から見ても、京都府出身者は 42.6%、隣接する滋賀県・大阪府・兵庫県・奈良県出身者は 50.6%との割合で、京都府及び隣接する都道府県からの通学圏となっており、京都府における人口減少のかかなりの部分を補えると考ええる。【資料 7】

③ 新設組織の主な学生募集地域

まず、本学が所在する京都府における直近年度の出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）は、京都府 24.4%（8,543 人）、大阪府 19.0%（6,653 人）、滋賀県 9.0%（3,319 人）、兵庫県 7.4%（2,589 人）、奈良県 4.0%（1,386 人）となっている。（別紙 1）

これに対し、本学既設組織開設以降の入学者の都道府県内訳（本学調べ）に基づき、上位に位置する京都府、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県が、看護学部の学生募集地域の中心になると考えている。具体的には、平成 24（2012）年度に既設組織開設以降の入学者総数 850 人の都道府県別内訳（上位 5 都道府県）は、京都府 42.6%（362 人）、滋賀県 30.2%（257 人）、大阪府 16.1%（137 人）、兵庫県 2.4%（20 人）、奈良県 1.9%（16 人）となっており、概ね同一性があると言える。【資料 7】

既設組織への入学者の出身都道府県に基づき、より多くの学生の確保が見込める地域を更に選定した場合、看護学部の主な学生募集地域は、京都府、滋賀県、大阪府が中心となり、大阪府については、特にこれまで比較的京都府に近い市に居住し、通学経路として私鉄沿線（阪急電鉄京都線、京阪電鉄京阪本線）を利用している者が多い傾向であることから、特に 6 つの市（茨木、吹田、高槻、豊中、寝屋川、枚方）が中心となると言える。中長期的な 18 歳人口予測に鑑みても、主な学生募集地域の設定は妥当であると考ええる。

この他に、大学進学時において県外への流出者が多く、比較的京都府に近い石川県、福井県、

三重県に居住する高校生をターゲットとし、今後学生募集活動地域を広げていきたい。また、これまでの入学者が、北は宮城県、南は鹿児島県といったおおよそ全国的な広がりを見せていることから、進学相談会等の企画運営会社が全国的に開催する各種説明会にも積極的に参加し、全国からの学生確保に努めていきたいと考えている。

以上のことから、看護学部の学生募集地域は、近畿2府3県（京都府、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県）となるが、その中でも主として本学が所在する京都府、京都府に隣接する滋賀県、大阪府（特に茨木、吹田、高槻、豊中、寝屋川、枚方の6つの市）が中心となる。ただし、これまで同様に本学の建学の理念、看護学部の特色、人材養成の目的、ポリシーを理解し入学を希望する学生については、地域を限定せず広く受け入れを行っていききたいと考えている。

次に、本学が所在する京都府における定員充足状況については、令和4（2022）年度は101.30%、令和5（2023）年度は101.37%、令和6（2024）年度は98.44%と減少している。しかしながら、日本私立学校振興・共済事業団の「令和6（2024）年度 私立大学・短期大学等入学志願動向」の地域別の動向における京都府の志願者倍率は9.91倍と高い数値である。【資料8】

また、学問分野（系統区分）における保健系学部の定員充足状況については、令和4（2022）年度は99.28%、令和5（2023）年度は96.79%、令和6（2024）年度は91.04%と減少傾向にある。【資料8】しかしながら、以下に示す本学既設組織の過去4ヵ年の入学者選抜試験志願状況での志願倍率は、令和4（2022）年度は21.4倍、令和5（2023）年度は17.7倍、令和6（2024）年度は19.3倍、令和7（2025）年度は21.1倍といった高い数値であり、現在、近隣の看護系学科を設置している大学の中でも高い志願者倍率を保持している。

【既設組織における過去4ヵ年の入学者選抜試験志願状況】

既設組織	入学 定員	志願者数（合計）				志願倍率			
		令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度
保健医療技術学部 看護学科	65	1,391	1,149	1,252	1,369	21.4	17.7	19.3	21.1

以上のことから、本学が所在する京都府の定員充足状況、ならびに保健系学部の定員充足状況に対する本学既設組織の入学者選抜志願状況から、看護学部の受験者が大幅に減少することではなく、安定的に学生確保の見通しがあると考えられる。

④ 既設組織の定員充足状況

直近5年間の既設学科の入学定員の充足状況は、通学課程が別紙2-1～15、通信教育課程が別紙2-16～26のとおりである。

本学では、主として「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」、「一般選抜」、「大学入学共通テスト利用選抜（前期・後期）」の選抜方法を実施し、学生確保に努めている。特徴として、学校推薦型選抜及び一般選抜による入学者の割合がいずれの学科においてもそれぞれ3割程度と高くなっている。

仏教学部仏教学科については、入学定員充足率（平均）は0.93で、入学者総数（平均）に対して、特に一般選抜による合格の入学者の割合が19.3%とやや高くなっており、他の選抜と

も概ね定員どおりに入学者を確保している。

文学部日本文学科については、入学定員充足率（平均）は 1.10 で、入学者総数（平均）に対して、特に学校推薦型選抜による合格の入学者の割合が 38.1%と高くなっており、他の選抜とも概ね定員どおりに入学者を確保している。

文学部中国学科については、入学定員充足率（平均）は 0.86 で、入学者総数（平均）に対して、特に一般選抜による合格の入学者の割合が 28.9%と高くなっており、他の選抜とも概ね定員どおりに入学者を確保している。

文学部英米学科については、入学定員充足率（平均）は 1.03 で、入学者総数（平均）に対して、特に一般選抜による合格の入学者の割合が 37.5%と高くなっており、他の選抜とも概ね定員どおりに入学者を確保している。

歴史学部歴史学科については、入学定員充足率（平均）は 1.08 で、入学者総数（平均）に対して、特に学校推薦型選抜による合格の入学者の割合が 39.2%と高くなっており、他の選抜とも概ね定員どおりに入学者を確保している。

歴史学部歴史文化学科については、入学定員充足率（平均）は 1.07 で、入学者総数（平均）に対して、特に学校推薦型選抜による合格の入学者の割合が 35.1%と高くなっており、他の選抜とも概ね定員どおりに入学者を確保している。

教育学部教育学科については、入学定員充足率（平均）は 1.06 で、入学者総数（平均）に対して、特に一般選抜による合格の入学者の割合が 34.1%と高くなっており、他の選抜とも概ね定員どおりに入学者を確保している。

教育学部幼児教育学科については、入学定員充足率（平均）は 1.12 で、入学者総数（平均）に対して、特に学校推薦型選抜による合格の入学者の割合が 29.6%と高くなっており、他の選抜とも概ね定員どおりに入学者を確保している。

教育学部臨床心理学科については、入学定員充足率（平均）は 1.10 で、入学者総数（平均）に対して、特に学校推薦型選抜による合格の入学者の割合が 36.3%と高くなっており、他の選抜とも概ね定員どおりに入学者を確保している。

社会学部現代社会学科については、入学定員充足率（平均）は 1.04 で、入学者総数（平均）に対して、特に一般選抜による合格の入学者の割合が 30.7%と高くなっており、他の選抜とも概ね定員どおりに入学者を確保している。

社会学部公共政策学科については、入学定員充足率（平均）は 1.03 で、入学者総数（平均）に対して、特に一般選抜による合格の入学者の割合が 31.5%と高くなっており、他の選抜とも概ね定員どおりに入学者を確保している。

社会福祉学部社会福祉学科については、入学定員充足率（平均）は 1.03 で、入学者総数（平均）に対して、特に学校推薦型選抜による合格の入学者の割合が 42.8%と高くなっており、他の選抜とも概ね定員どおりに入学者を確保している。

保健医療技術学部理学療法学科については、入学定員充足率（平均）は 1.07 で、入学者総数（平均）に対して、特に一般選抜による合格の入学者の割合が 30.2%と高くなっており、他の選抜とも概ね定員どおりに入学者を確保している。

保健医療技術学部作業療法学科については、入学定員充足率（平均）は 1.07 で、入学者総数（平均）に対して、特に学校推薦型選抜による合格の入学者の割合が 25.6%と高くなってお

り、他の選抜とも概ね定員どおりに入学者を確保している。

新設組織の看護学部看護学科と関連する既設組織である保健医療技術学部看護学科については、入学定員充足率（平均）は 1.03 で、入学者総数（平均）に対して、特に一般選抜による合格の入学者の割合が 33.8%と高くなっており、他の選抜とも概ね定員どおりに入学者を確保している。また、別紙 2－1 5 のとおり、それぞれの平均値を見ても受験者数 1,253 人、競争倍率 4.3 倍と十分な値であり、看護学部の入学定員を 80 人とした場合でも、定員の充足は可能であると考ええる。

なお、既設組織の仏教学部及び文学部中国学科における直近 5 年間の入学定員の充足状況について、1.00 を下回っているが、現在、より一層受験生にとって、わかりやすく、かつ成長が実感できる新たな教育プログラムの構築を目指して、全学的なカリキュラム改革に取り組んでいる。加えて、本学の多様な学びの魅力と養成する人材の社会的需要を丁寧に広報し、学生を確保できるよう様々な取り組みを推進していくことで入学定員充足率を上げていきたいと考えている。

また、通信教育課程の各学部学科の直近 5 年間の入学定員の充足状況については、別紙 2－1 6～2 のとおりである。本学の通信教育課程は、昭和 28（1953）年に社会人に高等教育の機会を設けることを目的として西日本最初となる通信教育部（仏教学部仏教学科）を設置して以来、生涯学習の根幹となるべく、通学課程で開設する学部学科に併設し、現在では 6 学部 11 学科を開設している。「いつでも、どこでも、だれでも」をキャッチフレーズに多くの方に対して門戸を広げるため、大学通信教育設置基準に定められる範囲において入学定員を大きく設定してきた。これにより、本学通信教育課程では日本全国を対象に広く学生募集を行ってきたが、近年では多くの大学で通信教育課程が開設され、地域ごとの入学者の分散化が進み、その傾向は本学通信教育課程においても顕著に表れ、入学者数が年々減少し、現在に至っている。

このような経緯及び通信教育課程としての役割を認識しつつも、入学定員の充足を図るため、本学通信教育課程では以下のような改善計画を予定している。

入学者獲得に向けて、今後も引き続き、教育連携を締結している高等学校をはじめ、近畿圏の通信制、定時制高等学校、本学が教育の提供ができる学問分野において取り組みを行っている高等学校への直接訪問を柱とした学生募集活動を強化するとともに、社会的需要に応える実践的な教育課程とその魅力、取得可能な教員免許状、諸資格について効果的に広報を行い、季刊誌への広告掲載、大手検索エンジンでのリスティング広告によって、特に社会人入学者、編入学者の獲得を目指していきたい。なお、令和 9（2027）年度通信教育課程改革に向け、新たな教育課程・教育制度の構築、学費体系の見直し等を進めるなかで、適切な入学定員の設定についても検討を進めている。

また、本学は、平成 18（2006）年度の保健医療技術学部開設以降、保健医療分野の有為な人材養成を行ってきており、その経験・ノウハウを更に発展させ、現在わが国が抱える継続的な人口減少、急速な少子高齢化の進展とともに、高齢者特有の疾病や生活習慣病等の増加という社会的課題に対し、健康科学の最前線に立ち、新しい設備、テクノロジー、データを駆使して、個別化された健康管理や予防医療を推進する多様な知識とスキルを持つ専門人材を養成するため、令和 9（2027）年度に保健医療技術学部に新たな学科として健康スポーツ科学科（入学定員：60 人）の設置を構想している。

(3) 学生確保の見通し

① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

本学の近接する学問分野を持つ既設組織である保健医療技術学部看護学科において、多くの高校生に学科の特色、養成する人材像等の理解を深めてもらえる機会を提供し、安定的な学生確保に向けた取組を実施している。(別紙3)

本学では、学生確保の専門部署として入学部を配置しており、学生募集及び募集広報の事務を分掌している。また、入学部の事務職員だけでなく、他部署の事務職員を入試アドバイザーとして学外進学相談会への派遣、各学部学科に配置している高大連携担当教員を中心とした教員によるオープンキャンパスでの対応や高等学校での出張講義への派遣など、全学体制で学生募集活動に取り組んでいる。

<具体的な取組>

- オープンキャンパス
- 学外進学相談会(地区相談会)
- 高等学校訪問
- 高等学校教員対象進学説明会
- 高等学校での出張講義
- 入試対策講座
- 各種資料(大学案内・パンフレット等)の作成・配付
- 本学ホームページ
- YouTube 及び SNS (Instagram・LINE・X 等)での情報発信
- 大学情報誌等への情報掲載

1) オープンキャンパス

本学が最も力を入れている方策の一つとして、充実したオープンキャンパスの実施が挙げられる。毎年3月～12月の期間でオープンキャンパスを紫野キャンパスと二条キャンパスで同時開催し、主なプログラムとして、大学紹介、学科紹介、入試概要説明、教員・在学生との個別相談、ミニ講義体験、実習室見学を含めたキャンパス見学ツアーを実施している。

【オープンキャンパス来場者数】

入試対象年度 (開催年度)	全体参加者数	参加者数内訳	
		二条キャンパス	看護学科 受験対象者
令和7年度入試対象 (令和6年度開催)	8,137人	1,663人	790人
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	7,171人	1,544人	716人
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	6,738人	1,365人	627人

令和5(2023)年度に開催したオープンキャンパスにおける参加者(受験対象者)数は、延べ716人であり、令和4(2022)年度の参加者(受験対象者)627人と比較して

増加している。

令和6（2024）年度の参加者（受験対象者）数は、延べ790人であり、過去2ヵ年（令和5（2023）年度、令和4（2022）年度）と比較しても更に増加傾向にある結果となった。

また、この他に放課後オープンキャンパスとして、5月から8月の月末金曜日に計4日間開催し、普段の学生の様子を直接感じることができる機会を設ける等の短時間で充実したプログラムを提供しており、令和5（2023）年度は138人、令和4（2022）年度は113人の参加者を得ており、参加者より通常のオープンキャンパスとは違う開催時期、プログラムに一定の高い評価を得ている。

高校生にとって本学のオープンキャンパスに参加することは、大学の雰囲気や学びの環境を体感でき、深く知るうえで貴重な機会となっており、また、本学教員をはじめオープンキャンパスのスタッフである既設学科の学生の活発で真摯な対応に触れることが安定した受験者数の確保に繋がっている。

2）学外進学相談会（地区相談会）

本学では、全国各地で開催する進学相談会に、入学部の事務職員や入学部以外の事務職員を入試アドバイザーとして派遣し、個別相談を実施している。なお、応対する事務職員間で知識の差が出ないように、毎年度入試アドバイザーとして派遣する前に入学部事務職員による事前研修を開講し、近年の傾向、前年度と比較した入試制度の改正点や高校生に伝えるべき本学のアピールポイント等の情報共有を図ったうえで派遣している。

個別相談では、パンフレットやWEBサイトではわからない入試のポイント、学科の特色、学生生活、奨学金制度、取得可能な免許・資格等について詳しく説明を受けることができる。関西圏以外の受験者にとっては、自身が住む地域で相談できる機会の提供となっている。過去3年間の各種説明会への参加回数ならびに個別相談者数の実績は以下のとおりである。

【進学相談会開催実績】

入試対象年度 (開催年度)	各種説明会への参加回数	個別相談者数
令和7年度入試対象 (令和6年度開催)	83回	925人
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	76回	800人
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	86回	798人

※来訪者に対する全体説明等の開催形態の場合の人数は除外している。

また、令和6（2024）年度各種説明会への参加回数は例年通りであったが、個別相談者数は大きく増加する結果となった。

3）高等学校訪問

本学では、入学部事務職員が、学生募集における重点エリアと設定する府県（京都府、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、石川県、福井県）を中心に、本学に対する出願実績

を有する高等学校を訪問し、進路指導担当教員と面会し、意見交換の機会をいただいている。過去３年間の高等学校訪問の実績は以下のとおりである。

【高等学校訪問実績】

入試対象年度 (開催年度)	訪問校数	内訳	
		府県	訪問校数
令和７年度入試対象 (令和６年度開催)	415 校	京都府	198 校
		滋賀県	84 校
		大阪府	68 校
		奈良県	28 校
		兵庫県	11 校
		福井県	11 校
		石川県	8 校
		岡山県	7 校
令和６年度入試対象 (令和５年度開催)	405 校	京都府	197 校
		滋賀県	83 校
		大阪府	64 校
		奈良県	31 校
		兵庫県	9 校
		福井県	10 校
		石川県	6 校
		岡山県	3 校
		岐阜県	1 校
		山口県	1 校
令和５年度入試対象 (令和４年度開催)	410 校	京都府	198 校
		滋賀県	79 校
		大阪府	72 校
		奈良県	29 校
		兵庫県	9 校
		福井県	10 校
		石川県	8 校
		岡山県	5 校

４）高等学校教員対象進学説明会

本学では、毎年高等学校教員を対象に、京都（本学）会場、大阪会場、滋賀会場にて、前年度入試結果報告及び当年度入試概要説明を中心に、本学の現状や取り組みの紹介等、進学説明会を開催している。過去３年間の高等学校教員対象進学説明会の実績は以下のとおりである。

【高等学校教員対象進学説明会開催実績】

入試対象年度 (開催年度)	開催日	出席者数
令和7年度入試対象 (令和6年度開催)	6月19日(水)・20日(木)・27日(木)	85人
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	6月27日(火)	53人
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	6月16日(木)・21日(火)・22日(水)	59人

※WEB視聴型開催を含む

令和6(2024)年度においても年3回の開催としたが、例年にも増して多くの高等学校進路指導担当教員に参加していただけた。

また、本学が主催する進学説明会以外にも、京都府看護学校連絡協議会が主催する看護フェアによる高等学校教員への大学案内の機会を積極的に活用し、本学の特色等をプレゼンテーションすることにより、高等学校の進路指導担当教員に対し、本学で学ぶうえでのメリットをアピールすることに努めている。

5) 高等学校での出張講義

本学では、高大連携の一環として、また、高校生に大学で学ぶことの意義や面白さ、学問領域の深さや広さを感じとり、進路選択について考える機会を提供することを目的として、各学部学科に配置する高大連携担当教員を中心に本学教員を派遣し、高等学校との様々な連携事業を推進している。その中でも高等学校での出張講義は、実際に本学教員が高等学校に出向き、高校生に大学の授業を体感してもらうことにより、本学の魅力を伝え、志望者を増やす努力を続けている。過去3年間の高等学校での出張講義の実績は以下のとおりである。

【高等学校での出張講義開催実績】

入試対象年度 (開催年度)	大学全体教員派遣件数	内、看護学科教員派遣件数
令和7年度入試対象 (令和6年度開催)	58件	6件
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	69件	7件
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	56件	4件

6) 入試対策講座

本学では、受験者向けに外部教育機関の塾講師を招き、出題傾向や効果的な対策方法を解説する等の様々な入試対策講座を提供している。また、遠方在住等の理由で当日対面での受講が難しい受験者のために、後日オンデマンド配信型の講座も提供しており、受験者のニーズを満たし、モチベーション向上につながられている。過去3年間の入試対策講座の実績は以下のとおりである。

【入試対策講座開催実績】

入試対象年度 (開催年度)	開催日	受講者数
令和7年度入試対象 (令和6年度開催)	10月6日(日)	562人
	12月22日(日)	490人
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	10月8日(日)・15日(日)	602人
	12月17日(日)・23日(土)	308人
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	10月8日(土)・9日(日)・15日(土)	602人
	12月10日(日)・23日(金)	255人

※WEB視聴型開催を含む

令和6(2024)年度は年2回の開催としたが、参加者数は1,052人であり、過去2ヵ年(令和5(2023)年度、令和4(2022)年度)と比較しても更に増加傾向にある結果となった。

7) 資料請求者

本学では、大学の概要、学部学科での学び、学生生活、就職支援、入試情報等を掲載した大学案内を作成し、出願実績を有する高等学校訪問の際に持参し、高校生が学校内で本学の情報を目にできるように努めている。またホームページや進学関連WEBサイトからの資料請求者に対し、自宅へ送付している。その際、必要に応じてイベント開催情報等のリーフレットを添付し、オープンキャンパスや進学相談系の参加へ誘導できるように努めている。今後の課題として、オープンキャンパスや資料請求等の一次接触から、志願、入学までの状況を定量的にデータ管理することで、学生募集の最適化に努めたい。

【資料請求者件数(月別集計)実績】

	接触者数(延べ数)		接触者数(実数)		発送者数(延べ数)	
	令和5 (2023) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和4 (2022) 年度
4月	5,129	4,741	4,128	4,017	3,880	10,172
5月	6,097	6,933	5,011	5,862	16,122	18,195
6月	7,491	8,478	6,027	7,055	36,287	39,974
7月	6,764	6,551	5,528	5,318	26,325	11,183
8月	5,763	6,807	4,521	5,352	4,765	5,654
9月	2,992	3,810	1,922	2,270	25,806	23,298
10月	3,732	4,361	2,817	3,233	25,591	3,832
11月	2,651	2,127	2,159	1,662	15,118	15,150
12月	2,546	2,780	1,837	1,960	2,162	2,335
1月	1,730	1,494	1,312	1,020	1,397	1,325

2 月	1, 191	1, 288	889	874	999	1, 033
3 月	0	0	0	0	2	1
合計	46, 086	49, 370	36, 151	38, 623	158, 454	132, 152

※通常 3 月請求分は、4 月分に加算し、集計している

また、令和 6（2024）年度資料請求者件数（月別集計）実績の総数は、それぞれ接触者数（延べ数）51,464 人、接触者数（実数）46,244 人、発送者数（延べ数）126,190 人であった。令和 5（2023）年度との比較において、接触者の増加に対する発送者数の減少は、学年や地域でセグメントしてターゲットを絞ったうえでの効果的な資料送付を行ったことが要因であると考えている。

8）本学ホームページアクセス数

本学では、大学の概要、学部学科での学び、学生生活、就職支援、入試情報等を掲載する大学案内とは別に、より分かりやすく、より速く情報を高校生に届けられるよう、ホームページによる情報発信に努めている。閲覧する端末の内訳よりパソコンとスマートフォン等のモバイル端末との利用数において大差がないことから、より高校生が見やすく感じられるよう、更にモバイル端末用のページの充実化を図っていきたい。

以下に本学ホームページへの直近年度のアクセス数を以下に示す。

○本学トップページ (<http://www.bukkyo-u.ac.jp/>)

年月	閲覧数	内訳	
		PC での閲覧数	Mobile での閲覧数
2023 年 4 月	76,206	41,977	34,229
2023 年 5 月	49,600	30,753	18,847
2023 年 6 月	54,848	35,107	19,741
2023 年 7 月	59,959	36,408	23,551
2023 年 8 月	49,688	22,220	27,468
2023 年 9 月	42,977	22,286	20,691
2023 年 10 月	46,460	26,679	19,781
2023 年 11 月	42,707	24,122	18,585
2023 年 12 月	41,576	23,886	17,690
2024 年 1 月	45,662	26,169	19,493
2024 年 2 月	46,349	24,013	22,336
2024 年 3 月	46,398	21,799	24,599
合計	602,430	335,419	267,011
平均	50,203	27,952	22,251
最大	76,206	41,977	34,229
最小	41,576	21,799	17,690

○本学入試情報サイト (<http://www.bukkyo-u.ac.jp/find/>)

年月	閲覧数	内訳	
		PC での閲覧数	Mobile での閲覧数
2023 年 4 月	7,309	2,696	4,613
2023 年 5 月	6,175	2,798	3,377
2023 年 6 月	7,721	3,481	4,240
2023 年 7 月	10,570	4,784	5,786
2023 年 8 月	9,785	4,177	5,608
2023 年 9 月	13,700	5,172	8,528
2023 年 10 月	15,530	5,895	9,635
2023 年 11 月	22,560	6,953	15,607
2023 年 12 月	15,256	5,029	10,227
2024 年 1 月	20,238	6,464	13,774
2024 年 2 月	19,210	5,529	13,681
2024 年 3 月	10,400	3,481	6,919
合計	158,454	56,459	101,995
平均	13,205	4,705	8,500
最大	22,560	6,953	15,607
最小	6,175	2,696	3,377

また、令和 6（2024）年度における本学ホームページ月別平均アクセス数について、本学トップページが 48,473 件、本学入試情報サイトが 12,828 件であり、例年通りの数値結果となった。

9）本学入学部 SNS の登録者数

本学では、YouTube や本学入学部が運用する各種 SNS の展開による広報活動にも積極的に取り組んでいる。

本学公式 YouTube チャンネルでは、大学紹介、オープンキャンパスの案内、学生が制作したキャンパス紹介動画、学生による社会連携センター活動報告会、学術講演会・シンポジウムの記録映像等、大学の取り組みやイベントに関する多岐にわたる情報を発信している。これらの動画を通じて、本学の教育・研究活動や学生生活、社会との連携等、様々な側面を視聴できるように努めている。

また、本学公式 SNS アカウントでは、学生の活動、イベント情報、入試関連情報、キャンパスの風景、学生の活躍等、大学に関する様々な情報を幅広く紹介している。本学入学部が運用する SNS アカウントをフォローすることで、本学の最新情報をタイムリーに入手できるように努めている。以下に各種 SNS の登録者数を以下に示す。

【SNS 登録者数（2025 年 1 月現在）】

SNS	登録者数	情報発信数 (年間)	情報発信 頻度
Instagram	1,240 人	100	週に 2 回程度

LINE	14,250 人	80	週に 1 回程度
X	274 人	100	週に 2 回程度
合計	15,764 人	280	—

イ 新設組織における取組とその目標

新たに設置する看護学部は、既設組織の学部化を図り、収容定員の増員を踏まえた改組を行うため、既設学部学科と同様の学生募集活動を展開し、更に強化していく。本学では、更に高等学校等教育機関との信頼関係を構築しつつ、高大連携事業の実質化に向けた取り組みを推進することを目的に、令和 5（2023）年度に高大連携センターを設置し、高等学校の設置学科、コースや高等学校独自の取り組み、本学の学部学科編成の関連性等、「学びの継続」の観点を踏まえ、高等学校のニーズに合わせた高大連携プログラムの構築を目指している。高校生が自ら選択し、入学する学部学科にミスマッチを生じさせないようにし、大学での学びにスムーズに移行できるよう、高大接続教育、入学準備教育、学部・学科の専門教育等が体系的につながった継続的な連携プログラムを提供していきたいと考えている。そのような趣旨のもと、看護学部における求める人材像、教育内容と特色、卒業後のビジョン等を如何に高校生に的確に伝え、理解されるべく様々な学生募集活動の取り組みを展開し、多様な入学者選抜を実施し、志願者及び入学者の確保につなげていきたい。

それぞれの取組における目標を次のとおりとする。

- ・オープンキャンパスについては、別紙 3 のとおり過去 2 年の実績（R5：159 人、R6：156 人）より、看護学部を志望する受験対象者参加者数の目標を 170 人とする。開催日程については、これまでと同様に年間で 7 回の開催とするが、ホームページ、YouTube 及び SNS での情報発信を強化する。また、各回のリーフレットを制作し、学外進学相談会での配付や資料請求者に同封にて送付する等、オープンキャンパスの参加へ誘導する。
- ・学外進学相談会（地区相談会）については、別紙 3 のとおり過去 2 年の実績（R5：798 人、R6：800 人）を踏まえ、これまで個人を特定する情報や志望学科等の情報収集は任意としており、実数把握は困難な状況であるが、入学者数の見込みに関する分析が行えるよう、志望学科等の受験対象者数の把握に努め、看護学部を志望する受験対象者参加者数の目標を 80 人とする。これまでの取組に加え、特に看護・医療系大学の進学相談会への積極的に参加し、個別相談対応者数の増加を目指したい。
- ・高等学校訪問については、別紙 3 のとおり過去 2 年の実績（R5：410 校、R6：405 校）より、過去既設学科への受験実績を有する高等学校への訪問を強化し、同等数である 410 校を目標とする。なお、実際に高校生を対象に校内ガイダンスの機会をいただけるよう努め、オープンキャンパスや進学相談会への参加へ誘導していきたい。
- ・高校教員対象進学説明会については、別紙 3 のとおり過去 2 年の実績（R5：59 人、R6：52 人）より、これまでと同様に年間で 3 回の開催とするが、開催日時・場所・形態等について検討を重ね、より多くの参加者が得られるよう取り組んでいきたい。
- ・出張講義については、別紙 3 のとおり過去 2 年の実績（R5 看護学科教員派遣：4 件、R6 看護学科教員派遣：7 件）より、10 件を目標とし、校内で本学教員による講義を受講することで、大学での学びの面白さ、学問領域の深さや広さを感じ、本学に対する理解を

深め、出願につなげていきたい。

- ・入試対策講座については、別紙3のとおり過去2年の実績（R5：857人、R6：910人）より、参加者総数の目標を950人とする。受験予定者のニーズを満たすような講座内容を企画し、ホームページやSNSによるアナウンスの時期や内容を精査したうえで実施していきたい。
- ・資料請求者数については、別紙3のとおり過去2年の実績（R5：132,152、R6：158,454人）より、160,000人からの資料請求を目標とする。これに加え、高等学校での資料設置やオープンキャンパスや進学相談会での配付も強化し、高校生に閲覧してもらう機会を増やしていきたい。
- ・SNS等による情報発信については、年間情報発信数300を目標とし、様々な側面からの情報発信に努め、本学への理解を深める機会を提供することで、オープンキャンパスや進学相談会への参加へ誘導し、本学への出願につなげていきたい。

また、看護学部の開設については、高校生への理解も重要であるが、学生の臨地実習の受け入れに支援いただいている地域における医療・保健・福祉に携わる保健医療福祉関係者にも理解いただくことも重要であると考えことから、看護学部開設記念行事を計画している。

具体的には、令和8（2026）年4月開設前に、京都府・京都市行政関係者、実習施設の臨地実習指導者・看護部長、卒業生等を招き、講師2名による看護職者のオンボーディング（人材定着）及びキャリア形成関する基調講演を行い、その後、本学での学びや取組等への理解を深める機会として情報意見交換会を行いたい。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

看護学部における入学者の見込みについて、これまでの既設組織で行ってきた取組は、すべて参加する高校生にとってのニーズを満たしているものと捉えているため、従来の取組の継続ならびに強化をしていきたいと考えている。また、今後も継続するオープンキャンパスや進学相談会を中心とした取組への参加者数・受験対象者数や、入学者選抜試験における志願者数や競争倍率の実績を丁寧に分析していき、より一層高校生に対して本学の魅力を伝え、高校生にとってのニーズを満たせる取組となるよう改善し強化していきたい。

また、過去2年間に実施してきたオープンキャンパスに参加した受験対象者数は、令和6（2024）年度入学者選抜716人、令和5（2023）年度入学者選抜627人であり、来場者数も年々増加傾向にあること、オープンキャンパスに参加した受験対象者数と比較して入学者選抜試験受験者数が、令和6（2024）年度入学者選抜は1,252人、令和5（2023）年度入学者選抜は1,165人であったことから、オープンキャンパスだけでなく、他で実施しているPR活動も効果的であることから、高校生へのアピールが十分に行えていると考えている。

その結果、令和7（2025）年度入学者獲得に向けた本学の取組の実績として、令和7（2025）年度の既設組織入学者選抜状況において、志願者数1,369人、志願者倍率21.1倍という依然として高い数値を保持しており、また、令和7（2025）年度入学者においても「第一志望」57.3%（過去5年上昇し、最大）、「第二志望」30.7%、「第三志望以降」12.0%であったことから、これまで以上に本学志望度が高まっている結果となった。

以上のことから、今後も各種取組の開催日数を増やし、受験者と教職員・在学生が直接対

話す機会を増やす等の充実を図り、更に参加者数を増員させることで、入学定員 80 人の充足が可能であると考え。

② 競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

【競合校の選定理由】

本学看護学部では、これまでの既設組織への入学者の出身都道府県等の実績に基づき、より多くの学生確保が見込める地域として、京都府、滋賀県、及び大阪府（特に、茨木市、吹田市、高槻市、豊中市、寝屋川市、枚方市）を中心に、主な学生募集地域と設定している。なお、中長期的な 18 歳人口予測に鑑みても、主な学生募集地域の設定は妥当であると考え。その中で、まず本学と類似する、学位の分野が保健衛生学関係（看護学関係）の学科で、かつ同等程度の入学定員を置く私立大学を競合校として考える。その他の要素として、学力層（偏差値）が考えられるが、本学は、他大学の併願も含め、近い偏差値を競合校として設定する。

以上の要件から、競合校として考えるのは、以下の 7 つの大学である。

【競合校として選定する大学】

大学名 学部・学科名	所在地	入学定員	偏差値
佛教大学 看護学部 看護学科	京都府京都市中京区	80	47.5～50.0
同志社女子大学 看護学部 看護学科	京都府京田辺市	90	52.5～55.0
京都橘大学 看護学部 看護学科	京都府京都市山科区	95	52.5
京都先端科学大学 健康医療学部 看護学科	京都府京都市右京区	80	47.5
京都光華女子大学 健康科学部 看護学科	京都府京都市右京区	85	47.5
大和大学 保健医療学部 看護学科	大阪府吹田市	100	50.0
千里金蘭大学 看護学部 看護学科	大阪府吹田市	90	47.5
摂南大学 看護学部 看護学科	大阪府枚方市	100	50.0

※偏差値・・・河合塾が公表する数値に基づき作成

【競合校と比較した際の本学看護学部の優位性】

本学看護学部の優位性について、以下の観点より分析する。

・教育の内容と方法

本学は、1912 年創立の歴史ある大学で、教育・福祉・医療系分野において長年の実績を持つ。看護学部の教育は、仏教の思想を教育の基盤としており、「共生」「他者理解」を重視する仏教的価値観を背景とした教育を提供し、倫理観や患者中心の看護を強く意識したカリキュラムを整えている。特に高齢者ケアや終末期医療において、仏教的視点を活かしたケアの学びができる点は強みであり、看護師としての人間性を養う点においてアドバンテージになると言える。広範な保健医療技術の枠組みの中で、最新の医療技

術やシミュレーション教育、臨床実習を組み合わせたカリキュラムを構築している。実際の現場で求められる判断力・技術の習得と、理論に裏打ちされた知識の両輪で学生を育成している。また、看護学部のみならず、他学部（教育・社会福祉・臨床心理・医療分野）との連携が可能であり、看護学と関連分野を広く学べる環境が整っている。看護学に関する知識や技術の習得にとどまらず、患者の心理・社会的側面への理解を深めることができ、特に理学療法学科、作業療法学科の学生との交流において情報交換することは臨地実習でも活かされ、チーム医療の観点でも有益であり、競合校との比較分析の観点において、本学の大きな特長と言える。

看護学科を置く多くの大学は附属の医療機関を持たないが、本学看護学部は地域の医療機関との連携が強く、京都市内の大規模病院や本学卒業生の多くが施設長を務める福祉施設等の臨地実習先との連携を図り、幅広く質の高い臨時実習経験を積める環境を整えている。また、臨地実習のフォロー体制も手厚く、教員との距離が近く、個別指導が受けやすい環境を整えている。このことは、以下に示すとおり、教員1人あたりの学生数から見て、競合校と比較しても本学は少人数制教育の充実が図れていると言える。

【競合校における教員1人あたりの学生数】

大学名 学部・学科名	入学定員	教員数	教員1人あたりの 学生数
佛教大学 看護学部 看護学科	80	33	2.42
同志社女子大学 看護学部 看護学科	90	32	2.81
京都橘大学 看護学部 看護学科	95	38	2.50
京都先端科学大学 健康医療学部 看護学科	80	17	4.71
京都光華女子大学 健康科学部 看護学科	85	29	2.93
大和大学 保健医療学部 看護学科	100	15	6.67
千里金蘭大学 看護学部 看護学科	90	37	2.43
摂南大学 看護学部 看護学科	100	38	2.63
平均			3.39

・入学者選抜（競合校の実施時期、入学手続き時期との関係）

入学者選抜の実施時期については、多くが受験する併願可能な一般選抜を中心に比較する。【資料9】

一般選抜については、多くの大学で2月初旬から3月上旬にかけて実施し、合格発表については、概ね実施後1週間から2週間程度で行っている。

偏差値（河合塾が公表する数値）から見た場合の本学と同等もしくは上位層の大学と選抜試験実施日の日程重複はなく、受験者にとって十分な受験機会を提供できていると考えている。

また、入学金納入期限を含む入学手続き期間については、3月の選抜試験実施の場合は、いずれの大学も翌年度4月に入学者受け入れ準備期間を要するため、あまり期間に猶予を与えることができない状況であるが、3月以外の入学手続き期間については、い

ずれの大学も競合校と併願する受験者にとって十分な期間を確保していると言える。

本学は、受験から入学手続きまでのスケジュールが明確かつ計画的に設定されている。各種選抜試験における選抜方法の評価基準についても明確であり、入学後の教育との連動性が考慮されているため、学生の適性に即した入学が実現できる。その結果として学習環境への適応や卒業後の実践力向上につながっていることから、受験者にとって安心して進路選択ができる環境を提供していると言える。

・学生納付金、奨学金制度等の就学支援の内容

学生納付金については、これまでの既設組織で設定した入学初年度の年間納付金が、競合校と比較して高い設定であった。競合校7校における、初年度の学生納付金（入学金除く総額）の平均は、約1,575千円（総額の平均は、約6,853千円）となっている。

【資料10】

これに対し、特に入学年次における学費支弁者の負担軽減や4年間の年間納付金額の均一化を図る等の検討を行い、以下のとおり学費改定を行う。

	1年目学費	2年目学費	3年目学費	4年目学費	合計
現行	1,950,000円	1,790,000円	1,790,000円	1,790,000円	7,320,000円
改定案	1,850,000円	1,840,000円	1,840,000円	1,840,000円	7,370,000円

・1年目学費内訳

現行：入学金200,000円、授業料1,350,000円、教育充実費（設備費）400,000円

改定案：入学金250,000円、授業料1,350,000円、教育充実費（設備費）250,000円

・2年目以降学費内訳

現行：授業料1,390,000円、教育充実費（設備費）400,000円

改定案：授業料1,390,000円、教育充実費（設備費）450,000円

具体的な学生納付金の設定にあたっては収支均衡、対外的な競争力、一般的な平均水準等について総合的に勘案した結果として、学生1人あたり4年間で、総額7,120千円（入学金を除く）を学生納付金として設定した。内訳は、初年度の授業料1,350千円、教育充実費250千円、2年目以降の授業料総額4,170千円、教育充実費総額1,350千円としている。

以上のように、看護学部の学生納付金は、競合校における平均金額よりやや高い設定となっているが、最新の医療技術やシミュレーション教育機器等を用いた教育の実施及び充実した臨地実習を組み込んだカリキュラムを提供するための継続的な教育研究環境の整備に充てている。更に基幹教員1人あたりの学生比率が競合校よりも低く、丁寧かつ手厚く行き届いた少人数教育の充実化を図っていると考ええる。

また、本学は学業成績や家庭の経済状況に応じた多様な奨学金制度を設けており、経済的な負担を軽減する支援体制を整えている。これらの奨学金制度は、学内外への情報提供や相談窓口等の充実により、学生一人ひとりに寄り添った支援を実現している。

具体的には、入学者選抜に関する奨学制度として、一般選抜（B日程）及び大学入学共通テスト利用選抜（前期）において、当該選抜における総合得点の得点率が80%以上の合格者で、かつ各学部合格者の上位5%以内にある者に対し、半期学費（授業料・教育充実費）相当額を奨学金として最大4年間支給する「佛教大学入学試験成績優秀者奨

学金」を設けている。また、近畿圏外の学生を対象にした「佛教大学入学支援奨学金」は、看護師資格をはじめとして、国内の様々な地域から本学の教育を受ける機会を提供できるようにしている。

入学後は、京都市看護師修学資金融資制度を利用できる貸付制度を設けており、また、京都府看護師等修学資金をはじめ、各府県による看護師等修学資金の情報提供を行い、経済的な理由による修学断念を防ぎながら、看護師不足に悩む地方自治体への橋渡しも行っている。

なお、学費支弁者に係る不慮の事故や失業などには「佛教大学緊急奨学金」として授業料の免除を行い、災害救助法適用地域で被災された方に対しては、「被災者に対する奨学金規程」により被災状況に応じた奨学金支給を準備し、家計急変の場合でも、安心して修学し勉学に励むことができる体制を整えている。

経済事情による奨学金制度申請者に対しては、丁寧な面談を実施し、申請以外の奨学金や減免制度もあわせて紹介する等、きめ細かく、できるだけ多くの学生に奨学金制度による支援を行えるように努めている。

この他に、前年度の修得単位により学部等で上位の学生には、佛教大学奨学金を支給している。

・就職支援の内容

就職支援について、本学では、低学年時からのキャリア形成を意識付けさせるための科目を配置し、少人数教育のなかで個別の相談や指導を行える体制を組んでいる。また、学生の希望する進路に応じて、就職や進学に向けた情報提供、総合的に就職活動を支援する組織として、進路支援部進路就職課を配置している。各学部には全般的な学生支援を担う専任教員の他、専任事務職員、資格を有するキャリア・アドバイザーを配置し、手厚いサポートを行っている。

また、資格取得や試験対策のための各種講座を開講し、社会人としての準備や自身の考えるスキルアップの支援になるよう資格取得を目指す学生に向けた学内講座も開講している。

看護学部では、基本的な看護師国家試験受験資格に加え、専門看護師や認定看護師、各種専門分野の資格取得に向けた講座や実習機会を提供しており、これにより、卒業後の進路選択の幅を広げ、専門性を高めたキャリア形成につながっていると考える。競合校も同様の資格取得に向けた支援を行っているが、本学の場合、それらの教育内容とサポート体制が、直接高い国家試験合格率の保持に結びついている点において、学生の實力形成に大きなメリットがあると考ええる。

以下に過去5年間の看護学科卒業者・求職者に対する就職率を示す。

【看護学科卒業者・求職者に対する就職率〔令和元（2019）～令和5（2023）年度〕】

	令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度
卒業者数 【A】	66	59	69	67	61

求職者数	【B】	64	57	61	63	60
求職率（％）	【B/A】	97.0	96.6	88.4	94.0	98.4
就職者数	【C】	64	57	61	63	60
就職率（％）	【C/B】	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
就職率（％）	【C/A】	97.0	96.6	88.4	94.0	98.4

※「卒業者数」－「求職者数」の差は、大学院、専修科・別科（主に助産師課程等）への進学者数

・取得できる資格

看護師国家試験受験資格	看護師課程の所定の単位を修得することにより、資格取得
保健師国家試験受験資格	定員17人（予定）の選抜制 保健師課程の所定の単位を修得することにより、資格取得

以上のとおり、看護学部では、本学学則に基づき、全員が卒業と同時に看護師国家試験受験資格を取得できる。また、保健師国家試験受験資格については、その課程を履修するにあたり、入学者に対し最大17人の定員〔令和7（2025）年5月に看護師学校等変更承認申請予定（文部科学省医学教育宛）〕を設け、別に定める内規に従い、選考試験を実施している。選考試験に合格し、本学学則に規定した単位を修得した場合、保健師国家試験受験資格を取得できる。

看護師国家試験受験資格及び保健師国家試験受験資格については、競合校のいずれの大学においても取得できるが、本学の特筆すべき点は国家試験への高い合格率である。国家試験合格を目指すための徹底したカリキュラムと模擬試験、対策講座が組み込まれており、常に高い合格率の保持に寄与している。実勢的な教育内容と理論の充実が、資格取得に直結する強みのある教育と言える。

【競合校における学校別国家試験合格率】

大学名 学部・学科名	国家試験合格率 (2024年2月)	
	看護師国家試験	保健師国家試験
佛教大学 看護学部 看護学科	100.0%	100.0%
同志社女子大学 看護学部 看護学科	97.8%	100.0%
京都橘大学 看護学部 看護学科	97.9%	100.0%
京都先端科学大学 健康医療学部 看護学科	100.0%	100.0%
京都光華女子大学 健康科学部 看護学科	91.3%	100.0%
大和大学 保健医療学部 看護学科	96.7%	100.0%
千里金蘭大学 看護学部 看護学科	93.5%	93.8%
摂南大学 看護学部 看護学科	97.2%	100.0%

【出典】厚生労働省「第113回看護師国家試験」「第110回保健師国家試験」
学校別合格者状況（新卒・既卒の総数）

・その他（京都市内にある利便性）

本学看護学部が所在する二条キャンパスは、京都市中京区の JR 二条駅前という通学の利便性が競合校と比較しても格段に高い場所にあり、実習先となる医療機関や福祉施設等へのアクセス面においても大きなメリットがあると言える。

イ 競合校の入学志願者動向等

日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」の「学部系統別の動向（大学）」において、本学が設置を検討している看護学部と同系統である看護系の志願倍率は以下のとおりである。

看護学部	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度	令和 6 (2024) 年度
入学定員（人）	9,150	9,203	9,723	9,978	10,455
志願者数（人）	54,346	50,733	51,399	48,896	43,923
志願者率（倍）	5.94	5.51	5.29	4.90	4.20

【出典】日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」〔令和 2（2020）年度～令和 6（2024）年度〕

全国の看護系学部における志願倍率は、令和 2（2020）年度から令和 6（2024）年度まで 4.2 倍～5.94 倍と安定的に高い水準を保っている。

次に、競合校における過去 3 年間（令和 4（2022）年度から令和 6（2024）年度）までの入学志願状況を以下に示す。【資料 11】

本学を含む看護学科を設置している競合校における入学定員が 705 人であるのに対し、令和 6（2024）年度の志願者数は 8,751 人となっており、受験者からの需要は極めて高く、そのなかでも本学看護学部の志願倍率は、競合校の 7 大学中 1 位もしくは 2 位の値を保持している。

以上のように、全国の看護系学部において高く保持している志願倍率や、競合校における過去 3 年間（令和 4（2022）年度から令和 6（2024）年度）の入学者選抜試験実施状況より、本学既設組織の志願倍率は更に高い水準を保っていることは明確である。また、近年において他大学の志願者数が減少傾向にあるにも関わらず、本学既設組織は増加している状況であることから、今後看護学部の入学定員を 15 人増員した場合でも、志願者数が定員を下回ることは考えにくく、志願する学生にとってのメリットは大きいと考える。

ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）

（3）②イ 競合校の入学志願動向等で言及したように、全国の看護系学部における志願倍率は、令和 2（2020）年度から令和 6（2024）年度まで 4.2 倍～5.94 倍と安定的に高い水準を保っているが、以下のとおり競合校において入学定員未充足が見られる。【資料 11】

【競合校の入学定員未充足状況】

大学名 学部・学科名	入学定員充足状況	
	対象年度	入学定員充足率

京都先端科学大学 健康医療学部 看護学科	令和 6 (2024) 年度	0.89
千里金蘭大学 看護学部 看護学科	令和 6 (2024) 年度	0.98
摂南大学 看護学部 看護学科	令和 4 (2022) 年度	0.99
	令和 6 (2024) 年度	0.93

しかしながら、3校ともに過去3年間における入学定員充足率の平均値は、1.00を超えており、適切な定員管理がなされていると料されるため、本学看護学部の学生確保において影響はないと考える。

エ 学生納付金の設定の理由

学生納付金については、大学の経営に係る財務的な視点と学生納付金の学生への還元など受益者に対する説明責任の観点を重視しつつ、大学の将来の発展を目的とする施設・設備の充実を考慮するとともに、近隣他大学の類似学部学科における学生納付金の設定状況を勘案したうえで、完成年度に収支の均衡が計れることを前提に教育研究経費比率や経営経費依存率を見据え、本学部学科の運営上における人件費及び教育研究や管理運営に係る経常経費等の財務予測による実質的な採算分岐点にもとづき設定している。

具体的には、本学科の完成年度（令和 11（2029）年度）における通学部門全体の消費支出のうち、人件費、教育研究経費、管理経費の経費合計額に相当する額を令和 11（2029）年度の各学部における学生納付金収入額の金額按分で算出すると、看護学部学生 1 人あたり約 2,356 千円となる。

以上のように、具体的な学生納付金の設定にあたっては収支均衡、対外的な競争力、一般的な平均水準等について総合的に勘案した結果として、学生 1 人あたり 4 年間で、総額 7,120 千円（入学金を除く）を学生納付金として設定した。内訳は、初年度の授業料 1,350 千円、教育充実費 250 千円、2 年目以降の授業料総額 4,170 千円、教育充実費総額 1,350 千円としている。

③ 先行事例分析

大阪青山大学は令和 6 年度に健康科学部看護学科（入学定員 80 人）を廃止し、令和 6（2024）年 4 月看護学部看護学科（入学定員 90 人）に改組している。

当時の健康科学部の学生 1 人あたりの学生納付金については、第 1 学年次は 1,976 千円、第 2 学年次から第 4 学年次までは 1,680 千円（保健師課程履修者には、実習費として 60 千円を別途徴収）とし、卒業までに 6,976 千円（保健師課程履修者は 7,036 千円）の納付設定であった。現在の看護学部情報学部の学生納付金は、第 1 学年次は 1,966 千円、第 2 学年次から第 4 学年次までは 1,670 千円とし、卒業までに 6,976 千円（保健師課程履修者は 7,036 千円）の納付設定であり、改組前と比較して 50 千円の減額としている。

看護学部看護学科の令和 6（2024）年度の入学者数は 107 人（入学定員充足率 118.9%）、健康科学部看護学科の令和 5（2023）年度は 93 人（入学定員充足率 116.3%）となっており、改組前後ともに学生確保ができています。（学生納付金及び入学者数（入学定員充足率）は、大学

ホームページに記載の情報に基づく）。

その他に近年多くの大学が「看護学部」として開設（例えば、令和 7（2025）年度開設予定であれば、植草学園大学、別府大学、藍野大学、神戸常盤大学が挙げられる）しており、他大学においても、より一層高校生に明確に学びがイメージできる学部名とする動きであると推察する。また、看護学部の収容定員を増員することは、近年京都府をはじめとする看護職の人材不足解消に貢献するべく、社会的要請に対応するものである。

④ 学生確保に関するアンケート調査

看護学部を設置するにあたり、入学定員に係る学生の確保の見通しを定量的データから検証するために、第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）による高校 2 年生（調査実施時）を対象として、「佛教大学看護学部看護学科（仮称）設置構想についての高校生アンケート調査」を実施した。

以下は、高校生アンケート調査の結果である。

<高校生アンケート調査>実施概要

調査内容	本学が 2026 年 4 月に設置構想中の看護学部における学生確保の見通しを検証するために、高校生アンケートを実施した。 アンケート項目は全 7 問で、全て選択肢式とした。
調査実施時期	2024 年 10 月～2025 年 2 月 【追加調査】 2025 年 3 月～7 月
調査対象	2025 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い <u>高校 2 年生</u> （2024 年度時点）をアンケートの対象とした。依頼対象校は以下とした。 ■ 看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科へ志願実績のある 301 校（近畿圏中心。一部、北陸・中国地方の高校を含む）にアンケート依頼をし、54 校よりアンケート実施の協力を得た。 ■ 2024 年度オープンキャンパス来場者 【追加調査】 以下の対象者（すべて現高校 3 年生）に追加調査を実施した。 ■ 看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科へ志願実績のある高等学校でかつ前回未実施の高等学校 6 校よりアンケート実施の協力を得た。 ■ 2025 年 3 月 20 日・6 月 1 日開催オープンキャンパス来場者 ■ 2025 年 6 月商業系高等学校対象学科説明会（動画視聴型開催）参加者
実施高校	合計 60 校 近畿地方：58 校（滋賀県 7 校、京都府 25 校、大阪府 18 校、 兵庫県 2 校、奈良県 4 校、和歌山県 2 校） そ の 他： 2 校（石川県 1 校、福井県 1 校）
実施人数	7,614 人

調査実施方法	協力先の高校に高校生アンケート調査用紙、「看護学部看護学科（仮称）」概要およびリーフレットを必要部数送付。ホームルームで配付の上、その場で回答し回収いただいた。 また、本学開催のオープンキャンパスおよび学科説明会申込者の自宅に高校生アンケート調査用紙、「看護学部看護学科（仮称）」概要およびリーフレットを送付し、回答のうえ、本学宛に返送いただいた。
調査項目	■ 回答者基本状況（居住地、性別、高校卒業後の進路、志望する大学等の設置者、興味のある学問分野） ■ 佛教大学看護学部について（受験意向、入学意向）

高校生アンケート調査では、看護学部の特色・学費・アクセスなどをリーフレットで示した上で、実施概要で示したように回答者基本情報と、看護学部への受験・入学意向等について回答を求め、高校生 7,614 人から回答を得た。

本学の看護学部に対し 556 人が受験意向を示しており（「第一志望として受験する」147 人、「第二志望として受験する」109 人、「第三志望以降として受験する」300 人）、予定する入学定員計 80 名の 7.0 倍の水準に及ぶことが明らかとなった。

一方、「大学」進学、進学希望する大学の設置者として「私立」、興味のある学問分野として「看護学」を選択した者は合計 757 人で、その上で看護学部を「第一志望として受験する」としたのは 85 人、「第二志望として受験する」74 人、「第三志望以降として受験する」164 人、以上を合計すると 323 人であった。また、「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は 84 人、それとは別に「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で 200 人いた。

なお、本アンケートは＜高校生アンケート調査＞実施概要で示したように看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科へ志願実績のある 301 校に依頼しているが、期日や高校側の都合によりアンケート回答が得られたのは 60 校分（加えてオープンキャンパス分）に留まる。つまり本アンケート調査はあくまで志願実績校一部の結果に留まり、アンケート回答が得られなかった残りの高校でも同等程度の受験・入学希望者がいると推察されることから、全体では依頼 301 校÷実施 60 校＝5.0 倍（小数点第二位以下切り捨て）の受験・入学希望者が見込まれることが推察される。よって、第一～第三志望以降の合計で 323 人の受験希望者がいたことを踏まえると、1,615 人程度（＝323 人×5.0 倍）の受験希望者は確保できると想定される。入学希望者についても「第一志望⇒入学する」のみで 420 人（＝84 人×5.0 倍）、「第二志望または第三志望以降⇒志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は 1,000 人（＝200 人×5.0 倍）。【資料 12】

また、本学では、入学後の基礎学力調査受検時にアンケート調査を実施しており、その回答集計より既設組織への入学者の傾向として、本学を第一志望とする受験者は年々増加傾向にあり、令和 7（2025）年度本学入学者対象に実施した調査においても、第一志望での入学者が 57.3%（過去最大）、第二志望での入学者が 30.7%、第三志望以降での入学者が 12.0%というように、これまで以上に本学志望度が高まる結果となった。

なお、過去 5 年間（令和 2（2020）年度から令和 6（2024）年度）の本学志望別の平均人数

およびその割合は、第一志望での入学者が 30.6 人（45.5%）、第二志望での入学者が 25.4 人（37.8%）、第三志望以降での入学者が 11.2 人（16.7%）となっており、今回高校生を対象に実施したアンケート調査結果の数に、第二志望での入学者の割合（37.8%）、第三志望以降での入学者の割合（16.7%）を乗じた場合、それぞれ 21 人と 23 人となる。アンケートで「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した 84 人に加えると 128 人となり、今回高校生を対象に実施したアンケート調査項目の数に対して、その割合を乗じて考えた結果からも、看護学部の入学定員 80 人を十分に満たすと考えられる。

【看護学科入学時アンケート回答集計〔本学志望度〕】

学部・学科名	入学年度	入学者数	本学志望度		
			第一志望	第二志望	第三志望以降
保健医療技術学部 看護学科	令和 2 (2020) 年度	67 人	22 人	32 人	13 人
			32.8%	47.8%	19.4%
	令和 3 (2021) 年度	68 人	26 人	30 人	12 人
			38.2%	44.1%	17.6%
	令和 4 (2022) 年度	65 人	32 人	23 人	10 人
			49.2%	35.4%	15.4%
	令和 5 (2023) 年度	70 人	38 人	22 人	10 人
			54.3%	31.4%	14.3%
	令和 6 (2024) 年度	66 人	35 人	20 人	11 人
			53.0%	30.3%	16.7%
平 均			30.6 人	25.4 人	11.2 人
			45.5%	37.8%	16.7%

⑤ 人材需要に関するアンケート調査等

看護学部を設置するにあたり、看護学部で養成する人材の需要を定量的データから検証するために、第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）による医療機関、福祉施設、行政等を対象として、「佛教大学看護学部看護学科（仮称）設置構想についての人材需要アンケート調査」を実施した。

以下は、人材需要アンケート調査の結果である。

＜人材需要アンケート調査＞実施概要

調査内容	本学が 2026 年 4 月に設置構想中の看護学部が養成する人材について、人材需要アンケートを実施した。 アンケート項目は全 10 問で、9 問を選択肢式、1 問を記述式とした。
調査実施時期	2024 年 11 月～12 月
調査対象 (送付先)	看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科の卒業生の採用実績先または求人票送付元であった医療機関、福祉施設、行政など 計 1,064 箇所へ送付

回収件数	221 箇所（回収率 20.8%）
調査実施方法	調査対象先の人事・採用担当者宛に依頼状・人材需要アンケート調査用紙・「看護学部看護学科（仮称）」概要およびリーフレット・返送用封筒を各 1 部送付した（依頼状には WEB 回答用サイトへの URL・QR コードを記載）。ご協力いただける場合は、紙方式・WEB 方式のいずれかのみで回答いただいた。
調査項目	■ 回答元基本情報（所在地、業種、従業員・職員規模） ■ 佛教大学看護学部について（養成する人材（看護師・保健師）の社会ニーズ、養成する人材（看護師・保健師）の採用意向 及び 採用したい場合の採用可能人数（単年度）、看護学部に期待する点）

人材需要アンケート調査では、看護学部の特色・学費・アクセスなどをリーフレットで示した上で、回答元の基本情報に加え、看護学部が養成する看護師・保健師それぞれの社会ニーズと、養成する看護師・保健師それぞれの採用意向等について回答を求め 221 箇所から回答を得た。所在地としては「大阪府」70 箇所（31.7%）が最も多く、次いで本学所在地の「京都府」48 箇所（21.7%）や「兵庫県」29 箇所（13.1%）、「滋賀県」26 箇所（11.8%）など近畿圏が多数を占めた。業種別では「病院（特定機能病院以外）」128 箇所（57.9%）が最も多く、「病院（特定機能病院）」13 箇所（5.9%）、「診療所・クリニック」9 箇所（4.1%）を含めると、医療機関が全体の 7 割近くであった。次いで「保健所・自治体」30 箇所（13.6%）が多く、「高齢者・介護福祉施設」14 箇所（6.3%）、「訪問看護ステーション」8 箇所（3.6%）など、保健師・看護師が活躍する保健・医療・福祉の現場から回答を得た。従業員・職員規模では「300 名以上 1,000 名未満」74 箇所（33.5%）が最も多く、次いで「100 名以上 300 名未満」62 箇所（28.1%）、「1,000 名以上」51 箇所（23.1%）であった。

本学の看護学部が養成する「看護師」人材について「ニーズは高い」とした回答が 139 箇所（62.9%）、「ニーズはある程度高い」の 53 箇所（24.0%）とあわせるとそのニーズを認めたのは 192 箇所（86.9%）で、全体の 9 割近くを占めた。さらに養成する「看護師」人材の採用意向については「採用したい」としたのは 154 箇所（69.7%）で全体の約 7 割を占め、その上で示された採用可能人数（単年度）は合計して 378 人であった。また、看護学部が養成する「保健師」人材について「ニーズは高い」とした回答が 49 箇所（22.2%）、「ニーズはある程度高い」の 61 箇所（27.6%）とあわせるとそのニーズを認めたのは 110 箇所（49.8%）で、全体の半数を占めた。さらに養成する「保健師」人材の採用意向については「採用したい」としたのは 38 箇所（17.2%）で、その上で示された採用可能人数（単年度）は合計して 50 人であった。

このように本学の看護学部が養成する看護師・保健師に対しては、高い人材需要と採用意向が示される結果となった。【資料 13】

（４）新設組織の定員設定の理由

上述のとおり、現代社会において急激な人口減少が進むとともに、超高齢化が進行し、看護需要の増大が想定され、本学が所在する京都府においても看護職の不足は深刻であるなか、「保健・医療・福祉」領域において、ヒューマンケアの中核的担い手としての質の高い看護師・保健師（以下、看護職）を育成することが急務となっている。また、今後 18 歳人口の減少により看護職養成者数の絶対数減少が見込まれるが、超高齢多死社会において地域医療構想が推進

される中で、多様な場面で専門性の高い看護実践ができる人材養成は、わが国においての重要な課題であり、多様な場で自らの強い意志を持って活躍できる看護師・保健師の継続的な養成は必要不可欠である。

そのような現状の社会的課題を解消するために、これまで本学が培ってきた看護職養成の強みを生かすべく看護学部を開設し、より一層質の高い看護職養成の教育環境を整備することにより、養成人数を増員することは、中・長期的に見ても、その必要性は高いと言える。

従って、新たに看護学部としてより学問的な立ち位置を高めた形で看護基礎教育提供の場を再構築すると共に、養成する学生数（入学定員）を増員することは、社会的な意義も大きいと考えることから、看護学部の入学定員は、80人とする。

これは、(2)④で言及したように、新設組織の看護学部看護学科と関連する既設組織である保健医療技術学部看護学科の直近5年間の入学定員の充足状況をみても、受験者数（平均）1,253人、競争倍率（平均）4.3倍であるといった十分な値である。また、(3)④の学生確保に関するアンケート調査結果において、前提となる「大学」進学、かつ「私立」「看護学」を選択する者の合計757人の内、本学看護学部を「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は84人、それとは別に「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で200人と高い数値が示されており、加えて、本学が入学後に実施するアンケート調査結果に基づくこれまでの既設組織への入学者傾向からみても、看護学部の入学定員数以上の入学意向があることは明らかである。

なお、入学者獲得に向けた本学の取組の成果として既設看護学科の令和7（2025）年度入学者選抜における志願倍率は、依然として近隣の看護系学科を設置している大学の中でも高い志願倍率となる21.1倍であったこと、毎年度本学入学者を対象に調査している本学志望度調査結果において、令和7（2025）年度入学者においても「第一志望」57.3%（過去5年上昇し、最大）、「第二志望」30.7%、「第三志望以降」12.0%であったことから、これまで以上に本学志望度が高まっている状況も踏まえると、やはり看護学部の入学定員数以上の入学意向があることは明らかであると言える。

また、(3)②ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性で言及したように、看護学部では、基幹教員数を教授8人、准教授7人、講師7人、助教10人の計32人体制と更に強化する計画している。それによって基幹教員1人あたりの学生数は2.42人となり、更に学生一人ひとりに対する少人数制教育の充実が図れ、丁寧かつ手厚く行き届いた教育環境を提供できると判断した。

最後に、本学における収容定員の増員については、昨今の看護職の人材不足という社会的課題を踏まえて、京都府庁やこれまで本学卒業生の就職先として受け入れていただいた医療機関との面談時、ならびに人材需要アンケート調査結果より、本学での看護職養成人数の増員について歓迎する多くの意見をいただいている。具体的には、本学看護学部が養成する人材に対する採用意向人数（単年度）は、看護師が378人、保健師が50人と非常に高い数値が示された。このように、看護学部における教育活動に対する社会からの期待は大きいことから、設定した入学定員については、問題なく充足できるものとする。

学生の確保の見通し等を記載した書類 資料目次

(別紙 1)	新設組織が置かれる都道府県への入学状況	p. 2
(別紙 2 - 1) ~ (別紙 2 - 26)	既設学科等の入学定員の充足状況 (直近 5 年間)	p. 3
(別紙 3)	既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績	p. 29
【資料 1】	看護職員の需給推計結果 (都道府県別)	p. 31
【資料 2】	『「2040 年を見据えた社会保障の将来見通し (議論の素材)」に基づく マンパワーのシミュレーション』の「現状投影ベース」等に基づく看護 職員の需要推計	p. 32
【資料 3】	第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書	p. 33
【資料 4】	学校基本調査に基づく 18 歳人口予測	p. 36
【資料 5】	進学者数・進学率 (現役) の推移 (近畿地方府県別 2014 年~2023 年)	p. 37
【資料 6】	大学進学時の都道府県別流入・流出者数	p. 38
【資料 7】	佛教大学保健医療技術学部看護学科 入学者出身都道府県内訳集計表	p. 39
【資料 8】	令和 6 (2024) 年度 私立大学・短期大学等入学志願動向	p. 40
【資料 9】	競合校における入学者選抜実施状況	p. 45
【資料 10】	競合校における入学初年度年間納付金額及び在学期間納付金総額	p. 46
【資料 11】	競合校における入学志願状況表	p. 47
【資料 12】	佛教大学看護学部看護学科 (仮称) 設置構想についての高校生アンケ ート調査報告書	p. 48
【資料 13】	佛教大学看護学部看護学科 (仮称) 設置構想についての人材需要アン ケート調査報告書	p. 64

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	京都府	8,543人	24.4%
2	大阪府	6,653人	19.0%
3	滋賀県	3,139人	9.0%
4	兵庫県	2,589人	7.4%
5	奈良県	1,386人	4.0%
	全 体	35,019人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合や収容定員の増加に係る学則変更認可申請の場合に作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	京都府	101.30%	101.37%	98.44%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	保健系学部（大学）	99.28%	96.79%	91.04%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数		6人	8人	8人	9人	10人	8人
	延べ人数	志願者数	9人	5人	9人	5人	6人	7人
		受験者数	9人	5人	9人	5人	6人	7人
		合格者数	9人	5人	9人	5人	6人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	9人	5人	9人	5人	6人	7人
		受験者数	9人	5人	9人	5人	6人	7人
		合格者数	9人	5人	9人	5人	6人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	入学者数		9人	5人	8人	5人	6人	7人
学校推薦型選抜	募集人数		8人	5人	5人	4人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	164人	224人	117人	85人	93人	137人
		受験者数	164人	221人	113人	81人	93人	134人
		合格者数	82人	56人	54人	58人	87人	67人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	58人	53人	46人	55人	81人	59人
	実人数	志願者数	91人	64人	42人	23人	27人	49人
		受験者数	91人	64人	42人	22人	27人	49人
		合格者数	53人	30人	28人	18人	26人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	29人	27人	20人	15人	20人	22人
	入学者数		24人	3人	8人	3人	6人	9人
一般選抜	募集人数		20人	18人	19人	18人	17人	18人
	延べ人数	志願者数	317人	126人	128人	72人	87人	146人
		受験者数	313人	115人	119人	64人	86人	139人
		合格者数	116人	104人	89人	37人	68人	83人
		うち追加合格者数	12人	4人	0人	0人	0人	3人
		辞退者数	102人	96人	78人	31人	54人	72人
	実人数	志願者数	162人	58人	52人	31人	42人	69人
		受験者数	158人	53人	50人	27人	41人	66人
		合格者数	70人	53人	44人	20人	39人	45人
		うち追加合格者数	4人	3人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	56人	45人	33人	14人	25人	35人
	入学者数		14人	8人	11人	6人	14人	11人
共通テスト利用入試	募集人数		4人	4人	3人	3人	3人	3人
	延べ人数	志願者数	19人	7人	10人	6人	9人	10人
		受験者数	19人	7人	10人	6人	9人	10人
		合格者数	15人	7人	9人	6人	8人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	13人	7人	7人	4人	8人	8人
	実人数	志願者数	19人	7人	10人	6人	9人	10人
		受験者数	19人	7人	10人	6人	9人	10人
		合格者数	15人	7人	9人	6人	8人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	13人	7人	7人	4人	8人	8人
	入学者数		2人	0人	2人	2人	0人	1人
その他の特別選抜	募集人数		22人	25人	25人	26人	25人	25人
	延べ人数	志願者数	15人	30人	39人	36人	42人	32人
		受験者数	15人	30人	39人	36人	42人	32人
		合格者数	15人	28人	38人	36人	42人	32人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	3人	6人	2人	3人
	実人数	志願者数	15人	30人	39人	36人	42人	32人
		受験者数	15人	30人	39人	36人	42人	32人
		合格者数	15人	28人	38人	36人	42人	32人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	3人	6人	2人	3人
	入学者数		12人	27人	35人	30人	40人	29人
合計	募集人数		60人	60人	60人	60人	60人	60人
	延べ人数	志願者数	524人	392人	303人	204人	237人	332人
		受験者数	520人	378人	290人	192人	236人	323人
		合格者数	237人	200人	199人	142人	211人	198人
		うち追加合格者数	12人	4人	0人	0人	0人	3人
		辞退者数	176人	157人	135人	96人	145人	142人
	実人数	志願者数	296人	164人	152人	101人	126人	168人
		受験者数	292人	159人	150人	96人	125人	164人
		合格者数	162人	123人	128人	85人	121人	124人
		うち追加合格者数	4人	3人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	101人	80人	64人	39人	55人	68人
	入学者数		61人	43人	64人	46人	66人	56人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	1.02	0.72	1.07	0.77	1.10	0.93
歩留率	0.26	0.22	0.32	0.32	0.31	0.29

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

- ・一般選抜（Ａ日程）と一般選抜（Ｂ日程）は重複算出。
- ・学科併願は重複算出。
- ・辞退者数は延べ人数・実人数とも、「入学者数—合計者数」で算出。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	0人	4人	10人	12人	15人	10人
	延べ人数		12人	11人	12人	9人	11人
	志願者数		12人	11人	12人	9人	11人
	受験者数		12人	11人	12人	9人	11人
	合格者数		8人	11人	12人	9人	10人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	実人数		12人	11人	12人	9人	11人
	志願者数		12人	11人	12人	9人	11人
	受験者数		8人	11人	12人	9人	10人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数	32人	31人	24人	23人	24人	27人
	延べ人数	531人	521人	509人	463人	505人	506人
	志願者数	531人	521人	507人	447人	491人	499人
	受験者数	149人	221人	245人	295人	429人	268人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	106人	181人	192人	235人	370人	217人
	辞退者数	208人	179人	153人	137人	122人	160人
	実人数	208人	179人	153人	132人	120人	158人
	志願者数	85人	88人	98人	112人	110人	99人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	42人	48人	45人	52人	51人	48人
	うち追加合格者数	43人	40人	53人	60人	59人	51人
一般選抜	募集人数	54人	47人	44人	42人	41人	46人
	延べ人数	830人	558人	512人	309人	352人	512人
	志願者数	815人	545人	494人	299人	336人	498人
	受験者数	232人	252人	236人	157人	197人	215人
	合格者数	39人	0人	0人	0人	0人	8人
	うち追加合格者数	175人	198人	197人	124人	157人	170人
	辞退者数	350人	240人	221人	135人	137人	217人
	実人数	343人	230人	215人	129人	132人	210人
	志願者数	131人	127人	121人	80人	94人	111人
	受験者数	15人	0人	0人	0人	0人	3人
	合格者数	74人	73人	82人	47人	54人	66人
	うち追加合格者数	57人	54人	39人	33人	40人	45人
共通テスト利用入試	募集人数	12人	9人	6人	6人	4人	7人
	延べ人数	54人	56人	55人	40人	43人	50人
	志願者数	54人	56人	55人	40人	43人	50人
	受験者数	26人	22人	22人	23人	23人	23人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	26人	21人	22人	21人	21人	22人
	辞退者数	54人	56人	55人	40人	43人	50人
	実人数	54人	56人	55人	40人	43人	50人
	志願者数	26人	22人	22人	23人	23人	23人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	26人	21人	22人	21人	21人	22人
	うち追加合格者数	0人	1人	0人	2人	2人	1人
その他の特別選抜	募集人数	22人	29人	36人	37人	36人	32人
	延べ人数	27人	34人	35人	44人	37人	35人
	志願者数	27人	34人	34人	44人	35人	35人
	受験者数	26人	33人	33人	42人	35人	34人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	6人	7人	5人	9人	8人	7人
	辞退者数	27人	34人	35人	44人	37人	35人
	実人数	27人	34人	34人	44人	35人	35人
	志願者数	26人	33人	33人	42人	35人	34人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	6人	7人	5人	9人	8人	7人
	うち追加合格者数	20人	26人	28人	33人	27人	27人
合計	募集人数	120人	120人	120人	120人	120人	120人
	延べ人数	1442人	1181人	1122人	868人	946人	1112人
	志願者数	1427人	1168人	1101人	842人	914人	1090人
	受験者数	433人	536人	547人	529人	693人	548人
	合格者数	39人	0人	0人	0人	0人	8人
	うち追加合格者数	313人	407人	416人	389人	556人	416人
	辞退者数	639人	521人	475人	368人	348人	470人
	実人数	632人	511人	468人	357人	339人	461人
	志願者数	268人	278人	285人	269人	271人	274人
	受験者数	15人	0人	0人	0人	0人	3人
	合格者数	148人	149人	154人	129人	134人	143人
	うち追加合格者数	120人	129人	131人	140人	137人	131人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120人
入学定員充足率	1.00	1.08	1.09	1.17	1.14	1.10
歩留率	0.28	0.24	0.24	0.26	0.20	0.24

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

・一般選抜（Ａ日程）と一般選抜（Ｂ日程）は重複算出。

・学科併願は重複算出。

・辞退者数は延べ人数・実人数とも、「入学者数－合計者数」で算出。

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数		0人	3人	4人	5人	7人	5人
	延べ人数	志願者数	/	2人	2人	6人	4人	4人
		受験者数		2人	2人	6人	4人	4人
		合格者数		2人	2人	6人	4人	4人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数		2人	2人	6人	4人	4人
		受験者数		2人	2人	6人	4人	4人
		合格者数		2人	2人	6人	4人	4人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		2人	2人	6人	4人	4人		
学校推薦型選抜	募集人数		12人	11人	10人	7人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	216人	148人	77人	60人	64人	113人
		受験者数	216人	143人	77人	60人	62人	112人
		合格者数	76人	44人	68人	53人	53人	59人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	53人	35人	55人	47人	51人	48人
	実人数	志願者数	98人	57人	31人	23人	21人	46人
		受験者数	98人	55人	31人	23人	19人	45人
		合格者数	45人	26人	30人	19人	17人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	22人	17人	17人	13人	15人	17人
入学者数		23人	9人	13人	6人	2人	11人	
一般選抜	募集人数		20人	18人	18人	17人	15人	18人
	延べ人数	志願者数	296人	86人	148人	64人	91人	137人
		受験者数	284人	82人	146人	63人	88人	133人
		合格者数	79人	69人	116人	46人	69人	76人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	59人	55人	104人	40人	56人	63人
	実人数	志願者数	144人	37人	64人	32人	39人	63人
		受験者数	137人	35人	63人	32人	38人	61人
		合格者数	48人	31人	57人	24人	32人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	28人	17人	45人	18人	19人	25人
入学者数		20人	14人	12人	6人	13人	13人	
共通テスト利用入試	募集人数		5人	4人	3人	3人	3人	4人
	延べ人数	志願者数	53人	23人	17人	6人	9人	22人
		受験者数	53人	23人	17人	6人	9人	22人
		合格者数	26人	20人	15人	5人	9人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	22人	14人	14人	4人	8人	12人
	実人数	志願者数	53人	23人	17人	6人	9人	22人
		受験者数	53人	23人	17人	6人	9人	22人
		合格者数	26人	20人	15人	5人	9人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	22人	14人	14人	4人	8人	12人
入学者数		4人	6人	1人	1人	1人	3人	
その他の特別選抜	募集人数		13人	14人	15人	18人	15人	15人
	延べ人数	志願者数	17人	26人	22人	21人	13人	20人
		受験者数	17人	26人	22人	21人	13人	20人
		合格者数	17人	26人	21人	21人	13人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	5人	10人	6人	4人	6人
	実人数	志願者数	17人	26人	22人	21人	13人	20人
		受験者数	17人	26人	22人	21人	13人	20人
		合格者数	17人	26人	21人	21人	13人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	5人	10人	6人	4人	6人
入学者数		14人	21人	11人	15人	9人	14人	
合計	募集人数		50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数	582人	285人	266人	157人	181人	294人
		受験者数	570人	276人	264人	156人	176人	288人
		合格者数	198人	161人	222人	131人	148人	172人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	137人	109人	183人	97人	119人	129人
	実人数	志願者数	312人	145人	136人	88人	86人	153人
		受験者数	305人	141人	135人	88人	83人	150人
		合格者数	136人	105人	125人	75人	75人	103人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	75人	53人	86人	41人	46人	60人
入学者数		61人	52人	39人	34人	29人	43人	

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	3人	5人	5人	6人	10人	6人
	延べ人数	7人	3人	2人	0人	1人	3人
	志願者数	7人	3人	2人	0人	1人	3人
	受験者数	5人	3人	2人	0人	1人	2人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	7人	3人	2人	0人	1人	3人
	志願者数	7人	3人	2人	0人	1人	3人
	受験者数	5人	3人	2人	0人	1人	2人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	入学者数	5人	3人	2人	0人	1人	2人
	募集人数	22人	18人	14人	12人	13人	16人
	延べ人数	264人	272人	182人	201人	280人	240人
	志願者数	258人	270人	181人	200人	280人	238人
	受験者数	123人	78人	164人	176人	241人	156人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	87人	73人	141人	157人	204人	132人
	実人数	115人	97人	74人	71人	89人	89人
	志願者数	114人	95人	73人	71人	89人	88人
	受験者数	63人	34人	70人	66人	89人	64人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	27人	29人	47人	47人	52人	40人
一般選抜	入学者数	36人	5人	23人	19人	37人	24人
	募集人数	26人	25人	26人	25人	22人	25人
	延べ人数	333人	212人	234人	172人	185人	227人
	志願者数	324人	205人	225人	162人	180人	219人
	受験者数	93人	180人	175人	121人	150人	144人
	合格者数	0人	14人	0人	0人	0人	3人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	75人	147人	142人	102人	117人	117人
	実人数	160人	86人	114人	89人	79人	106人
	志願者数	155人	83人	109人	85人	76人	102人
	受験者数	55人	75人	85人	66人	69人	70人
	合格者数	0人	4人	0人	0人	0人	1人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	37人	42人	52人	47人	36人	43人
共通テスト利用入試	入学者数	18人	33人	33人	19人	33人	27人
	募集人数	6人	5人	4人	4人	3人	4人
	延べ人数	37人	35人	27人	18人	20人	27人
	志願者数	37人	35人	27人	18人	20人	27人
	受験者数	30人	34人	23人	18人	18人	25人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	28人	33人	22人	17人	18人	24人
	実人数	37人	35人	27人	18人	20人	27人
	志願者数	37人	35人	27人	18人	20人	27人
	受験者数	30人	34人	23人	18人	18人	25人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	28人	33人	22人	17人	18人	24人
その他の特別選抜	入学者数	2人	1人	1人	1人	0人	1人
	募集人数	13人	17人	21人	23人	22人	19人
	延べ人数	21人	41人	21人	28人	34人	29人
	志願者数	21人	41人	21人	28人	34人	29人
	受験者数	19人	40人	21人	28人	34人	28人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	6人	17人	6人	9人	14人	10人
	実人数	21人	41人	21人	28人	34人	29人
	志願者数	21人	41人	21人	28人	34人	29人
	受験者数	19人	40人	21人	28人	34人	28人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	6人	17人	6人	9人	14人	10人
合計	入学者数	13人	23人	15人	19人	20人	18人
	募集人数	70人	70人	70人	70人	70人	70人
	延べ人数	662人	563人	466人	419人	520人	526人
	志願者数	647人	554人	456人	408人	515人	516人
	受験者数	270人	335人	385人	343人	444人	355人
	合格者数	0人	14人	0人	0人	0人	3人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	196人	270人	311人	285人	353人	283人
	実人数	340人	262人	238人	206人	223人	254人
	志願者数	334人	257人	232人	202人	220人	249人
	受験者数	172人	186人	201人	178人	211人	190人
	合格者数	0人	4人	0人	0人	0人	1人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	98人	121人	127人	120人	120人	117人
	入学者数	74人	65人	74人	58人	91人	72人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	70人	70人	70人	70人	70人	70人
入学定員充足率	1.06	0.93	1.06	0.83	1.30	1.03
歩留率	0.27	0.19	0.19	0.17	0.20	0.21

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 ・一般選抜（Ａ日程）と一般選抜（Ｂ日程）は重複算出。
 ・学科併願は重複算出。
 ・辞退者数は延べ人数・実人数とも、「入学者数－合計者数」で算出。

大学学部学科等名：佛教大学歴史学部歴史学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	0人	6人	8人	10人	13人	9人
	延べ人数	/	9人	8人	16人	17人	13人
	志願者数		8人	8人	16人	17人	12人
	受験者数		3人	6人	10人	11人	8人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		9人	8人	16人	17人	13人
	志願者数		8人	8人	16人	17人	12人
	受験者数		3人	6人	10人	11人	8人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数	33人	33人	22人	22人	21人	26人
	延べ人数	591人	525人	575人	611人	593人	579人
	志願者数	589人	520人	571人	609人	591人	576人
	受験者数	120人	217人	258人	296人	327人	244人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	89人	177人	199人	247人	272人	197人
	辞退者数	213人	188人	181人	186人	164人	186人
	志願者数	212人	186人	181人	186人	163人	186人
	受験者数	63人	92人	106人	116人	113人	98人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	32人	52人	47人	67人	58人	51人
	辞退者数	31人	40人	59人	49人	55人	47人
一般選抜	募集人数	52人	42人	42人	40人	37人	43人
	延べ人数	924人	677人	747人	443人	481人	654人
	志願者数	903人	661人	715人	430人	471人	636人
	受験者数	230人	328人	232人	173人	172人	227人
	合格者数	7人	72人	0人	0人	0人	16人
	うち追加合格者数	168人	285人	191人	136人	153人	187人
	辞退者数	425人	263人	278人	189人	163人	264人
	志願者数	419人	257人	270人	182人	159人	257人
	受験者数	144人	170人	120人	88人	78人	120人
	合格者数	4人	31人	0人	0人	0人	7人
	うち追加合格者数	82人	127人	79人	51人	59人	80人
	辞退者数	62人	43人	41人	37人	19人	40人
共通テスト利用入試	募集人数	8人	7人	5人	5人	5人	6人
	延べ人数	65人	55人	57人	54人	39人	54人
	志願者数	65人	55人	57人	54人	39人	54人
	受験者数	27人	24人	29人	21人	16人	23人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	25人	22人	25人	20人	16人	22人
	辞退者数	65人	55人	57人	54人	39人	54人
	志願者数	65人	55人	57人	54人	39人	54人
	受験者数	27人	24人	29人	21人	16人	23人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	25人	22人	25人	20人	16人	22人
	辞退者数	2人	2人	4人	1人	0人	2人
その他の特別選抜	募集人数	17人	22人	33人	33人	34人	28人
	延べ人数	25人	26人	36人	40人	42人	34人
	志願者数	24人	26人	35人	40人	42人	33人
	受験者数	21人	25人	33人	37人	40人	31人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	6人	5人	13人	8人	7人	8人
	辞退者数	25人	26人	36人	40人	42人	34人
	志願者数	24人	26人	35人	40人	42人	33人
	受験者数	21人	25人	33人	37人	40人	31人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	6人	5人	13人	8人	7人	8人
	辞退者数	15人	20人	20人	29人	33人	23人
合計	募集人数	110人	110人	110人	110人	110人	110人
	延べ人数	1605人	1292人	1423人	1164人	1172人	1331人
	志願者数	1581人	1270人	1386人	1149人	1160人	1309人
	受験者数	398人	597人	558人	537人	566人	531人
	合格者数	7人	72人	0人	0人	0人	16人
	うち追加合格者数	288人	489人	428人	411人	448人	413人
	辞退者数	728人	541人	560人	485人	425人	548人
	志願者数	720人	532人	551人	478人	420人	540人
	受験者数	255人	314人	294人	272人	258人	279人
	合格者数	4人	31人	0人	0人	0人	7人
	うち追加合格者数	145人	206人	164人	146人	140人	160人
	辞退者数	110人	108人	130人	126人	118人	118人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110人
入学定員充足率	1.00	0.98	1.18	1.15	1.07	1.08
歩留率	0.28	0.18	0.23	0.23	0.21	0.23

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

・一般選抜（Ａ日程）と一般選抜（Ｂ日程）は重複算出。

・学科併願は重複算出。

・辞退者数は延べ人数・実人数とも、「入学者数－合計者数」で算出。

大学学部学科等名：佛教大学歴史学部歴史文化学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数		0人	4人	6人	7人	10人	7人
	延べ人数	志願者数		5人	7人	11人	20人	11人
		受験者数		5人	7人	11人	20人	11人
		合格者数		5人	7人	11人	14人	9人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数		5人	7人	11人	20人	11人
		受験者数		5人	7人	11人	20人	11人
		合格者数		5人	7人	11人	14人	9人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		0人		0人	0人	0人	0人	
入学者数		5人	7人	11人	14人	9人		
学校推薦型選抜	募集人数		21人	21人	14人	14人	13人	17人
	延べ人数	志願者数	275人	253人	288人	238人	346人	280人
		受験者数	275人	253人	286人	238人	346人	280人
		合格者数	81人	108人	152人	178人	148人	133人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	53人	97人	121人	146人	116人	107人
	実人数	志願者数	112人	102人	93人	72人	89人	94人
		受験者数	112人	102人	93人	72人	89人	94人
		合格者数	47人	52人	63人	62人	59人	57人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		19人	41人	32人	30人	27人	30人	
入学者数		28人	11人	31人	32人	32人	27人	
一般選抜	募集人数		32人	26人	25人	24人	21人	26人
	延べ人数	志願者数	529人	416人	534人	169人	316人	393人
		受験者数	510人	399人	507人	162人	305人	377人
		合格者数	191人	257人	143人	92人	94人	155人
		うち追加合格者数	19人	0人	0人	0人	0人	4人
		辞退者数	159人	214人	125人	80人	80人	132人
	実人数	志願者数	259人	157人	185人	77人	100人	156人
		受験者数	251人	152人	181人	73人	96人	151人
		合格者数	108人	109人	75人	50人	39人	76人
		うち追加合格者数	7人	0人	0人	0人	0人	1人
辞退者数		76人	66人	57人	38人	25人	52人	
入学者数		32人	43人	18人	12人	14人	24人	
共通テスト利用入試	募集人数		6人	5人	4人	4人	4人	5人
	延べ人数	志願者数	43人	33人	45人	26人	37人	37人
		受験者数	43人	33人	45人	26人	37人	37人
		合格者数	20人	26人	21人	17人	20人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	25人	21人	17人	19人	20人
	実人数	志願者数	43人	33人	45人	26人	37人	37人
		受験者数	43人	33人	45人	26人	37人	37人
		合格者数	20人	26人	21人	17人	20人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		19人	25人	21人	17人	19人	20人	
入学者数		1人	1人	0人	0人	1人	1人	
その他の特別選抜	募集人数		11人	14人	21人	21人	22人	18人
	延べ人数	志願者数	16人	19人	24人	20人	26人	21人
		受験者数	16人	18人	24人	20人	26人	21人
		合格者数	14人	16人	22人	18人	26人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	0人	3人	3人	5人	3人
	実人数	志願者数	16人	19人	24人	20人	26人	21人
		受験者数	16人	18人	24人	20人	26人	21人
		合格者数	14人	16人	22人	18人	26人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		3人	0人	3人	3人	5人	3人	
入学者数		11人	16人	19人	15人	21人	16人	
合計	募集人数		70人	70人	70人	70人	70人	70人
	延べ人数	志願者数	863人	726人	898人	464人	745人	739人
		受験者数	844人	708人	869人	457人	734人	722人
		合格者数	306人	412人	345人	316人	302人	336人
		うち追加合格者数	19人	0人	0人	0人	0人	4人
		辞退者数	234人	336人	270人	246人	220人	261人
	実人数	志願者数	430人	316人	354人	206人	272人	316人
		受験者数	422人	310人	350人	202人	268人	310人
		合格者数	189人	208人	188人	158人	158人	180人
		うち追加合格者数	7人	0人	0人	0人	0人	1人
辞退者数		117人	132人	113人	88人	76人	105人	
入学者数		72人	76人	75人	70人	82人	75人	

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	70人	70人	70人	70人	70人	70人
入学定員充足率	1.03	1.09	1.07	1.00	1.17	1.07
歩留率	0.24	0.18	0.22	0.22	0.27	0.23

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

・一般選抜（Ａ日程）と一般選抜（Ｂ日程）は重複算出。

・学科併願は重複算出。

・辞退者数は延べ人数・実人数とも、「入学人数－合計者数」で算出。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	3人	5人	10人	12人	15人	9人
	延べ人数	7人	8人	11人	17人	16人	12人
	志願者数	7人	8人	11人	17人	16人	12人
	受験者数	4人	8人	11人	14人	13人	10人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	7人	8人	11人	17人	16人	12人
	志願者数	7人	8人	11人	17人	16人	12人
	受験者数	4人	8人	11人	14人	13人	10人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数	38人	33人	26人	25人	25人	29人
	延べ人数	1015人	1121人	1292人	1125人	1226人	1156人
	志願者数	1003人	1104人	1270人	1109人	1224人	1142人
	受験者数	102人	161人	170人	198人	294人	185人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	76人	123人	141人	157人	253人	150人
	実人数	370人	347人	367人	314人	292人	338人
	志願者数	367人	343人	362人	311人	292人	335人
	受験者数	61人	80人	78人	92人	102人	83人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
一般選抜	募集人数	54人	50人	49人	47人	44人	49人
	延べ人数	1689人	1467人	1418人	1152人	1005人	1346人
	志願者数	1658人	1439人	1382人	1140人	990人	1322人
	受験者数	261人	304人	248人	266人	200人	256人
	合格者数	5人	0人	20人	85人	0人	22人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	205人	247人	202人	224人	165人	209人
	実人数	633人	514人	503人	416人	340人	481人
	志願者数	623人	507人	494人	412人	334人	474人
	受験者数	151人	160人	146人	150人	106人	143人
	合格者数	4人	0人	15人	37人	0人	11人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
共通テスト利用入試	募集人数	56人	57人	46人	42人	35人	47人
	延べ人数	14人	10人	6人	6人	6人	8人
	志願者数	92人	92人	79人	87人	82人	86人
	受験者数	92人	92人	79人	87人	82人	86人
	合格者数	38人	32人	33人	39人	41人	37人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	37人	30人	33人	38人	38人	35人
	実人数	92人	92人	79人	87人	82人	86人
	志願者数	92人	92人	79人	87人	82人	86人
	受験者数	38人	32人	33人	39人	41人	37人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
その他の特別選抜	募集人数	1人	2人	0人	1人	3人	1人
	延べ人数	21人	32人	39人	40人	40人	34人
	志願者数	71人	69人	66人	61人	70人	67人
	受験者数	70人	69人	66人	58人	70人	67人
	合格者数	60人	67人	60人	58人	68人	63人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	14人	22人	15人	22人	17人	18人
	実人数	71人	69人	66人	61人	70人	67人
	志願者数	70人	69人	66人	58人	70人	67人
	受験者数	60人	67人	60人	58人	68人	63人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数	46人	45人	45人	36人	51人	45人
	延べ人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	志願者数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
	受験者数	2830人	2712人	2808人	2411人	2382人	2629人
	合格者数	465人	572人	522人	575人	616人	550人
	うち追加合格者数	5人	0人	20人	85人	0人	22人
	辞退者数	332人	422人	391人	441人	473人	412人
	実人数	1173人	1030人	1026人	895人	800人	985人
	志願者数	1159人	1019人	1012人	885人	794人	974人
	受験者数	314人	347人	328人	353人	330人	334人
	合格者数	4人	0人	15人	37人	0人	11人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	2668人
入学定員充足率	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人
	延べ人数	2874人	2757人	2866人	2442人	2399人	266

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数			0人	7人	10人	9人
	延べ人数				17人	14人	16人
	志願者数				17人	14人	16人
	受験者数				7人	9人	8人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				17人	14人	16人
	志願者数				17人	14人	16人
	受験者数				7人	9人	8人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
学校推薦型選抜	入学者数				7人	9人	8人
	募集人数			40人	14人	15人	23人
	延べ人数			613人	589人	464人	555人
	志願者数			611人	589人	452人	551人
	受験者数			203人	94人	56人	118人
	合格者数			0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数			139人	68人	49人	85人
	辞退者数			178人	139人	95人	137人
	実人数			177人	139人	92人	136人
	志願者数			93人	39人	25人	52人
	受験者数			0人	0人	0人	0人
	合格者数			29人	13人	18人	20人
	うち追加合格者数			64人	26人	7人	32人
一般選抜	募集人数			40人	29人	26人	32人
	延べ人数			403人	345人	227人	325人
	志願者数			395人	340人	226人	320人
	受験者数			122人	37人	116人	92人
	合格者数			0人	0人	20人	7人
	うち追加合格者数			85人	31人	96人	71人
	辞退者数			136人	108人	83人	109人
	実人数			133人	106人	83人	107人
	志願者数			63人	20人	53人	45人
	受験者数			0人	0人	11人	4人
	合格者数			26人	14人	33人	24人
	うち追加合格者数			37人	6人	20人	21人
	辞退者数			0人	4人	4人	4人
共通テスト利用入試	募集人数			0人	4人	4人	4人
	延べ人数				20人	16人	18人
	志願者数				20人	16人	18人
	受験者数				8人	6人	7人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				8人	5人	7人
	辞退者数				20人	16人	18人
	実人数				20人	16人	18人
	志願者数				20人	16人	18人
	受験者数				8人	6人	7人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				8人	5人	7人
	辞退者数				0人	1人	1人
その他の特別選抜	募集人数			0人	26人	25人	26人
	延べ人数				47人	54人	51人
	志願者数				47人	54人	51人
	受験者数				46人	53人	50人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				2人	6人	4人
	辞退者数				47人	54人	51人
	実人数				47人	54人	51人
	志願者数				46人	53人	50人
	受験者数				0人	0人	0人
	合格者数				2人	6人	4人
	うち追加合格者数				44人	47人	46人
	辞退者数				0人	0人	0人
合計	募集人数	0人	0人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	0人	0人	1016人	1018人	775人	936人
	志願者数	0人	0人	1006人	1013人	762人	927人
	受験者数	0人	0人	325人	192人	240人	252人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	20人	7人
	うち追加合格者数	0人	0人	224人	109人	156人	163人
	辞退者数	0人	0人	314人	331人	262人	302人
	実人数	0人	0人	310人	329人	259人	299人
	志願者数	0人	0人	156人	120人	146人	141人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	11人	4人
	合格者数	0人	0人	55人	37人	62人	51人
	うち追加合格者数	0人	0人	101人	83人	84人	89人
	辞退者数	0人	0人				

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員			80人	80人	80人	80人
入学定員充足率			1.26	1.04	1.05	1.12
歩留率			0.31	0.43	0.35	0.36

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

幼児教育学科は令和4年度開設。

・一般選抜（A日程）と一般選抜（B日程）は重複算出。

・学科併願は重複算出。

大学学部学科等名：佛教大学教育学部臨床心理学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	0人	2人	4人	5人	10人	5人
	延べ人数	/	2人	6人	9人	11人	7人
	志願者数		2人	6人	8人	11人	7人
	受験者数		2人	6人	8人	10人	7人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	実人数		2人	6人	9人	11人	7人
	志願者数		2人	6人	8人	11人	7人
	受験者数		2人	6人	8人	10人	7人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数	16人	16人	16人	15人	16人	16人
	延べ人数	278人	279人	390人	442人	392人	356人
	志願者数	276人	276人	389人	438人	388人	353人
	受験者数	47人	99人	159人	158人	159人	124人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	35人	74人	124人	118人	125人	95人
	辞退者数	113人	90人	105人	115人	92人	103人
	実人数	112人	90人	105人	113人	91人	102人
	志願者数	26人	40人	61人	67人	53人	49人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	14人	15人	26人	27人	19人	20人
	うち追加合格者数	12人	25人	35人	40人	34人	29人
一般選抜	募集人数	27人	23人	32人	31人	26人	28人
	延べ人数	546人	355人	386人	282人	248人	363人
	志願者数	528人	344人	350人	276人	242人	348人
	受験者数	117人	81人	131人	77人	67人	95人
	合格者数	8人	0人	0人	0人	0人	2人
	うち追加合格者数	85人	63人	100人	63人	55人	73人
	辞退者数	229人	144人	151人	128人	98人	150人
	実人数	222人	139人	143人	124人	95人	145人
	志願者数	73人	50人	70人	39人	34人	53人
	受験者数	5人	0人	0人	0人	0人	1人
	合格者数	41人	32人	39人	25人	22人	32人
	うち追加合格者数	32人	18人	31人	14人	12人	21人
共通テスト利用入試	募集人数	6人	5人	4人	4人	4人	5人
	延べ人数	35人	44人	31人	32人	28人	34人
	志願者数	35人	44人	31人	32人	28人	34人
	受験者数	22人	17人	15人	19人	18人	18人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	21人	17人	14人	17人	15人	17人
	辞退者数	35人	44人	31人	32人	28人	34人
	実人数	35人	44人	31人	32人	28人	34人
	志願者数	22人	17人	15人	19人	18人	18人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	21人	17人	14人	17人	15人	17人
	うち追加合格者数	1人	0人	1人	2人	3人	1人
その他の特別選抜	募集人数	11人	14人	24人	25人	24人	20人
	延べ人数	28人	22人	22人	33人	37人	28人
	志願者数	27人	22人	22人	32人	36人	28人
	受験者数	22人	22人	21人	31人	32人	26人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	6人	1人	3人	4人	4人	4人
	辞退者数	28人	22人	22人	33人	37人	28人
	実人数	27人	22人	22人	32人	36人	28人
	志願者数	22人	22人	21人	31人	32人	26人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	6人	1人	3人	4人	4人	4人
	うち追加合格者数	16人	21人	18人	27人	28人	22人
合計	募集人数	60人	60人	80人	80人	80人	72人
	延べ人数	887人	702人	835人	798人	716人	788人
	志願者数	866人	688人	798人	786人	705人	769人
	受験者数	208人	221人	332人	293人	286人	268人
	合格者数	8人	0人	0人	0人	0人	2人
	うち追加合格者数	147人	155人	241人	202人	199人	189人
	辞退者数	405人	302人	315人	317人	266人	321人
	実人数	396人	297人	307人	309人	261人	314人
	志願者数	143人	131人	173人	164人	147人	152人
	受験者数	5人	0人	0人	0人	0人	1人
	合格者数	82人	65人	82人	73人	60人	72人
	うち追加合格者数	61人	66人	91人	91人	87人	79人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	80人	80人	80人	72人
入学定員充足率	1.02	1.10	1.14	1.14	1.09	1.10
歩留率	0.29	0.30	0.27	0.31	0.30	0.30

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

・一般選抜（Ａ日程）と一般選抜（Ｂ日程）は重複算出。

・学科併願は重複算出。

・辞退者数は延べ人数・実人数とも、「入学者数－合計者数」で算出。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	0人	6人	10人	14人	20人	13人
	延べ人数		9人	12人	15人	19人	14人
	志願者数		9人	12人	15人	19人	14人
	受験者数		8人	12人	13人	17人	13人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	実人数		9人	12人	15人	19人	14人
	志願者数		9人	12人	15人	19人	14人
	受験者数		8人	12人	13人	17人	13人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数	66人	61人	40人	39人	42人	50人
	延べ人数	1268人	744人	1027人	691人	1253人	997人
	志願者数	1265人	735人	1024人	688人	1245人	991人
	受験者数	213人	276人	315人	471人	346人	324人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	157人	222人	266人	378人	280人	261人
	実人数	538人	303人	360人	238人	360人	360人
	志願者数	537人	299人	358人	236人	359人	358人
	受験者数	132人	148人	149人	183人	156人	154人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
一般選抜	募集人数	90人	84人	80人	76人	72人	80人
	延べ人数	1565人	1064人	1120人	577人	856人	1036人
	志願者数	1526人	1021人	1084人	548人	837人	1003人
	受験者数	429人	508人	305人	264人	178人	337人
	合格者数	20人	80人	0人	0人	0人	20人
	うち追加合格者数	336人	436人	238人	210人	141人	272人
	辞退者数	732人	441人	475人	289人	329人	453人
	実人数	712人	425人	458人	273人	321人	438人
	志願者数	262人	253人	184人	158人	110人	193人
	受験者数	16人	35人	0人	0人	0人	10人
	合格者数	169人	181人	117人	104人	73人	129人
共通テスト利用入試	募集人数	93人	72人	67人	54人	37人	65人
	延べ人数	10人	10人	10人	10人	8人	10人
	志願者数	85人	70人	76人	41人	53人	65人
	受験者数	85人	70人	76人	41人	53人	65人
	合格者数	39人	41人	43人	27人	28人	36人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	38人	39人	38人	25人	26人	33人
	実人数	85人	70人	76人	41人	53人	65人
	志願者数	85人	70人	76人	41人	53人	65人
	受験者数	39人	41人	43人	27人	28人	36人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
その他の特別選抜	募集人数	34人	39人	60人	61人	58人	50人
	延べ人数	75人	80人	102人	89人	112人	92人
	志願者数	74人	77人	102人	89人	111人	91人
	受験者数	54人	74人	94人	86人	103人	82人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	5人	9人	23人	11人	22人	14人
	辞退者数	75人	80人	102人	89人	112人	92人
	実人数	74人	77人	102人	89人	111人	91人
	志願者数	54人	74人	94人	86人	103人	82人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	5人	9人	23人	11人	22人	14人
合計	募集人数	49人	65人	71人	75人	81人	68人
	延べ人数	200人	200人	200人	200人	200人	200人
	志願者数	2993人	1967人	2337人	1413人	2293人	2201人
	受験者数	2950人	1912人	2298人	1381人	2265人	2161人
	合格者数	735人	907人	769人	861人	672人	789人
	うち追加合格者数	20人	80人	0人	0人	0人	20人
	辞退者数	536人	706人	565人	624人	469人	580人
	実人数	1430人	903人	1025人	672人	873人	981人
	志願者数	1408人	880人	1006人	654人	863人	962人
	受験者数	487人	524人	482人	467人	414人	475人
	合格者数	16人	35人	0人	0人	0人	10人
	辞退者数	288人	323人	278人	230人	211人	266人
	入学者数	199人	201人	204人	237人	203人	209人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	200人	200人	200人	200人	200人	200人
入学定員充足率	1.00	1.01	1.02	1.19	1.02	1.04
歩留率	0.27	0.22	0.27	0.28	0.30	0.27

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

・一般選抜（Ａ日程）と一般選抜（Ｂ日程）は重複算出。

・学科併願は重複算出。

・辞退者数は延べ人数・実人数とも、「入学者数－合計者数」で算出。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	3人	4人	8人	10人	15人	8人
	延べ人数	6人	6人	11人	16人	17人	11人
	志願者数	6人	6人	11人	16人	17人	11人
	受験者数	6人	6人	11人	16人	17人	11人
	合格者数	3人	6人	11人	14人	17人	10人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	6人	6人	11人	16人	17人	11人
	志願者数	6人	6人	11人	16人	17人	11人
	受験者数	6人	6人	11人	16人	17人	11人
	合格者数	3人	6人	11人	14人	17人	10人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	入学者数	3人	6人	11人	14人	17人	10人
	募集人数	36人	34人	24人	22人	23人	28人
	延べ人数	551人	271人	411人	374人	462人	414人
	志願者数	547人	271人	410人	373人	461人	412人
	受験者数	83人	100人	176人	232人	121人	142人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	60人	71人	145人	195人	106人	115人
	実人数	254人	124人	161人	127人	138人	161人
	志願者数	253人	124人	160人	126人	138人	160人
	受験者数	57人	65人	87人	96人	54人	72人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
一般選抜	辞退者数	34人	36人	56人	59人	39人	45人
	入学者数	23人	29人	31人	37人	15人	27人
	募集人数	48人	48人	46人	44人	41人	45人
	延べ人数	1075人	678人	715人	358人	521人	669人
	志願者数	1034人	645人	688人	340人	507人	643人
	受験者数	274人	311人	186人	188人	177人	227人
	合格者数	6人	18人	0人	0人	0人	5人
	うち追加合格者数	221人	266人	150人	151人	153人	188人
	辞退者数	508人	274人	288人	171人	191人	286人
	実人数	490人	255人	279人	164人	188人	275人
	志願者数	178人	148人	118人	93人	82人	124人
	受験者数	3人	11人	0人	0人	0人	3人
	合格者数	125人	103人	82人	56人	58人	85人
共通テスト利用入試	うち追加合格者数	53人	45人	36人	37人	24人	39人
	辞退者数	9人	8人	6人	6人	4人	7人
	入学者数	83人	51人	59人	21人	27人	48人
	募集人数	83人	51人	59人	21人	27人	48人
	延べ人数	38人	37人	33人	16人	16人	28人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	36人	37人	31人	15人	16人	27人
	合格者数	83人	51人	59人	21人	27人	48人
	うち追加合格者数	83人	51人	59人	21人	27人	48人
	実人数	38人	37人	33人	16人	16人	28人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	36人	37人	31人	15人	16人	27人
	合格者数	2人	0人	2人	1人	0人	1人
その他の特別選抜	募集人数	24人	26人	36人	38人	37人	32人
	延べ人数	50人	57人	58人	54人	73人	58人
	志願者数	49人	57人	57人	54人	73人	58人
	受験者数	44人	53人	54人	54人	73人	56人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	4人	10人	6人	10人	14人	9人
	辞退者数	50人	57人	58人	54人	73人	58人
	実人数	49人	57人	57人	54人	73人	58人
	志願者数	44人	53人	54人	54人	73人	56人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	4人	10人	6人	10人	14人	9人
	うち追加合格者数	40人	43人	48人	44人	59人	47人
	辞退者数	120人	120人	120人	120人	120人	120人
合計	募集人数	120人	120人	120人	120人	120人	120人
	延べ人数	1765人	1063人	1254人	823人	1100人	1201人
	志願者数	1719人	1030人	1225人	804人	1085人	1173人
	受験者数	442人	507人	460人	504人	404人	463人
	合格者数	6人	18人	0人	0人	0人	5人
	うち追加合格者数	321人	384人	332人	371人	289人	339人
	辞退者数	901人	512人	577人	389人	446人	565人
	実人数	881人	493人	566人	381人	443人	553人
	志願者数	320人	309人	303人	273人	242人	289人
	受験者数	3人	11人	0人	0人	0人	3人
	合格者数	199人	186人	175人	140人	127人	165人
	うち追加合格者数	121人	123人	128人	133人	115人	124人
	辞退者数						

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120人
入学定員充足率	1.01	1.03	1.07	1.11	0.96	1.03
歩留率	0.27	0.24	0.28	0.26	0.28	0.27

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

・一般選抜（Ａ日程）と一般選抜（Ｂ日程）は重複算出。

・学科併願は重複算出。

・辞退者数は延べ人数・実人数とも、「入学者数－合計者数」で算出。

大学学部学科等名：佛教大学社会福祉学部社会福祉学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	0人	5人	10人	14人	20人	12人
	延べ人数	/	9人	16人	27人	30人	21人
	志願者数		9人	16人	26人	30人	20人
	受験者数		9人	16人	26人	30人	20人
	合格者数		9人	16人	26人	30人	20人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	実人数		9人	16人	27人	30人	21人
	志願者数		9人	16人	26人	30人	20人
	受験者数		9人	16人	26人	30人	20人
	合格者数		9人	16人	26人	30人	20人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	9人	16人	26人	30人	20人	20人
学校推薦型選抜	募集人数	80人	77人	44人	43人	45人	58人
	延べ人数	690人	701人	966人	636人	527人	704人
	志願者数	687人	697人	964人	632人	521人	700人
	受験者数	248人	390人	389人	402人	461人	378人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	168人	306人	307人	347人	390人	304人
	辞退者数	293人	240人	309人	191人	160人	239人
	実人数	291人	238人	308人	190人	158人	237人
	志願者数	143人	158人	167人	140人	141人	150人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	63人	74人	85人	85人	70人	75人
	うち追加合格者数	80人	84人	82人	55人	71人	74人
	辞退者数	123人	117人	89人	85人	81人	99人
一般選抜	募集人数	123人	117人	89人	85人	81人	99人
	延べ人数	1415人	821人	990人	403人	560人	838人
	志願者数	1372人	798人	970人	397人	545人	816人
	受験者数	493人	643人	390人	303人	234人	413人
	合格者数	45人	33人	23人	8人	0人	22人
	うち追加合格者数	397人	556人	341人	242人	196人	346人
	辞退者数	602人	322人	384人	163人	218人	338人
	実人数	590人	314人	378人	160人	215人	331人
	志願者数	280人	266人	203人	131人	107人	197人
	受験者数	26人	11人	13人	4人	0人	11人
	合格者数	184人	179人	154人	70人	69人	131人
	うち追加合格者数	96人	87人	49人	61人	38人	66人
	辞退者数	12人	13人	11人	11人	9人	11人
共通テスト利用入試	募集人数	12人	13人	11人	11人	9人	11人
	延べ人数	61人	47人	95人	29人	37人	54人
	志願者数	61人	47人	95人	29人	37人	54人
	受験者数	33人	37人	49人	25人	26人	34人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	30人	35人	46人	23人	24人	32人
	辞退者数	61人	47人	95人	29人	37人	54人
	実人数	61人	47人	95人	29人	37人	54人
	志願者数	61人	47人	95人	29人	37人	54人
	受験者数	33人	37人	49人	25人	26人	34人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	30人	35人	46人	23人	24人	32人
	辞退者数	3人	2人	3人	2人	2人	2人
その他の特別選抜	募集人数	55人	58人	66人	67人	65人	62人
	延べ人数	104人	109人	91人	103人	105人	102人
	志願者数	102人	106人	90人	103人	104人	101人
	受験者数	99人	101人	87人	102人	103人	98人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	8人	11人	13人	11人	12人	11人
	辞退者数	104人	109人	91人	103人	105人	102人
	実人数	102人	106人	90人	103人	104人	101人
	志願者数	99人	101人	87人	102人	103人	98人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	8人	11人	13人	11人	12人	11人
	うち追加合格者数	91人	90人	74人	91人	91人	87人
	辞退者数	270人	270人	220人	220人	220人	240人
合計	募集人数	270人	270人	220人	220人	220人	240人
	延べ人数	2270人	1687人	2158人	1198人	1259人	1714人
	志願者数	2222人	1657人	2135人	1187人	1237人	1688人
	受験者数	873人	1180人	931人	858人	854人	939人
	合格者数	45人	33人	23人	8人	0人	22人
	うち追加合格者数	603人	908人	707人	623人	622人	693人
	辞退者数	1060人	727人	895人	513人	550人	749人
	実人数	1044人	714人	887人	508人	544人	739人
	志願者数	555人	571人	522人	424人	407人	496人
	受験者数	26人	11人	13人	4人	0人	11人
	合格者数	285人	299人	298人	189人	175人	249人
	うち追加合格者数	270人	272人	224人	235人	232人	247人
	辞退者数						

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	270人	270人	220人	220人	220人	240人
入学定員充足率	1.00	1.01	1.02	1.07	1.05	1.03
歩留率	0.31	0.23	0.24	0.27	0.27	0.27

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

・一般選抜（Ａ日程）と一般選抜（Ｂ日程）は重複算出。

・学科併願は重複算出。

・辞退者数は延べ人数・実人数とも、「入学者数－合計者数」で算出。

大学学部学科等名：佛教大学保健医療技術学部理学療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	0人	1人	2人	3人	3人	2人
	延べ人数		5人	1人	10人	13人	7人
	志願者数		5人	1人	10人	13人	7人
	受験者数		1人	1人	7人	6人	4人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	実人数		5人	1人	10人	13人	7人
	志願者数		5人	1人	10人	13人	7人
	受験者数		1人	1人	7人	6人	4人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数	12人	12人	10人	10人	10人	11人
	延べ人数	437人	314人	337人	392人	375人	371人
	志願者数	437人	310人	337人	388人	375人	369人
	受験者数	48人	38人	48人	35人	41人	42人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	28人	24人	34人	29人	33人	30人
	辞退者数	123人	92人	91人	94人	70人	94人
	実人数	123人	92人	91人	91人	70人	93人
	志願者数	123人	92人	91人	91人	70人	93人
	受験者数	25人	23人	26人	14人	13人	20人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	5人	9人	12人	8人	5人	8人
一般選抜	募集人数	20人	14人	14人	6人	8人	12人
	延べ人数	18人	16人	15人	14人	14人	15人
	志願者数	454人	272人	158人	238人	226人	270人
	受験者数	448人	269人	152人	233人	222人	265人
	合格者数	49人	28人	44人	39人	26人	37人
	うち追加合格者数	0人	0人	13人	13人	0人	5人
	辞退者数	32人	17人	29人	27人	17人	24人
	実人数	143人	90人	78人	97人	67人	95人
	志願者数	141人	88人	74人	93人	65人	92人
	受験者数	26人	18人	28人	25人	17人	23人
	合格者数	0人	0人	6人	8人	0人	3人
	うち追加合格者数	9人	7人	13人	13人	8人	10人
共通テスト利用入試	募集人数	17人	11人	15人	12人	9人	13人
	延べ人数	3人	3人	3人	3人	3人	3人
	志願者数	9人	16人	14人	16人	6人	12人
	受験者数	9人	16人	14人	16人	6人	12人
	合格者数	2人	7人	8人	5人	3人	5人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	2人	7人	8人	5人	3人	5人
	実人数	9人	16人	14人	16人	6人	12人
	志願者数	9人	16人	14人	16人	6人	12人
	受験者数	2人	7人	8人	5人	3人	5人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	2人	7人	8人	5人	3人	5人
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	7人	8人	10人	10人	10人	9人
	志願者数	11人	20人	15人	27人	28人	20人
	受験者数	11人	20人	15人	26人	28人	20人
	合格者数	9人	19人	13人	23人	26人	18人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	3人	5人	1人	6人	3人	4人
	実人数	11人	20人	15人	27人	28人	20人
	志願者数	11人	20人	15人	26人	28人	20人
	受験者数	9人	19人	13人	23人	26人	18人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	3人	5人	1人	6人	3人	4人
合計	募集人数	6人	14人	12人	17人	23人	14人
	延べ人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人
	志願者数	911人	627人	525人	683人	648人	679人
	受験者数	905人	620人	519人	673人	644人	672人
	合格者数	108人	93人	114人	109人	102人	105人
	うち追加合格者数	0人	0人	13人	13人	0人	5人
	辞退者数	65人	53人	72人	67人	56人	63人
	実人数	286人	223人	199人	244人	184人	227人
	志願者数	284人	221人	195人	236人	182人	224人
	受験者数	62人	68人	76人	74人	65人	69人
	合格者数	0人	0人	6人	8人	0人	3人
	うち追加合格者数	19人	28人	34人	32人	19人	26人
	辞退者数	43人	40人	42人	42人	46人	43人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40人
入学定員充足率	1.08	1.00	1.05	1.05	1.15	1.07
歩留率	0.40	0.43	0.37	0.39	0.45	0.41

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

・一般選抜（Ａ日程）と一般選抜（Ｂ日程）は重複算出。

・学科併願は重複算出。

・辞退者数は延べ人数・実人数とも、「入学者数－合計者数」で算出。

大学学部学科等名：佛教大学保健医療技術学部作業療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数	3人	3人	5人	5人	6人	4人
	延べ人数	9人	8人	6人	6人	9人	8人
	志願者数	9人	7人	6人	5人	9人	7人
	受験者数	4人	5人	6人	4人	9人	6人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	9人	8人	6人	6人	9人	8人
	志願者数	9人	7人	6人	5人	9人	7人
	受験者数	4人	5人	6人	4人	9人	6人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数	15人	12人	8人	8人	5人	10人
	延べ人数	201人	184人	120人	92人	151人	150人
	志願者数	201人	184人	120人	92人	149人	149人
	受験者数	45人	45人	39人	34人	69人	46人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	30人	38人	32人	24人	54人	36人
	辞退者数	55人	45人	29人	25人	38人	38人
	志願者数	55人	45人	29人	25人	37人	38人
	受験者数	22人	17人	15人	15人	22人	18人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	7人	10人	8人	5人	7人	7人
一般選抜	募集人数	13人	14人	12人	12人	11人	12人
	延べ人数	182人	164人	64人	137人	90人	127人
	志願者数	181人	158人	54人	132人	90人	123人
	受験者数	54人	57人	40人	26人	24人	40人
	合格者数	15人	0人	0人	0人	0人	3人
	うち追加合格者数	42人	45人	29人	22人	21人	32人
	辞退者数	74人	53人	32人	63人	33人	51人
	志願者数	73人	50人	29人	60人	33人	49人
	受験者数	31人	24人	25人	21人	15人	23人
	合格者数	8人	0人	0人	0人	0人	2人
	うち追加合格者数	19人	12人	14人	17人	12人	15人
共通テスト利用入試	募集人数	12人	12人	11人	4人	3人	8人
	延べ人数	4人	3人	3人	3人	3人	3人
	志願者数	14人	10人	7人	17人	2人	10人
	受験者数	14人	10人	6人	17人	2人	10人
	合格者数	5人	4人	5人	12人	1人	5人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	5人	4人	4人	10人	1人	5人
	志願者数	14人	10人	7人	17人	2人	10人
	受験者数	14人	10人	6人	17人	2人	10人
	合格者数	5人	4人	5人	12人	1人	5人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
その他の特別選抜	募集人数	5人	8人	12人	12人	15人	10人
	延べ人数	18人	25人	22人	26人	19人	22人
	志願者数	18人	25人	22人	26人	18人	22人
	受験者数	14人	24人	21人	26人	18人	21人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	2人	4人	4人	4人	2人	3人
	辞退者数	18人	25人	22人	26人	19人	22人
	志願者数	18人	25人	22人	26人	18人	22人
	受験者数	14人	24人	21人	26人	18人	21人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	2人	4人	4人	4人	2人	3人
合計	募集人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	424人	391人	219人	278人	271人	317人
	志願者数	423人	384人	208人	272人	268人	311人
	受験者数	122人	135人	111人	102人	121人	118人
	合格者数	15人	0人	0人	0人	0人	3人
	うち追加合格者数	79人	91人	69人	60人	78人	75人
	辞退者数	170人	141人	96人	137人	101人	129人
	志願者数	169人	137人	92人	133人	99人	126人
	受験者数	76人	74人	72人	78人	65人	73人
	合格者数	8人	0人	0人	0人	0人	2人
	うち追加合格者数	33人	30人	30人	36人	22人	30人
入学定員充足率	募集人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	424人	391人	219人	278人	271人	317人
	志願者数	423人	384人	208人	272人	268人	311人
	受験者数	122人	135人	111人	102人	121人	118人
	合格者数	15人	0人	0人	0人	0人	3人
	うち追加合格者数	79人	91人	69人	60人	78人	75人
	辞退者数	170人	141人	96人	137人	101人	129人
	志願者数	169人	137人	92人	133人	99人	126人
	受験者数	76人	74人	72人	78人	65人	73人
	合格者数	8人	0人	0人	0人	0人	2人
	うち追加合格者数	33人	30人	30人	36人	22人	30人
入学定員充足率	募集人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	424人	391人	219人	278人	271人	317人
	志願者数	423人	384人	208人	272人	268人	311人
	受験者数	122人	135人	111人	102人	121人	118人
	合格者数	15人	0人	0人	0人	0人	3人
	うち追加合格者数	79人	91人	69人	60人	78人	75人
	辞退者数	170人	141人	96人	137人	101人	129人
	志願者数	169人	137人	92人	133人	99人	126人
	受験者数	76人	74人	72人	78人	65人	73人
	合格者数	8人	0人	0人	0人	0人	2人
	うち追加合格者数	33人	30人	30人	36人	22人	30人
入学定員充足率	募集人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	424人	391人	219人	278人	271人	317人
	志願者数	423人	384人	208人	272人	268人	311人
	受験者数	122人	135人	111人	102人	121人	118人
	合格者数	15人	0人	0人	0人	0人	3人
	うち追加合格者数	79人	91人	69人	60人	78人	75人
	辞退者数	170人	141人	96人	137人	101人	129人
	志願者数	169人	137人	92人	133人	99人	126人
	受験者数	76人	74人	72人	78人	65人	73人
	合格者数	8人	0人	0人	0人	0人	2人
	うち追加合格者数	33人	30人	30人	36人	22人	30人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40人
入学定員充足率	1.08	1.10	1.05	1.05	1.08	1.07
歩留率	0.35	0.33	0.38	0.41	0.36	0.36

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

・一般選抜（Ａ日程）と一般選抜（Ｂ日程）は重複算出。

・学科併願は重複算出。

・辞退者数は延べ人数・実人数とも、「入学者数－合計者数」で算出。

大学学部学科等名：佛教大学保健医療技術学部看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	0人	2人	4人	5人	7人	5人	
	延べ人数	志願者数		6人	8人	11人	14人	10人
		受験者数		6人	7人	11人	14人	10人
		合格者数		4人	6人	5人	6人	5人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数		6人	8人	11人	14人	10人
		受験者数		6人	7人	11人	14人	10人
		合格者数		4人	6人	5人	6人	5人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	
入学者数		4人	6人	5人	6人	5人		
学校推薦型選抜	募集人数	21人	21人	13人	12人	13人	16人	
	延べ人数	志願者数	631人	544人	776人	696人	720人	673人
		受験者数	625人	538人	764人	687人	718人	666人
		合格者数	89人	109人	117人	154人	148人	123人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	64人	96人	97人	134人	134人	105人
	実人数	志願者数	192人	162人	192人	159人	145人	170人
		受験者数	190人	162人	191人	157人	145人	169人
		合格者数	49人	45人	53人	50人	46人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		24人	32人	33人	30人	32人	30人	
入学者数	25人	13人	20人	20人	14人	18人		
一般選抜	募集人数	30人	27人	25人	24人	22人	26人	
	延べ人数	志願者数	703人	550人	550人	404人	454人	532人
		受験者数	687人	541人	537人	398人	449人	522人
		合格者数	130人	199人	99人	124人	104人	131人
		うち追加合格者数	8人	0人	14人	14人	28人	13人
		辞退者数	100人	163人	83人	104人	92人	108人
	実人数	志願者数	231人	181人	204人	128人	155人	180人
		受験者数	226人	178人	198人	125人	153人	176人
		合格者数	74人	89人	57人	59人	46人	65人
		うち追加合格者数	3人	0人	10人	10人	7人	6人
辞退者数		44人	53人	41人	39人	34人	42人	
入学者数	30人	36人	16人	20人	12人	23人		
共通テスト利用入試	募集人数	5人	4人	4人	4人	4人	4人	
	延べ人数	志願者数	21人	27人	29人	21人	19人	23人
		受験者数	21人	27人	29人	21人	19人	23人
		合格者数	10人	15人	15人	13人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	15人	15人	12人	11人	13人
	実人数	志願者数	21人	27人	29人	21人	19人	23人
		受験者数	21人	27人	29人	21人	19人	23人
		合格者数	10人	15人	15人	13人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		10人	15人	15人	12人	11人	13人	
入学者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人		
その他の特別選抜	募集人数	9人	11人	19人	20人	19人	16人	
	延べ人数	志願者数	20人	31人	37人	33人	45人	33人
		受験者数	20人	31人	37人	33人	45人	33人
		合格者数	17人	29人	30人	32人	43人	30人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	14人	7人	8人	9人	9人
	実人数	志願者数	20人	31人	37人	33人	45人	33人
		受験者数	20人	31人	37人	33人	45人	33人
		合格者数	17人	29人	30人	32人	43人	30人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		5人	14人	7人	8人	9人	9人	
入学者数	12人	15人	23人	24人	34人	22人		
合計	募集人数	65人	65人	65人	65人	65人	65人	
	延べ人数	志願者数	1375人	1158人	1400人	1165人	1252人	1270人
		受験者数	1353人	1143人	1374人	1150人	1245人	1253人
		合格者数	246人	356人	267人	328人	312人	302人
		うち追加合格者数	8人	0人	14人	14人	28人	13人
		辞退者数	179人	288人	202人	258人	246人	235人
	実人数	志願者数	464人	407人	470人	352人	378人	414人
		受験者数	457人	404人	462人	347人	376人	409人
		合格者数	150人	182人	161人	159人	152人	161人
		うち追加合格者数	3人	0人	10人	10人	7人	6人
辞退者数		83人	114人	96人	89人	86人	94人	
入学者数	67人	68人	65人	70人	66人	67人		

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	65人	65人	65人	65人	65人	65人
入学定員充足率	1.03	1.05	1.00	1.08	1.02	1.03
歩留率	0.27	0.19	0.24	0.21	0.21	0.23

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

・一般選抜（Ａ日程）と一般選抜（Ｂ日程）は重複算出。

・学科併願は重複算出。

・辞退者数は延べ人数・実人数とも、「入学人数－合計者数」で算出。

1. 募集方法の状況			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数							
	延べ人数	志願者数						
		受験者数						
		合格者数						
		うち追加合格者数						
		辞退者数						
	実人数	志願者数						
		受験者数						
		合格者数						
		うち追加合格者数						
辞退者数								
入学者数								
学校推薦型選抜	募集人数							
	延べ人数	志願者数						
		受験者数						
		合格者数						
		うち追加合格者数						
		辞退者数						
	実人数	志願者数						
		受験者数						
		合格者数						
		うち追加合格者数						
辞退者数								
入学者数								
一般選抜	募集人数							
	延べ人数	志願者数						
		受験者数						
		合格者数						
		うち追加合格者数						
		辞退者数						
	実人数	志願者数						
		受験者数						
		合格者数						
		うち追加合格者数						
辞退者数								
入学者数								
共通テスト利用入試	募集人数							
	延べ人数	志願者数						
		受験者数						
		合格者数						
		うち追加合格者数						
		辞退者数						
	実人数	志願者数						
		受験者数						
		合格者数						
		うち追加合格者数						
辞退者数								
入学者数								
その他の特別選抜	募集人数	300人	300人	100人	100人	100人	180人	
	延べ人数	志願者数	15人	19人	23人	23人	16人	19人
		受験者数	15人	19人	23人	23人	16人	19人
		合格者数	15人	19人	23人	23人	16人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	15人	19人	23人	23人	16人	19人
		受験者数	15人	19人	23人	23人	16人	19人
		合格者数	15人	19人	23人	23人	16人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人	
入学者数	15人	19人	23人	23人	16人	19人		
合計	募集人数	300人	300人	100人	100人	100人	180人	
	延べ人数	志願者数	15人	19人	23人	23人	16人	19人
		受験者数	15人	19人	23人	23人	16人	19人
		合格者数	15人	19人	23人	23人	16人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	15人	19人	23人	23人	16人	19人
		受験者数	15人	19人	23人	23人	16人	19人
		合格者数	15人	19人	23人	23人	16人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	

	R2 年度入学者	R3 年度入学者	R4 年度入学者	R5 年度入学者	R6 年度入学者	平 均
入 学 定 員	300人	300人	100人	100人	100人	180人
入 学 定 員 充 足 率	0.05	0.06	0.23	0.23	0.16	0.15
歩 留 率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

— 學生確保 (資料) — 18 —

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
学校推薦型選抜	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	入学者数						
一般選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
共通テスト利用入試	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	入学者数						
その他の特別選抜	募集人数	300人	300人	100人	100人	100人	180人
	延べ人数	20人	25人	42人	20人	34人	28人
	志願者数	20人	25人	42人	20人	34人	28人
	受験者数	20人	25人	42人	20人	34人	28人
	合格者数	20人	25人	42人	20人	34人	28人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	20人	25人	42人	20人	34人	28人
	志願者数	20人	25人	42人	20人	34人	28人
	受験者数	20人	25人	42人	20人	34人	28人
合計	合格者数	20人	25人	42人	20人	34人	28人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	20人	25人	42人	20人	34人	28人
	志願者数	20人	25人	42人	20人	34人	28人
	受験者数	20人	25人	42人	20人	34人	28人
	合格者数	20人	25人	42人	20人	34人	28人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	20人	25人	42人	20人	34人	28人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	300人	300人	100人	100人	100人	180人
入 学 定 員 充 足 率	0.07	0.08	0.42	0.20	0.34	0.22
歩 留 率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：佛教大学文学部中国学科（通信教育課程）

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
学校推薦型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
一般選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
共通テスト利用入試	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
その他の特別選抜	募集人数	150人	150人	50人	50人	50人	90人
	延べ人数	2人	5人	9人	14人	6人	7人
	志願者数	2人	5人	9人	14人	6人	7人
	受験者数	2人	5人	9人	14人	6人	7人
	合格者数	2人	5人	9人	14人	6人	7人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	2人	5人	9人	14人	6人	7人
	志願者数	2人	5人	9人	14人	6人	7人
	受験者数	2人	5人	9人	14人	6人	7人
合計	募集人数	150人	150人	50人	50人	50人	90人
	延べ人数	2人	5人	9人	14人	6人	7人
	志願者数	2人	5人	9人	14人	6人	7人
	受験者数	2人	5人	9人	14人	6人	7人
	合格者数	2人	5人	9人	14人	6人	7人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	2人	5人	9人	14人	6人	7人
	志願者数	2人	5人	9人	14人	6人	7人
	受験者数	2人	5人	9人	14人	6人	7人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	150人	150人	50人	50人	50人	90人
入 学 定 員 充 足 率	0.01	0.03	0.18	0.28	0.12	0.13
歩 留 率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：佛教大学文学部英米学科（通信教育課程）

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
学校推薦型選抜	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	入学者数						
一般選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
共通テスト利用入試	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	入学者数						
その他の特別選抜	募集人数	300人	300人	100人	100人	100人	180人
	延べ人数	26人	34人	34人	31人	28人	31人
	志願者数	26人	34人	34人	31人	28人	31人
	受験者数	26人	34人	34人	31人	28人	31人
	合格者数	26人	34人	34人	31人	28人	31人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	26人	34人	34人	31人	28人	31人
	志願者数	26人	34人	34人	31人	28人	31人
	受験者数	26人	34人	34人	31人	28人	31人
合計	合格者数	26人	34人	34人	31人	28人	31人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	26人	34人	34人	31人	28人	31人
	志願者数	26人	34人	34人	31人	28人	31人
	受験者数	26人	34人	34人	31人	28人	31人
	合格者数	26人	34人	34人	31人	28人	31人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	26人	34人	34人	31人	28人	31人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	300人	300人	100人	100人	100人	180人
入学定員充足率	0.09	0.11	0.34	0.31	0.28	0.23
歩留率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
学校推薦型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
一般選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
共通テスト利用入試	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
その他の特別選抜	募集人数	150人	150人	100人	100人	100人	120人
	延べ人数	33人	31人	34人	40人	46人	37人
	志願者数	33人	31人	34人	40人	46人	37人
	受験者数	33人	31人	34人	40人	46人	37人
	合格者数	33人	31人	34人	40人	46人	37人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	33人	31人	34人	40人	46人	37人
	志願者数	33人	31人	34人	40人	46人	37人
	受験者数	33人	31人	34人	40人	46人	37人
合計	募集人数	150人	150人	100人	100人	100人	120人
	延べ人数	33人	31人	34人	40人	46人	37人
	志願者数	33人	31人	34人	40人	46人	37人
	受験者数	33人	31人	34人	40人	46人	37人
	合格者数	33人	31人	34人	40人	46人	37人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	33人	31人	34人	40人	46人	37人
	志願者数	33人	31人	34人	40人	46人	37人
	受験者数	33人	31人	34人	40人	46人	37人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	150人	150人	100人	100人	100人	120人
入 学 定 員 充 足 率	0.22	0.21	0.34	0.40	0.46	0.33
歩 留 率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
学校推薦型選抜	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	入学者数						
一般選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
共通テスト利用入試	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	入学者数						
その他の特別選抜	募集人数	300人	300人	100人	100人	100人	180人
	延べ人数	17人	14人	25人	29人	33人	24人
	志願者数	17人	14人	25人	29人	33人	24人
	受験者数	17人	14人	25人	29人	33人	24人
	合格者数	17人	14人	25人	29人	33人	24人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	17人	14人	25人	29人	33人	24人
	志願者数	17人	14人	25人	29人	33人	24人
	受験者数	17人	14人	25人	29人	33人	24人
合計	合格者数	17人	14人	25人	29人	33人	24人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	17人	14人	25人	29人	33人	24人
	志願者数	17人	14人	25人	29人	33人	24人
	受験者数	17人	14人	25人	29人	33人	24人
	合格者数	17人	14人	25人	29人	33人	24人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	17人	14人	25人	29人	33人	24人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	300人	300人	100人	100人	100人	180人
入 学 定 員 充 足 率	0.06	0.05	0.25	0.29	0.33	0.19
歩 留 率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：佛教大学教育学部教育学科（通信教育課程）

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
学校推薦型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
一般選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
共通テスト利用入試	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
その他の特別選抜	募集人数	1000人	1000人	400人	400人	400人	640人
	延べ人数	76人	80人	75人	57人	66人	71人
	志願者数	76人	80人	75人	57人	66人	71人
	受験者数	76人	80人	75人	57人	66人	71人
	合格者数	76人	80人	75人	57人	66人	71人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	76人	80人	75人	57人	66人	71人
	志願者数	76人	80人	75人	57人	66人	71人
	受験者数	76人	80人	75人	57人	66人	71人
合計	募集人数	1000人	1000人	400人	400人	400人	640人
	延べ人数	76人	80人	75人	57人	66人	71人
	志願者数	76人	80人	75人	57人	66人	71人
	受験者数	76人	80人	75人	57人	66人	71人
	合格者数	76人	80人	75人	57人	66人	71人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	76人	80人	75人	57人	66人	71人
	志願者数	76人	80人	75人	57人	66人	71人
	受験者数	76人	80人	75人	57人	66人	71人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	1000人	1000人	400人	400人	400人	640人
入 学 定 員 充 足 率	0.08	0.08	0.19	0.14	0.17	0.13
歩 留 率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
学校推薦型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
一般選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
共通テスト利用入試	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
その他の特別選抜	募集人数			50人	50人	50人	50人
	延べ人数			11人	17人	7人	12人
	志願者数			11人	17人	7人	12人
	受験者数			11人	17人	7人	12人
	合格者数			11人	17人	7人	12人
	うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
	辞退者数			0人	0人	0人	0人
	実人数			11人	17人	7人	12人
	志願者数			11人	17人	7人	12人
	受験者数			11人	17人	7人	12人
合計	募集人数	0人	0人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	志願者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	受験者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	合格者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	志願者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	受験者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
入学定員充足率	募集人数	0人	0人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	志願者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	受験者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	合格者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	志願者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	受験者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
歩留率	募集人数	0人	0人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	志願者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	受験者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	合格者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	志願者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人
	受験者数	0人	0人	11人	17人	7人	12人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員			50人	50人	50人	50人
入 学 定 員 充 足 率			0.22	0.34	0.14	0.23
歩 留 率			1.00	1.00	1.00	1.00

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 幼児教育学科は令和4年度開設。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
学校推薦型選抜	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	入学者数						
一般選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
共通テスト利用入試	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	入学者数						
その他の特別選抜	募集人数	500人	500人	300人	300人	300人	380人
	延べ人数	17人	20人	25人	23人	20人	21人
	志願者数	17人	20人	25人	23人	20人	21人
	受験者数	17人	20人	25人	23人	20人	21人
	合格者数	17人	20人	25人	23人	20人	21人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	17人	20人	25人	23人	20人	21人
	志願者数	17人	20人	25人	23人	20人	21人
	受験者数	17人	20人	25人	23人	20人	21人
合計	合格者数	17人	20人	25人	23人	20人	21人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	17人	20人	25人	23人	20人	21人
	志願者数	17人	20人	25人	23人	20人	21人
	受験者数	17人	20人	25人	23人	20人	21人
	合格者数	17人	20人	25人	23人	20人	21人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	17人	20人	25人	23人	20人	21人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	500人	500人	300人	300人	300人	380人
入 学 定 員 充 足 率	0.03	0.04	0.08	0.08	0.07	0.06
歩 留 率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
学校推薦型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
一般選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
共通テスト利用入試	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
その他の特別選抜	募集人数	500人	500人	100人	100人	100人	260人
	延べ人数	6人	5人	6人	4人	3人	5人
	志願者数	6人	5人	6人	4人	3人	5人
	受験者数	6人	5人	6人	4人	3人	5人
	合格者数	6人	5人	6人	4人	3人	5人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	6人	5人	6人	4人	3人	5人
	志願者数	6人	5人	6人	4人	3人	5人
	受験者数	6人	5人	6人	4人	3人	5人
合計	募集人数	500人	500人	100人	100人	100人	260人
	延べ人数	6人	5人	6人	4人	3人	5人
	志願者数	6人	5人	6人	4人	3人	5人
	受験者数	6人	5人	6人	4人	3人	5人
	合格者数	6人	5人	6人	4人	3人	5人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	6人	5人	6人	4人	3人	5人
	志願者数	6人	5人	6人	4人	3人	5人
	受験者数	6人	5人	6人	4人	3人	5人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	500人	500人	100人	100人	100人	260人
入 学 定 員 充 足 率	0.01	0.01	0.06	0.04	0.03	0.03
歩 留 率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：佛教大学社会福祉学部社会福祉学科（通信教育課程）

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
学校推薦型選抜	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	入学者数						
一般選抜	募集人数						
	延べ人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
共通テスト利用入試	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	実人数						
	志願者数						
	受験者数						
	合格者数						
	うち追加合格者数						
	辞退者数						
	入学者数						
その他の特別選抜	募集人数	1200人	1200人	200人	200人	200人	600人
	延べ人数						
	志願者数	42人	57人	58人	46人	32人	47人
	受験者数	42人	57人	58人	46人	32人	47人
	合格者数	42人	57人	58人	46人	32人	47人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	42人	57人	58人	46人	32人	47人
	志願者数	42人	57人	58人	46人	32人	47人
	受験者数	42人	57人	58人	46人	32人	47人
合計	合格者数	42人	57人	58人	46人	32人	47人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	42人	57人	58人	46人	32人	47人
	志願者数	42人	57人	58人	46人	32人	47人
	受験者数	42人	57人	58人	46人	32人	47人
	合格者数	42人	57人	58人	46人	32人	47人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	42人	57人	58人	46人	32人	47人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	1200人	1200人	200人	200人	200人	600人
入 学 定 員 充 足 率	0.04	0.05	0.29	0.23	0.16	0.15
歩 留 率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙 3

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：佛教大学二条キャンパスオープンキャンパス

	R5年度 入学者入試	R6年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	1365人	1544人	①取組概要 希望者を対象としてキャンパスを開放し、既設組織の特色や養成する人材像の紹介、入試概要説明、ミニ講義体験、実習室見学、教員・在学生との個別相談、キャンパス見学ツアーを実施。 R5年度入試対象 (R4開催)：計6回開催 (3/20, 6/5, 7/17, 8/6, 8/7, 10/9) R6年度入試対象 (R5開催)：計7回開催 (3/21, 6/4, 7/16, 8/5, 8/6, 10/8, 12/17) ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 オープンキャンパス参加者 (受験対象者) のうち、約20%～30%が受験し、7%～8%が入学する傾向がある。すなわち、既設組織における過去5年間の志願倍率の平均値が19.5倍と高い数値を保持していることから、他で実施しているPR活動も効果的であり、増員分の志願者数及び入学者数も十分に期待できる。
うち受験対象者数 (b)	627人	716人	
うち受験者数 (c)	159人	156人	
うち入学者数 (d)	47人	56人	
(受験率 c/b)	25.4%	21.8%	
(入学率 d/b)	7.5%	7.8%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：学外進学相談会（地区相談会）

	R5年度 入学者入試	R6年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	798人	800人	①取組概要 全国各地で開催される進学相談会で個別相談を実施し、本学の魅力、学べる分野等の説明を行い、本学への理解を深め、出願につなげる。 R5年度入試対象 (R4開催)：計86回開催 R6年度入試対象 (R5開催)：計76回開催 ※一部開催形態が来訪者に対する全体説明等の理由により本学受験対象者の算出できない場合は、参加者総数より除いている。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 個別相談希望者に対する個人を特定する情報や志望学科等の情報の収集は任意としており、受験対象者数等の実数把握はできていない。
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：高等学校訪問

	R5年度 入学者入試	R6年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)			①取組概要 学生募集における重点エリアを中心に、本学に対する出願実績を有する高等学校を訪問し、進路指導担当教員と面会し、入試制度の説明をはじめ、本学の現状や取り組み等を紹介し、進路指導に活かしていただき、結果的に本学への出願につなげる。 R5年度入試対象 (R4開催)：410校 R6年度入試対象 (R5開催)：405校 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 入学者選抜試験に係る説明に加えて、本学の現状や取り組み等を高校の先生方に理解いただき、直接進路指導にあたられる高等学校の先生を介して、本学への出願につながる事が期待できる。
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：高校教員対象進学説明会

	R5年度 入学者入試	R6年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	59人	52人	①取組概要 高等学校の教員を対象とし、京都（本学）会場、大阪会場、滋賀会場にて、前年度入学者選抜試験結果報告および当年度入学者選抜試験概要説明を中心に、本学の現状や取り組み等の紹介など、進学説明会を実施。 R5年度入試対象 (R4開催)：計3回開催 (6/16, 6/21, 6/22) R6年度入試対象 (R5開催)：計3回開催 (6/19, 6/20, 6/27) ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 入学者選抜試験に係る説明に加えて、本学の現状や取り組み等を高校の先生方に理解いただき、高等学校の先生を介して、本学への出願につながる事が期待できる。
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：出張講義

	R5年度 入学者入試	R6年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)			①取組概要 高大連携の一環として、また、高校生に大学で学ぶことの意義や面白さ、学問領域の深さや広さを感じとり、進路選択について考える機会を提供することを目的として、本学教員による「出張講義」等を実施。 R5年度入試対象 (R4開催)：56件（内、看護学科教員派遣は4件） R6年度入試対象 (R5開催)：69件（内、看護学科教員派遣は7件） ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 本学教員による講義を受講することで、大学で学ぶことの面白さ、学問領域の深さや広さを感じること、本学への興味を示し、出願につながる事が期待できる。なお、高校生全体に対して講義を行うため、受験対象者等の確認は行っていない。
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑥募集を行った学科等名称及び取組の名称：入試対策講座

	R5年度 入学者入試	R6年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	857人	910人	①取組概要 受験者向けに外部教育機関の塾講師を招き、出題傾向や効果的な対策方法を解説する等の様々な入試対策講座を提供する。 R5年度入試対象（R4開催）：計5回開催（10/8、10/9、10/15、12/10、12/23） R6年度入試対象（R5開催）：計4回開催（10/8、10/15、12/17、12/23） ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 本学に興味を示す受験予定者のニーズを満たし、モチベーション向上を図ることで、本学への出願につながることが期待できる。なお、受験対象者数は、受講申込時の志望学科等の情報は確認しておらず、全学科対象の総数となるため、記載できない。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

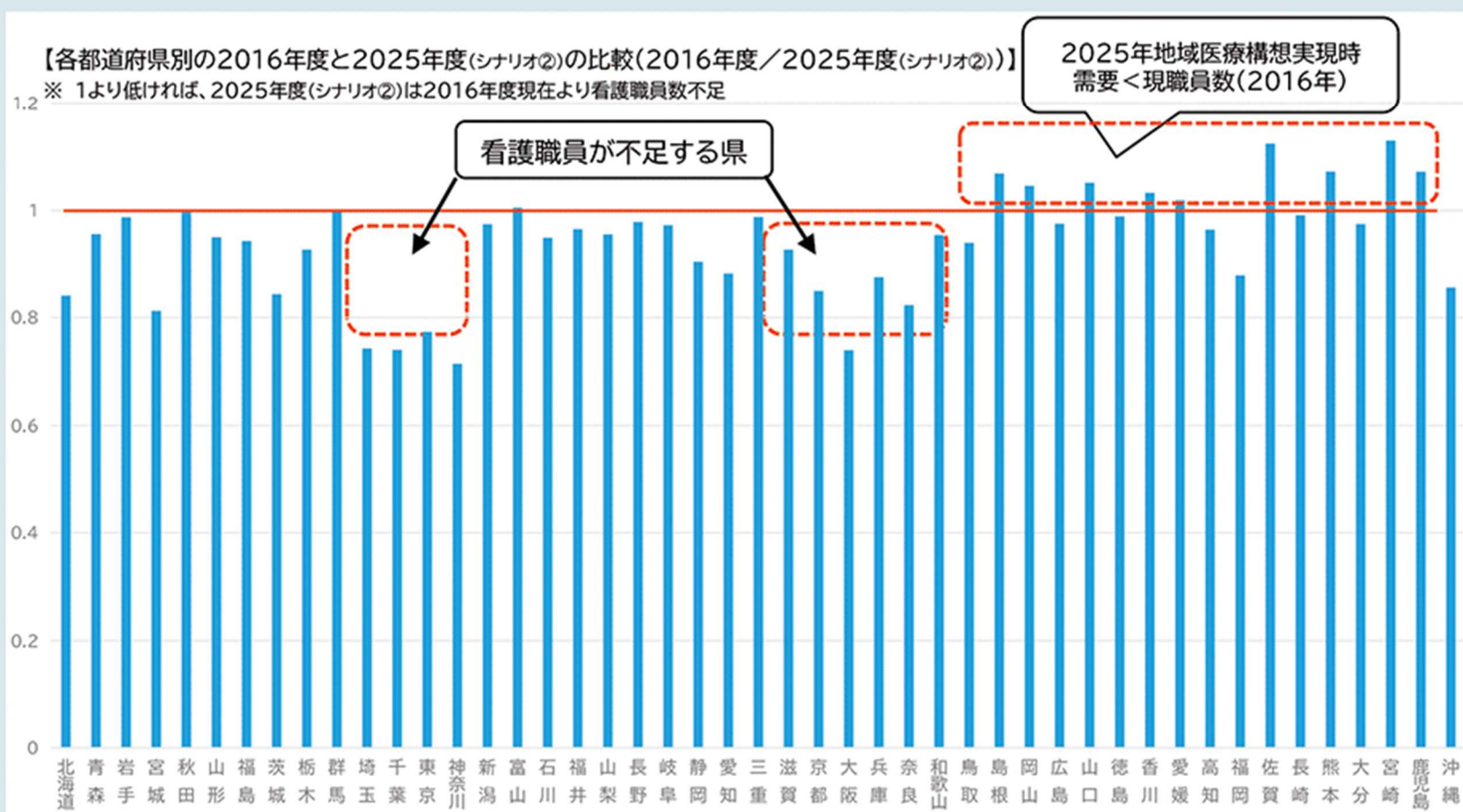
⑦募集を行った学科等名称及び取組の名称：資料請求

	R5年度 入学者入試	R6年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	132152人	158454人	①取組概要 佛教大学の概要、学部学科での学び、学生生活、就職支援、入試情報などを掲載した大学案内を作成し、ホームページや進学関連Webサイトより資料請求者の自宅へ送付する。また、必要に応じてイベント開催情報等のリーフレットを添付する。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 他のPR活動での情報発信を通して、資料請求増を図り、オープンキャンパスや進学相談会の参加へ誘導する。なお、受験対象者については、志望学科ごとの集計が難しく、全学科対象の総数となるため、記載できない。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)	1165人	1252人	
うち入学者数(d)	70人	66人	
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑧募集を行った学科等名称及び取組の名称：入学部SNS等による情報発信

	R5年度 入学者入試	R6年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)		15764人	①取組概要 YouTubeや本学入学部が運用する各種SNSによる広報活動を通して、入試関連情報をはじめ、本学の教育・研究活動や学生生活、社会との連携等の情報を積極的に発信し、本学への理解を深める機会を提供する。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 本学に興味を示す受験予定者のニーズを満たし、モチベーション向上を図ることで、本学への出願につながることが期待できる。なお、SNS登録者については、2025年1月現在の総数であるため、年度ごとの記載はできない。また、志望学科を踏まえた個人の情報は確認しておらず、全学科対象の総数となるため、記載できない。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

図表2-1-11 看護職員の需給推計結果（都道府県別）



資料：厚生労働省医政局看護課において作成。

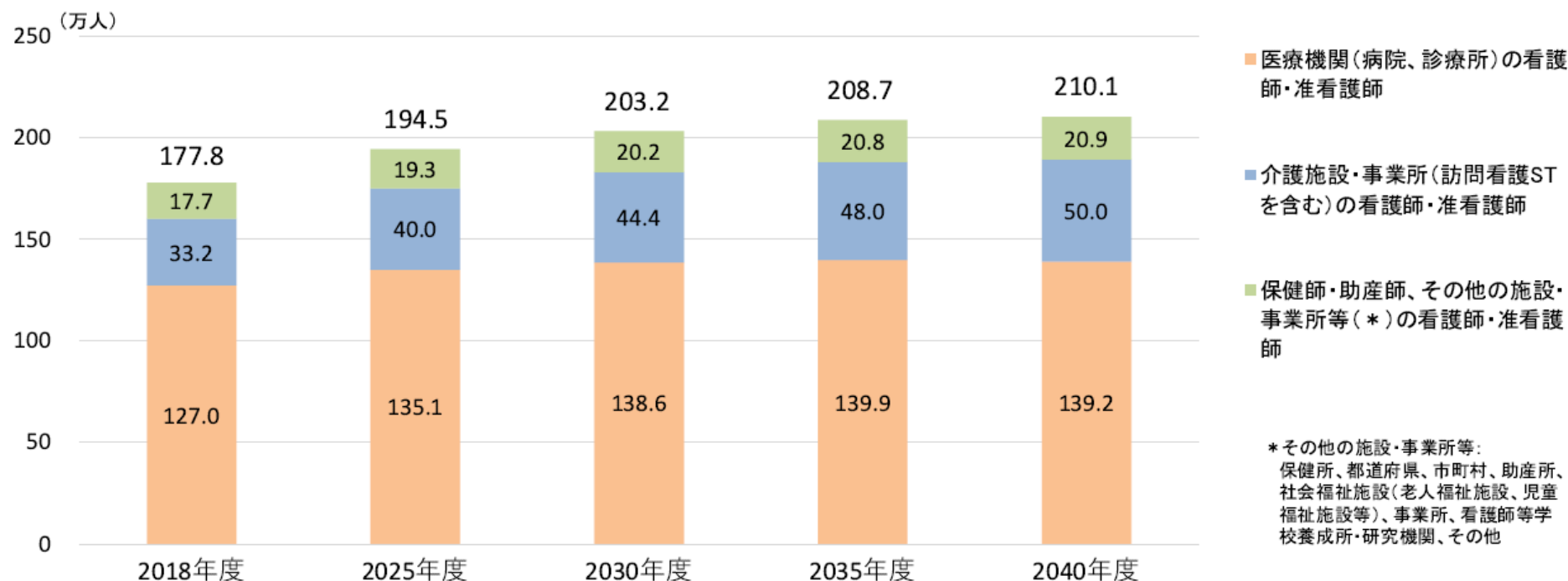
(注) 看護職員の需要推計は、ワーク・ライフ・バランスの実現を前提に、看護職員の超過勤務時間や年次有給休暇の取得日数などの条件について、看護職員の労働環境の変化に対応して幅を待たせた推計を行っている。具体的には以下の3つのパターンを設定している。

- | | | |
|-------|---------------------|---------------------|
| シナリオ① | 1か月あたり超過勤務時間：10時間以内 | 1年あたり有給休暇取得日数：5日以上 |
| シナリオ② | 1か月あたり超過勤務時間：10時間以内 | 1年あたり有給休暇取得日数：10日以上 |
| シナリオ③ | 1か月あたり超過勤務時間：0時間 | 1年あたり有給休暇取得日数：20日以上 |

(参考)『「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」に基づくマンパワーのシミュレーション』(2018年5月21日厚生労働省)の「現状投影ベース」等に基づく看護職員の需要推計

『「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」に基づくマンパワーのシミュレーション』(2018年5月)の「現状投影ベース」等に基づく看護職員の需要推計を行うと、訪問看護を含む介護分野での需要の増大等に伴って、2040年に向けて、看護職員の需要が増大するものと推計される。

※「医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会 中間とりまとめ」(2019年11月15日)における需要推計とは、足下の就業者数や推計方法等が異なるため、推計結果が異なる。



【推計方法】

- 「医療機関(病院、診療所)の看護師・准看護師」については、「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」の「医療推計バックデータ」の現状投影ベース(注)を用いて推計。
- 「介護施設・事業所(訪問看護STを含む)の看護師・准看護師」については、「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」の「介護推計バックデータ」の現状投影ベース(注)を用いて推計。
- 「保健師・助産師、その他の施設・事業所等の看護師・准看護師」は、2017年(平成29年)医療施設調査(静態)及び2020年(令和2年)医療施設調査(静態)の実績値を用いて、①2018年の病院・診療所の保健師・助産師数の推計値を算出し、2018年度(平成30年度)衛生行政報告例から、②2018年のその他の施設・事業所等の保健師・助産師・看護師・准看護師の実績値を算出し、①・②の合計値を2018年度の人数(足下)とした上で、『医療機関及び介護施設・事業所の看護師・准看護師の総合計』の対2018年度伸び率に依拠して増加するものとして推計(「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」の「バックデータ全体まとめ」で示された「その他の福祉分野」の推計方法に準拠)。

(注)現状投影ベース: 医療・介護サービスの足元の年齢階級別の受療率等(入院・外来の受療率、サービスごとの利用率)を基に機械的に将来の患者数や利用者数を計算し、この将来の患者数や利用者数に、足下における一定の患者数・利用者数当たりの看護師数及び准看護師数を乗ずることによって算出。

第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書

平成 22 年 12 月 21 日

【出典】厚生労働省「第七次看護職員需給見通しに関する検討会」報告書より ※該当ページのみ抜粋
(<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000000z6kk.html>)

2025（平成37）年に、需要数が供給数を上回る結果となった。しかしながら、長期推計においては、今後の制度改革の進展により、医療提供体制の機能分化がどのようになされるか、多様な就業形態がどのように定着していくかといった要素が大きな影響をもたらすことから、上記の研究結果については、今後の看護職員確保対策を検討していくに当たって参考となる知見と位置付けるべきものと考えられる。

4. 看護職員確保対策の推進

看護職員確保対策については、これまでも看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針等に基づき各般の施策が講じられてきたところであるが、平成23年から平成27年までの看護職員需給見通しを着実に実現していくためには、定着促進を始めとして、養成促進、再就業支援にわたる看護職員確保対策について一層の推進を図っていくことが必要不可欠である。

平成22年6月に閣議決定された「新成長戦略」においては、医療・介護・健康関連産業は「日本の成長牽引産業」として位置付けられているとともに、質の高い医療・介護サービスを安定的に提供できる体制を整備することとされており、そうした観点からも看護職員の確保対策を推進していくことは重要な課題である。

（1）養成促進

養给力の確保に関して、国においては、民間立の看護師等養成所の運営に対する支援や、助産師養成所・看護師養成所2年課程（通信制）の開設準備に必要な専任教員等配置経費に対する支援を実施している。

また、都道府県においても看護師等養成所の運営に対する補助を始めとして、県立大学養成所の運営、修学資金貸与事業の実施、看護体験・看護の日等の普及啓発の推進、就職ガイダンスに取り組んでいるところである。

医療の高度化、療養の場や国民のニーズの多様化といった変化に的確に対応することができる資質の高い人材を看護職員として養成していくためには、引き続き上記のような促進策を講じていく必要があるとともに、養成段階において看護基礎教育の質の担保を図ることが後述の定着促進にも効果を挙げるものと考えられる。

今回の需給見通しにおいては、平成27年までの間の18歳人口が大きく変化しないこと、社会人や他分野の学部等を卒業した入学者の増加が見られること等から、入学者の減

少など少子化の影響は見込まれていないところである。

しかしながら、中長期的には、少子化の一層の進行も予想されることから、例えば、現在 13%程度である看護師等学校養成所の入学者の男性比率についてその向上を図ること等も含めた対応を検討していくことが必要である。

また、多様な社会経験を有する者にとっても、看護師等学校養成所を経て看護職員となることが魅力的な選択となるよう、就学支援等の強化を図っていくべきである。

(2) 定着促進

看護職員の離職率が改善されない限り、養成を促進しても需給状況を改善することは困難であることから、定着の促進を図ることは極めて重要な課題となっている。

① 職場定着の現状

今般の看護職員需給見通し策定のために都道府県が実施した調査によれば、常勤退職者の主な退職理由としては、本人の健康問題、人間関係、家族の健康・介護問題、出産・育児、結婚等が多く列挙されていた。

この点に関しては、既に離職した看護職員となった者を対象として実施した社団法人日本看護協会の調査においては、妊娠・出産、結婚、勤務時間が長い・超過勤務が多いといった理由が挙げられていた。

また、都道府県が実施した調査における本人の健康問題という回答の背景には、看護職員の不規則なシフト、夜勤回数の多さ、超過勤務の多さなど過酷な労働条件があるのではないかと指摘されている。

他方、前述の都道府県による調査においては、看護職員の定着促進を促すために効果を挙げている取組みについても質問をしており、調査票に回答した施設からは、有給休暇の取得促進、人を育て個人を大切にする風土づくり、超過勤務削減のための取組み、研修体制の確立、外部研修への援助等によるキャリアアップの支援、多様な勤務形態の導入等が多く挙げられていた。

② 勤務環境の改善

入院医療への対応を考慮すれば、看護職員の勤務において夜勤という要素を切り離すことはできない。他方、医療の高度化等に伴い、勤務実態も多忙なものとなっているが、夜勤による交代制勤務を伴う過酷な超過勤務の継続は慢性的な疲労に繋がり、医療安全

学校基本調査に基づく18歳人口予測

【全国】

学校基本調査	18歳人口			算出定義
	年	人数	増減割合	
学校基本調査公表	令和6（2024）	1,063,451	100.0%	令和3（2021）年 中学校卒業生＋中等教育学校前期課程修了者＋義務教育学校卒業生の人数
学校基本調査に基づく予測	令和7（2025）	1,090,562	102.5%	令和4（2022）年 中学校卒業生＋中等教育学校前期課程修了者＋義務教育学校卒業生の人数
学校基本調査に基づく予測	令和8（2026）	1,092,664	102.7%	令和5（2023）年 中学校卒業生＋中等教育学校前期課程修了者＋義務教育学校卒業生の人数
学校基本調査に基づく予測	令和9（2027）	1,085,123	102.0%	令和6（2024）年 中学校卒業生＋中等教育学校前期課程修了者＋義務教育学校卒業生の人数
学校基本調査に基づく予測	令和10（2028）	1,069,950	100.6%	令和6（2024）年 中学校3年生＋中等教育学校前期課程3年生＋義務教育学校9年生の生徒数
学校基本調査に基づく予測	令和11（2029）	1,067,555	100.4%	令和6（2024）年 中学校2年生＋中等教育学校前期課程2年生＋義務教育学校8年生の生徒数
学校基本調査に基づく予測	令和12（2030）	1,048,971	98.6%	令和6（2024）年 中学校1年生＋中等教育学校前期課程1年生＋義務教育学校7年生の生徒数
学校基本調査に基づく予測	令和13（2031）	1,036,250	97.4%	令和6（2024）年 小学校6年生＋義務教育学校6年生の児童数
学校基本調査に基づく予測	令和14（2032）	1,024,561	96.3%	令和6（2024）年 小学校5年生＋義務教育学校5年生の児童数
学校基本調査に基づく予測	令和15（2033）	1,014,564	95.4%	令和6（2024）年 小学校4年生＋義務教育学校4年生の児童数
学校基本調査に基づく予測	令和16（2034）	1,006,056	94.6%	令和6（2024）年 小学校3年生＋義務教育学校3年生の児童数
学校基本調査に基づく予測	令和17（2035）	970,564	91.3%	令和6（2024）年 小学校2年生＋義務教育学校2年生の児童数

【近畿2府3県（滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県）】

学校基本調査	18歳人口			算出定義
	年	人数	増減割合	
学校基本調査公表	令和6（2024）	167,697	100.0%	令和3（2021）年 中学校卒業生＋中等教育学校前期課程修了者＋義務教育学校卒業生の人数
学校基本調査に基づく予測	令和7（2025）	171,447	102.2%	令和4（2022）年 中学校卒業生＋中等教育学校前期課程修了者＋義務教育学校卒業生の人数
学校基本調査に基づく予測	令和8（2026）	171,327	102.2%	令和5（2023）年 中学校卒業生＋中等教育学校前期課程修了者＋義務教育学校卒業生の人数
学校基本調査に基づく予測	令和9（2027）	170,337	101.6%	令和6（2024）年 中学校卒業生＋中等教育学校前期課程修了者＋義務教育学校卒業生の人数
学校基本調査に基づく予測	令和10（2028）	167,036	99.6%	令和6（2024）年 中学校3年生＋中等教育学校前期課程3年生＋義務教育学校9年生の生徒数
学校基本調査に基づく予測	令和11（2029）	166,710	99.4%	令和6（2024）年 中学校2年生＋中等教育学校前期課程2年生＋義務教育学校8年生の生徒数
学校基本調査に基づく予測	令和12（2030）	164,395	98.0%	令和6（2024）年 中学校1年生＋中等教育学校前期課程1年生＋義務教育学校7年生の生徒数
学校基本調査に基づく予測	令和13（2031）	162,043	96.6%	令和6（2024）年 小学校6年生＋義務教育学校6年生の児童数
学校基本調査に基づく予測	令和14（2032）	159,084	94.9%	令和6（2024）年 小学校5年生＋義務教育学校5年生の児童数
学校基本調査に基づく予測	令和15（2033）	157,516	93.9%	令和6（2024）年 小学校4年生＋義務教育学校4年生の児童数
学校基本調査に基づく予測	令和16（2034）	155,943	93.0%	令和6（2024）年 小学校3年生＋義務教育学校3年生の児童数
学校基本調査に基づく予測	令和17（2035）	151,792	90.5%	令和6（2024）年 小学校2年生＋義務教育学校2年生の児童数

【出典】18歳人口概算は、文部科学省「学校基本統計」（令和3（2021）年～令和6（2024）年）より、表内「算出定義」欄の定義内容に基づき作成

進学者数・進学率（現役）の推移（全体：府県別：2014～2023年）

			2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
滋賀	卒業生数（人）		12,082	12,360	12,656	12,884	12,737	12,729	12,786	12,548	12,129	11,765
	進学者数 （人）	大学	5,951	6,011	6,168	6,405	6,170	6,271	6,521	6,565	6,635	6,748
		短期大学	793	850	787	799	782	697	702	637	574	500
		専門学校	1,965	2,049	2,114	2,171	2,137	2,148	2,113	2,187	2,006	1,885
	進学率 （％）	大学	49.3	48.6	48.7	49.7	48.4	49.3	51.0	52.3	54.7	57.4
		短期大学	6.6	6.9	6.2	6.2	6.1	5.5	5.5	5.1	4.7	4.2
		専門学校	16.3	16.6	16.7	16.9	16.8	16.9	16.5	17.4	16.5	16.0
京都	卒業生数（人）		22,250	22,966	22,813	23,480	23,074	23,240	22,541	22,049	21,821	21,359
	進学者数 （人）	大学	13,178	13,911	13,846	14,256	13,959	14,158	14,155	14,444	14,670	14,868
		短期大学	1,303	1,254	1,231	1,243	1,134	1,044	1,019	868	824	652
		専門学校	3,096	3,155	3,128	3,217	3,162	3,106	3,111	3,033	2,884	2,795
	進学率 （％）	大学	59.2	60.6	60.7	60.7	60.5	60.9	62.8	65.5	67.2	69.6
		短期大学	5.9	5.5	5.4	5.3	4.9	4.5	4.5	3.9	3.8	3.1
		専門学校	13.9	13.7	13.7	13.7	13.7	13.4	13.8	13.8	13.2	13.1
大阪	卒業生数（人）		71,537	73,971	74,542	75,967	75,146	73,952	72,659	70,413	68,114	66,443
	進学者数 （人）	大学	37,040	39,169	40,561	40,882	40,461	40,096	41,060	41,801	42,281	42,322
		短期大学	4,640	4,657	4,385	4,368	4,139	3,886	3,749	3,338	2,930	2,446
		専門学校	10,770	11,155	10,953	11,413	10,987	11,401	11,566	10,913	10,066	9,389
	進学率 （％）	大学	51.8	53.0	54.4	53.8	53.8	54.2	56.5	59.4	62.1	63.7
		短期大学	6.5	6.3	5.9	5.7	5.5	5.3	5.2	4.7	4.3	3.7
		専門学校	15.1	15.1	14.7	15.0	14.6	15.4	15.9	15.5	14.8	14.1
兵庫	卒業生数（人）		45,473	46,090	46,442	47,411	46,566	46,132	45,077	44,167	42,635	41,608
	進学者数 （人）	大学	24,839	25,625	25,773	26,442	26,118	26,046	26,108	26,567	26,645	26,547
		短期大学	2,326	2,330	2,296	2,267	2,035	1,983	2,012	1,787	1,391	1,265
		専門学校	6,364	6,399	6,418	6,606	6,145	6,198	6,336	6,212	5,480	5,375
	進学率 （％）	大学	54.6	55.6	55.5	55.8	56.1	56.5	57.9	60.2	62.5	63.8
		短期大学	5.1	5.1	4.9	4.8	4.4	4.3	4.5	4.0	3.3	3.0
		専門学校	14.0	13.9	13.8	13.9	13.2	13.4	14.1	14.1	12.9	12.9
奈良	卒業生数（人）		12,000	12,153	12,166	12,282	12,158	11,630	11,830	11,338	11,102	10,497
	進学者数 （人）	大学	6,107	6,525	6,458	6,483	6,453	6,308	6,508	6,416	6,530	6,294
		短期大学	777	733	659	696	573	554	534	540	463	363
		専門学校	1,658	1,494	1,687	1,726	1,698	1,520	1,604	1,454	1,385	1,312
	進学率 （％）	大学	50.9	53.7	53.1	52.8	53.1	54.2	55.0	56.6	58.8	60.0
		短期大学	6.5	6.0	5.4	5.7	4.7	4.8	4.5	4.8	4.2	3.5
		専門学校	13.8	12.3	13.9	14.1	14.0	13.1	13.6	12.8	12.5	12.5
和歌山	卒業生数（人）		8,937	9,102	8,904	8,986	8,793	8,715	8,482	7,968	7,816	7,289
	進学者数 （人）	大学	3,837	3,731	3,853	3,819	3,705	3,779	3,965	3,943	4,016	3,815
		短期大学	535	560	518	533	461	414	366	323	333	300
		専門学校	1,594	1,729	1,620	1,502	1,580	1,522	1,523	1,458	1,297	1,185
	進学率 （％）	大学	42.9	41.0	43.3	42.5	42.1	43.4	46.7	49.5	51.4	52.3
		短期大学	6.0	6.2	5.8	5.9	5.2	4.8	4.3	4.1	4.3	4.1
		専門学校	17.8	19.0	18.2	16.7	18.0	17.5	18.0	18.3	16.6	16.3

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業生数：高等学校卒業した人数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

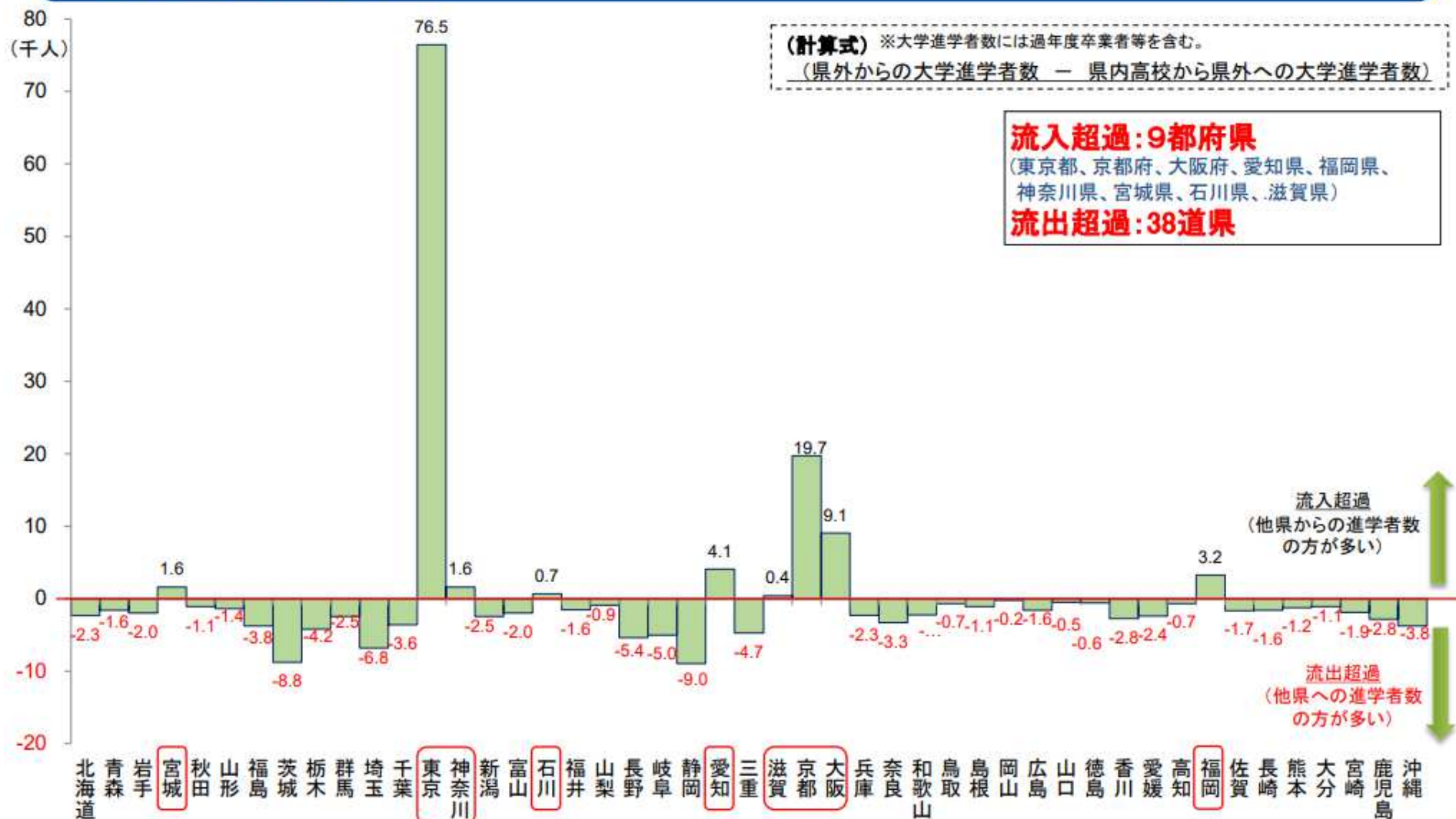
・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した人数

・進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

※専門学校＝専修学校専門学校

大学進学時の都道府県別流入・流出者数

- 大学進学時の各都道府県における流入者・流出者数をみると、流入超過が9都府県、流出超過が38道県となっている。
- 東京都には76,451人、京都府には19,704人、大阪府には9,069人が流入している一方、静岡県からは8,952人、茨城県からは8,779人、埼玉県からは6,804人が流出している。



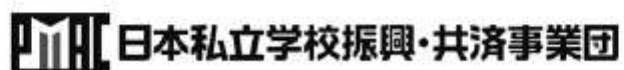
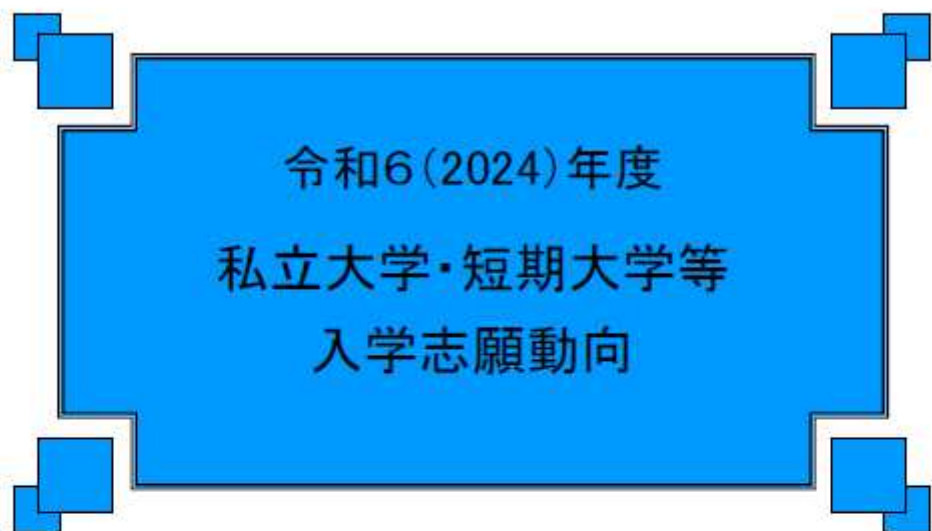
【出典】文部科学省「学校基本統計(令和4年度)」

8

出典：文部科学省 参考資料集「大学等進学者数に関するデータ」(<https://www.mext.go.jp/kaigisiryō/content/000255573.pdf>)

佛教大学保健医療技術学部看護学科 入学者出身都道府県内訳集計表〔平成24（2012）年度～令和6（2024）年度〕

入学年度 出身都道府県	平成24 (2012) 年度		平成25 (2013) 年度		平成26 (2014) 年度		平成27 (2015) 年度		平成28 (2016) 年度		平成29 (2017) 年度		平成30 (2018) 年度		令和元 (2019) 年度		令和2 (2020) 年度		令和3 (2021) 年度		令和4 (2022) 年度		令和5 (2023) 年度		令和6 (2024) 年度		総計	
宮城県					1	1.4%																					1	0.1%
東京都			1	1.5%																							1	0.1%
新潟県													1	1.6%									1	1.4%			2	0.2%
富山県					1	1.4%			1	1.6%			1	1.6%													3	0.4%
石川県	1	1.6%	1	1.5%	1	1.4%									1	1.5%											4	0.5%
福井県	1	1.6%			1	1.4%	1	1.4%													1	1.6%					4	0.5%
長野県	1	1.6%																	1	1.5%							2	0.2%
岐阜県	1	1.6%																									1	0.1%
静岡県			1	1.5%							1	1.7%									1	1.6%					3	0.4%
愛知県											1	1.7%			1	1.5%			2	3.0%							4	0.5%
三重県					2	2.8%	1	1.4%	1	1.6%																	4	0.5%
滋賀県	10	15.6%	17	25.8%	21	29.6%	17	24.6%	19	31.1%	17	28.3%	21	33.3%	30	44.1%	22	34.4%	23	34.3%	22	35.5%	19	27.5%	19	28.8%	257	30.2%
京都府	22	34.4%	20	30.3%	17	23.9%	27	39.1%	25	41.0%	30	50.0%	29	46.0%	29	42.6%	28	43.8%	33	49.3%	30	48.4%	39	56.5%	33	50.0%	362	42.6%
（内、京都市）	17	26.6%	14	21.2%	12	16.9%	14	20.3%	12	19.7%	19	31.7%	16	25.4%	17	25.0%	21	32.8%	21	31.3%	16	25.8%	26	37.7%	13	19.7%	218	25.6%
大阪府	16	25.0%	15	22.7%	15	21.1%	18	26.1%	11	18.0%	7	11.7%	8	12.7%	7	10.3%	12	18.8%	5	7.5%	6	9.7%	8	11.6%	9	13.6%	137	16.1%
兵庫県	2	3.1%	6	9.1%	5	7.0%	2	2.9%			2	3.3%									1	1.6%			2	3.0%	20	2.4%
奈良県	6	9.4%	2	3.0%					2	3.3%			2	3.2%			2	3.1%			1	1.6%			1	1.5%	16	1.9%
和歌山県	1	1.6%			2	2.8%			1	1.6%	1	1.7%	1	1.6%											1	1.5%	7	0.8%
鳥取県			1	1.5%	1	1.4%	1	1.4%																	1	1.5%	4	0.5%
岡山県			1	1.5%	1	1.4%	1	1.4%			1	1.7%															4	0.5%
広島県					1	1.4%													1	1.5%							2	0.2%
山口県	2	3.1%			1	1.4%																	1	1.4%			4	0.5%
香川県							1	1.4%											1	1.5%							2	0.2%
高知県	1	1.6%	1	1.5%	1	1.4%																					3	0.4%
福岡県									1	1.6%													1	1.4%			2	0.2%
鹿児島県																			1	1.5%							1	0.1%
総計	64	100.0%	66	100.0%	71	100.0%	69	100.0%	61	100.0%	60	100.0%	63	100.0%	68	100.0%	64	100.0%	67	100.0%	62	100.0%	69	100.0%	66	100.0%	850	100.0%



【出典】日本私立学校振興・共済事業団「令和6（2024）年度 私立大学・短期大学等入学志願動向」より ※該当ページのみ抜粋
(<https://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukouR6.pdf>)

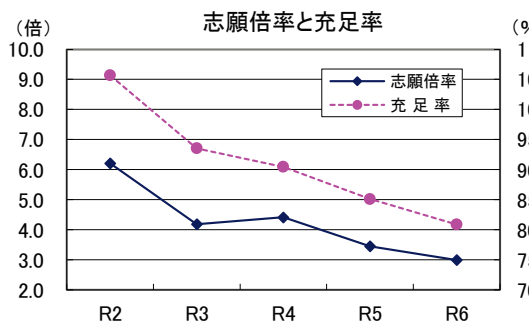
2. 地域別の動向（大学・学校別）

全国を21の地域に区分した。集計は学校所在地ごととした。

地 域 区 分	年 度	集 計 学 校 数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
		校	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
北海道	R5	23	10,978	34,331	33,504	22,515	10,818	3.13	67.20	48.05	98.54
	R6	24	11,058	33,361	32,571	23,448	10,426	3.02	71.99	44.46	94.28
	増減	1	80	△ 970	△ 933	933	△ 392	△ 0.11	4.79	△ 3.59	△ 4.26
東北 (宮城を除く)	R5	23	5,086	10,690	10,464	7,033	4,272	2.10	67.21	60.74	84.00
	R6	23	5,056	10,021	9,772	6,512	3,951	1.98	66.64	60.67	78.14
	増減	0	△ 30	△ 669	△ 692	△ 521	△ 321	△ 0.12	△ 0.57	△ 0.07	△ 5.86
宮城	R5	11	8,439	30,572	29,988	18,916	8,299	3.62	63.08	43.87	98.34
	R6	12	8,629	29,716	29,160	19,177	8,357	3.44	65.76	43.58	96.85
	増減	1	190	△ 856	△ 828	261	58	△ 0.18	2.68	△ 0.29	△ 1.49
関東 (埼玉、千葉、東京、 神奈川を除く)	R5	24	10,408	39,295	38,238	18,866	10,145	3.78	49.34	53.77	97.47
	R6	24	10,634	40,088	38,972	19,510	10,884	3.77	50.06	55.79	102.35
	増減	0	226	793	734	644	739	△ 0.01	0.72	2.02	4.88
埼玉	R5	26	17,637	73,674	70,329	42,551	17,196	4.18	60.50	40.41	97.50
	R6	25	15,565	67,238	64,117	35,794	14,194	4.32	55.83	39.65	91.19
	増減	△ 1	△ 2,072	△ 6,436	△ 6,212	△ 6,757	△ 3,002	0.14	△ 4.67	△ 0.76	△ 6.31
千葉	R5	26	16,199	181,096	172,912	67,202	15,467	11.18	38.86	23.02	95.48
	R6	26	16,142	175,270	167,647	65,083	15,258	10.86	38.82	23.44	94.52
	増減	0	△ 57	△ 5,826	△ 5,265	△ 2,119	△ 209	△ 0.32	△ 0.04	0.42	△ 0.96
東京	R5	118	184,186	1,625,399	1,543,334	570,084	190,553	8.82	36.94	33.43	103.46
	R6	116	186,339	1,649,086	1,563,707	572,396	190,437	8.85	36.61	33.27	102.20
	増減	△ 2	2,153	23,687	20,373	2,312	△ 116	0.03	△ 0.33	△ 0.16	△ 1.26
神奈川	R5	27	23,316	128,821	121,868	65,867	23,048	5.53	54.05	34.99	98.85
	R6	27	23,355	119,837	112,718	60,564	22,489	5.13	53.73	37.13	96.29
	増減	0	39	△ 8,984	△ 9,150	△ 5,303	△ 559	△ 0.40	△ 0.32	2.14	△ 2.56
甲信越	R5	23	5,874	13,983	13,663	10,195	5,654	2.38	74.62	55.46	96.25
	R6	23	5,954	12,604	12,232	9,551	5,458	2.12	78.08	57.15	91.67
	増減	0	80	△ 1,379	△ 1,431	△ 644	△ 196	△ 0.26	3.46	1.69	△ 4.58
北陸	R5	13	5,724	23,354	22,441	15,475	5,302	4.08	68.96	34.26	92.63
	R6	13	5,784	22,676	21,776	15,605	5,128	3.92	71.66	32.86	88.66
	増減	0	60	△ 678	△ 665	130	△ 174	△ 0.16	2.70	△ 1.40	△ 3.97
東海 (愛知を除く)	R5	21	9,170	31,282	30,344	22,366	8,183	3.41	73.71	36.59	89.24
	R6	21	9,170	29,514	28,830	22,001	8,299	3.22	76.31	37.72	90.50
	増減	0	0	△ 1,768	△ 1,514	△ 365	116	△ 0.19	2.60	1.13	1.26
愛知	R5	45	36,639	264,031	257,066	123,800	37,278	7.21	48.16	30.11	101.74
	R6	45	36,730	268,189	260,967	125,813	36,322	7.30	48.21	28.87	98.89
	増減	0	91	4,158	3,901	2,013	△ 956	0.09	0.05	△ 1.24	△ 2.85
近畿 (京都、大阪、兵庫を除く)	R5	14	4,553	15,718	15,137	9,146	3,875	3.45	60.42	42.37	85.11
	R6	14	4,488	13,452	13,008	8,846	3,630	3.00	68.00	41.04	80.88
	増減	0	△ 65	△ 2,266	△ 2,129	△ 300	△ 245	△ 0.45	7.58	△ 1.33	△ 4.23
京都	R5	26	37,215	376,530	357,741	137,971	37,726	10.12	38.57	27.34	101.37
	R6	26	37,317	369,753	352,697	134,254	36,733	9.91	38.06	27.36	98.44
	増減	0	102	△ 6,777	△ 5,044	△ 3,717	△ 993	△ 0.21	△ 0.51	0.02	△ 2.93
大阪	R5	53	49,585	502,691	478,851	172,045	50,271	10.14	35.93	29.22	101.38
	R6	52	49,858	498,768	475,220	179,257	50,588	10.00	37.72	28.22	101.46
	増減	△ 1	273	△ 3,923	△ 3,631	7,212	317	△ 0.14	1.79	△ 1.00	0.08
兵庫	R5	28	23,902	140,774	133,029	65,346	22,461	5.89	49.12	34.37	93.97
	R6	27	23,662	150,114	141,527	66,264	22,448	6.34	46.82	33.88	94.87
	増減	△ 1	△ 240	9,340	8,498	918	△ 13	0.45	△ 2.30	△ 0.49	0.90
中国 (広島を除く)	R5	21	8,767	24,248	23,571	16,157	7,146	2.77	68.55	44.23	81.51
	R6	21	8,957	21,781	21,190	14,533	7,014	2.43	68.58	48.26	78.31
	増減	0	190	△ 2,467	△ 2,381	△ 1,624	△ 132	△ 0.34	0.03	4.03	△ 3.20
広島	R5	14	9,013	33,511	32,852	22,292	8,290	3.72	67.86	37.19	91.98
	R6	14	9,008	35,749	35,243	24,967	7,808	3.97	70.84	31.27	86.68
	増減	0	△ 5	2,238	2,391	2,675	△ 482	0.25	2.98	△ 5.92	△ 5.30
四国	R5	9	4,355	10,073	9,886	8,582	3,677	2.31	86.81	42.85	84.43
	R6	10	4,425	9,295	9,111	8,316	3,373	2.10	91.27	40.56	76.23
	増減	1	70	△ 778	△ 775	△ 266	△ 304	△ 0.21	4.46	△ 2.29	△ 8.20
九州 (福岡を除く)	R5	28	12,305	29,658	29,249	21,394	11,675	2.41	73.14	54.57	94.88
	R6	28	12,300	28,277	27,625	21,164	11,604	2.30	76.61	54.83	94.34
	増減	0	△ 5	△ 1,381	△ 1,624	△ 230	△ 71	△ 0.11	3.47	0.26	△ 0.54
福岡	R5	27	19,284	123,070	119,341	56,221	19,263	6.38	47.11	34.26	99.89
	R6	27	19,443	119,682	116,444	57,625	20,329	6.16	49.49	35.28	104.56
	増減	0	159	△ 3,388	△ 2,897	1,404	1,066	△ 0.22	2.38	1.02	4.67
全国計	R5	600	502,635	3,712,801	3,543,808	1,494,024	500,599	7.39	42.16	33.51	99.59
	R6	598	503,874	3,704,471	3,534,534	1,490,680	494,730	7.35	42.17	33.19	98.19
	増減	△ 2	1,239	△ 8,330	△ 9,274	△ 3,344	△ 5,869	△ 0.04	0.01	△ 0.32	△ 1.40

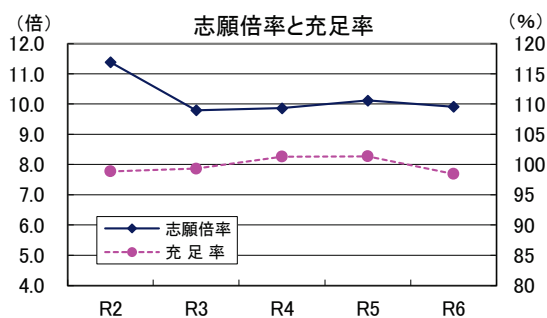
近畿(京都、大阪、兵庫を除く)

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
学 校 数	14	15	15	14	14
志願倍率	6.21	4.19	4.41	3.45	3.00
充 足 率	105.70	93.54	90.45	85.11	80.88



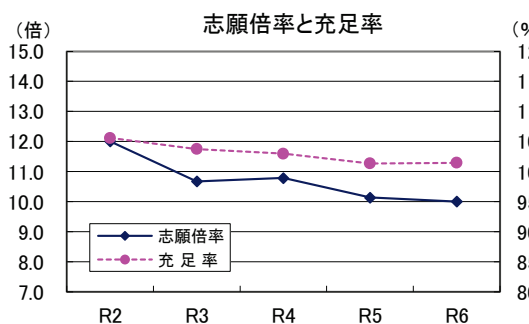
京都

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
学 校 数	26	26	26	26	26
志願倍率	11.38	9.80	9.86	10.12	9.91
充 足 率	98.86	99.32	101.30	101.37	98.44



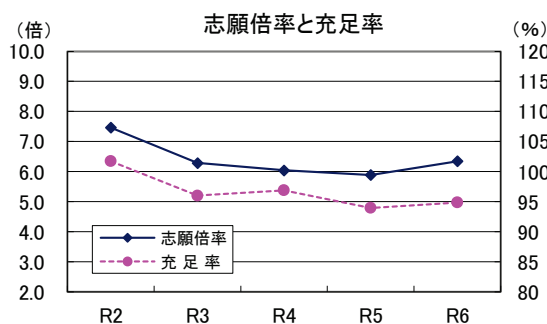
大阪

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
学 校 数	50	52	53	53	52
志願倍率	12.01	10.67	10.79	10.14	10.00
充 足 率	105.60	103.74	102.97	101.38	101.46



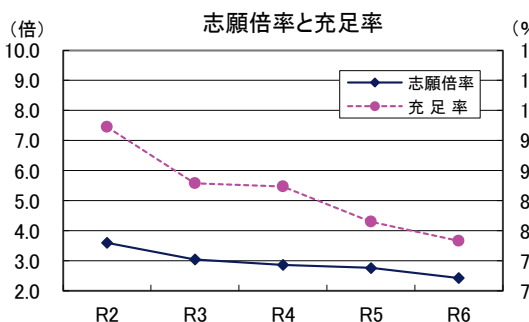
兵庫

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
学 校 数	30	29	28	28	27
志願倍率	7.46	6.29	6.04	5.89	6.34
充 足 率	101.72	96.01	96.89	93.97	94.87



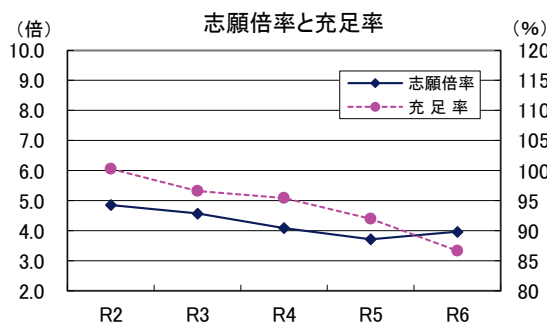
中国(広島を除く)

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
学 校 数	22	22	21	21	21
志願倍率	3.61	3.04	2.87	2.77	2.43
充 足 率	97.25	87.91	87.37	81.51	78.31



広島

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
学 校 数	14	14	14	14	14
志願倍率	4.86	4.57	4.09	3.72	3.97
充 足 率	100.29	96.62	95.46	91.98	86.68



4. 学部系統別の動向（大学）

全学部を『今日の私学財政』の系統区分と同様に区分した（学部系統区分については、27ページを参照）。

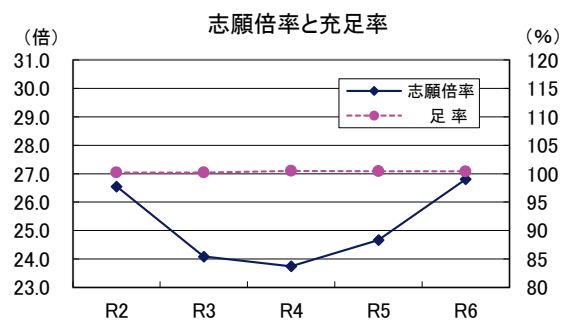
系 統 区 分	年 度	集 計 学部数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
		学部	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
医学	R5	31	4,153	102,449	94,948	9,455	4,171	24.67	9.96	44.11	100.43
	R6	31	4,243	113,753	105,149	9,751	4,261	26.81	9.27	43.70	100.42
	増減	0	90	11,304	10,201	296	90	2.14	△ 0.69	△ 0.41	△ 0.01
歯学	R5	17	1,995	7,423	6,811	3,875	1,566	3.72	56.89	40.41	78.50
	R6	17	1,995	7,982	7,286	3,795	1,525	4.00	52.09	40.18	76.44
	増減	0	0	559	475	△ 80	△ 41	0.28	△ 4.80	△ 0.23	△ 2.06
薬学	R5	60	11,276	74,627	69,834	32,753	10,674	6.62	46.90	32.59	94.66
	R6	62	11,416	71,663	67,239	31,993	10,304	6.28	47.58	32.21	90.26
	増減	2	140	△ 2,964	△ 2,595	△ 760	△ 370	△ 0.34	0.68	△ 0.38	△ 4.40
保健系	R5	272	40,720	171,920	164,994	80,009	39,414	4.22	48.49	49.26	96.79
	R6	279	41,435	153,563	147,498	78,305	37,724	3.71	53.09	48.18	91.04
	増減	7	715	△ 18,357	△ 17,496	△ 1,704	△ 1,690	△ 0.51	4.60	△ 1.08	△ 5.75
理・工学系	R5	172	60,899	745,076	709,765	293,618	62,044	12.23	41.37	21.13	101.88
	R6	171	60,725	753,291	718,490	298,211	60,355	12.40	41.51	20.24	99.39
	増減	△ 1	△ 174	8,215	8,725	4,593	△ 1,689	0.17	0.14	△ 0.89	△ 2.49
農学系	R5	25	8,850	82,069	77,130	32,361	9,144	9.27	41.96	28.26	103.32
	R6	25	8,890	86,942	82,152	31,883	9,028	9.78	38.81	28.32	101.55
	増減	0	40	4,873	5,022	△ 478	△ 116	0.51	△ 3.15	0.06	△ 1.77
人文科学系	R5	251	68,526	474,386	455,194	206,138	65,979	6.92	45.29	32.01	96.28
	R6	252	68,939	486,534	466,734	209,248	66,154	7.06	44.83	31.62	95.96
	増減	1	413	12,148	11,540	3,110	175	0.14	△ 0.46	△ 0.39	△ 0.32
社会科学系	R5	541	174,614	1,355,134	1,295,485	519,139	179,337	7.76	40.07	34.55	102.70
	R6	543	174,681	1,338,226	1,278,347	517,288	179,019	7.66	40.47	34.61	102.48
	増減	2	67	△ 16,908	△ 17,138	△ 1,851	△ 318	△ 0.10	0.40	0.06	△ 0.22
家政学	R5	81	15,113	46,651	44,251	26,088	13,452	3.09	58.95	51.56	89.01
	R6	82	15,114	41,015	38,585	24,687	12,662	2.71	63.98	51.29	83.78
	増減	1	1	△ 5,636	△ 5,666	△ 1,401	△ 790	△ 0.38	5.03	△ 0.27	△ 5.23
教育学	R5	114	19,038	90,525	86,541	43,267	17,433	4.75	50.00	40.29	91.57
	R6	115	18,838	89,036	84,860	42,165	17,244	4.73	49.69	40.90	91.54
	増減	1	△ 200	△ 1,489	△ 1,681	△ 1,102	△ 189	△ 0.02	△ 0.31	0.61	△ 0.03
体育学	R5	11	5,190	10,413	10,184	7,102	5,191	2.01	69.74	73.09	100.02
	R6	10	4,670	9,417	9,121	6,129	4,579	2.02	67.20	74.71	98.05
	増減	△ 1	△ 520	△ 996	△ 1,063	△ 973	△ 612	0.01	△ 2.54	1.62	△ 1.97
芸術系	R5	57	14,448	60,391	57,834	24,676	15,217	4.18	42.67	61.67	105.32
	R6	56	14,500	63,311	60,393	24,222	15,191	4.37	40.11	62.72	104.77
	増減	△ 1	52	2,920	2,559	△ 454	△ 26	0.19	△ 2.56	1.05	△ 0.55
その他	R5	318	77,813	491,737	470,837	215,543	76,977	6.32	45.78	35.71	98.93
	R6	327	78,428	489,738	468,680	213,003	76,684	6.24	45.45	36.00	97.78
	増減	9	615	△ 1,999	△ 2,157	△ 2,540	△ 293	△ 0.08	△ 0.33	0.29	△ 1.15
合 計	R5	1,950	502,635	3,712,801	3,543,808	1,494,024	500,599	7.39	42.16	33.51	99.59
	R6	1,970	503,874	3,704,471	3,534,534	1,490,680	494,730	7.35	42.17	33.19	98.19
	増減	20	1,239	△ 8,330	△ 9,274	△ 3,344	△ 5,869	△ 0.04	0.01	△ 0.32	△ 1.40

学部系統別の動向 過去5カ年の推移（大学）

過去5カ年における学部系統別の学部数、志願倍率、入学定員充足率を下表に示した。

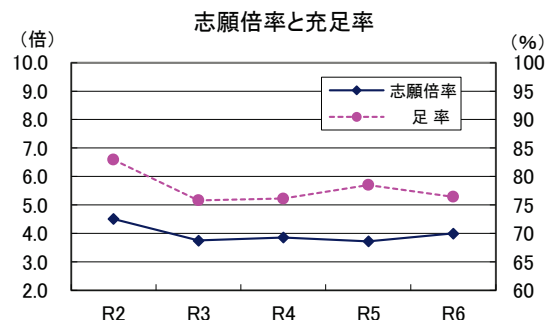
医学

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
学 部 数	31	31	31	31	31
志願倍率	26.55	24.09	23.75	24.67	26.81
充 足 率	100.20	100.20	100.51	100.43	100.42



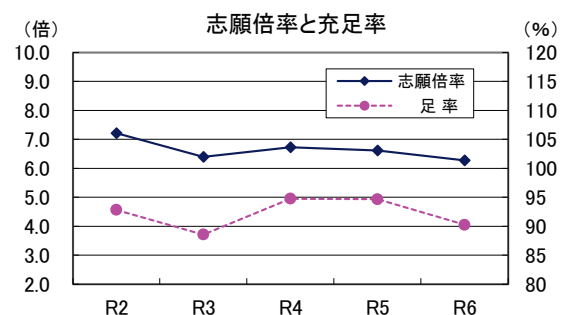
歯学

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
学 部 数	17	17	17	17	17
志願倍率	4.51	3.75	3.86	3.72	4.00
充 足 率	82.98	75.83	76.13	78.50	76.44



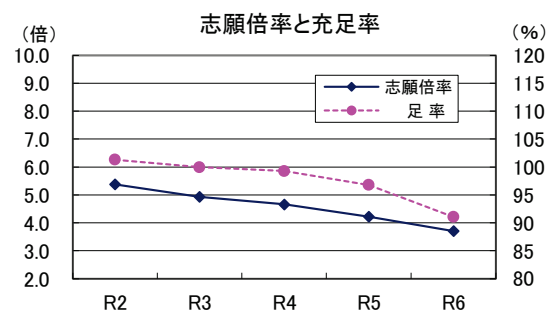
薬学

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
学 部 数	59	60	60	60	62
志願倍率	7.22	6.40	6.73	6.62	6.28
充 足 率	92.82	88.61	94.79	94.66	90.26



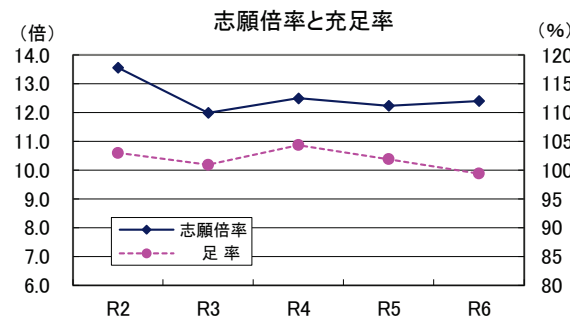
保健系

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
学 部 数	244	254	266	272	279
志願倍率	5.38	4.93	4.66	4.22	3.71
充 足 率	101.34	99.97	99.28	96.79	91.04



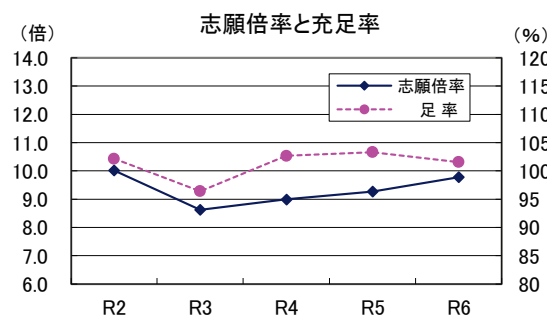
理・工学系

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
学 部 数	157	162	166	172	171
志願倍率	13.56	11.99	12.49	12.23	12.40
充 足 率	102.97	100.90	104.35	101.88	99.39



農学系

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
学 部 数	23	25	25	25	25
志願倍率	10.02	8.63	8.99	9.27	9.78
充 足 率	102.15	96.41	102.65	103.32	101.55



競合校における入学者選抜実施状況

	一般選抜①			一般選抜②			一般選抜③		
	試験日	合格 発表	手続期限	試験日	合格 発表	手続期限	試験日	合格 発表	手続期限
佛教大学	1/31・2/1	2/13	2/20・2/27	2/2・3	2/13	2/20・2/27	3/5	3/13	3/19
同志社女子大学	1/26・27・28・29	2/10	2/21・3/6	—	—	—	3/9	3/14	3/21
京都橋大学	1/23・24	2/7	2/13・3/10	2/11	2/20	2/28・3/10	3/7	3/18	3/21
京都先端科学大学	2/1・2・3	2/14	2/26・3/7	2/20	3/3	3/11・3/21	3/6	3/14	3/21
京都光華女子大学	2/2・3	2/10	2/21・3/7	2/17	2/26	3/7	3/10	3/14	3/21
大和大学	1/28・29・30	2/10	2/21・3/11	2/4・5	2/10	2/21・3/11	3/1	3/13	3/25
千里金蘭大学	1/23	2/3	2/17・2/28	2/9	2/17	2/28・3/21	3/2	3/10	3/21
摂南大学	1/21・22	2/6	2/26	2/8	2/21	3/3	3/5	3/14	3/21

※各大学のホームページにて公開されている情報に基づき作成。

競合校における入学初年度年間納付金額及び在学期間納付金総額

(単位:円)

順位	大学名	学部名	学科名	入学初年度年間納付金額						順位	在学期間（４・６ヵ年間）納付金総額						入学検定料	
				総額		内訳					総額		内訳				入学検定料	
					前年度比較	入学金	授業料＋ 教育充実費等	授業料	教育充実費等				入学金	授業料＋ 教育充実費等	授業料	教育充実費等		前年度比較
1	佛教大学	保健医療技術学部	看護学科	1,950,000	－	200,000	1,750,000	1,350,000	400,000	3	7,320,000	200,000	7,155,000	5,520,000	1,635,000	35,000	－	
2	京都先端科学大学	健康医療学部	看護学科	1,907,740	－	260,000	1,647,740	1,050,000	597,740	6	7,007,740	260,000	6,747,740	4,200,000	2,547,740	35,000	－	
3	摂南大学	看護学部	看護学科	1,900,000	－	250,000	1,650,000	1,550,000	100,000	1	7,650,000	250,000	7,400,000	6,200,000	1,200,000	35,000	－	
4	千里金蘭大学	看護学部	看護学科	1,880,000	▼	200,000	1,680,000	1,020,000	660,000	7	6,920,000	200,000	6,720,000	4,080,000	2,640,000	30,000	－	
5	★佛教大学	看護学部	看護学科 ※学費改定後	1,850,000	－	250,000	1,600,000	1,350,000	250,000	2	7,370,000	250,000	7,120,000	5,520,000	1,600,000	35,000	－	
6	大和大学	保健医療学部	看護学科	1,790,000	▲	200,000	1,590,000	1,560,000	30,000	4	7,195,000	200,000	6,995,000	6,840,000	155,000	35,000	－	
7	京都光華女子大学	看護福祉リハビリテーション学部	看護学科	1,760,000	－	250,000	1,510,000	1,260,000	250,000	5	7,040,000	250,000	6,790,000	5,790,000	1,000,000	35,000	－	
8	京都橘大学	看護学部	看護学科	1,730,000	－	250,000	1,480,000	1,200,000	280,000	7	6,920,000	250,000	6,670,000	4,800,000	1,870,000	35,000	－	
9	同志社女子大学	看護学部	看護学科	1,726,000	▼	260,000	1,466,000	1,226,000	240,000	9	6,910,000	260,000	6,650,000	5,690,000	960,000	35,000	－	
競合校における平均金額				1,813,391		238,571	1,574,820	1,266,571	308,249		7,091,820	238,571	6,853,249	5,371,429	1,481,820	34,286		

「前年度比較」 ▲:増額改定、－:据え置き、▼:減額改定

競合校における入学志願状況表〔令和４（2022）～令和６（2024）年度〕

大学名 学部学科	所在地	入学定員			志願者数（合計）			志願倍率			合格者数			入学者数			入学定員充足率			
		令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	過去3年間 の平均値
佛教大学 保健医療技術学部 看護学科	京都府京都市中京区	65	65	65	1,391	1,149	1,252	21.4	17.7	19.3	267	328	312	65	70	66	1.00	1.08	1.02	1.03
同志社女子大学 看護学部 看護学科	京都府京田辺市	90	90	90	1,363	1,163	1,146	15.1	12.9	12.7	248	273	288	94	95	90	1.04	1.06	1.00	1.03
京都橘大学 看護学部 看護学科	京都府京都市山科区	95	95	95	1,556	1,418	1,417	16.4	14.9	14.9	306	297	350	102	98	102	1.07	1.03	1.07	1.06
京都先端科学大学 健康医療学部 看護学科	京都府京都市右京区	80	80	80	316	423	319	4.0	5.3	4.0	133	217	209	80	94	71	1.00	1.18	0.89	1.02
京都光華女子大学 看護福祉リハビリテーション学部 看護学科	京都府京都市右京区	85	85	85	323	298	186	3.8	3.5	2.2	170	176	164	95	92	86	1.12	1.08	1.01	1.07
大和大学 保健医療学部 看護学科	大阪府吹田市	100	100	100	2,027	1,755	1,879	20.3	17.6	18.8	281	368	484	110	126	140	1.10	1.26	1.40	1.25
千里金蘭大学 看護学部 看護学科	大阪府吹田市	90	90	90	1,003	891	721	11.1	9.9	8.0	311	300	330	100	106	88	1.11	1.18	0.98	1.09
摂南大学 看護学部 看護学科	大阪府枚方市	100	100	100	2,485	2,274	1,831	24.9	22.7	18.3	599	565	519	99	118	93	0.99	1.18	0.93	1.03
計		705	705	705	10,464	9,371	8,751	—			2,315	2,524	2,656	745	799	736	—			

【出典】各大学のホームページにて公開されている数値を参照。なお、不明な年度については、旺文社パスナビ（<https://passnavi.obunsha.co.jp/>）の情報に基づき作成。

佛教大学

看護学部看護学科（仮称）

設置構想についての高校生アンケート調査

報告書

目次

1. 高校生アンケート調査 概要.....	2
2. 調査実施高等学校等一覧.....	3
3. 高校生アンケート調査 集計結果.....	4
4. 高校生アンケート調査 結果の要点.....	8

添付資料：

高校生アンケート調査用紙.....	10
「看護学部看護学科（仮称）」概要.....	12

1. 高校生アンケート調査 概要

調査目的	令和7年（2025年）度に佛教大学が設置構想中の「看護学部看護学科（仮称）」（入学定員80名）における志願者・入学者等の学生確保の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	[調査対象] 令和7年3月に高校卒業予定である高校2年生（令和6年度） 【追加調査】 令和7年3月に高校卒業予定である高校3年生（令和7年度） [調査地域] 「看護学部看護学科（仮称）」の主たる学生募集エリアと想定される高校54校から調査の協力を得た。 また、オープンキャンパスに来場した学生には個別で調査の協力を得た。 【追加調査】 以下の対象者（すべて現高校3年生）に追加調査を実施した。 ・看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科へ志願実績のある高等学校でかつ前回未実施の高等学校6校よりアンケート実施の協力を得た。 ・2025年3月20日・6月1日開催オープンキャンパス来場者、及び2025年6月商業系高等学校対象学科説明会（動画視聴型開催）参加者に個別で調査の協力を得た。
調査内容	・回答者の基本情報（性別、居住地） ・卒業後の志望進路 ・志望する大学等の設置者 ・興味のある学問分野 ・佛教大学「看護学部看護学科（仮称）」への受験・入学意向
調査時期	令和6年10月～令和7年2月 【追加調査】 令和7年3月～令和7年7月
調査方法	① 高校生アンケート調査用紙・「看護学部看護学科（仮称）」概要およびリーフレットを必要部数送付。ホームルーム等で配付の上、その場で回答し回収いただいた。 ② オープンキャンパス実施分については、協力を承諾いただいた来場者に対し、個別にアンケート用紙・「看護学部看護学科（仮称）」概要およびリーフレットを配布し、その場で回答いただいた。 【追加調査】 ・高等学校6校に対して、上記①の調査方法と同様。 ・本学開催のオープンキャンパス及び学科説明会申込者に対しては、個別に自宅に高校生アンケート調査用紙、「看護学部看護学科（仮称）」概要およびリーフレットを送付し、回答のうえ、本学宛に返送いただいた。
回収件数	有効回答数7,614件（計60校 7,560件、オープンキャンパス・学科説明会54件）

2. 調査実施高等学校等一覧

番号	高校コード	高校名	回収数	番号	高校コード	高校名	回収数
1	17503A	金沢高等学校	104	32	26530G	福知山成美高等学校	72
2	18123E	美方高等学校	82	33	26539A	京都成章高等学校	277
3	25119E	八幡高等学校	88	34	26540D	京都翔英高等学校	166
4	25128D	水口高等学校	189	35	27102A	東淀川高等学校	39
5	25144F	玉川高等学校	299	36	27136F	長尾高等学校	15
6	25146B	甲西高等学校	220	37	27146C	布施高等学校	48
7	25501H	滋賀短期大学附属高等学校	207	38	27161G	東住吉高等学校	38
8	25504B	近江兄弟社高等学校	157	39	27291E	大冠高等学校	11
9	25508E	光泉カトリック高等学校	26	40	27506K	賢明学院高等学校	94
10	26102F	鴨沂高等学校	19	41	27507H	大阪学芸高等学校	560
11	26106J	嵯峨野高等学校	259	42	27515J	大阪商業大学高等学校	17
12	26107G	桂高等学校	37	43	27525F	上宮高等学校	39
13	26108E	北嵯峨高等学校	244	44	27527B	大阪高等学校	555
14	26111E	向陽高等学校	164	45	27536A	大阪信愛学院高等学校	197
15	26119A	亀岡高等学校	73	46	27548E	四條畷学園高等学校	103
16	26120D	園部高等学校	100	47	27559A	箕面自由学園高等学校	74
17	26122A	綾部高等学校	5	48	27561B	常翔学園高等学校	34
18	26126C	西舞鶴高等学校	14	49	27562A	大阪産業大学附属高等学校	93
19	26141G	紫野高等学校	51	50	27587F	東海大学付属大阪仰星高等学校	22
20	26144A	南丹高等学校	106	51	27590F	初芝富田林高等学校	169
21	26152B	鳥羽高等学校	9	52	27594J	上宮太子高等学校	11
22	26504H	京都外大西高等学校	76	53	28531F	仁川学院高等学校	96
23	26506D	花園高等学校	197	54	28550B	滝川第二高等学校	121
24	26507B	東山高等学校	42	55	29104J	生駒高等学校	113
25	26513G	京都文教高等学校	230	56	29113H	橿原高等学校	293
26	26514E	華頂女子高等学校	81	57	29501K	奈良育英高等学校	345
27	26518H	京都光華高等学校	58	58	29503F	天理高等学校	85
28	26502A	大谷中学高等学校	14	59	30106A	粉河高等学校	188
29	26520K	京都聖母学院高等学校	132	60	30503A	和歌山信愛高等学校	159
30	26522F	京都西山高等学校	186	61	—	オープンキャンパス・学科説明会	54
31	26525A	京都明徳高等学校	57	合計			7614

3. 高校生アンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたの現在の居住地をお答えください。(あてはまるもの1つ)

選択肢	回答数	回答割合
滋賀県	1,290	16.9%
京都府	2,463	32.3%
大阪府	2,214	29.1%
兵庫県	267	3.5%
奈良県	823	10.8%
和歌山県	337	4.4%
その他	209	2.7%
無回答	11	0.1%
合計	7,614	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つ)

選択肢	回答数	回答割合
男性	3,379	44.4%
女性	3,997	52.5%
回答しない	171	2.2%
無回答	67	0.9%
合計	7,614	100.0%

問3 卒業後の進路をどのように考えていますか。(あてはまるものすべて)

選択肢	回答数	回答割合
大学	6,394	84.0%
短期大学	366	4.8%
専門職大学	284	3.7%
専門職短期大学	49	0.6%
専門学校	1,383	18.2%
就職	333	4.4%
その他	154	2.0%
無回答	67	0.9%
合計	7,614	100.0%

※複数回答のため回答数はのべ／回答割合＝回答数÷アンケート回答者全体数

問4 問3で①～④を選択した方に質問です。(※問3で①～④を選択しなかった方は問5に進んでください)

志望する大学等の設置者の希望を選択してください。(あてはまるものすべて)

選択肢	回答数	回答割合
私立	5,666	74.4%
国立	1,444	19.0%
公立	1,606	21.1%
無回答	4	0.1%
合計	7,614	100.0%

※複数回答のため回答数はのべ／回答割合＝回答数÷アンケート回答者全体数

問5 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
(あてはまるものすべて) ※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
看護学	1,070	14.1%	食物学	283	3.7%
医学	277	3.6%	被服学	85	1.1%
歯学	117	1.5%	住居学	48	0.6%
薬学	250	3.3%	児童学	120	1.6%
保健その他	500	6.6%	家政その他	22	0.3%
数学	165	2.2%	農学	191	2.5%
物理学	138	1.8%	農芸化学	28	0.4%
生物	165	2.2%	農業工学	24	0.3%
化学	266	3.5%	農業経済学	32	0.4%
地学	49	0.6%	水産学	74	1.0%
理学その他	96	1.3%	農学その他	60	0.8%
機械工学	338	4.4%	商船学	41	0.5%
電気通信工学	233	3.1%	美術	218	2.9%
土木建築工学	227	3.0%	デザイン	452	5.9%
応用理学	41	0.5%	音楽	346	4.5%
応用化学	78	1.0%	芸術その他	175	2.3%
工学その他	170	2.2%	教育学	624	8.2%
文学	596	7.8%	小学校課程	179	2.4%
史学	231	3.0%	中・高校課程	341	4.5%
哲学	184	2.4%	体育学	452	5.9%
心理学	835	11.0%	教育その他	143	1.9%
人文科学その他	69	0.9%	教養学	91	1.2%
社会学	715	9.4%	総合科学	59	0.8%
社会福祉学	206	2.7%	国際学	589	7.7%
法学・政治学	437	5.7%	人間科学	214	2.8%
商学・経済学	1,324	17.4%	その他	711	9.3%
社会科学その他	95	1.2%	無回答	0	0.0%
家政学	66	0.9%	合計	7,614	100.0%

※複数回答のため回答数はのべ／回答割合＝回答数÷アンケート回答者全体数

問6 佛教大学が2026年に設置構想中の「看護学部 看護学科(仮称)」の受験を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
第一志望として受験する	147	1.9%
第二志望として受験する	109	1.4%
第三志望以降として受験する	300	3.9%
受験しない	6,911	90.8%
無回答	147	1.9%
合計	7,614	100.0%

問7 上記、問6で①～③を選択した方に質問です。佛教大学が2026年に設置構想中の「看護学部 看護学科(仮称)」に合格した場合、入学を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
入学する	173	31.6%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	334	60.9%
入学しない	39	7.1%
無回答	10	1.8%
合計	548	100.0%

問7のうち問6で「第一志望として受験する」を選択した回答者のみの回答

選択肢	回答数	回答割合
入学する	125	85.0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	6.8%
入学しない	6	4.1%
無回答	6	4.1%
合計	147	100.0%

4. 高校生アンケート調査 結果の要点

(1) 受験・入学意向クロス集計結果（「3. 高校生アンケート調査 集計結果」より）

高校生アンケート調査の間6結果より、「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」の合計として556人が佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」に対し受験意向を持ち、予定する入学定員80名の7.0倍の水準に及ぶことが明らかとなった。

「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は125人おり、「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」のした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計324人いた。

受験意向		入学意向	
第一志望として受験する	147	入学する	125
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10
第二志望として受験する	109	入学する	30
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	76
第三志望以降として受験する	300	入学する	18
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	248

(2) 受験・入学意向五重クロス集計結果（「3. 高校生アンケート調査 集計結果」より）

「（１）受験・入学意向クロス集計結果」について、更に高校卒業後の進路に「大学」を選択し、その上で志望する大学の設置者に「私立」を選択し、興味のある学問分野として「看護学」を選択した上で、佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」に受験・入学意向を示した人数を確認した。

前提となる「大学」進学、かつ「私立」「看護学」を選択する者は合計757人で、その上で佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」を「第一志望として受験する」としたのは85人、「第二志望として受験する」74人、「第三志望以降として受験する」164人と合計すると323人で、依然として予定する入学定員80名に達する水準であった。

「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は84人であるが、本アンケートは佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」の基礎となる学科である保健医療技術学部看護学科の近年の志願実績校301校にアンケート依頼をし、60校から協力を得ている。期日等の理由から協力が得られていない高校が241校あるが、これらの高校の多くからも佛教大学保健医療技術学部看護学科は継続して志願者・入学者を得ていることから、仮に301校（依頼高校）÷ 60校（実施高校）＝5.0倍程度（端数切捨）とすると、全体では420人程度、「大学」進学、かつ「私立」「看護学」に興味を持ち、佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」への強い受験・入学意向を持つ高校生が存在すると推察される。

進路		学校種		学問分野		受験意向		入学意向	
大学	6,394	私立	5,463	看護学	757	第一志望として受験する	85	入学する	84
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1
						第二志望として受験する	74	入学する	17
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	57
						第三志望として受験する	164	入学する	11
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	143

佛教大学「看護学部 看護学科（仮称）」設置構想についての高校生アンケート

佛教大学では2026年度より、「看護学部 看護学科（仮称）」を設置構想中です。本学ではこのアンケート調査結果を参考に、本構想の充実を図っていきたいと考えています。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。

※本アンケート調査と同一内容の佛教大学が実施した「看護学部 看護学科（仮称）」に関する本アンケート調査への回答は1回のみとなります。

※本アンケート調査は佛教大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケート調査および学部概要資料に記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

記入要領	1. 回答は 所定の欄を塗りつぶしてください 。 2. この用紙は電算処理しますので汚さないようにしてください。 3. 記入は必ず 鉛筆及びシャープペンシル で濃く書いてください。	【記入例】  ① 大学 0 ② 短期大学
------	--	--

問1 あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ）

0 滋賀県 0 京都府 0 大阪府 0 兵庫県 0 奈良県 0 和歌山県 0 その他

問2 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）

0 男性 0 女性 0 回答しない

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

問3 卒業後の進路をどのように考えていますか。（あてはまるものすべて）

0 ① 大学 0 ③ 専門職大学 0 ⑤ 専門学校 0 ⑦ その他
 0 ② 短期大学 0 ④ 専門職短期大学 0 ⑥ 就職

問4 問3で①～④を選択した方に質問です。（※問3で①～④を選択しなかった方は問5に進んでください）

志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（あてはまるものすべて）

0 私立 0 国立 0 公立

問5 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。

（あてはまるものすべて）※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

保健	0 看護学	0 医学	0 歯学	0 薬学	0 保健その他
理学	0 数学	0 物理学	0 化学	0 生物	0 地学 0 理学その他
工学	0 機械工学	0 電気通信工学	0 土木建築工学	0 応用理学	0 応用化学 0 工学その他
人文科学	0 文学	0 史学	0 哲学	0 心理学	0 人文科学その他
社会科学	0 社会学	0 社会福祉学	0 法学・政治学	0 商学・経済学	0 社会科学その他
家政	0 家政学	0 食物学	0 被服学	0 住居学	0 児童学 0 その他
農学	0 農学	0 農芸化学	0 農業工学	0 農業経済学	0 水産学 0 農学その他
商船	0 商船学				
芸術	0 美術	0 デザイン	0 音楽	0 芸術その他	
教育	0 教育学	0 小学校課程	0 中・高校課程	0 体育学	0 教育その他
その他	0 教養学	0 総合科学	0 国際学	0 人間科学	0 その他

⇒裏面に続く

ここからは別添の佛教大学が設置構想中の「看護学部 看護学科（仮称）」の
学部概要資料を見てからお答えください

問6 佛教大学が2026年に設置構想中の「看護学部 看護学科（仮称）」の受験を希望しますか。

次より1つ選択してください。

- ☐ ① 第一志望として受験する ☐ ④ 受験しない
- ☐ ② 第二志望として受験する
- ☐ ③ 第三志望以降として受験する

問7 上記、問6で①～③を選択した方に質問です。

佛教大学が2026年に設置構想中の「看護学部 看護学科（仮称）」に合格した場合、入学を希望しますか。

次より1つ選択してください。

- ☐ 入学する
- ☐ 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ☐ 入学しない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

2026年4月、佛大看護が生まれ変わります。

看護学部看護学科

仮称・設置構想中

※保健医療技術学部看護学科を発展的改組予定



佛教大学
BUKKYO UNIVERSITY



佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」は 充実した設備や総合大学の利点を活かした教育で全人的ケアができる 確かな臨床実践力をもつ看護師・保健師を養成します。

佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」設置の理念・必要性

超高齢社会が加速する我が国では、ヒューマンケアの中核的な担い手としての質の高い看護師・保健師(以下、看護職)を育成することが急務となっています。また、地域医療及び高齢者医療施策の充実化や、COVID-19のような新興感染症への対策強化、介護予防や特定健診・特定保健指導による重症化予防対策など、様々な場面において看護職の担う役割は大きくなっています。

このような状況を踏まえ、高度に進歩した医療技術に対応できる看護職、地域の保健医療福祉の中核的な専門職として社会ニーズに貢献できる看護職を養成することを目的として、保健医療技術学部看護学科から「看護学部看護学科(仮称)」へと深化します。

カリキュラム＜教育課程＞の特色

1 習熟度に応じた臨地実習

1年生から病院などの施設や地域で実習し、3・4年生ではさまざまな領域の看護を経験し、実践力に磨きをかけます。数人のグループに教員1名が付き、濃密な実習を行います。本学では実習指導体制が整っている施設にご協力いただき臨地実習を行っています。

実習期間が変更・延長となる場合があります。 ※保健師課程受講者のみ

学年	1年生	2年生	3年生	4年生		
科目名	コミュニティ実習 基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ	領域別の看護学実習 (地域在宅・クリティカルケア・慢性・老年)	領域別の看護学実習 (小児・母性・精神)	総合実践看護実習	公衆衛生看護学 実習Ⅰ・Ⅱ※
内容	地域で暮らす生活者を知る実習を経験した後、既習した看護の知識や、コミュニケーション技法を積極的に活用し、看護に対する理解を深める。	病院で療養中の患者理解を深め、療養や暮らしを支えるために必要となる看護実践を学ぶ。	それぞれの看護領域において、患者・療養者への看護実践に必要な知識や技術を習得する。	小児・母性・精神それぞれの看護領域において、患者への看護実践に必要な知識や技術を習得する。	自ら医療や看護の今日的テーマと課題を選定し、学習課題を探究する実践課程を通して、看護実践能力の向上を図る。	地域や職域・学校での対象者の生活環境、健康課題を理解し、健康の保持・増進に向けた保健活動に必要な知識や技術を習得する。
期間 時期	コミュニティ実習 1週間(6月～10月) 基礎看護学実習Ⅰ 1週間(2月)	2週間(9月)	いずれの領域も 2～3週間(10月～2月)	いずれの領域も 2週間(5月～7月)	2週間(10月)	1週間(6月～7月) 4週間(8月～9月)

実習予定施設

病院・助産院 等(50音順)

いわくら病院、大阪医科薬科大学病院、大阪府済生会吹田病院、大津赤十字病院、近江八幡市立総合医療センター、北山病院、京都市立病院、京都第一赤十字病院、京都大学医学部附属病院、京都府助産師会、京都府立医科大学附属病院、滋賀県立小児保健医療センター、市立大津市民病院、長尾助産院、西陣病院、日本バプテスト病院、三菱京都病院、洛和会丸太町病院、海助産所 その他

高齢者施設 等

京都市地域介護予防推進センター、京都府老人福祉センター、特別養護老人ホーム「和順の里」

その他8カ所

こども園・幼稚園

佛教大学附属こども園、華頂短期大学附属幼稚園

訪問看護ステーション 等

京都市内をはじめとする訪問看護ステーション 11カ所
地域包括支援センター 13カ所

行政・学校・産業

保健所・市町保健センター、中学・高等学校、企業・健診センター

2 人の心に寄り添える力を養う独自の教育

人間の生を支える「仏教看護」や「ホリスティックケアアプローチ」、安心して人生の終焉を迎えるケアを行う「エンドオブライフケア」の科目を開設。本学の「共生(ともいき)」の理念をもとに人の心に寄り添える力を養います。

3 実践力と探究心を養成

これまでの学習を土台に、4年生の「看護研究」「統合実践看護実習」では、学生が自己の学習テーマを設定し、臨地において科学的思考に基づいた看護実践を展開します。学習テーマに基づいた実践レポートとしてまとめることで、この取り組みを通して自己の看護観を深めるとともに、今後の専門的な看護活動について考え、探究心・研究思考を養います。

ピックアップ授業

VRを用いた学習

フィジカルアセスメント技術

患者さんの体を系統的に観察するために、学生同士のロールプレイを通して問診・視診・触診・聴診・打診などの技術を学びます。さらにVRを用いて、健康障害のある仮想空間の患者さんの身体状況を観察します。この演習によってリアルに患者さんを感じ、体に起こっている異常をいち早くアセスメントする力を身につけます。



患者の気持ちに寄り添う援助を学ぶ 生活行動援助技術論

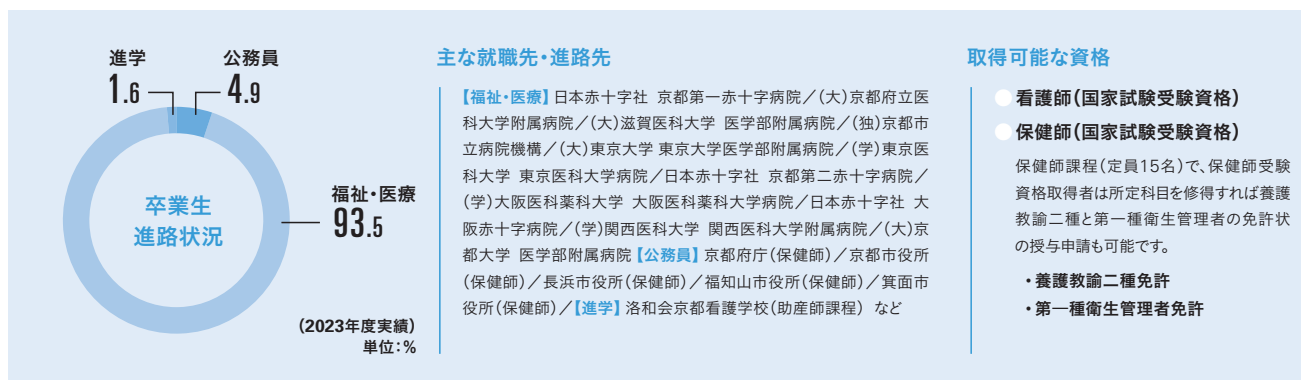
この授業では、病気や障害によって日常生活行動に問題を持つ患者を援助するための基本的知識・技術・態度を学びます。学生同士で臨床現場を想定したロールプレイを実施し、衣生活、清潔、食事、排泄の援助について原理原則を理解しながら患者の気持ちに寄り添う援助方法を習得します。



学部・学科名称	看護学部 看護学科(仮称)	入学定員	80名(収容定員320名)
開設予定時期	2026年(令和8年)4月を予定	修業年限	4年
開設予定場所	二条キャンパス 京都市中京区西ノ京東梅尾町7	取得学位	学士(看護学)

卒業後の進路・取得可能な資格

※保健医療技術学部 看護学科の実績に基づきます。



養成する人材像

佛教大学「看護学部看護学科(仮称)」は本学が既に置く医学リハビリテーション領域、教育関連領域とともにこれまでの伝統をさらに発展させ、人間の尊厳の重視と、高い理念、倫理、規範に裏づけられた崇高な精神とともに、ヒューマンケアの中核的担い手として看護の新たな価値を創造する力を有する人材を養成します。

アドミッションポリシー

豊かな人間性と倫理観を持ち、看護学の向上に努めて社会に貢献できる看護師、保健師を育成するため、次のような人を求めています。

- ・ 看護学を学ぶために必要な基礎学力と継続する力を持ち、論理的に考えることができる人
- ・ 看護職としてのスキルを高め、地域の人々の健康に貢献したいという意欲がある人
- ・ 看護学を学び、豊かな感性と高い思考力、判断力を身につけようと努力できる人
- ・ 相手の考えを理解するとともに、自分の考えを表現する力がある人
- ・ 人に深い関心を持ち、人の可能性を信じ、自分も他者も大切にできる人
- ・ 人を思いやり、多様な人と主体的にコミュニケーションをとることができる人





学生納付金

1年目（入学金含む）	2年目以降
1,875,500円	1,844,500円

※上記金額には入学金・授業料・教育充実費・諸経費を含みます。

※予定であり変更となる場合があります。

看護学が学べる周辺大学

京都先端科学大学

京都橘大学

京都光華女子大学

同志社女子大学

アクセス

二条キャンパス 〒604-8418 京都市中京区西ノ京東梅尾町7



JR「京都」駅より約5分。JR・地下鉄「二条」駅下車。
市内各所より市バス利用、「二条駅前」バス停下車。

For More Information

佛教大学

入試情報サイト

佛教大学入学部から入試やオープンキャンパスなどの最新情報をお届けします。

<https://www.bukkyo-u.ac.jp/find/>



問合せ先

佛教大学〈企画課〉

TEL 075 (491) 2141 [月～金] 9:00～17:00

Mail new-faculty@bukkyo-u.ac.jp

紫野キャンパス

〒603-8301
京都市北区紫野花ノ坊町96

二条キャンパス

〒604-8418
京都市中京区西ノ京東梅尾町7

佛教大学

看護学部看護学科（仮称）

設置構想についての人材需要アンケート調査

報告書

目次

1. 人材需要アンケート調査 概要.....	2
2. 人材需要アンケート調査 集計結果.....	3
3. 人材需要アンケート調査 結果の要点.....	8

添付資料

人材需要アンケート調査用紙.....	10
「看護学部看護学科（仮称）」概要.....	12

1. 人材需要アンケート調査 概要

調査目的	令和7年（2025年）度に佛教大学が設置構想中の「看護学部看護学科（仮称）」（入学定員80名）における卒業後の採用・就職（人材需要）の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	[調査対象] 佛教大学保健医療技術学部看護学科の採用実績先、求人票送付元など [業種] 医療機関、福祉施設、地方自治体 [調査地域] 京都府他の近畿二府四県を中心とする全国 [依頼件数] 1,064件
調査内容	・回答対象先の基本情報（業種・所在地・従業員／職員規模） ・佛教大学「看護学部看護学科（仮称）」卒業生の人材ニーズ ・佛教大学「看護学部看護学科（仮称）」卒業生の採用意向
調査時期	令和6年11月～12月
調査方法	調査対象事業所に対しアンケートを郵送し依頼することにより実施 （紙方式・web方式での回答方法を案内し、いずれかで回答を依頼）
回収件数	有効回答数221件（回収率20.8%）

2. 人材需要アンケート調査 集計結果

※「構成比」（％）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 貴社の本社または貴団体の本部所在地について、お答えください。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
北海道	0	0.0%	滋賀県	26	11.8%
青森県	0	0.0%	京都府	48	21.7%
岩手県	0	0.0%	大阪府	70	31.7%
宮城県	0	0.0%	兵庫県	29	13.1%
秋田県	0	0.0%	奈良県	8	3.6%
山形県	0	0.0%	和歌山県	1	0.5%
福島県	0	0.0%	鳥取県	0	0.0%
茨城県	1	0.5%	島根県	1	0.5%
栃木県	0	0.0%	岡山県	3	1.4%
群馬県	0	0.0%	広島県	1	0.5%
埼玉県	0	0.0%	山口県	1	0.5%
千葉県	4	1.8%	徳島県	0	0.0%
東京都	6	2.7%	香川県	0	0.0%
神奈川県	6	2.7%	愛媛県	0	0.0%
新潟県	0	0.0%	高知県	0	0.0%
富山県	0	0.0%	福岡県	5	2.3%
石川県	0	0.0%	佐賀県	0	0.0%
福井県	0	0.0%	長崎県	1	0.5%
山梨県	0	0.0%	熊本県	0	0.0%
長野県	0	0.0%	大分県	0	0.0%
岐阜県	0	0.0%	宮崎県	0	0.0%
静岡県	3	1.4%	鹿児島県	0	0.0%
愛知県	2	0.9%	沖縄県	0	0.0%
三重県	3	1.4%	無回答	2	0.9%
			合計	221	100.0%

問2 貴事業所の業種についてお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
病院（特定機能病院以外）	128	57.9%
病院（特定機能病院）	13	5.9%
診療所・クリニック	9	4.1%
高齢者・介護福祉施設	14	6.3%
訪問看護ステーション	8	3.6%
保健所・自治体	30	13.6%
地域支援センター等	1	0.5%
その他	23	10.4%
無回答	0	0.0%
合計	221	100.0%

問3 貴事業所の従業員・職員規模として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
20名未満	9	4.1%
20名以上100名未満	19	8.6%
100名以上300名未満	62	28.1%
300名以上1,000名未満	74	33.5%
1,000名以上	51	23.1%
無回答	6	2.7%
合計	221	100.0%

問4 佛教大学が設置構想中の「看護学部 看護学科（仮称）」の卒業生の「看護師」人材についての社会ニーズについてお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
ニーズは高い	139	62.9%
ニーズはある程度高い	53	24.0%
ニーズはあまりない	6	2.7%
ニーズはない	2	0.9%
わからない	14	6.3%
無回答	7	3.2%
合計	221	100.0%

問5 佛教大学が設置構想中の「看護学部 看護学科（仮称）」の卒業生を「看護師」として、採用したいと思われますか。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
採用したい	154	69.7%
採用しない	10	4.5%
わからない	53	24.0%
無回答	4	1.8%
合計	221	100.0%

問6 問5で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
1人	19	8.6%
2人	18	8.1%
3人	18	8.1%
4人	6	2.7%
5人以上	38	17.2%
人数は未確定だが、最低1人	55	24.9%
無回答	0	0.0%
合計	154	100.0%

問7 佛教大学が設置構想中の「看護学部 看護学科（仮称）」の卒業生の「保健師」人材についての社会ニーズについてお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
ニーズは高い	49	22.2%
ニーズはある程度高い	61	27.6%
ニーズはあまりない	35	15.8%
ニーズはない	26	11.8%
わからない	43	19.5%
無回答	7	3.2%
合計	221	100.0%

問8 佛教大学が設置構想中の「看護学部 看護学科（仮称）」の卒業生を「保健師」として、採用したいと思われますか。（あてはまるもの1つ）のコピー

選択肢	回答数	回答割合
採用したい	38	17.2%
採用しない	91	41.2%
わからない	77	34.8%
無回答	15	6.8%
合計	221	100.0%

問9 問8で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
1人	14	6.3%
2人	0	0.0%
3人	2	0.9%
4人	0	0.0%
5人以上	2	0.9%
人数は未確定だが、最低1人	20	9.0%
無回答	0	0.0%
合計	38	100.0%

※佛教大学が設置構想中の「看護学部 看護学科（仮称）」について期待される点、ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

番号	回答
1	訪問看護などこれからの医療現場の実態にも合わせた看護師の教育に期待しています。
2	新卒採用も積極的にしており、当会としても新設されることは嬉しく思います。 パンフレットにあるアドミッションポリシーの求める人材はまさに当会でも求めている人材です。 地域が異なりますが、ご縁がありましたら幸いです。
3	特になし
4	現場と教育現場の意識の差異が少なくなることを望んでおります。
5	看護の分野だけでなく、多角的な視野から物事を捉えられる人材の育成
6	精神科患者は診療科に関わらずおられます。精神科看護に興味を待っていただき、患者に向き合える、寄り添える人材になっていただければと思います。
7	大学も京都府内であることから、ぜひ保健師の採用につなげていきたいと考えます。 当町のPR冊子等を配架いただけたら幸甚です。
8	知識はもちろんですが、世代や職種を超えて職場の雰囲気と共に高めていくことができる協調性があり且つ熱意のあるような方を採用することができればと思っております。
9	淡路島に興味がある方は是非とも当院で働いてみませんか。
10	考える力、コミュニケーション力のある看護師を是非育成してください
11	看護師の有効求人倍率が2倍を超え、看護師不足が、深刻化している現状で入学定員の増員は非常にありがたいです。 滋賀県出身の学生が当院へUターンしてくれたら嬉しいです。
12	弊社は訪問看護や看護小規模多機能施設があり、介護職員だけではなく看護師のニーズが高くあります。 施設は福岡県ですが、九州に興味がある方、働いてみたい方がいらっしやると嬉しいです。
13	少子化の中、看護師・助産師をめざす方が一人でも多く増えていき、素晴らしい人材を育成され、人材不足の医療現場に送り出していただくことを期待します。
14	全国的な看護師不足の昨今、学生には本人の地元就職の斡旋、公立病院や大学病院だけでなく、小さな民間病院にも目を向けて就職活動するようご指導願いたいです。
15	専門的な知識がある方や思いやりのある方に育成されることを期待いたします。
16	看護師の求人は当院としましても大きな課題です。 貴大学との関係性を共有できればと存じます。
17	湖北出身者は地元で活躍できるような、キャリア支援をお願いします。
18	これまで大きく違うところがよく分かりません。大きく変わるところはどこですか？
19	当院は滋賀県の北西部に位置し、人材確保が年々困難になってきております。地域医療に貢献していただける人材育成をお願い致します。
20	看護職の若い担い手をたくさん養成していただきたいです。
21	京都府南部地域への就職にもお力添え頂ければ幸いです。
22	看護師不足は国全体での課題だと考えています。 その中で、新たな取り組みをされることはすごく重要なことだと思っております。
23	看護を学び看護を語り看護を発展させる人材育成ができる看護職の育成

3. 人材需要アンケート調査 結果の要点

(1) 佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」が養成する看護師に係るニーズ、採用意向

佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」が養成する看護師の社会ニーズについては「ニーズは高い」139箇所(62.9%)、「ニーズはある程度高い」53箇所(24.0%)で合計すると192箇所(86.9%)がそのニーズの高さを認める結果となった。

また、154箇所(69.7%)が採用意向を示し、その上での採用可能人数(単年度)合計は予定する入学定員80名の4.7倍となる378人であった。

問4 養成する人材の社会ニーズ(看護師)

ニーズは高い・ある程度高い	192事業所	86.9%
ニーズはない・あまりない・わからない・無回答	29事業所	13.1%
合計	221事業所	100.0%

問5 卒業生の採用意向(看護師)

採用したい	154事業所	69.7%
採用しない・わからない・無回答	67事業所	30.3%
合計	221事業所	100.0%

問6 問5で「採用したい」とした場合の採用意向人数(単年度)

	1人	2人	3人	4人	5人以上	人数は未定だが、最低1人	無回答	合計
「採用したい」の回答数	19	18	18	6	38	55	0	154
採用可能人数計 (回答数×採用可能人数)	19人	36人	54人	24人	190人	55人	0人	378人

※「5人以上」は5人として計算した。

※「人数は未定だが、最低1人」は1人として計算した。

(2) 佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」が養成する保健師に係るニーズ、採用意向

佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」が養成する保健師の社会ニーズについては「ニーズは高い」49箇所(22.2%)、「ニーズはある程度高い」61箇所(27.6%)で合計すると110箇所(49.8%)がそのニーズの高さを認める結果となった。

また、38箇所(17.2%)が採用意向を示し、その上での採用可能人数(単年度)合計は50人であった。

問7 養成する人材の社会ニーズ(保健師)

ニーズは高い・ある程度高い	110事業所	49.8%
ニーズはない・あまりない・わからない・無回答	111事業所	50.2%
合計	221事業所	100.0%

問8 卒業生の採用意向(保健師)

採用したい	38事業所	17.2%
採用しない・わからない・無回答	183事業所	82.8%
合計	221事業所	100.0%

	1人	2人	3人	4人	5人以上	人数は未 定だが、 最低1人	無回答	合計
「採用したい」 の回答数	14	0	2	0	2	20	0	38
採用可能人数計 (回答数×採用 可能人数)	14人	0人	6人	0人	10人	20人	0人	50人

※「5人以上」は5人として計算した。

※「人数は未定だが、最低1人」は1人として計算した。

佛教大学「看護学部 看護学科（仮称）」 設置構想についての人材需要アンケート

佛教大学では、2026 年度より、保健医療技術学部看護学科を発展させ「看護学部 看護学科（仮称）」を設置構想中です。設置構想を推進するにあたり、新たに学部化することについてのニーズを的確にとらえることが重要と考え、設置構想についての採用意向に関する調査を実施させていただきたく存じます。

なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。また、設置計画は予定であり、今後変更となる可能性があります。

※このアンケート調査は佛教大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。
 ※本アンケートおよびリーフレットに記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

記入要領	1. 回答は所定の欄を塗りつぶしてください。 2. この用紙は電算処理しますので汚さないようにしてください。 3. 記入は必ず鉛筆及びシャープペンシルで濃く書いてください。	【記入例】 ☒ 北海道 ☐ 茨城県
------	--	---

問1 貴事業所の代表所在地をお答えください。（あてはまるもの1つ）

- | | | | | | | |
|---------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| ☐ 北海道 | ☐ 青森県 | ☐ 岩手県 | ☐ 宮城県 | ☐ 秋田県 | ☐ 山形県 | ☐ 福島県 |
| ☐ 茨城県 | ☐ 栃木県 | ☐ 群馬県 | ☐ 埼玉県 | ☐ 千葉県 | ☐ 東京都 | ☐ 神奈川県 |
| ☐ 新潟県 | ☐ 富山県 | ☐ 石川県 | ☐ 福井県 | ☐ 山梨県 | ☐ 長野県 | ☐ 岐阜県 |
| ☐ 静岡県 | ☐ 愛知県 | ☐ 三重県 | ☐ 滋賀県 | ☐ 京都府 | ☐ 大阪府 | ☐ 兵庫県 |
| ☐ 奈良県 | ☐ 和歌山県 | ☐ 鳥取県 | ☐ 島根県 | ☐ 岡山県 | ☐ 広島県 | ☐ 山口県 |
| ☐ 徳島県 | ☐ 香川県 | ☐ 愛媛県 | ☐ 高知県 | ☐ 福岡県 | ☐ 佐賀県 | ☐ 長崎県 |
| ☐ 熊本県 | ☐ 大分県 | ☐ 宮崎県 | ☐ 鹿児島県 | ☐ 沖縄県 | | |

問2 貴事業所の業種についてお答えください。（あてはまるもの1つ）

- | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| ☐ 病院（特定機能病院以外） | ☐ 病院（特定機能病院） | ☐ 診療所・クリニック |
| ☐ 高齢者・介護福祉施設 | ☐ 訪問看護ステーション | ☐ 保健所・自治体 |
| ☐ 地域支援センター等 | ☐ その他 | |

問3 貴事務所の従業員・職員規模として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの1つ）

- | | | |
|---|--------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 20 名未満 | ☐ 20 名以上 100 名未満 | ☐ 100 名以上 300 名未満 |
| ☐ 300 名以上 1,000 名未満 | ☐ 1,000 名以上 | |

ここからは別添の佛教大学が設置構想中の「看護学部 看護学科（仮称）」の
 「リーフレット」をご確認いただき、ご回答をお願いいたします。

◆「看護師」人材のニーズについてお伺いいたします

問4 佛教大学が設置構想中の「看護学部 看護学科（仮称）」の卒業生の「看護師」人材についての社会ニーズについてお答えください。（あてはまるもの1つ）

- | | | |
|------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| ☐ ニーズは高い | ☐ ニーズはある程度高い | ☐ ニーズはあまりない |
| ☐ ニーズはない | ☐ わからない | |

問5 佛教大学が設置構想中の「看護学部 看護学科（仮称）」の卒業生を「看護師」として、採用したいと思われ
ますか。（あてはまるもの1つ）

☐ ①採用したい ☐ ②採用しない ☐ ③わからない



問6 問5で「①採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。

☐ 1人 ☐ 2人 ☐ 3人
☐ 4人 ☐ 5人以上 ☐ 人数は未確定だが、最低1人

◆「保健師」人材のニーズについてお伺いいたします

問7 佛教大学が設置構想中の「看護学部 看護学科（仮称）」の卒業生の「保健師」人材についての社会ニーズにつ
いてお答えください。（あてはまるもの1つ）

☐ ニーズは高い ☐ ニーズはある程度高い ☐ ニーズはあまりない
☐ ニーズはない ☐ わからない

問8 佛教大学が設置構想中の「看護学部 看護学科（仮称）」の卒業生を「保健師」として、採用したいと思われ
ますか。（あてはまるもの1つ）

☐ ①採用したい ☐ ②採用しない ☐ ③わからない



問9 問8で「①採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。

☐ 1人 ☐ 2人 ☐ 3人
☐ 4人 ☐ 5人以上 ☐ 人数は未確定だが、最低1人

※ 佛教大学が設置構想中の「看護学部 看護学科（仮称）」について期待される点、
ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

※ 宜しければ貴社名をお教えてください。こちらは、どの企業にご返送いただいたかを把握するための質問であり、
アンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業・団体が識別できる情報として公表されることはございませ
ん。（ゴム印の押印でも問題ございません）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

2026年4月、佛大看護が生まれ変わります。

看護学部看護学科

仮称・設置構想中

※保健医療技術学部看護学科を発展的改組予定



佛教大学
BUKKYO UNIVERSITY



佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」は 充実した設備や総合大学の利点を活かした教育で全人的ケアができる 確かな臨床実践力をもつ看護師・保健師を養成します。

佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」設置の理念・必要性

超高齢社会が加速する我が国では、ヒューマンケアの中核的な担い手としての質の高い看護師・保健師(以下、看護職)を育成することが急務となっています。また、地域医療及び高齢者医療施策の充実化や、COVID-19のような新興感染症への対策強化、介護予防や特定健診・特定保健指導による重症化予防対策など、様々な場面において看護職の担う役割は大きくなっています。

このような状況を踏まえ、高度に進歩した医療技術に対応できる看護職、地域の保健医療福祉の中核的な専門職として社会ニーズに貢献できる看護職を養成することを目的として、保健医療技術学部看護学科から「看護学部看護学科(仮称)」へと深化します。

カリキュラム＜教育課程＞の特色

1 習熟度に応じた臨地実習

1年生から病院などの施設や地域で実習し、3・4年生ではさまざまな領域の看護を経験し、実践力に磨きをかけます。数人のグループに教員1名が付き、濃密な実習を行います。本学では実習指導体制が整っている施設にご協力いただき臨地実習を行っています。

実習期間が変更・延長となる場合があります。 ※保健師課程受講者のみ

学年	1年生	2年生	3年生	4年生		
科目名	コミュニティ実習 基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ	領域別の看護学実習 (地域在宅・クリティカルケア・慢性・老年)	領域別の看護学実習 (小児・母性・精神)	総合実践看護実習	公衆衛生看護学 実習Ⅰ・Ⅱ※
内容	地域で暮らす生活者を知る実習を経験した後、既習した看護の知識や、コミュニケーション技法を積極的に活用し、看護に対する理解を深める。	病院で療養中の患者理解を深め、療養や暮らしを支えるために必要となる看護実践を学ぶ。	それぞれの看護領域において、患者・療養者への看護実践に必要な知識や技術を習得する。	小児・母性・精神それぞれの看護領域において、患者への看護実践に必要な知識や技術を習得する。	自ら医療や看護の今日的テーマと課題を選定し、学習課題を探究する実践課程を通して、看護実践能力の向上を図る。	地域や職域・学校での対象者の生活環境、健康課題を理解し、健康の保持・増進に向けた保健活動に必要な知識や技術を習得する。
期間 時期	コミュニティ実習 1週間(6月～10月) 基礎看護学実習Ⅰ 1週間(2月)	2週間(9月)	いずれの領域も 2～3週間(10月～2月)	いずれの領域も 2週間(5月～7月)	2週間(10月)	1週間(6月～7月) 4週間(8月～9月)

実習予定施設

病院・助産院 等(50音順)

いわくら病院、大阪医科薬科大学病院、大阪府済生会吹田病院、大津赤十字病院、近江八幡市立総合医療センター、北山病院、京都市立病院、京都第一赤十字病院、京都大学医学部附属病院、京都府助産師会、京都府立医科大学附属病院、滋賀県立小児保健医療センター、市立大津市民病院、長尾助産院、西陣病院、日本バプテスト病院、三菱京都病院、洛和会丸太町病院、海助産所 その他

高齢者施設 等

京都市地域介護予防推進センター、京都市老人福祉センター、特別養護老人ホーム「和順の里」

その他8カ所

こども園・幼稚園

佛教大学附属こども園、華頂短期大学附属幼稚園

訪問看護ステーション 等

京都市内をはじめとする訪問看護ステーション 11カ所
地域包括支援センター 13カ所

行政・学校・産業

保健所・市町保健センター、中学・高等学校、企業・健診センター

2 人の心に寄り添える力を養う独自の教育

人間の生を支える「仏教看護」や「ホリスティックケアアプローチ」、安心して人生の終焉を迎えるケアを行う「エンドオブライフケア」の科目を開設。本学の「共生(ともいき)」の理念をもとに人の心に寄り添える力を養います。

3 実践力と探究心を養成

これまでの学習を土台に、4年生の「看護研究」「統合実践看護実習」では、学生が自己の学習テーマを設定し、臨地において科学的思考に基づいた看護実践を展開します。学習テーマに基づいた実践レポートとしてまとめることで、この取り組みを通して自己の看護観を深めるとともに、今後の専門的な看護活動について考え、探究心・研究思考を養います。

ピックアップ授業

VRを用いた学習

フィジカルアセスメント技術

患者さんの体を系統的に観察するために、学生同士のロールプレイを通して問診・視診・触診・聴診・打診などの技術を学びます。さらにVRを用いて、健康障害のある仮想空間の患者さんの身体状況を観察します。この演習によってリアルに患者さんを感じ、体に起こっている異常をいち早くアセスメントする力を身につけます。



患者の気持ちに寄り添う援助を学ぶ 生活行動援助技術論

この授業では、病気や障害によって日常生活行動に問題を持つ患者を援助するための基本的知識・技術・態度を学びます。学生同士で臨床現場を想定したロールプレイを実施し、衣生活、清潔、食事、排泄の援助について原理原則を理解しながら患者の気持ちに寄り添う援助方法を習得します。





学生納付金

1年目（入学金含む）	2年目以降
1,875,500円	1,844,500円

※上記金額には入学金・授業料・教育充実費・諸経費を含みます。

※予定であり変更となる場合があります。

看護学が学べる周辺大学

京都先端科学大学

京都橘大学

京都光華女子大学

同志社女子大学

アクセス

二条キャンパス 〒604-8418 京都市中京区西ノ京東梅尾町7



JR「京都」駅より約5分。JR・地下鉄「二条」駅下車。
市内各所より市バス利用、「二条駅前」バス停下車。

For More Information

佛教大学

入試情報サイト

佛教大学入学部から入試やオープンキャンパスなどの最新情報をお届けします。

<https://www.bukkyo-u.ac.jp/find/>



問合せ先
佛教大学〈企画課〉

TEL 075 (491) 2141 [月～金] 9:00～17:00
Mail new-faculty@bukkyo-u.ac.jp

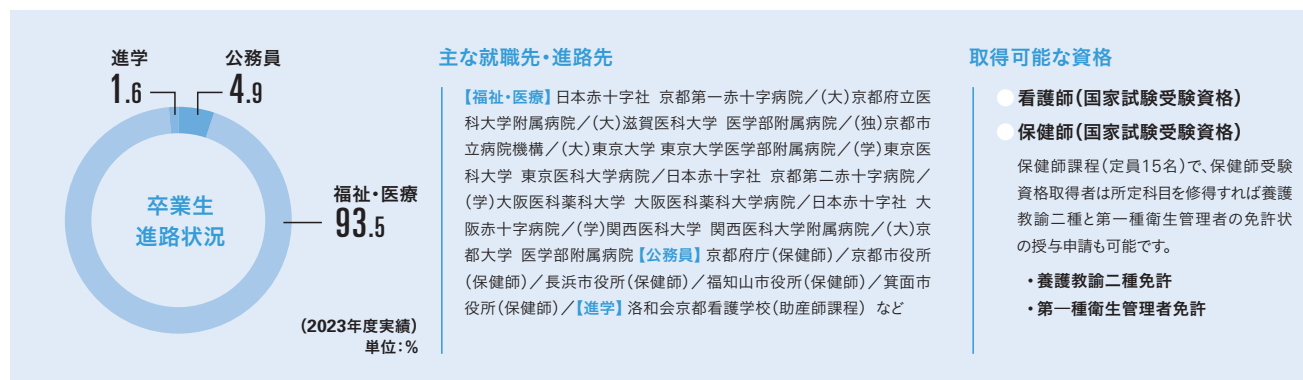
紫野キャンパス
〒603-8301
京都市北区紫野花ノ坊町96

二条キャンパス
〒604-8418
京都市中京区西ノ京東梅尾町7

学部・学科名称	看護学部 看護学科(仮称)	入学定員	80名(収容定員320名)
開設予定時期	2026年(令和8年)4月を予定	修業年限	4年
開設予定場所	二条キャンパス 京都市中京区西ノ京東梅尾町7	取得学位	学士(看護学)

卒業後の進路・取得可能な資格

※保健医療技術学部 看護学科の実績に基づきます。



養成する人材像

佛教大学「看護学部看護学科(仮称)」は本学が既に置く医学リハビリテーション領域、教育関連領域とともにこれまでの伝統をさらに発展させ、人間の尊厳の重視と、高い理念、倫理、規範に裏づけられた崇高な精神とともに、ヒューマンケアの中核的担い手として看護の新たな価値を創造する力を有する人材を養成します。

アドミッションポリシー

豊かな人間性と倫理観を持ち、看護学の向上に努めて社会に貢献できる看護師、保健師を育成するため、次のような人を求めています。

- ・ 看護学を学ぶために必要な基礎学力と継続する力を持ち、論理的に考えることができる人
- ・ 看護職としてのスキルを高め、地域の人々の健康に貢献したいという意欲がある人
- ・ 看護学を学び、豊かな感性と高い思考力、判断力を身につけようと努力できる人
- ・ 相手の考えを理解するとともに、自分の考えを表現する力がある人
- ・ 人に深い関心を持ち、人の可能性を信じ、自分も他者も大切にできる人
- ・ 人を思いやり、多様な人と主体的にコミュニケーションをとることができる人



教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	サトウ カズユキ 佐藤 和順 ＜令和7年4月＞		博士 (学校教育学)		佛教大学 学長 (令和7年4月～令和11年3月)

審査意見への対応を記載した書類（7月）

（目次） 佛教大学 看護学部 看護学科

1. 看護学部看護学科について、学生確保に関するアンケート調査の結果によれば、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）」において求めているクロス集計の結果、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した者の数が入学定員を下回っていることから、十分な学生確保の見通しがあるとは判断できない。このため、客観的なデータ等に基づき、学生確保の見通し及び収容定員を増加させることの妥当性について明確に説明すること。
（是正事項）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

1. 看護学部看護学科について、学生確保に関するアンケート調査の結果によれば、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）」において求めているクロス集計の結果、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した者の数が入学定員を下回っていることから、十分な学生確保の見通しがあるとは判断できない。このため、客観的なデータ等に基づき、学生確保の見通し及び収容定員を増加させることの妥当性について明確に説明すること。

(対応)

審査意見における、看護学部看護学科における学生確保に関するアンケート調査のクロス集計の結果において、「第一志望として受験する」かつ「入学する」との回答数が入学定員を下回っていることから、十分な学生確保の見通しがあるとは判断できない、との指摘を踏まえ、追加でのアンケート調査を行い、入学定員を上回る結果を得られたことから、その調査結果を加えるとともに、新たなデータとして既設看護学科の令和7年度の志願者データ及び本学志望度のデータ、収容定員関係学則変更認可申請書類提出後の学生確保の取組と効果について「学生の確保の見通し等を記載した書類」（本文）に追記し、学生確保の見通し及び収容定員を増加させることの妥当性について明確に説明する。

具体的には、既設組織である保健医療技術学部看護学科への入学実績のある高等学校6校、令和7年3月13日付で収容定員関係学則変更認可申請書類提出した以降、3月20日及び6月1日に開催したオープンキャンパスでの来場者、および2025年6月に商業系高等学校を対象に開催した学科説明会（動画視聴型開催）の参加者を対象（すべて、現高校3年生を対象）にアンケート調査を行った。

その結果、令和7年3月13日付で提出の収容定員関係学則変更認可申請時に記載した回答数に加え、今回追加で実施したアンケート調査において、「第一志望として受験する」かつ「入学する」との回答した者の数が入学定員80人を上回る84人との調査結果となった。

なお、本学では、入学後の基礎学力調査受検時にアンケート調査を実施しており、過去5年間（令和2（2022）年度から令和6（2024）年度）の本学志望別の平均人数およびその割合は、第一志望での入学者が30.6人（45.5%）、第二志望での入学者が25.4人（37.8%）、第三志望以降での入学者が11.2人（16.7%）となっており、今回高校生を対象に実施したアンケート調査結果の数に、第二志望での入学者の割合（37.8%）、第三志望以降での入学者の割合（16.7%）を乗じた場合、それぞれ21人と23人となり、アンケートで「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した84人に加えると128人となることから、看護学部の入学定員80人を十分に満たすと考えられる。

また、収容定員関係学則変更認可申請書類には記載できなかった新たなデータとして、既設看護学科における令和7（2025）年度入学者選抜における志願倍率は、過去3年で最も高く、依然として近隣の看護系学科を設置している大学の中でも高い志願倍率となる21.1倍であったこと、毎年度本学入学者を対象に調査している本学志望度調査結果（既設看護学科）において、令和7（2025）年度入学者においても「第一志望」57.3%（過去5年上昇し、最大）、「第二志望」30.7%、「第三

志望以降」12.0%であったことから、これまで以上に本学志望度が高まっている結果となったことについて追記する。

そのほか、収容定員関係学則変更認可申請書類後の令和7年度入試対象となる令和6（2024）年度における学生確保の各取組実績の数値を追記し、参加者数等の増加傾向や本学志望度が高まっており、定員を充足できる見込みがあることを説明する。

以上を踏まえ、「学生の確保の見通し等を記載した書類」（本文）を次のとおり追記・修正する。

（新旧対照表）学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）5ページ

新	旧																																																		
（学生確保（本文）－5 ページ） （2）人材需要の社会的な動向 （略） ③新設組織の主な学生募集地域 （略） また、学問分野（系統区分）における保健系学部の定員充足状況については、令和4（2022）年度は99.28%、令和5（2023）年度は96.79%、令和6（2024）年度は91.04%と減少傾向にある。【資料8】しかしながら、以下に示す本学既設組織の過去4 ヲ年の入学者選抜試験志願状況での志願倍率は、令和4（2022）年度は21.4 倍、令和5（2023）年度は17.7 倍、令和6（2024）年度は19.3 倍、令和7（2025）年度は21.1 倍といった高い数値であり、現在、近隣の看護系学科を設置している大学の中でも高い志願者倍率を保持している。 【既設組織における過去4 ヲ年の入学者選抜試験志願状況】 <table><tr><th rowspan="2">既設組織</th><th rowspan="2">入学 定員</th><th colspan="4">志願者数（合計）</th><th colspan="4">志願倍率</th></tr><tr><th>令和4 (2022) 年度</th><th>令和5 (2023) 年度</th><th>令和6 (2024) 年度</th><th>令和7 (2025) 年度</th><th>令和4 (2022) 年度</th><th>令和5 (2023) 年度</th><th>令和6 (2024) 年度</th><th>令和7 (2025) 年度</th></tr><tr><td>保健医療技術学部 看護学科</td><td>65</td><td>1,391</td><td>1,149</td><td>1,252</td><td>1,369</td><td>21.4</td><td>17.7</td><td>19.3</td><td>21.1</td></tr></table> （略）	既設組織	入学 定員	志願者数（合計）				志願倍率				令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	保健医療技術学部 看護学科	65	1,391	1,149	1,252	1,369	21.4	17.7	19.3	21.1	（学生確保（本文）－5 ページ） （2）人材需要の社会的な動向 （略） ③新設組織の主な学生募集地域 （略） また、学問分野（系統区分）における保健系学部の定員充足状況については、令和4（2022）年度は99.28%、令和5（2023）年度は96.79%、令和6（2024）年度は91.04%と減少傾向にある。【資料8】しかしながら、以下に示す本学既設組織の過去3 ヲ年の入学者選抜試験志願状況での志願倍率は、令和4（2022）年度は21.4 倍、令和5（2023）年度は17.7 倍、令和6（2024）年度は19.3 倍といった高い数値であり、現在、近隣の看護系学科を設置している大学の中でも高い志願者倍率を保持している。 【既設組織における過去3 ヲ年の入学者選抜試験志願状況】 <table><tr><th rowspan="2">既設組織</th><th rowspan="2">入学 定員</th><th colspan="3">志願者数（合計）</th><th colspan="3">志願倍率</th></tr><tr><th>令和4 (2022) 年度</th><th>令和5 (2023) 年度</th><th>令和6 (2024) 年度</th><th>令和4 (2022) 年度</th><th>令和5 (2023) 年度</th><th>令和6 (2024) 年度</th></tr><tr><td>保健医療技術学部 看護学科</td><td>65</td><td>1,391</td><td>1,149</td><td>1,252</td><td>21.4</td><td>17.7</td><td>19.3</td></tr></table> （略）	既設組織	入学 定員	志願者数（合計）			志願倍率			令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	保健医療技術学部 看護学科	65	1,391	1,149	1,252	21.4	17.7	19.3
既設組織			入学 定員	志願者数（合計）				志願倍率																																											
	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度		令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度																																										
保健医療技術学部 看護学科	65	1,391	1,149	1,252	1,369	21.4	17.7	19.3	21.1																																										
既設組織	入学 定員	志願者数（合計）			志願倍率																																														
		令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度																																												
保健医療技術学部 看護学科	65	1,391	1,149	1,252	21.4	17.7	19.3																																												

（新旧対照表）学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）8～16ページ

新	旧
（学生確保（本文）－8～16ページ）	（学生確保（本文）－8～16ページ）

(3) 学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果
ア 既設組織における取組とその目標

(略)

本学では、学生確保の専門部署として入学部を配置しており、学生募集及び募集広報の事務を分掌している。また、入学部の事務職員だけでなく、他部署の事務職員を入試アドバイザーとして学外進学相談会への派遣、各学部学科に配置している高大連携担当教員を中心とした教員によるオープンキャンパスでの対応や高等学校での出張講義への派遣など、全学体制で学生募集活動に取り組んでいる。

(略)

1) オープンキャンパス

(略)

【オープンキャンパス来場者数】

入試対象年度 (開催年度)	全体参加 者数	参加者数内訳	
		二条キャンパス	看護学科 受験対象者
令和7年度入試対象 (令和6年度開催)	8,137人	1,663人	790人
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	7,171人	1,544人	716人
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	6,738人	1,365人	627人

令和5(2023)年度に開催したオープンキャンパスにおける参加者(受験対象者)数は、延べ716人であり、令和4(2022)年度の参加者(受験対象者)627人と比較して増加している。

令和6(2024)年度の参加者(受験対象者)数は、延べ790人であり、過去2ヵ年(令和5(2023)年度、令和4(2022)年度)と比較しても更に増加傾向にある結果となった。

(略)

2) 学外進学相談会(地区相談会)

(略)

個別相談では、パンフレットやWEBサイトではわからない入試のポイント、学科の特色、学生生活、奨学金制度、取得可能な免許・資格等について詳しく説明を受けることができる。関西圏以外の受験者にとっては、自身が住む地域で相談できる機会の提供となっている。過去3年間の各種説明会への参加

(3) 学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果
ア 既設組織における取組とその目標

(略)

本学では、学生確保の専門部署として入学部を配置しており、学生募集及び募集広報の事務を分掌している。また、入学部の事務職員だけでなく、他部署の事務職員を入試アドバイザーとして学外進学相談会への派遣、各学部学科に配置している高大連携担当教員を中心とした教員によるオープンキャンパスでの対応や高等学校での出張講義への派遣など、全学体制で学生募集活動に取り組んでいる。

(略)

1) オープンキャンパス

(略)

【オープンキャンパス来場者数】

入試対象年度 (開催年度)	全体参加 者数	参加者数内訳	
		二条キャンパス	看護学科 受験対象者
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	7,171人	1,544人	716人
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	6,738人	1,365人	627人

令和5(2023)年度に開催したオープンキャンパスにおける参加者(受験対象者)数は、延べ716人であり、令和4(2022)年度の参加者(受験対象者)627人と比較して増加している。

(略)

2) 学外進学相談会(地区相談会)

(略)

個別相談では、パンフレットやWEBサイトではわからない入試のポイント、学科の特色、学生生活、奨学金制度、取得可能な免許・資格等について詳しく説明を受けることができる。関西圏以外の受験者にとっては、自身が住む地域で相談できる機会の提供となっている。過去2年間の各種説明会への参加

回数ならびに個別相談者数の実績は以下のとおりである。

【進学相談会開催実績】

入試対象年度 (開催年度)	各種説明会への参加回数	個別相談者数
令和7年度入試対象 (令和6年度開催)	83回	925人
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	76回	800人
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	86回	798人

※来訪者に対する全体説明等の開催形態の場合の人数は除外している。

また、令和6（2024）年度各種説明会への参加回数は例年通りであったが、個別相談者数は大きく増加する結果となった。

3）高等学校訪問

本学では、入学部事務職員が、学生募集における重点エリアと設定する府県（京都府、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、石川県、福井県）を中心に、本学に対する出願実績を有する高等学校を訪問し、進路指導担当教員と面会し、意見交換の機会をいただいている。過去3年間の高等学校訪問の実績は以下のとおりである。

【高等学校訪問実績】

入試対象年度 (開催年度)	訪問校数	内訳	
		府県	訪問校数
令和7年度入試対象 (令和6年度開催)	415校	京都府	198校
		滋賀県	84校
		大阪府	68校
		奈良県	28校
		兵庫県	11校
		福井県	11校
		石川県	8校
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	405校	岡山県	7校
		京都府	197校
		滋賀県	83校
		大阪府	64校
		奈良県	31校
		兵庫県	9校
		福井県	10校
		石川県	6校

回数ならびに個別相談者数の実績は以下のとおりである。

【進学相談会開催実績】

入試対象年度 (開催年度)	各種説明会への参加回数	個別相談者数
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	76回	800人
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	86回	798人

※来訪者に対する全体説明等の開催形態の場合の人数は除外している。

3）高等学校訪問

本学では、入学部事務職員が、学生募集における重点エリアと設定する府県（京都府、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、石川県、福井県）を中心に、本学に対する出願実績を有する高等学校を訪問し、進路指導担当教員と面会し、意見交換の機会をいただいている。過去2年間の高等学校訪問の実績は以下のとおりである。

【高等学校訪問実績】

入試対象年度 (開催年度)	訪問校数	内訳	
		府県	訪問校数
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	405校	京都府	197校
		滋賀県	83校
		大阪府	64校
		奈良県	31校
		兵庫県	9校
		福井県	10校
		石川県	6校
		岡山県	3校
		岐阜県	1校
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	410校	山口県	1校
		京都府	198校
		滋賀県	79校
		大阪府	72校
		奈良県	29校
		兵庫県	9校

令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	410校	岡山県	3校
		岐阜県	1校
		山口県	1校
		京都府	198校
		滋賀県	79校
		大阪府	72校
		奈良県	29校
		兵庫県	9校
		福井県	10校
		石川県	8校
		岡山県	5校

4) 高等学校教員対象進学説明会

本学では、毎年高等学校教員を対象に、京都（本学）会場、大阪会場、滋賀会場にて、前年度入試結果報告及び当年度入試概要説明を中心に、本学の現状や取り組みの紹介等、進学説明会を開催している。過去3年間の高等学校教員対象進学説明会の実績は以下のとおりである。

【高等学校教員対象進学説明会開催実績】

入試対象年度 (開催年度)	開催日	出席者数
令和7年度入試対象 (令和6年度開催)	6月19日(水)・20日(木)・27日(木)	85人
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	6月27日(火)	53人
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	6月16日(木)・21日(火)・22日(水)	59人

※WEB視聴型開催を含む

令和6（2024）年度においても年3回の開催としたが、例年にも増して多くの高等学校進路指導担当教員に参加していただけた。

また、本学が主催する進学説明会以外にも、京都府看護学校連絡協議会が主催する看護フェアによる高等学校教員への大学案内の機会を積極的に活用し、本学の特色等をプレゼンテーションすることにより、高等学校の進路指導担当教員に対し、本学で学ぶうえでのメリットをアピールすることに努めている。

5) 高等学校での出張講義

本学では、高大連携の一環として、また、高校生

		福井県	10校
		石川県	8校
		岡山県	5校

4) 高等学校教員対象進学説明会

本学では、毎年高等学校教員を対象に、京都（本学）会場、大阪会場、滋賀会場にて、前年度入試結果報告及び当年度入試概要説明を中心に、本学の現状や取り組みの紹介等、進学説明会を開催している。過去2年間の高等学校教員対象進学説明会の実績は以下のとおりである。

【高等学校教員対象進学説明会開催実績】

入試対象年度 (開催年度)	開催日	出席者数
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	6月27日(火)	53人
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	6月16日(木)・21日(火)・22日(水)	59人

また、本学が主催する進学説明会以外にも、京都府看護学校連絡協議会が主催する看護フェアによる高等学校教員への大学案内の機会を積極的に活用し、本学の特色等をプレゼンテーションすることにより、高等学校の進路指導担当教員に対し、本学で学ぶうえでのメリットをアピールすることに努めている。

5) 高等学校での出張講義

本学では、高大連携の一環として、また、高校生

に大学で学ぶことの意義や面白さ、学問領域の深さや広さを感じとり、進路選択について考える機会を提供することを目的として、各学部学科に配置する高大連携担当教員を中心に本学教員を派遣し、高等学校との様々な連携事業を推進している。その中でも高等学校での出張講義は、実際に本学教員が高等学校に出向き、高校生に大学の授業を体感してもらうことにより、本学の魅力を伝え、志望者を増やす努力を続けている。過去3年間の高等学校での出張講義の実績は以下のとおりである。

【高等学校での出張講義開催実績】

入試対象年度 (開催年度)	大学全体教員 派遣件数	内、看護 学科教員 派遣件数
令和7年度入試対象 (令和6年度開催)	58件	6件
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	69件	7件
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	56件	4件

6) 入試対策講座

本学では、受験者向けに外部教育機関の塾講師を招き、出題傾向や効果的な対策方法を解説する等の様々な入試対策講座を提供している。また、遠方在住等の理由で当日対面での受講が難しい受験者のために、後日オンデマンド配信型の講座も提供しており、受験者のニーズを満たし、モチベーション向上につなげられている。過去3年間の入試対策講座の実績は以下のとおりである。

【入試対策講座開催実績】

入試対象年度 (開催年度)	開催日	出席者 数
令和7年度入試対象 (令和6年度開催)	10月6日(日)	562人
	12月22日(日)	490人
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	10月8日(日)・15日(日)	602人
	12月17日(日)・23日(土)	308人
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	10月8日(土)・9日(日)・15日(土)	602人
	12月10日(日)・23日(金)	255人

※WEB視聴型開催を含む

令和6(2024)年度は年2回の開催としたが、参加者数は1,052人であり、過去2ヵ年(令和5(2023)年度、令和4(2022)年度)と比較しても更に増加

に大学で学ぶことの意義や面白さ、学問領域の深さや広さを感じとり、進路選択について考える機会を提供することを目的として、各学部学科に配置する高大連携担当教員を中心に本学教員を派遣し、高等学校との様々な連携事業を推進している。その中でも高等学校での出張講義は、実際に本学教員が高等学校に出向き、高校生に大学の授業を体感してもらうことにより、本学の魅力を伝え、志望者を増やす努力を続けている。過去2年間の高等学校での出張講義の実績は以下のとおりである。

【高等学校での出張講義開催実績】

入試対象年度 (開催年度)	大学全体教員 派遣件数	内、看護 学科教員 派遣件数
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	69件	7件
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	56件	4件

6) 入試対策講座

本学では、受験者向けに外部教育機関の塾講師を招き、出題傾向や効果的な対策方法を解説する等の様々な入試対策講座を提供している。また、遠方在住等の理由で当日対面での受講が難しい受験者のために、後日オンデマンド配信型の講座も提供しており、受験者のニーズを満たし、モチベーション向上につなげられている。過去2年間の入試対策講座の実績は以下のとおりである。

【入試対策講座開催実績】

入試対象年度 (開催年度)	開催日	出席者 数
令和6年度入試対象 (令和5年度開催)	10月8日(日)・15日(日)	602人
	12月17日(日)・23日(土)	308人
令和5年度入試対象 (令和4年度開催)	10月8日(土)・9日(日)・15日(土)	602人
	12月10日(日)・23日(金)	255人

傾向にある結果となった。

7) 資料請求者

(略)

【資料請求者件数（月別集計）実績】

(表 略)

また、令和 6（2024）年度資料請求者件数（月別集計）実績の総数は、それぞれ接触者数（延べ数）51,464 人、接触者数（実数）46,244 人、発送者数（延べ数）126,190 人であった。令和 5（2023）年度との比較において、接触者の増加に対する発送者数の減少は、学年や地域でセグメントしてターゲットを絞ったうえでの効果的な資料送付を行ったことが要因であると考えている。

8) 本学ホームページアクセス数

(略)

○本学トップページ(<http://www.bukkyo-u.ac.jp/>)

(表 略)

○本学入試情報サイト（<http://www.bukkyo-u.ac.jp/find/>）

(表 略)

また、令和 6（2024）年度における本学ホームページ月別平均アクセス数について、本学トップページが 48,473 件、本学入試情報サイトが 12,828 件であり、例年通りの数値結果となった。

(略)

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

(略)

また、過去 2 年間に実施してきたオープンキャンパスに参加した受験対象者数は、令和 6（2024）年度入学者選抜 716 人、令和 5（2023）年度入学者選抜 627 人であり、来場者数も年々増加傾向にあること、オープンキャンパスに参加した受験対象者数と比較して入学者選抜試験受験者数が、令和 6（2024）年度入学者選抜は 1,252 人、令和 5（2023）年度入

7) 資料請求者

(略)

【資料請求者件数（月別集計）実績】

(表 略)

8) 本学ホームページアクセス数

(略)

○本学トップページ(<http://www.bukkyo-u.ac.jp/>)

(表 略)

○本学入試情報サイト（<http://www.bukkyo-u.ac.jp/find/>）

(表 略)

(略)

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

(略)

また、過去 2 年間に実施してきたオープンキャンパスに参加した受験対象者数は、令和 6（2024）年度入学者入試 716 人、令和 5（2023）年度入学者入試 627 人であり、来場者数も年々増加傾向にあること、オープンキャンパスに参加した受験対象者数と比較して入学者選抜試験受験者数が、令和 6（2024）年度入学者入試は 1,252 人、令和 5（2023）年度入

学者選抜は1,165人であったことから、オープンキャンパスだけでなく、他で実施しているPR活動も効果的であることから、高校生へのアピールが十分に行えていると考えている。 その結果、令和7（2025）年度入学者獲得に向けた本学の取組の実績として、令和7（2025）年度の既設組織入学者選抜状況において、志願者数1,369人、志願者倍率21.1倍という依然として高い数値を保持しており、また、令和7（2025）年度入学者においても「第一志望」57.3%（過去5年上昇し、最大）、「第二志望」30.7%、「第三志望以降」12.0%であったことから、これまで以上に本学志望度が高まっている結果となった。 以上のことから、今後も各種取組の開催日数を増やし、受験者と教職員・在学生在が直接対話する機会を増やす等の充実化を図り、更に参加者数を増員させることで、入学定員80人の充足が可能であると考ええる。 （略）	学者入試は1,165人であったことから、オープンキャンパスだけでなく、他で実施しているPR活動も効果的であることから、高校生へのアピールが十分に行えていると考えている。 以上のことから、今後も各種取組の開催日数を増やし、受験者と教職員・在学生在が直接対話する機会を増やす等の充実化を図り、更に参加者数を増員させることで、入学定員80人の充足が可能であると考ええる。 （略）
---	---

（新旧対照表）学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）24～26 ページ

新	旧												
（学生確保（本文）－24～26 ページ） （3）学生確保の見通し ④学生確保に関するアンケート調査 （略） ＜高校生アンケート調査＞実施概要 <table> <tr> <td>調査内容</td><td>（略）</td></tr> <tr> <td>調査実施時期</td><td>2024 年 10 月～2025 年 2 月 【追加調査】2025 年 3 月～7 月</td></tr> <tr> <td>調査対象</td><td> 2025 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い<u>高校2年生</u>（2024 年度時点）をアンケートの対象とした。依頼対象校は以下とした。 ■ 看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科へ志願実績のある 301 校（近畿圏中心。一部、北陸・中国地方の高校を含む）にアンケート依頼をし、54 校よりアンケート実施の協力を得た。 ■ 2024 年度オープンキャンパス来 </td></tr> </table>	調査内容	（略）	調査実施時期	2024 年 10 月～2025 年 2 月 【追加調査】2025 年 3 月～7 月	調査対象	2025 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い<u>高校2年生</u>（2024 年度時点）をアンケートの対象とした。依頼対象校は以下とした。 ■ 看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科へ志願実績のある 301 校（近畿圏中心。一部、北陸・中国地方の高校を含む）にアンケート依頼をし、54 校よりアンケート実施の協力を得た。 ■ 2024 年度オープンキャンパス来	（学生確保（本文）－23～25 ページ） （3）学生確保の見通し ④学生確保に関するアンケート調査 （略） ＜高校生アンケート調査＞実施概要 <table> <tr> <td>調査内容</td><td>（略）</td></tr> <tr> <td>調査実施時期</td><td>2024 年 10 月～2025 年 2 月</td></tr> <tr> <td>調査対象</td><td> 2025 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い<u>高校2年生</u>（2024 年度時点）をアンケートの対象とした。依頼対象校は以下とした。 ■ 看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科へ志願実績のある 301 校（近畿圏中心。一部、北陸・中国地方の高校を含む）にアンケート依頼をし、54 校よりアンケート実施の協力を得た。 ■ 2024 年度オープンキャンパス来 </td></tr> </table>	調査内容	（略）	調査実施時期	2024 年 10 月～2025 年 2 月	調査対象	2025 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い<u>高校2年生</u>（2024 年度時点）をアンケートの対象とした。依頼対象校は以下とした。 ■ 看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科へ志願実績のある 301 校（近畿圏中心。一部、北陸・中国地方の高校を含む）にアンケート依頼をし、54 校よりアンケート実施の協力を得た。 ■ 2024 年度オープンキャンパス来
調査内容	（略）												
調査実施時期	2024 年 10 月～2025 年 2 月 【追加調査】2025 年 3 月～7 月												
調査対象	2025 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い<u>高校2年生</u>（2024 年度時点）をアンケートの対象とした。依頼対象校は以下とした。 ■ 看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科へ志願実績のある 301 校（近畿圏中心。一部、北陸・中国地方の高校を含む）にアンケート依頼をし、54 校よりアンケート実施の協力を得た。 ■ 2024 年度オープンキャンパス来												
調査内容	（略）												
調査実施時期	2024 年 10 月～2025 年 2 月												
調査対象	2025 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い<u>高校2年生</u>（2024 年度時点）をアンケートの対象とした。依頼対象校は以下とした。 ■ 看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科へ志願実績のある 301 校（近畿圏中心。一部、北陸・中国地方の高校を含む）にアンケート依頼をし、54 校よりアンケート実施の協力を得た。 ■ 2024 年度オープンキャンパス来												

	場者 【追加調査】 以下の対象者（すべて現高校3年生）に追加調査を実施した。 ■ 看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科へ志願実績のある高等学校でかつ前回未実施の高等学校6校よりアンケート実施の協力を得た。 ■ 2025年3月20日・6月1日開催・オープンキャンパス来場者 ■ 2025年6月商業系高等学校対象学科説明会（動画視聴型開催）参加者	
実施高校	合計60校 近畿地方：58校（滋賀県7校、京都府25校、大阪府18校、兵庫県2校、奈良県4校、和歌山県2校） その他：2校（石川県1校、福井県1校）	
実施人数	7,614人	
調査実施方法	協力先の高校に高校生アンケート調査用紙、「看護学部看護学科（仮称）」概要およびリーフレットを必要部数送付。ホームルームで配付の上、その場で回答し回収いただいた。 また、本学開催のオープンキャンパスおよび学科説明会申込者の自宅に高校生アンケート調査用紙、「看護学部看護学科（仮称）」概要およびリーフレットを送付し、回答のうえ、本学宛に返送いただいた。	
調査項目	（略）	
高校生アンケート調査では、看護学部の特色・学費・アクセスなどをリーフレットで示した上で、実施概要で示したように回答者基本情報と、看護学部への受験・入学意向等について回答を求め、高校生7,614人から回答を得た。 本学の看護学部に対し556人が受験意向を示しており（「第一志望として受験する」147人、「第二志望として受験する」109人、「第三志望以降として受験する」300人）、予定する入学定員計80名の7.0倍の水準に及ぶことが明らかとなった。 一方、「大学」進学、進学希望する大学の設置者として「私立」、興味のある学問分野として「看護学」を選択した者は合計757人で、その上で看護		
	場者	
実施高校	合計54校 近畿地方：<u>52校</u>（滋賀県7校、京都府<u>20校</u>、大阪府<u>17校</u>、兵庫県2校、奈良県4校、和歌山県2校） その他：2校（石川県1校、福井県1校）	
実施人数	<u>7,490人</u>	
調査実施方法	協力先の高校に高校生アンケート調査用紙、「看護学部看護学科（仮称）」概要およびリーフレットを必要部数送付。ホームルームで配付の上、その場で回答し回収いただいた。	
調査項目	（略）	
高校生アンケート調査では、看護学部の特色・学費・アクセスなどをリーフレットで示した上で、実施概要で示したように回答者基本情報と、看護学部への受験・入学意向等について回答を求め、高校生<u>7,490人</u>から回答を得た。 本学の看護学部に対し<u>466人</u>が受験意向を示しており（「第一志望として受験する」<u>109人</u>、「第二志望として受験する」<u>87人</u>、「第三志望以降として受験する」<u>270人</u>）、予定する入学定員計80名の<u>5.8倍</u>の水準に及ぶことが明らかとなった。 一方、「大学」進学、進学希望する大学の設置者として「私立」、興味のある学問分野として「看護学」を選択した者は合計<u>656人</u>で、その上で看護		

学部を「第一志望として受験する」としたのは 85 人、「第二志望として受験する」74 人、「第三志望以降として受験する」164 人、以上を合計すると 323 人であった。また、「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は 84 人、それとは別に「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で 200 人いた。

なお、本アンケートは＜高校生アンケート調査＞実施概要で示したように看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科へ志願実績のある 301 校に依頼しているが、期日や高校側の都合によりアンケート回答が得られたのは 60 校分（加えてオープンキャンパス分）に留まる。つまり本アンケート調査はあくまで志願実績校一部の結果に留まり、アンケート回答が得られなかった残りの高校でも同等程度の受験・入学希望者がいると推察されることから、全体では依頼 301 校÷実施 60 校＝5.0 倍（小数点第二位以下切り捨て）の受験・入学希望者が見込まれることが推察される。よって、第一～第三志望以降の合計で 323 人の受験希望者がいたことを踏まえると、1,615 人程度（＝323 人×5.0 倍）の受験希望者は確保できると想定される。入学希望者についても「第一志望⇒入学する」のみで 420 人（＝84 人×5.0 倍）、「第二志望または第三志望以降⇒志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は 1,000 人（＝200 人×5.0 倍）。【資料 12】

また、本学では、入学後の基礎学力調査受検時にアンケート調査を実施しており、その回答集計より既設組織への入学者の傾向として、本学を第一志望とする受験者は年々増加傾向にあり、令和 7（2025）年度本学入学者対象に実施した調査においても、第一志望での入学者が 57.3%（過去最大）、第二志望での入学者が 30.7%、第三志望以降での入学者が 12.0%というように、これまで以上に本学志望度が高まる結果となった。

なお、過去 5 年間（令和 2（2020）年度から令和

学部を「第一志望として受験する」としたのは 47 人、「第二志望として受験する」53 人、「第三志望以降として受験する」139 人、以上を合計すると 239 人であった。また、「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は 46 人、それとは別に「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で 154 人いた。

なお、本アンケートは＜高校生アンケート調査＞実施概要で示したように看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科へ志願実績のある 301 校に依頼しているが、期日や高校側の都合によりアンケート回答が得られたのは 54 校分（加えてオープンキャンパス分）に留まる。つまり本アンケート調査はあくまで志願実績校一部の結果に留まり、アンケート回答が得られなかった残りの高校でも同等程度の受験・入学希望者がいると推察されることから、全体では依頼 301 校÷実施 54 校＝5.5 倍（小数点第二位以下切り捨て）の受験・入学希望者が見込まれることが推察される。よって、第一～第三志望以降の合計で 239 人の受験希望者がいたことを踏まえると、1,315 人程度（＝239 人×5.5 倍）の受験希望者は確保できると想定される。入学希望者についても「第一志望⇒入学する」のみで 253 人（＝46 人×5.5 倍）、「第二志望または第三志望以降⇒志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は 847 人（＝154 人×5.5 倍）。【資料 12】

また、本学では、入学後の基礎学力調査受検時にアンケート調査を実施しており、その回答集計より既設組織への入学者の傾向として、本学を第一志望とする受験者は年々増加しているものの約 50%程度であり、第二志望が約 30%程度、第三志望以降が約 20%程度となっていることから、今回高校生を対象に実施したアンケート調査項目の数から、その割合を乗じて考えた結果からも、看護学部の入学定員 80 人を十分に満たすと考えられる。

6（2024）年度の本学志望別の平均人数およびその割合は、第一志望での入学者が30.6人（45.5%）、第二志望での入学者が25.4人（37.8%）、第三志望以降での入学者が11.2人（16.7%）となっており、今回高校生を対象に実施したアンケート調査結果の数に、第二志望での入学者の割合（37.8%）、第三志望以降での入学者の割合（16.7%）を乗じた場合、それぞれ21人と23人となる。アンケートで「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した84人に加えると128人となり、今回高校生を対象に実施したアンケート調査項目の数に対して、その割合を乗じて考えた結果からも、看護学部の入学定員80人を十分に満たすと考えられる。

【看護学科入学時アンケート回答集計〔本学志望度〕】

学部・学科名	入学年度	入学者数	本学志望度		
			第一志望	第二志望	第三志望以降
保健医療技術学部看護学科	令和2（2020）年度	67人	22人 32.8%	32人 47.8%	13人 19.4%
	令和3（2021）年度	68人	26人 38.2%	30人 44.1%	12人 17.6%
	令和4（2022）年度	65人	32人 49.2%	23人 35.4%	10人 15.4%
	令和5（2023）年度	70人	38人 54.3%	22人 31.4%	10人 14.3%
	令和6（2024）年度	66人	35人 53.0%	20人 30.3%	11人 16.7%
	平均		30.6人 45.5%	25.4人 37.8%	11.2人 16.7%

【看護学科入学時アンケート回答集計〔本学志望度〕】

学部・学科名	入学年度	入学者数	本学志望度		
			第一志望	第二志望	第三志望以降
保健医療技術学部看護学科	令和2（2020）年度	67人	22人 32.8%	32人 47.8%	13人 19.4%
	令和3（2021）年度	68人	26人 38.2%	30人 44.1%	12人 17.6%
	令和4（2022）年度	65人	32人 49.2%	23人 35.4%	10人 15.4%
	令和5（2023）年度	70人	38人 54.3%	22人 31.4%	10人 14.3%
	令和6（2024）年度	66人	35人 53.0%	20人 30.3%	11人 16.7%
	平均		45.5%	37.8%	16.7%

（新旧対照表）学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）28ページ

新	旧
（学生確保（本文）－28ページ） （4）新設組織の定員設定の理由 （略） これは、（2）④で言及したように、新設組織の看	（学生確保（本文）－27ページ） （4）新設組織の定員設定の理由 （略） これは、（2）④で言及したように、新設組織の

護学部看護学科と関連する既設組織である保健医療技術学部看護学科の直近5年間の入学定員の充足状況をみても、受験者数（平均）1,253人、競争倍率（平均）4.3倍であるといった十分な値である。また、 （3）④の学生確保に関するアンケート調査結果において、前提となる「大学」進学、かつ「私立」「看護学」を選択する者の合計757人の内、本学看護学部を「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は84人、それとは別に「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で200人と高い数値が示されており、加えて、本学が入学後に実施するアンケート調査結果に基づくこれまでの既設組織への入学者傾向からみても、看護学部の入学定員数以上の入学意向があることは明らかである。 なお、入学者獲得に向けた本学の取組の成果として既設看護学科の令和7（2025）年度入学者選抜における志願倍率は、依然として近隣の看護系学科を設置している大学の中でも高い志願倍率となる21.1倍であったこと、毎年度本学入学者を対象に調査している本学志望度調査結果において、令和7（2025）年度入学者においても「第一志望」57.3%（過去5年上昇し、最大）、「第二志望」30.7%、「第三志望以降」12.0%であったことから、これまで以上に本学志望度が高まっている状況も踏まえると、やはり看護学部の入学定員数以上の入学意向があることは明らかであると言える。 （略）	看護学部看護学科と関連する既設組織である保健医療技術学部看護学科の直近5年間の入学定員の充足状況をみても、受験者数（平均）1,253人、競争倍率（平均）4.3倍であるといった十分な値である。また、（3）④の学生確保に関するアンケート調査結果において、前提となる「大学」進学、かつ「私立」「看護学」を選択する者の合計656人の内、本学看護学部を「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は46人、それとは別に「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計で154人と高い数値が示されており、加えて、本学が入学後に実施するアンケート調査結果に基づくこれまでの既設組織への入学者傾向からみても、看護学部の入学定員数以上の入学意向があることは明らかである。 （略）
--	--

（新旧対照表）学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）50～57 ページ

新		旧	
（学生確保（資料）－50～57 ページ）		（学生確保（資料）－50～57 ページ）	
1. 高校生アンケート調査 概要		1. 高校生アンケート調査 概要	
調査目的	（略）	調査目的	（略）
調査対象	[調査対象] 令和7年3月に高校卒業予定である高校2年生（令和6年度）	調査対象	[調査対象] 令和7年3月に高校卒業予定である高校2年生（令和6年度）

	【追加調査】令和7年3月に高校卒業予定である高校3年生（令和7年度） [調査地域] 「看護学部看護学科（仮称）」の主たる学生募集エリアと想定される高校54校から調査の協力を得た。 また、オープンキャンパスに来場した学生には個別で調査の協力を得た。 【追加調査】 以下の対象者（すべて現高校3年生）に追加調査を実施した。 ・看護学部の基礎となる既設の保健医療技術学部看護学科へ志願実績のある高等学校6校よりアンケート実施の協力を得た。 ・2025年3月20日・6月1日開催オープンキャンパス来場者、及び2025年6月商業系高等学校対象学科説明会（動画視聴型開催）参加者に個別で調査の協力を得た。		[調査地域] 「看護学部看護学科（仮称）」の主たる学生募集エリアと想定される高校54校から調査の協力を得た。 また、オープンキャンパスに来場した学生には個別で調査の協力を得た。
調査内容	（略）	調査内容	（略）
調査時期	令和6年10月～令和7年2月 【追加調査】令和7年3月～令和7年7月	調査時期	令和6年10月～令和7年2月
調査方法	① 高校生アンケート調査用紙・「看護学部看護学科（仮称）」概要およびリーフレットを必要部数送付。ホームルーム等で配付の上、その場で回答し回収いただいた。 ② オープンキャンパス実施分については、協力を承諾いただいた来場者に対し、個別に高校生アンケート調査用紙・「看護学部看護学科（仮称）」概要およびリーフレットを配布し、その場で回答いただいた。 【追加調査】 ・高等学校6校に対して、上記①の調査方法と同様。 ・本学開催のオープンキャンパス及び学科説明会申込者に対しては、個別に自宅に高校生アンケート調査用紙・「看護学部看護学科（仮称）」概要およびリーフレットを送付し、	調査方法	①高校生アンケート調査用紙・「看護学部看護学科（仮称）」概要およびリーフレットを必要部数送付。ホームルーム等で配付の上、その場で回答し回収いただいた。 ② オープンキャンパス実施分については、協力を承諾いただいた来場者に対し、個別に高校生アンケート調査用紙・「看護学部看護学科（仮称）」概要およびリーフレットを配布し、その場で回答いただいた。

	回答のうえ、本学宛に返送いただいた。
回収件数	有効回答数 7,614 件（計 60 校 7,560 件、オープンキャンパス・学科説明会 54 件）

2. 調査実施高等学校等一覧

高校コード	高校名	回収数
26102F	鴨沂高等学校	19
26122A	綾部高等学校	5
26126C	西舞鶴高等学校	14
26152B	鳥羽高等学校	9
26502A	大谷中学高等学校	14
27515J	大阪商業大学高等学校	17
-	オープンキャンパス・学科説明会	54
合計		7614

3. 高校生アンケート調査 集計結果

問1 あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
滋賀県	1,290	16.9%
京都府	2,463	32.3%
大阪府	2,214	29.1%
兵庫県	267	3.5%
奈良県	823	10.8%
和歌山県	337	4.4%
その他	209	2.7%
無回答	11	0.1%
合計	7,614	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
男性	3,379	44.4%
女性	3,997	52.5%
回答しない	171	2.2%
無回答	67	0.9%
合計	7,614	100.0%

問3 卒業後の進路をどのように考えていますか。（あて

回収件数	有効回答数 <u>7,490</u> 件（計 <u>54</u> 校 <u>7,482</u> 件、オープンキャンパス <u>8</u> 件）

2. 調査実施高等学校等一覧

高校コード	高校名	回収数
	<u>追加</u>	
	<u>追加</u>	
	<u>追加</u>	
	<u>追加</u>	
	<u>追加</u>	
	<u>追加</u>	
-	<u>オープンキャンパス</u>	<u>8</u>
合計		<u>7490</u>

3. 高校生アンケート調査 集計結果

問1 あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
滋賀県	<u>1,270</u>	<u>17.0%</u>
京都府	<u>2,385</u>	<u>31.8%</u>
大阪府	<u>2,194</u>	<u>29.3%</u>
兵庫県	267	<u>3.6%</u>
奈良県	<u>820</u>	<u>10.9%</u>
和歌山県	337	<u>4.5%</u>
その他	<u>206</u>	<u>2.8%</u>
無回答	11	0.1%
合計	<u>7,490</u>	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
男性	<u>3,359</u>	<u>44.8%</u>
女性	<u>3,894</u>	<u>52.0%</u>
回答しない	<u>170</u>	<u>2.3%</u>
無回答	67	0.9%
合計	<u>7,490</u>	100.0%

問3 卒業後の進路をどのように考えていますか。（あて

はまるものすべて)

選択肢	回答数	回答割合
大学	6,394	84.0%
短期大学	366	4.8%
専門職大学	284	3.7%
専門職短期大学	49	0.6%
専門学校	1,383	18.2%
就職	333	4.4%
その他	154	2.0%
無回答	67	0.9%
合計	7,614	100.0%

問4 問3で①～④を選択した方に質問です。(※問3で①～④を選択しなかった方は問5に進んでください)
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。(あてはまるものすべて)

選択肢	回答数	回答割合
私立	5,666	74.4%
国立	1,444	19.0%
公立	1,606	21.1%
無回答	4	0.1%
合計	7,614	100.0%

問5 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
(あてはまるものすべて) ※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
看護学	1,070	14.1%
医学	277	3.6%
歯学	117	1.5%
薬学	250	3.3%
保健その他	500	6.6%
数学	165	2.2%
物理学	138	1.8%
生物	165	2.2%
化学	266	3.5%
地学	49	0.6%
理学その他	96	1.3%
機械工学	338	4.4%
電気通信工学	233	3.1%
土木建築工学	227	3.0%

はまるものすべて)

選択肢	回答数	回答割合
大学	<u>6,282</u>	<u>83.9%</u>
短期大学	<u>361</u>	4.8%
専門職大学	<u>279</u>	3.7%
専門職短期大学	49	<u>0.7%</u>
専門学校	<u>1,355</u>	<u>18.1%</u>
就職	<u>332</u>	4.4%
その他	154	<u>2.1%</u>
無回答	67	0.9%
合計	<u>7,490</u>	100.0%

問4 問3で①～④を選択した方に質問です。(※問3で①～④を選択しなかった方は問5に進んでください)
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。(あてはまるものすべて)

選択肢	回答数	回答割合
私立	<u>5,561</u>	<u>74.2%</u>
国立	<u>1,420</u>	19.0%
公立	<u>1,583</u>	21.1%
無回答	<u>0</u>	<u>0.0%</u>
合計	<u>7,490</u>	100.0%

問5 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
(あてはまるものすべて) ※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
看護学	<u>949</u>	<u>12.7%</u>
医学	<u>274</u>	<u>3.7%</u>
歯学	117	<u>1.6%</u>
薬学	<u>248</u>	3.3%
保健その他	<u>487</u>	<u>6.5%</u>
数学	165	2.2%
物理学	<u>136</u>	1.8%
生物	<u>164</u>	2.2%
化学	<u>265</u>	3.5%
地学	49	<u>0.7%</u>
理学その他	<u>95</u>	1.3%
機械工学	<u>337</u>	<u>4.5%</u>
電気通信工学	233	3.1%
土木建築工学	227	3.0%

応用理学	41	0.5%	応用理学	41	0.5%
応用化学	78	1.0%	応用化学	<u>77</u>	1.0%
工学その他	170	2.2%	工学その他	<u>169</u>	<u>2.3%</u>
文学	596	7.8%	文学	<u>595</u>	<u>7.9%</u>
史学	231	3.0%	史学	231	<u>3.1%</u>
哲学	184	2.4%	哲学	<u>183</u>	2.4%
心理学	835	11.0%	心理学	<u>832</u>	<u>11.1%</u>
人文科学その他	69	0.9%	人文科学その他	69	0.9%
社会学	715	9.4%	社会学	<u>713</u>	<u>9.5%</u>
社会福祉学	206	2.7%	社会福祉学	<u>205</u>	2.7%
法学・政治学	437	5.7%	法学・政治学	437	<u>5.8%</u>
商学・経済学	1,324	17.4%	商学・経済学	<u>1,322</u>	<u>17.7%</u>
社会科学その他	95	1.2%	社会科学その他	95	<u>1.3%</u>
家政学	66	0.9%	家政学	66	0.9%
食物学	283	3.7%	食物学	<u>279</u>	3.7%
被服学	85	1.1%	被服学	85	1.1%
住居学	48	0.6%	住居学	<u>47</u>	0.6%
児童学	120	1.6%	児童学	<u>119</u>	1.6%
家政その他	22	0.3%	家政その他	22	0.3%
農学	191	2.5%	農学	191	<u>2.6%</u>
農芸化学	28	0.4%	農芸化学	28	0.4%
農業工学	24	0.3%	農業工学	24	0.3%
農業経済学	32	0.4%	農業経済学	<u>31</u>	0.4%
水産学	74	1.0%	水産学	74	1.0%
農学その他	60	0.8%	農学その他	<u>59</u>	0.8%
商船学	41	0.5%	商船学	41	0.5%
美術	218	2.9%	美術	<u>216</u>	2.9%
デザイン	452	5.9%	デザイン	<u>450</u>	<u>6.0%</u>
音楽	346	4.5%	音楽	<u>344</u>	<u>4.6%</u>
芸術その他	175	2.3%	芸術その他	175	2.3%
教育学	624	8.2%	教育学	<u>622</u>	<u>8.3%</u>
小学校課程	179	2.4%	小学校課程	<u>178</u>	2.4%
中・高校課程	341	4.5%	中・高校課程	<u>340</u>	4.5%
体育学	452	5.9%	体育学	<u>448</u>	<u>6.0%</u>
教育その他	143	1.9%	教育その他	143	1.9%
教養学	91	1.2%	教養学	91	1.2%
総合科学	59	0.8%	総合科学	<u>58</u>	0.8%
国際学	589	7.7%	国際学	<u>588</u>	<u>7.9%</u>

人間科学	214	2.8%
その他	711	9.3%
無回答	0	0.0%
合計	7,614	100.0%

問6 佛教大学が2026年に設置構想中の「看護学部 看護学科(仮称)」の受験を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
第一志望として受験する	147	1.9%
第二志望として受験する	109	1.4%
第三志望以降として受験する	300	3.9%
受験しない	6,911	90.8%
無回答	147	1.9%
合計	7,614	100.0%

問7 上記、問6で①～③を選択した方に質問です。佛教大学が2026年に設置構想中の「看護学部 看護学科(仮称)」に合格した場合、入学を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
入学する	173	31.6%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	334	60.9%
入学しない	39	7.1%
無回答	10	1.8%
合計	548	100.0%

問7のうち問6で「第一志望として受験する」を選択した回答者のみの回答

選択肢	回答数	回答割合
入学する	125	85.0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	6.8%
入学しない	6	4.1%
無回答	6	4.1%
合計	147	100.0%

4. 高校生アンケート調査 結果の要点

(1) 受験・入学意向クロス集計結果(「3. 高校生アンケート調査 集計結果」より)

高校生アンケート調査の問6結果より、「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」の合計として556人が佛教大学「看

人間科学	213	2.8%
その他	711	9.5%
無回答	0	0.0%
合計	7,490	100.0%

問6 佛教大学が2026年に設置構想中の「看護学部 看護学科(仮称)」の受験を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
第一志望として受験する	109	1.5%
第二志望として受験する	87	1.2%
第三志望以降として受験する	270	3.6%
受験しない	6,877	91.8%
無回答	147	2.0%
合計	7,490	100.0%

問7 上記、問6で①～③を選択した方に質問です。佛教大学が2026年に設置構想中の「看護学部 看護学科(仮称)」に合格した場合、入学を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
入学する	135	29.0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	282	60.5%
入学しない	39	8.4%
無回答	10	2.1%
合計	466	100.0%

問7のうち問6で「第一志望として受験する」を選択した回答者のみの回答

選択肢	回答数	回答割合
入学する	87	79.8%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	9.2%
入学しない	6	5.5%
無回答	6	5.5%
合計	109	100.0%

4. 高校生アンケート調査 結果の要点

(1) 受験・入学意向クロス集計結果(「3. 高校生アンケート調査 集計結果」より)

高校生アンケート調査の問6結果より、「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」の合計として466人が佛教大学「看

護学部 看護学科(仮称)」に対し受験意向を持ち、予定する入学定員 80 名の 7.0 倍の水準に及ぶことが明らかとなった。

「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は 125 人おり、「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」のした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計 324 人いた。

受験意向		入学意向	
第一志望として受験する	147	入学する	125
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10
第二志望として受験する	109	入学する	30
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	76
第三志望以降として受験する	300	入学する	18
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	248

(2) 受験・入学意向五重クロス集計結果(「3. 高校生アンケート調査 集計結果」より)

「(1) 受験・入学意向クロス集計結果」について、更に高校卒業後の進路に「大学」を選択し、その上で志望する大学の設置者に「私立」を選択し、興味のある学問分野として「看護学」を選択した上で、佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」に受験・入学意向を示した人数を確認した。

前提となる「大学」進学、かつ「私立」「看護学」を選択する者は合計 757 人で、その上で佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」を「第一志望として受験する」としたのは 85 人、「第二志望として受験する」74 人、「第三志望以降として受験する」164 人と合計すると 323 人で、依然として予定する入学定員 80 名に達する水準であった。

「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は 84 人であるが、本アンケートは佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」の基礎となる学科である保健医療技術学部看護学科の近年の志願実績校 301 校にアンケート依頼をし、60 校から協力を得ている。期日等の理由から協力が得られていない高校が 241 校あるが、これらの高校の多くからも佛教大学保健医療技術学部看護学科は継続して志願者・入学者を得ていることから、仮に 301 校(依頼高校)÷60 校(実施高校)=5.0 倍程度(端数切捨)とすると、全体では 420 人程度、「大学」進学、かつ「私

護学部 看護学科(仮称)」に対し受験意向を持ち、予定する入学定員 80 名の 5.8 倍の水準に及ぶことが明らかとなった。

「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は 87 人おり、「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」のした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」は合計 272 人いた。

受験意向		入学意向	
第一志望として受験する	109	入学する	87
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10
第二志望として受験する	87	入学する	30
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	54
第三志望以降として受験する	270	入学する	18
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	218

(2) 受験・入学意向五重クロス集計結果(「3. 高校生アンケート調査 集計結果」より)

「(1) 受験・入学意向クロス集計結果」について、更に高校卒業後の進路に「大学」を選択し、その上で志望する大学の設置者に「私立」を選択し、興味のある学問分野として「看護学」を選択した上で、佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」に受験・入学意向を示した人数を確認した。

前提となる「大学」進学、かつ「私立」「看護学」を選択する者は合計 656 人で、その上で佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」を「第一志望として受験する」としたのは 47 人、「第二志望として受験する」53 人、「第三志望以降として受験する」139 人と合計すると 239 人で、依然として予定する入学定員 80 名に達する水準であった。

「第一志望として受験する」とした上で「入学する」は 46 人であるが、本アンケートは佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」の基礎となる学科である保健医療技術学部看護学科の近年の志願実績校 301 校にアンケート依頼をし、54 校から協力を得ている。期日等の理由から協力が得られていない高校が 247 校あるが、これらの高校の多くからも佛教大学保健医療技術学部看護学科は継続して志願者・入学者を得ていることから、仮に 301 校(依頼高校)÷54 校(実施高校)=5 倍程度(端数切捨)とすると、全体では 230 人程度、「大学」進学、かつ「私立」

立」「看護学」に興味を持ち、佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」への強い受験・入学意向を持つ高校生が存在すると推察される。

進路		学校種		学問分野	受験意向		入学意向		
大学	6,394	私立	5,463	看護学	757	第一志望として受験する	85	入学する	84
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1
						第二志望として受験する	74	入学する	17
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	57
						第三志望以降として受験する	164	入学する	11
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	143

「看護学」に興味を持ち、佛教大学「看護学部 看護学科(仮称)」への強い受験・入学意向を持つ高校生が存在すると推察される。

進路		学校種		学問分野	受験意向		入学意向		
大学	<u>6,282</u>	私立	<u>5,360</u>	看護学	<u>656</u>	第一志望として受験する	<u>47</u>	入学する	<u>46</u>
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1
						第二志望として受験する	<u>53</u>	入学する	17
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	<u>36</u>
						第三志望以降として受験する	<u>139</u>	入学する	11
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	<u>118</u>